

令和 3（2021）年度
栃木県観光動態調査

報告書

令和 4（2022）年 3 月
栃木県産業労働観光部観光交流課

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的及び方法	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査概要	1
(3) アンケート回答状況	2
2. 調査報告書の見方	3
(1) 調査地域区分	3
(2) 集計内容	4
(3) 集計対象サンプル数	6
(4) 集計値の誤差について	6
第2章 観光客調査 調査結果	7
1. 日帰り客	7
(1) 県全体	7
①令和3(2021)年度調査結果	7
②過去調査との比較	14
(2) エリア別	17
i. 日光エリア	17
ii. 那須エリア	24
iii. 県央エリア	31
iv. 県南エリア	38
v. 県東エリア	45
2. 宿泊客	52
(1) 県全体	52
①令和3(2021)年度調査結果	52
②過去調査との比較	59
(2) エリア別	63
i. 日光エリア	63
ii. 那須エリア	70
iii. 県央エリア	77
iv. 県南エリア	84
v. 県東エリア	91

第1章 調査の概要

1. 調査の目的及び方法

(1) 調査目的

栃木県を訪れる旅行客の流動実態について、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」、
「観光入込客統計に関する共通基準調査要領」等に基づき、栃木県を訪れる観光客に対するアンケートを行
い、その観光実態を把握し、観光動向を分析する。

(2) 調査概要

① 観光地点調査

調査手法：県内の観光地点（15カ所）にて調査員が聞き取り（土日祝日から1日）

調査地点：

エリア	調査観光地点名
日光エリア 計3カ所	①二社一寺（日光東照宮）
	②華厳ノ滝（県営華厳第2駐車場）
	③東武ワールドスクウェア
那須エリア 計3カ所	④道の駅那須高原友愛の森
	⑤那須ガーデンアウトレット
	⑥アグリパル塩原
県央エリア 計3カ所	⑦大谷資料館
	⑧道の駅きつれがわ
	⑨道の駅ばとう
県南エリア 計3カ所	⑩足利学校
	⑪佐野プレミアム・アウトレット
	⑫岩下の新生姜ミュージアム
県東エリア 計3カ所	⑬道の駅もてぎ
	⑭陶芸メッセ・益子
	⑮道の駅はが

② 調査対象

調査地点に訪れるすべての方（日本人のみ）

③ 調査時期

第1回：令和3（2021）年6月26日（土）

第2回：令和3（2021）年9月25日（土）

第3回：令和3（2021）年12月4日（土）

第4回：令和4（2022）年1月22日（土）

(3) アンケート回答状況

① 有効サンプル数 : 3,600 件

	第1回調査	第2回調査	第3回調査	第4回調査	合計
観光地点調査	900 件	900 件	900 件	900 件	3,600 件

② 調査地点別回収結果

エリア	調査観光地点名	回収数	合計
日光エリア	①二社一寺（日光東照宮）	240	720
	②華厳ノ滝（県営華厳第2駐車場）	240	
	③東武ワールドスクウェア	240	
那須エリア	④道の駅那須高原友愛の森	240	720
	⑤那須ガーデンアウトレット	240	
	⑥アグリパル塩原	240	
県央エリア	⑦大谷資料館	240	720
	⑧道の駅きつれがわ	240	
	⑨道の駅ばとう	240	
県南エリア	⑩足利学校	240	720
	⑪佐野プレミアム・アウトレット	240	
	⑫岩下の新生姜ミュージアム	240	
県東エリア	⑬道の駅もてぎ	240	720
	⑭陶芸メッセ・益子	240	
	⑮道の駅はが	240	

2. 調査報告書の見方

本調査では、構成比などの数値は、原則として単位未満四捨五入で表記しており、合計や積算などの計算値は、紙面上に表記された数値による計算値と一致しないことがある。

(1) 調査地域区分

今回の調査では、調査対象の観光地点の地域を以下のとおり区分した。

- ・日光、那須、県央、県南、県東の5エリア

なお、各観光地点に対する周辺地域の考え方は〈表1〉のとおり。

観光地点調査における調査地点と周辺地域の考え方

〈表1〉 調査観光地点周辺地域

観光地点 エリア	観光地点名	周辺地域の範囲
日光エリア	①二社一寺（日光東照宮）	日光市
	②華厳ノ滝（県営華厳第2駐車場）	
	③東武ワールドスクウェア	
那須エリア	④道の駅那須高原友愛の森	那須町
	⑤那須ガーデンアウトレット	那須塩原市
	⑥アグリパル塩原	
県央エリア	⑦大谷資料館	宇都宮市
	⑧道の駅きつれがわ	さくら市、高根沢町、那珂川町 那須烏山市
	⑨道の駅ばとう	那珂川町、那須烏山市
県南エリア	⑩足利学校	足利市
	⑪佐野プレミアム・アウトレット	佐野市
	⑫岩下の新生姜ミュージアム	栃木市
県東エリア	⑬道の駅もてぎ	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町
	⑭陶芸メッセ・益子	益子町
	⑮道の駅はが	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町

(2) 集計内容

集計項目	集計方法	備考
お住まい	県全体 エリア別	回答者の住所を都道府県単位で集計し、栃木県を含む関東7都県および福島県を表示し、それ以外を「その他」として集計。
性別・年代別	県全体 エリア別	回答者の性別および年代を集計。なお、性別は男性、女性の2区分、年代は以下の5区分。 10・20代、30代、40代、50代、60代以上
旅行の主要目的	県全体	県外客が栃木県を訪れた主要目的を集計。区分は次の4区分。ビジネス、観光、帰省・知人訪問、その他
栃木県での滞在時間	県全体 エリア別 エリア比較	栃木県内の最初の「目的地」から最終「目的地」を離れるまでの時間を集計。なお、区分は以下の6区分。 2時間未満 2時間～4時間未満 4時間～6時間未満 6時間～8時間未満 8時間～10時間未満 10時間以上
宿泊旅程	県全体	宿泊の種類を集計。なお、区分は次の2区分。 県内のみ宿泊、県外を含む宿泊
栃木県内での宿泊日数	県全体 エリア別	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の栃木県内での宿泊数を集計。なお、区分は以下の5区分。 1泊、2泊、3泊、4泊、5泊以上
栃木県内での宿泊施設数	県全体	今回の旅行（居住地を出てから居住地に戻るまで）の宿泊した施設の数を集計。なお、区分は以下の2区分。 1施設、2施設
栃木県内での利用宿泊施設	県全体	宿泊施設の分類を集計。なお、区分は10区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先に選んだ理由	県全体 エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先に選んだ理由を集計。なお、区分は15区分（具体的な項目は調査票参照）。
同行者数	県全体 エリア別	今回の旅行の回答者を含む同行人数を集計。なお、区分は以下の8区分。 1人、2人、3人、4人、5人、6～10人、11～30人、31人以上
同行者の関係	県全体 エリア別	今回の旅行の同行者の関係を集計。なお、区分は8区分（具体的な項目は調査票参照）。
県外客の栃木県への来訪回数	県全体	栃木県への来訪回数を集計。なお、区分は以下の5区分。 初めて、二回目、三回目、四回目、五回目以上
調査地域周辺への来訪回数	エリア別	調査地域周辺への来訪回数を集計。現在地周辺とは調査地点の「周辺地域」を指し、観光地点調査の各観光地点に対する周辺地域の考え方はP.3〈表1〉の区分のとおり。
交通機関	県全体 エリア別	今回の旅行で利用した交通機関を集計。なお、区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。 選択肢で示した交通機関を利用したかしないかで集計。旅程内で一度でも利用すれば集計の対象とし、二度以上使った場合も1として集計。

集計項目	集計方法	備考
立ち寄り観光施設数	県全体	<p>今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）の合計数を集計。</p> <p>ここで対象としている観光施設（地点数）は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。そのため栃木県外の観光地点や下記のような観光施設とみなさない場所、不明確な場所は対象外としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設、実家、友人の家 ・コンビニ、飲食店 ・鉄道の駅、高速道路のサービスエリア ・宇都宮、日光、鬼怒川、那須などの地名 <p>なお、調査に回答した観光地点はその数には含まない。 ※調査地点以外に立ち寄りがない場合は0地点と表す。</p>
立ち寄り観光施設	エリア別	<p>今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）。上記「立ち寄り観光施設数」と同様、ここで対象としている観光施設は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。</p>
旅行先に選んだ情報源	県全体 エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源を集計。なお、区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先を選んだ“決め手”となった情報源	県全体 (年代別) エリア別	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源のうち“決め手”となったものを集計。なお、区分は12区分（具体的な項目は調査票参照）。
消費支出（平均）	県全体 エリア別	<p>栃木県内で消費した支出の総額およびその内訳を集計。内訳として表示する項目は以下の6項目。</p> <p>県内交通費、宿泊費、土産代、飲食費、入場料、その他</p> <p>なお、内訳項目のうちひとつでも記入がある場合には、それを総額とする。</p> <p>県内交通費については、以下の考え方により集計。</p> <p>回答者の回答がある場合：回答を集計。</p> <p>県外交通費のみの回答がある場合：居住県より県内外の距離を按分し集計。</p>
調査地域の総合満足度／再来訪意向	県全体 エリア別	<p>総合的な満足度：調査地点の周辺地域への訪問後の総合満足度を5段階で回答。</p> <p>また訪れたいか：調査地点の周辺地域への再来訪意向を5段階で回答。</p> <p>※「県全体」ではグラフの下に各項目の加重平均を表示。</p> <p>加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を+2、「やや（ほぼ）～」を+1に、中間意見「どちらでもない」を0、否定意見「あまり（やや）～ない」を-1、「全く（大変）～ない」を-2に置き換えて算出した平均値で、+の数値で肯定的、-の数値で否定的な度合いとなる。</p> <p>なお、同設問に無回答である場合には、満足度・再来訪意向のn数からは除外。</p>

集計項目	集計方法	備考
項目別満足度 (加重平均値)	県全体 エリア別	県全体・調査地域に対する15の項目別の「満足度」についてまとめて表示。また、グラフの1行目には比較用として「調査地域の総合満足度」を表示し、グラフ右側には加重平均を表示。 なお、無回答の項目がある場合には、それぞれの項目のn数から除外。
調査地域の総合満足度・再来訪意向 (季節別/年代別)	県全体 エリア別	調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。 季節別、年代別に調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。

(3) 集計対象サンプル数

調査区分	アンケート 回収状況	集計区分	
		日帰り客	宿泊客(県内)
全体	3,600	2,489	1,031
日光エリア	720	324	386
那須エリア	720	382	323
県央エリア	720	533	173
県南エリア	720	622	81
県東エリア	720	628	68

※日帰り客・宿泊客(県内)については無回答の回答者がいたため、日帰り客と宿泊客(県内)の和が回収件数とはならない。

(4) 集計値の誤差について

- 集計値は小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、nを100.0%として算出した。

第2章 観光客調査 調査結果

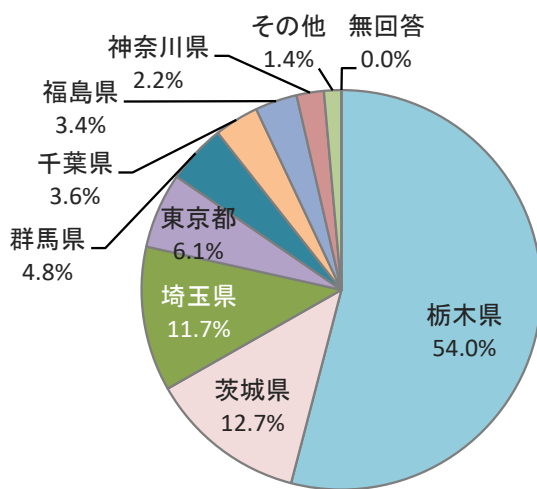
1. 日帰り客

(1) 県全体

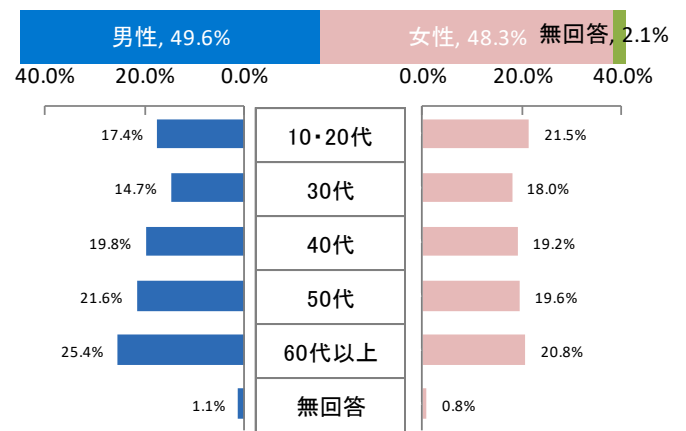
①令和3(2021)年度調査結果

お住まいは「栃木県」が54.0%で最も多く、次いで「茨城県」が12.7%、「埼玉県」が11.7%であった。
性別は、「男性」が49.6%、「女性」が48.3%であった。
年代は、男性は「60代以上」が25.4%で最も多く、女性は「10・20代」が21.5%で最も多かった。

お住まい (n=2489)



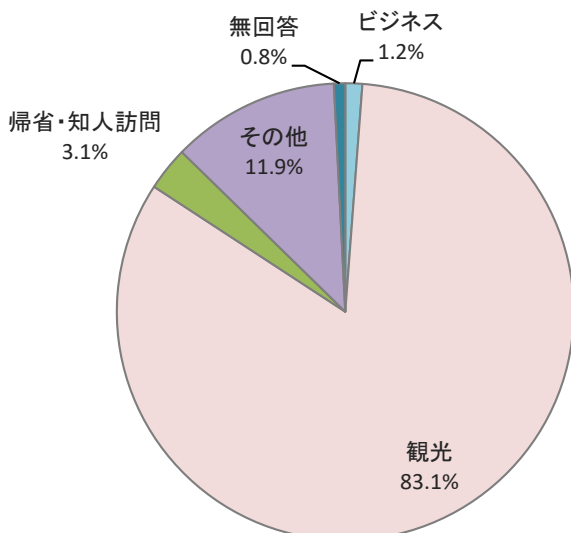
性別・年代 (n=2489)



※年代別については性別が無回答のものを除外して集計しており、
ここでの無回答は年代が無回答の割合を指す。

旅行の主要目的は、「観光」が83.1%と8割を超えた。

旅行の主要目的 (n=1145)



第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (1) 県全体

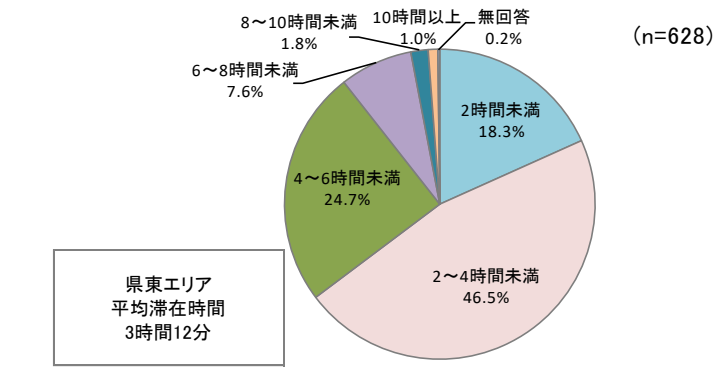
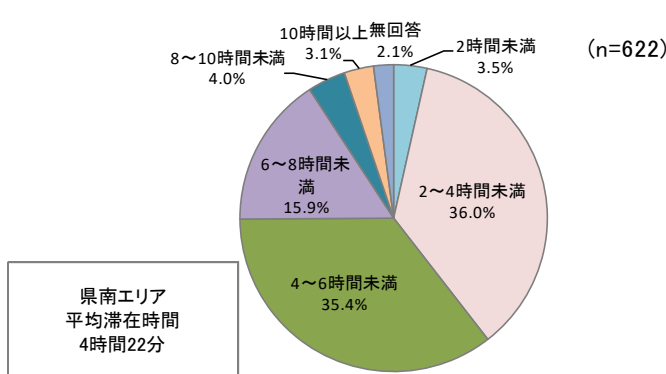
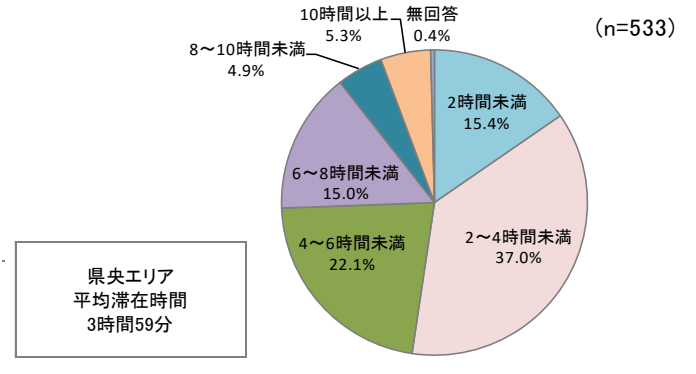
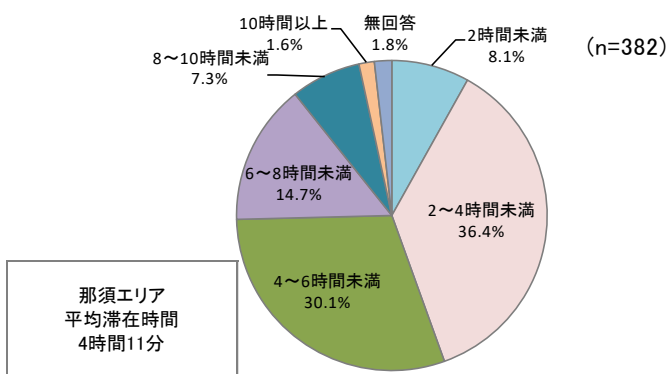
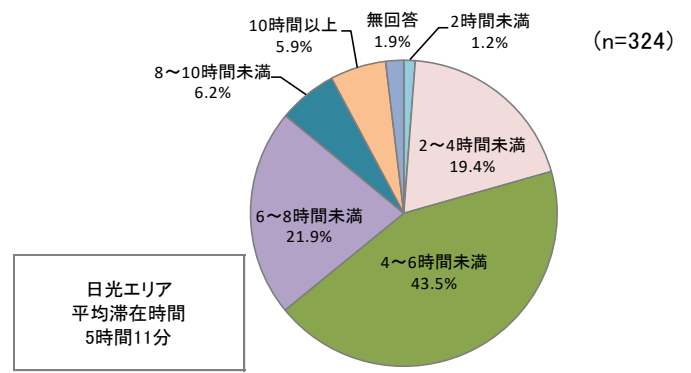
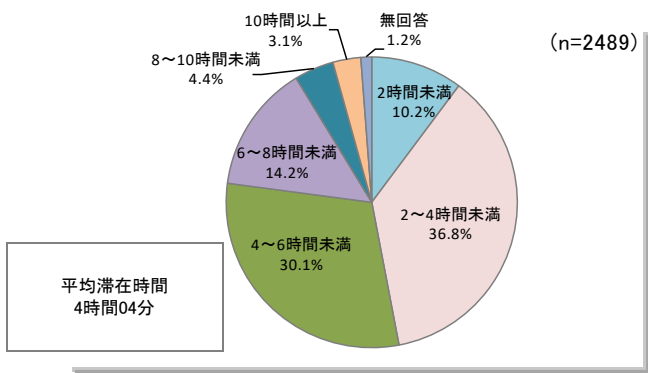
栃木県での滞在時間は、県全体では、「2時間～4時間未満」が36.8%で最も多く、次いで「4時間～6時間未満」が30.1%となり、合わせると『2時間～6時間未満』は66.9%となった。平均滞在時間は4時間04分であった。

エリアごとに見ると、日光が5時間11分で最も長く、県東が3時間12分で最も短かった。「2時間未満」は県東で18.3%と他のエリアに比べて多く、「10時間以上」は日光で5.9%と他のエリアに比べてやや多かった。

栃木県での滞在時間

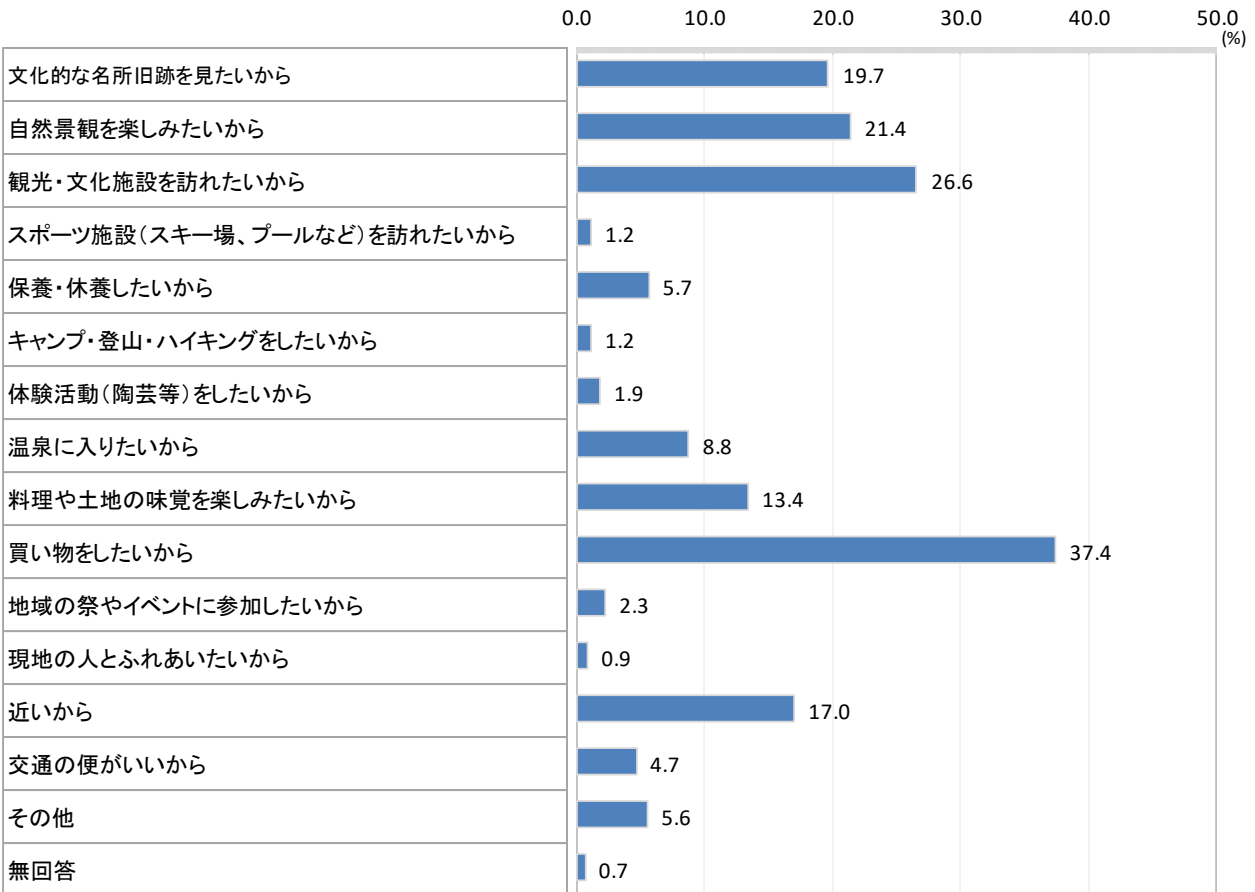
【県全体】

【エリア別】



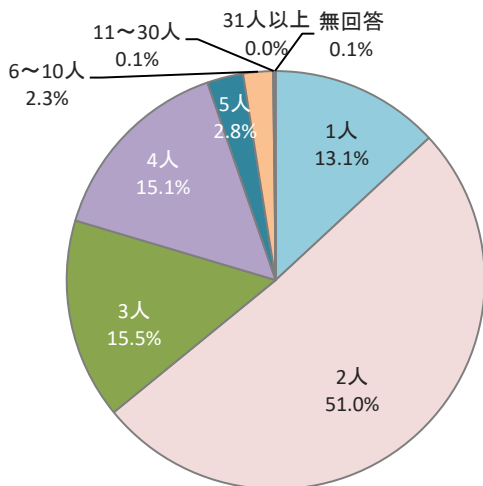
旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が37.4%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が26.6%、「自然景観を楽しみたいから」が21.4%、「文化的な名所旧跡を見たいから」が19.7%となった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=2489）

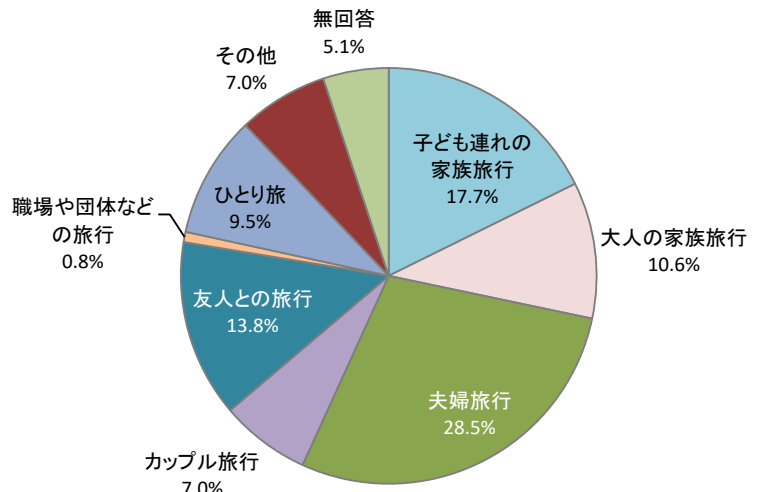


回答者を含む同行者数は、「2人」が51.0%で最も多く、次いで「3人」が15.5%、「4人」が15.1%であった。
 同行者の関係は、「夫婦旅行」が28.5%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が17.7%、「友人との旅行」が13.8%、「大人の家族旅行」が10.6%であった。

同行者数 ※回答者を含む（n=2489）



同行者の関係（n=2489）

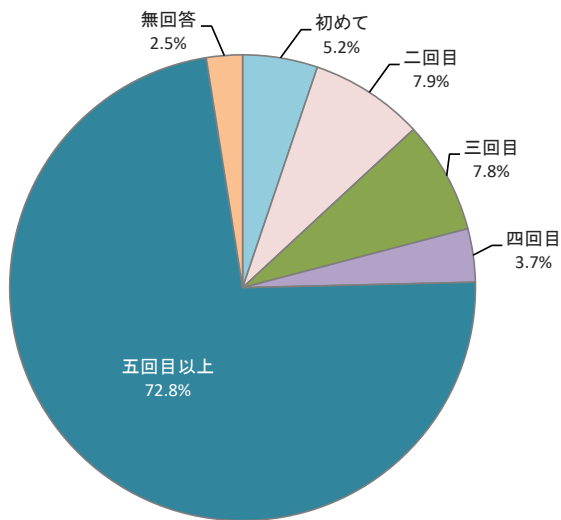


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (1) 県全体

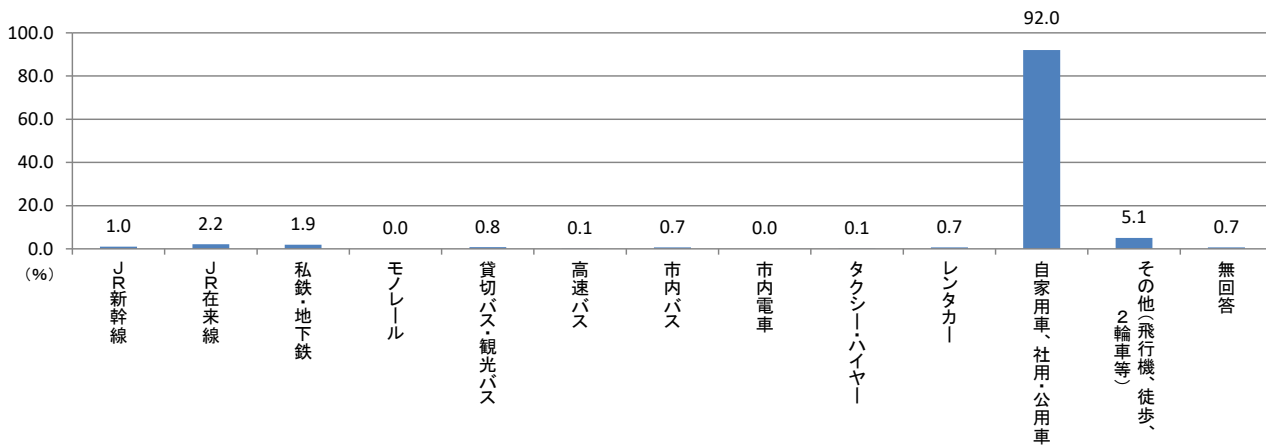
県外客の栃木県への来訪回数は、「五回目以上」が72.8%と7割強であった。一方、「初めて」は5.2%となった。

県外客の栃木県への来訪回数 (n=1145)

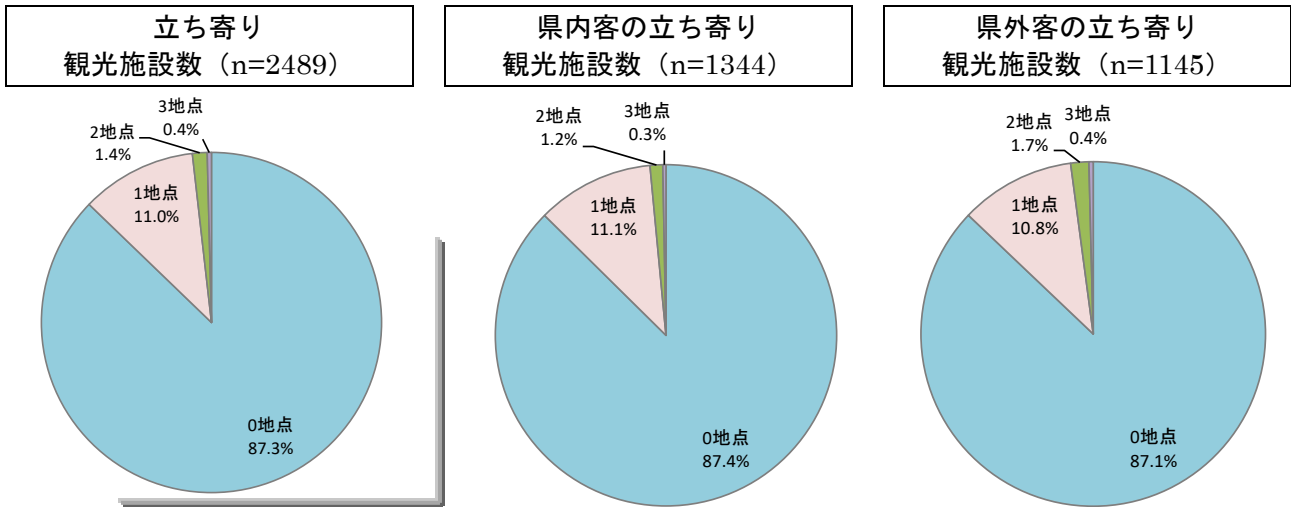


利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が92.0%で大半を占めた。その他の交通機関としては「その他（飛行機、徒歩、2輪車等）」が5.1%、「JR 在来線」が2.2%、「私鉄・地下鉄」が1.9%であった。

利用交通機関 (複数回答) (n=2489)

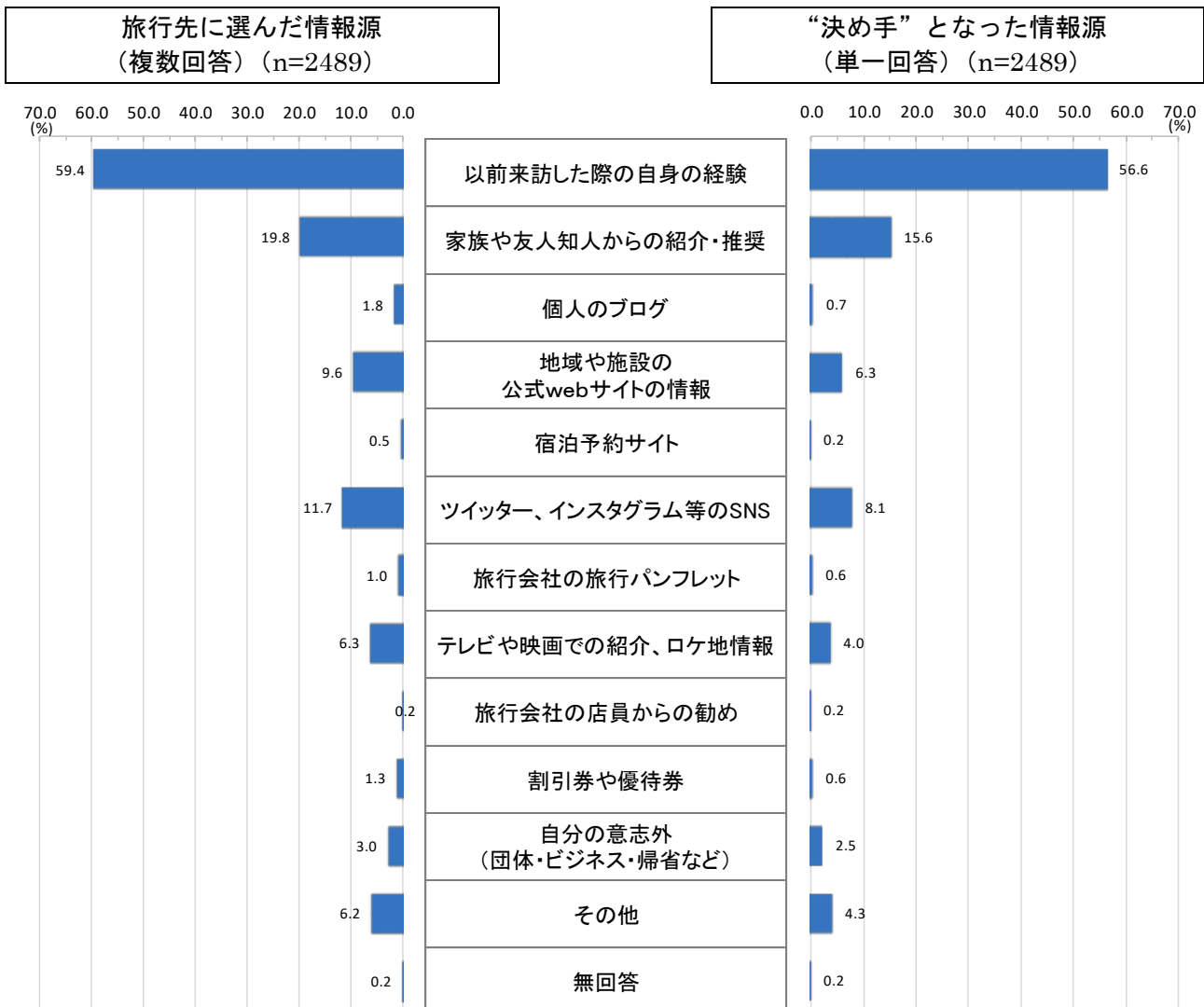


立ち寄り観光施設は、「0地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が87.3%で最も多く、次いで「1地点」が11.0%であった。調査地点も含めると、1地点～2地点が9割を超えた。



旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が59.4%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が19.8%であった。

“決め手”となった情報源は、旅行先に選んだ情報源と同様に「以前来訪した際の自身の経験」が56.6%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が15.6%であった。



第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (1) 県全体

旅行先を選んだ“決め手”となった情報源 年代別

※全体で回答数の多い順（「無回答」を除く）

(%)

NO.	全体 (n=2489)	
1	以前来訪した際の自身の経験	56.6
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	15.6
3	ツイッター、インスタグラム等のSNS	8.1
4	地域や施設の公式webサイトの情報	6.3
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	4.0
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.5
7	個人のブログ	0.7
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.6
9	割引券や優待券	0.6
10	宿泊予約サイト	0.2
11	旅行会社の店員からの勧め	0.2
12	その他	4.3

NO.	10・20代 (n=483)	
1	以前来訪した際の自身の経験	47.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	18.2
3	ツイッター、インスタグラム等のSNS	15.9
4	地域や施設の公式webサイトの情報	6.2
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.7
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.5
7	個人のブログ	0.8
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.4
9	割引券や優待券	0.2
10	宿泊予約サイト	0.2
11	旅行会社の店員からの勧め	0.2
12	その他	4.3

NO.	30代 (n=403)	
1	以前来訪した際の自身の経験	51.9
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	17.9
3	ツイッター、インスタグラム等のSNS	13.2
4	地域や施設の公式webサイトの情報	5.7
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.7
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.5
7	個人のブログ	1.2
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.5
9	割引券や優待券	0.5
10	宿泊予約サイト	0.0
11	旅行会社の店員からの勧め	0.2
12	その他	2.5

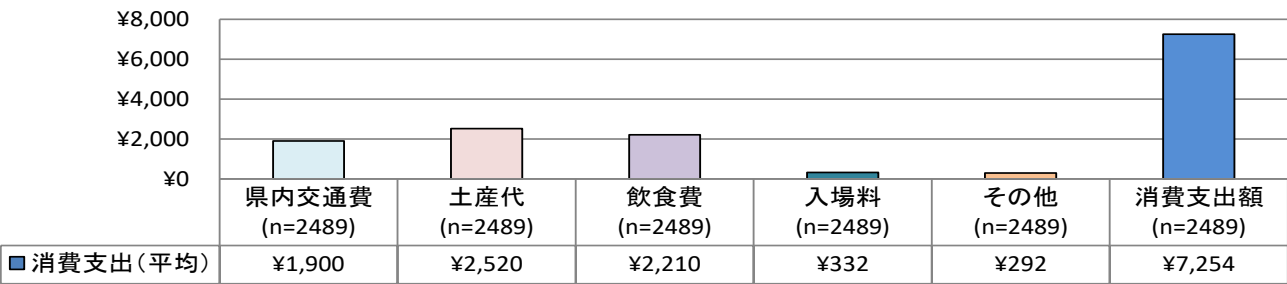
NO.	40代 (n=478)	
1	以前来訪した際の自身の経験	52.9
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	15.3
3	ツイッター、インスタグラム等のSNS	7.5
4	地域や施設の公式webサイトの情報	9.2
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	5.0
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.9
7	個人のブログ	0.6
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.4
9	割引券や優待券	0.4
10	宿泊予約サイト	0.0
11	旅行会社の店員からの勧め	0.2
12	その他	4.8

NO.	50代 (n=515)	
1	以前来訪した際の自身の経験	56.1
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	16.7
3	ツイッター、インスタグラム等のSNS	4.3
4	地域や施設の公式webサイトの情報	8.2
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	4.7
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	3.5
7	個人のブログ	0.4
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.8
9	割引券や優待券	0.6
10	宿泊予約サイト	0.2
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	4.7

NO.	60代以上 (n=583)	
1	以前来訪した際の自身の経験	71.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	11.1
3	ツイッター、インスタグラム等のSNS	1.7
4	地域や施設の公式webサイトの情報	3.3
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	2.9
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	1.4
7	個人のブログ	0.7
8	旅行会社の旅行パンフレット	0.9
9	割引券や優待券	1.2
10	宿泊予約サイト	0.5
11	旅行会社の店員からの勧め	0.2
12	その他	5.1

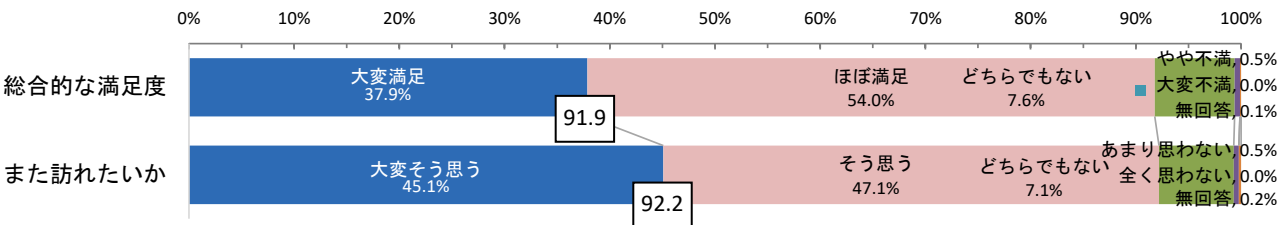
日帰り客一人当たりの消費支出の平均は、総額で7,254円であった。
内訳は、「土産代」が2,520円で最も多く、次いで「飲食費」が2,210円であった。

消費支出（平均）



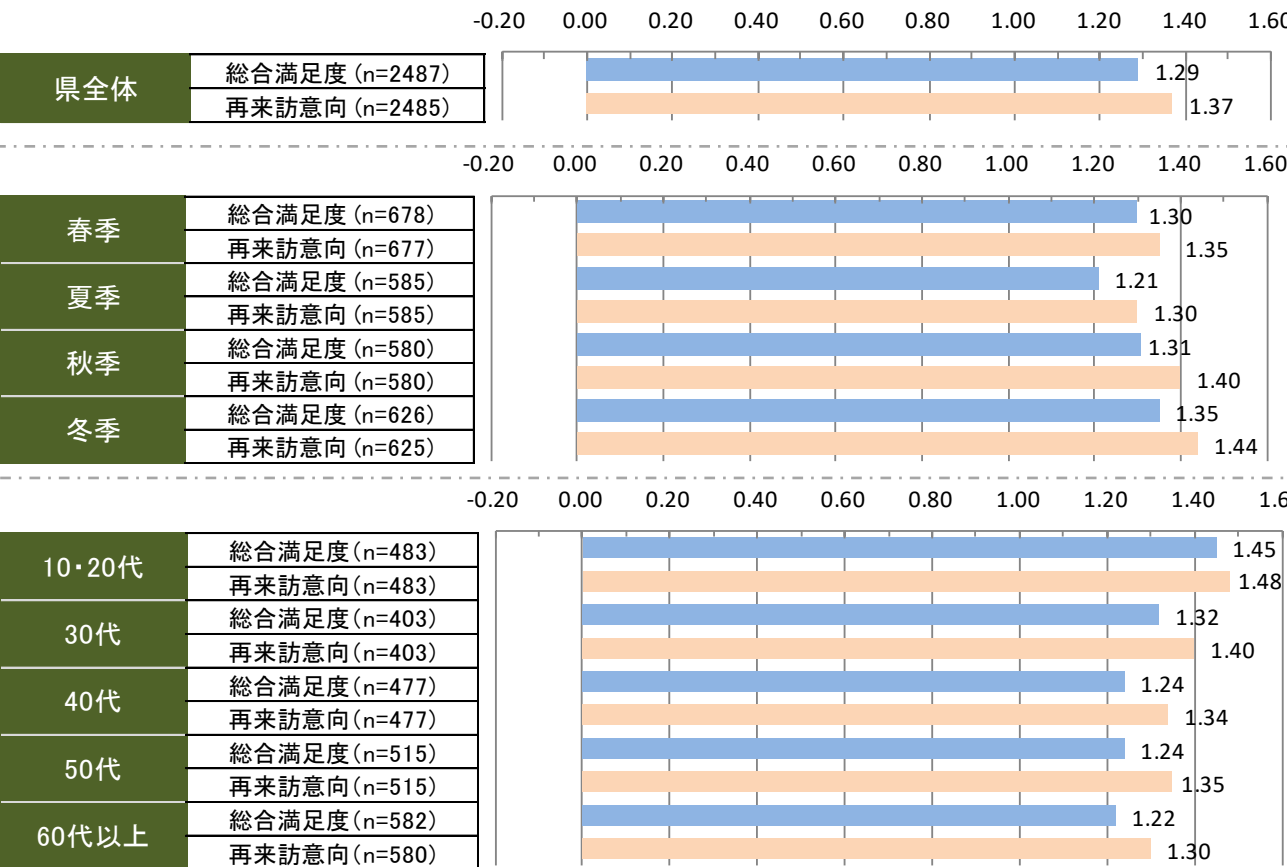
調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が91.9%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が92.2%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=2489)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.35で最も高かった。再来訪意向についても「冬季」が1.44で最も高かった。
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.45で最も高かった。また、再来訪意向も「10・20代」が1.48で最も高かった。



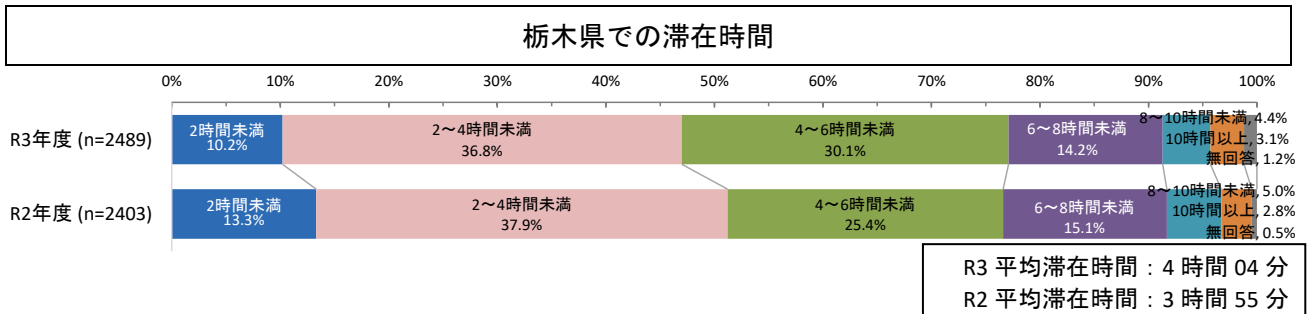
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (1) 県全体

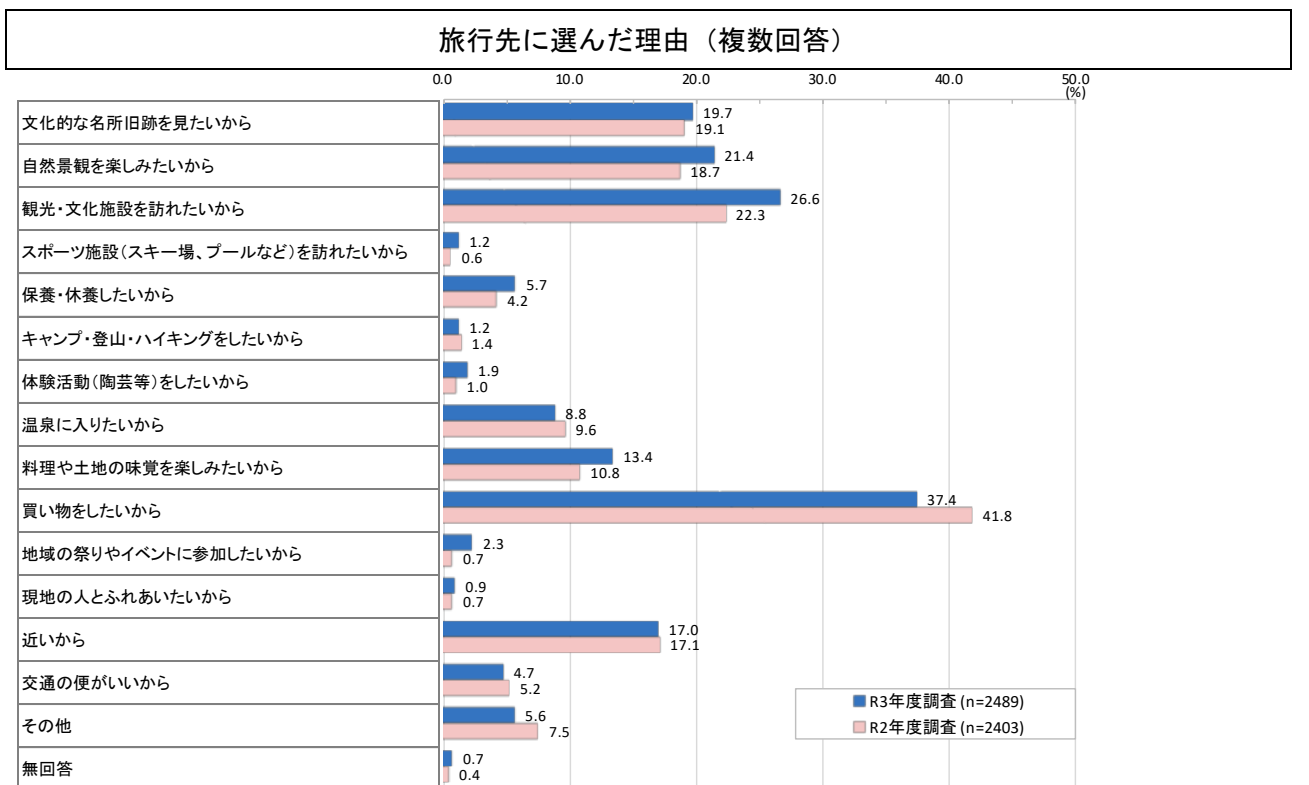
②過去調査との比較

栃木県での滞在時間は、「2～4時間未満」が最も多く、令和2（2020）年度調査では37.9%、令和3（2021）年度調査では36.8%と1.1ポイント減少した。一方、「4～6時間未満」は令和2（2020）年度調査では25.4%、令和3（2021）年度調査では30.1%と4.7ポイント増加した。

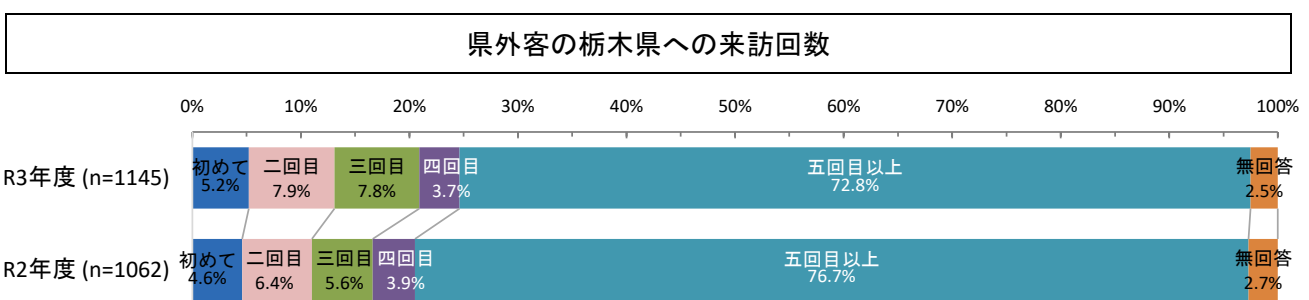
そして平均滞在時間は、令和2（2020）年度調査では3時間55分に対し、令和3（2021）年度調査では、4時間04分と9分延びた。



旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が最も多く、令和2（2020）年度調査では41.8%、令和3（2021）年度調査では37.4%と、4.4ポイント減少した。一方、次いで多かった「観光・文化施設を訪れたいから」は、令和2（2020）年度調査では22.3%、令和3（2021）年度調査では26.6%と、4.3ポイント増加した。

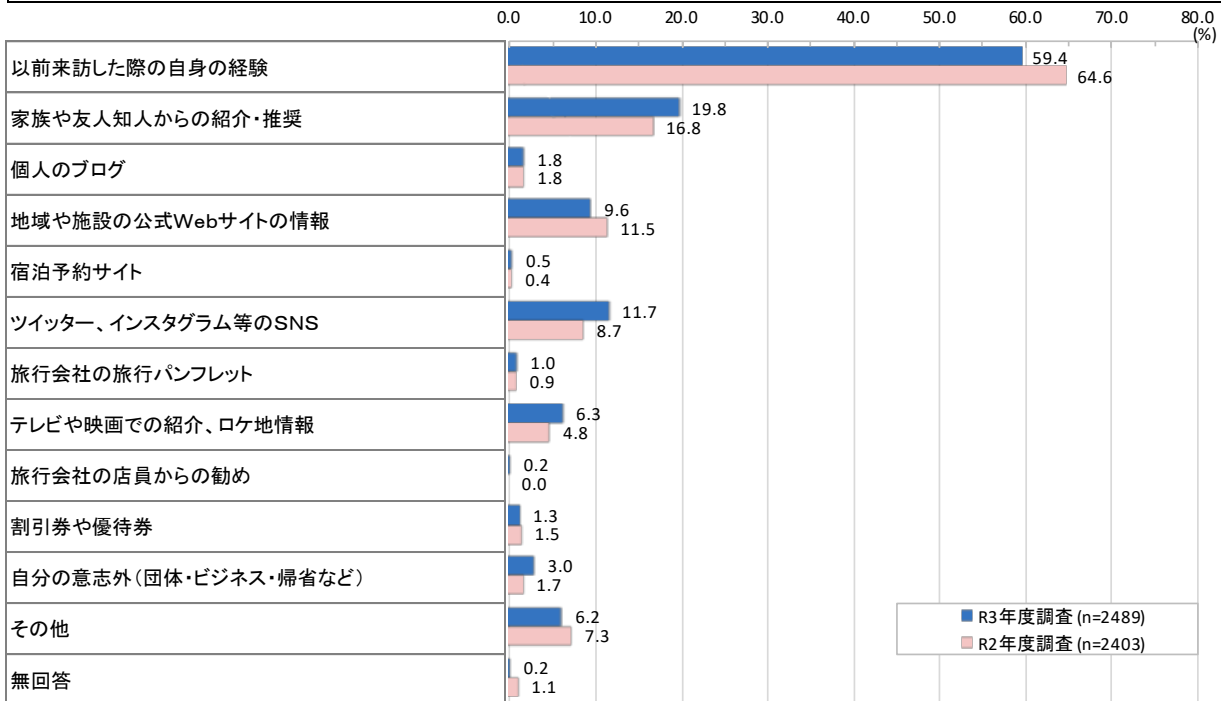


県外客の栃木県への来訪回数は「五回目以上」が最も多く、令和2（2020）年度調査では76.7%、令和3（2021）年度調査では72.8%と、3.9ポイント減少した。一方、「初めて」は、令和2（2020）年度調査では4.6%、令和3（2021）年度調査では5.2%と0.6ポイント増加した。



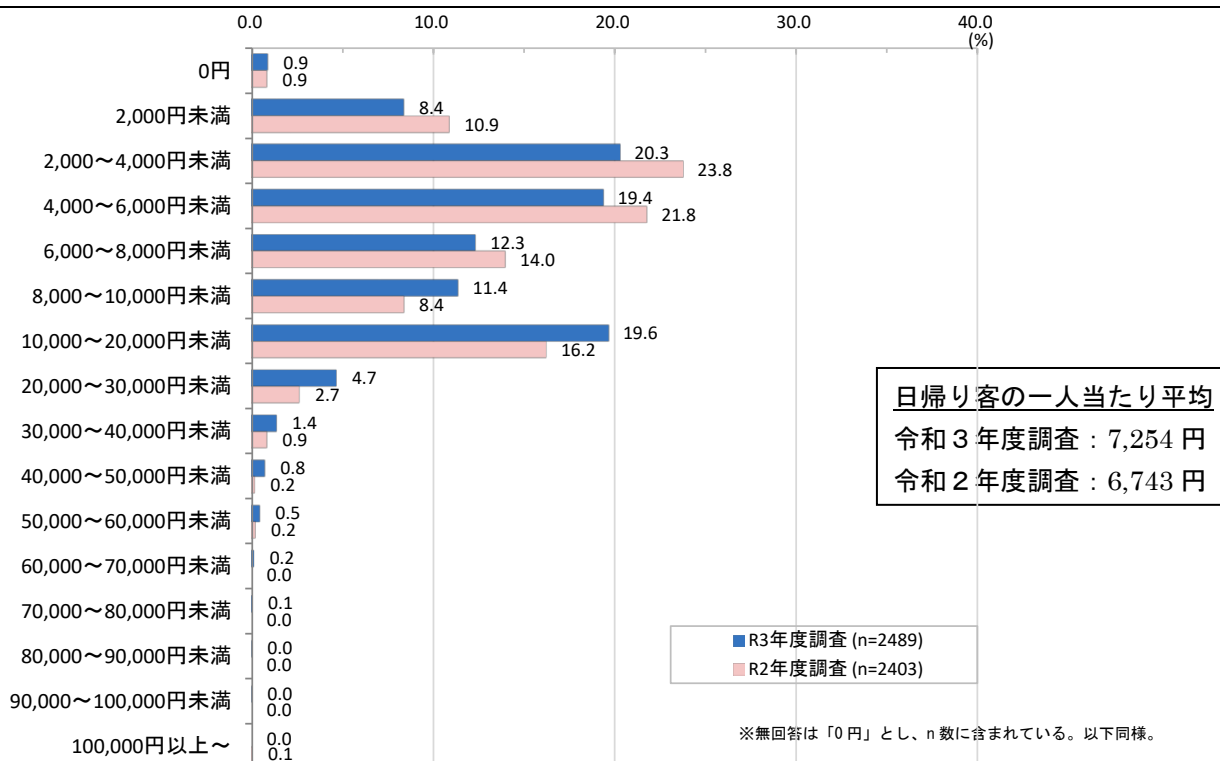
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和2（2020）年度調査では64.6%、令和3（2021）年度調査では59.4%と、5.2ポイント減少した。一方、次いで多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」は、令和2（2020）年度調査では16.8%、令和3（2021）年度調査では19.8%と、3.0ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、「10,000～20,000円未満」は令和2（2020）年度調査の16.2%に対し、令和3（2021）年度調査は19.6%と3.4ポイント増加した。一方、「2,000～4,000円未満」は令和2（2020）年度調査の23.8%に対し、令和3（2021）年度調査では20.3%と3.5ポイント減少した。日帰り客の一人当たり平均は、令和2（2020）年度調査では6,743円であったが、令和3（2021）年度調査では7,254円に増加した。

消費支出（総額）

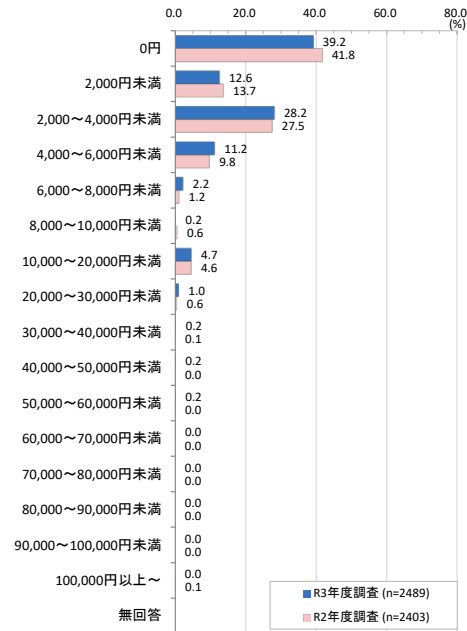


第2章 観光客調査 調査結果

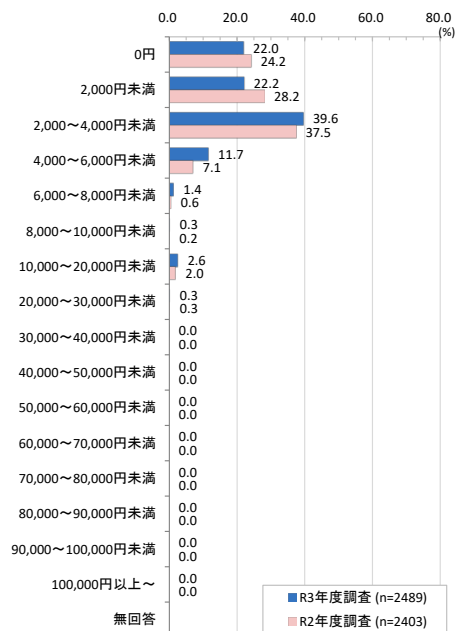
1. 日帰り客 (1) 県全体

土産代は、「0円」（回答がなかった方を含む）が令和2（2020）年度調査の41.8%に対し、令和3（2021）年度は39.2%と2.6ポイント減少した。飲食費は、「4,000～6,000円未満」が令和2（2020）年度調査の7.1%に対し、令和3（2021）年度は11.7%と4.6ポイント増加した一方、「2,000円未満」は令和2（2020）年度調査の28.2%に対し、令和3（2021）年度は22.2%と6.0ポイント減少した。

消費支出 土産代

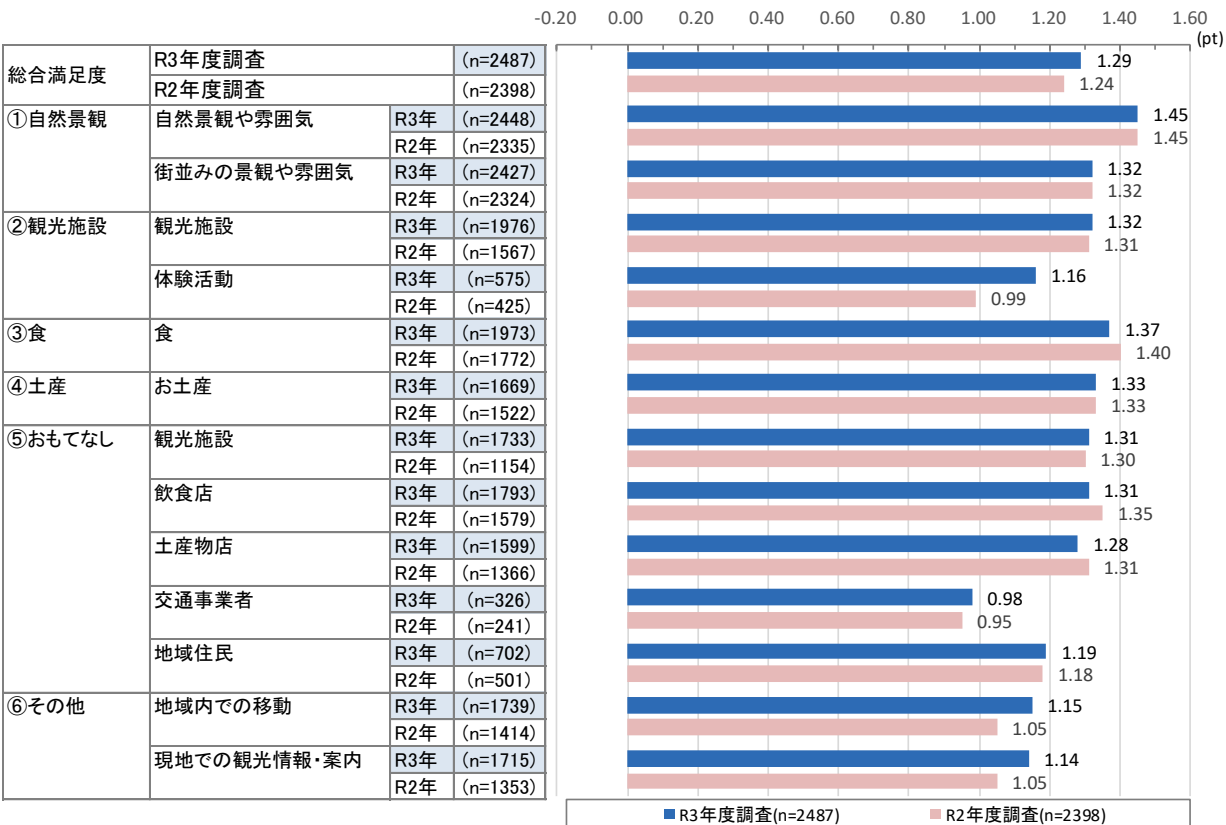


消費支出 飲食費



総合満足度は、令和3（2021）年度調査では1.29となり、令和2（2020）年度調査の1.24と比べて0.05ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和2（2020）年度調査と、令和3（2021）年度調査はともに「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高く、その満足度は1.45と同じであった。

項目別満足度（加重平均値）



(2) エリア別

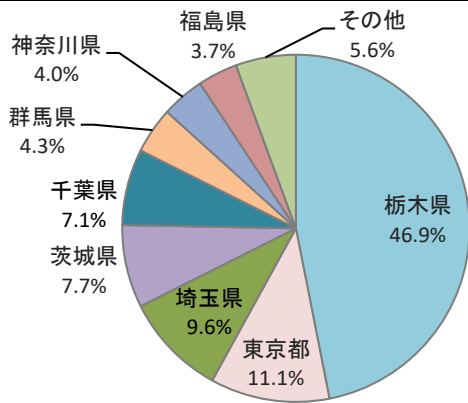
i. 日光エリア

① 令和3(2021)年度調査結果

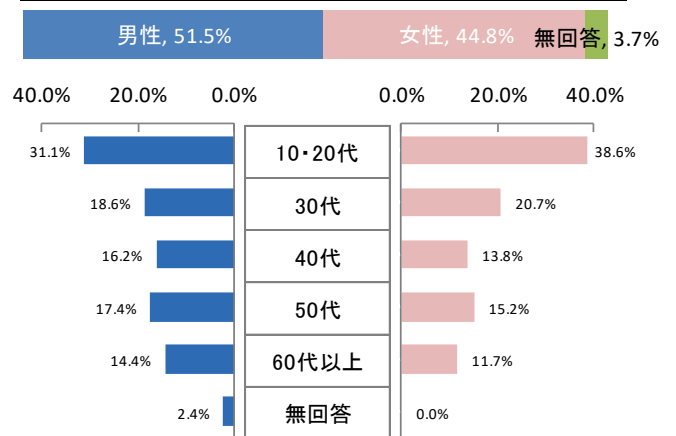
日帰り客(日光エリア) サンプル数：324

お住まいは「栃木県」が最も多く 46.9%、次いで「東京都」が 11.1%、「埼玉県」が 9.6%であった。
 年代は、男女ともに「10・20代」が最も多く、男性では 31.1%、女性では 38.6%であった。
 調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が 51.5%で最も多かった。
 同行者数は「2人」が 47.5%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 23.8%で最も多かった。

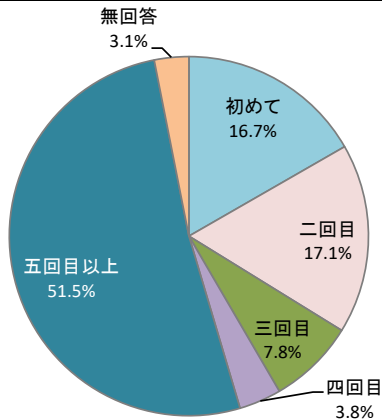
お住まい (n=324)



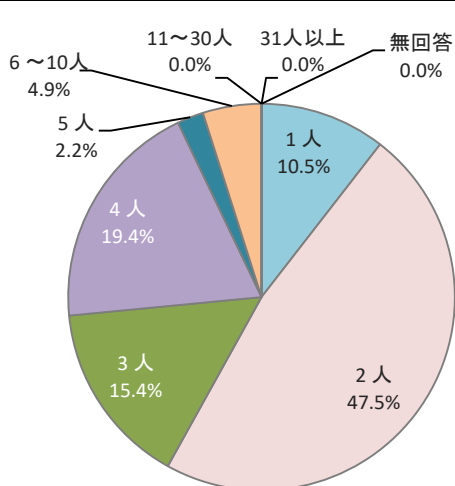
性別・年代 (n=324)



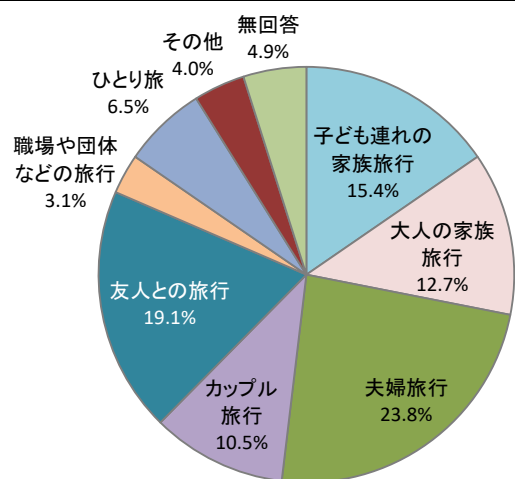
調査地域周辺への来訪回数 (n=293)



同行者数 ※回答者を含む (n=324)



同行者の関係 (n=324)

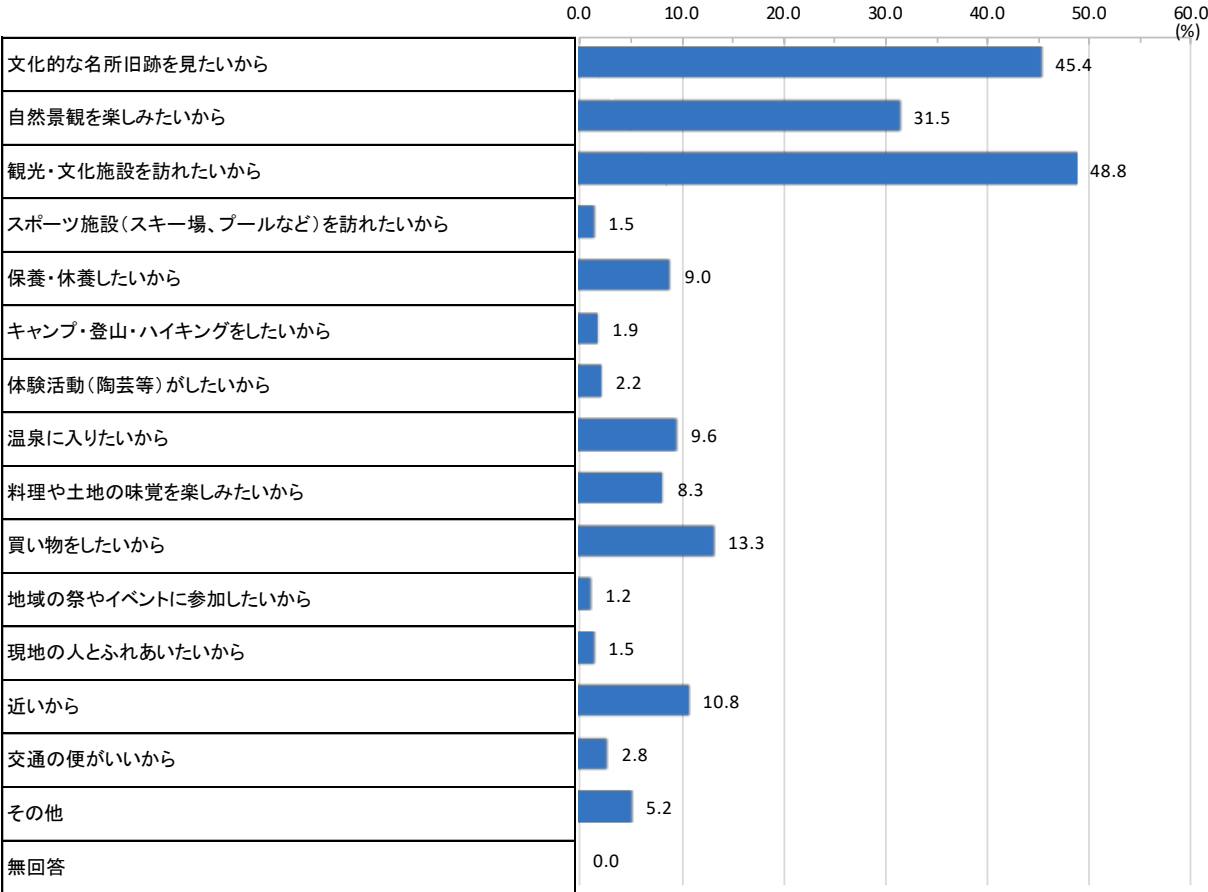


第2章 観光客調査 調査結果

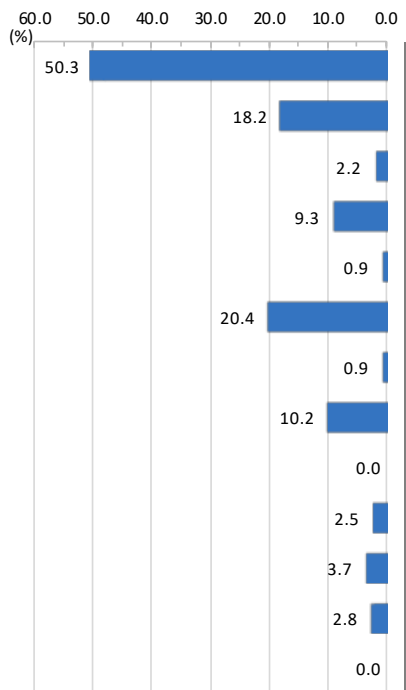
1. 日帰り客 (2) エリア別 i. 日光エリア

旅行先に選んだ理由は「観光・文化施設を訪れたいから」が48.8%で最も多く、次いで「文化的な名所旧跡を見たいから」が45.4%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が50.3%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が46.6%で最も多かった。

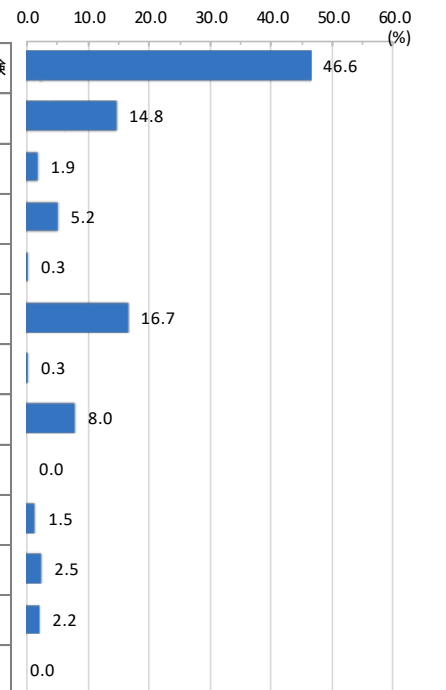
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=324）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=324）



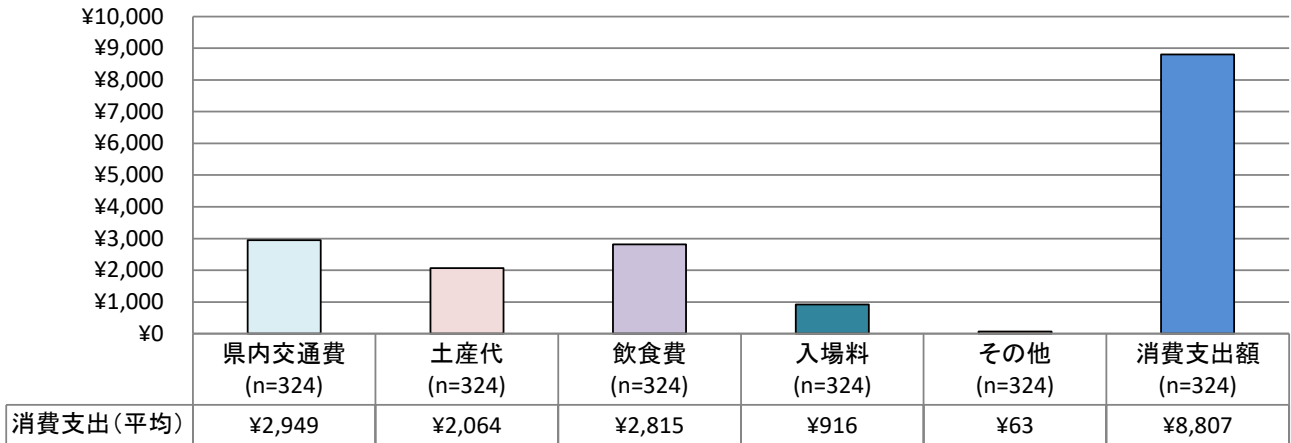
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=324）



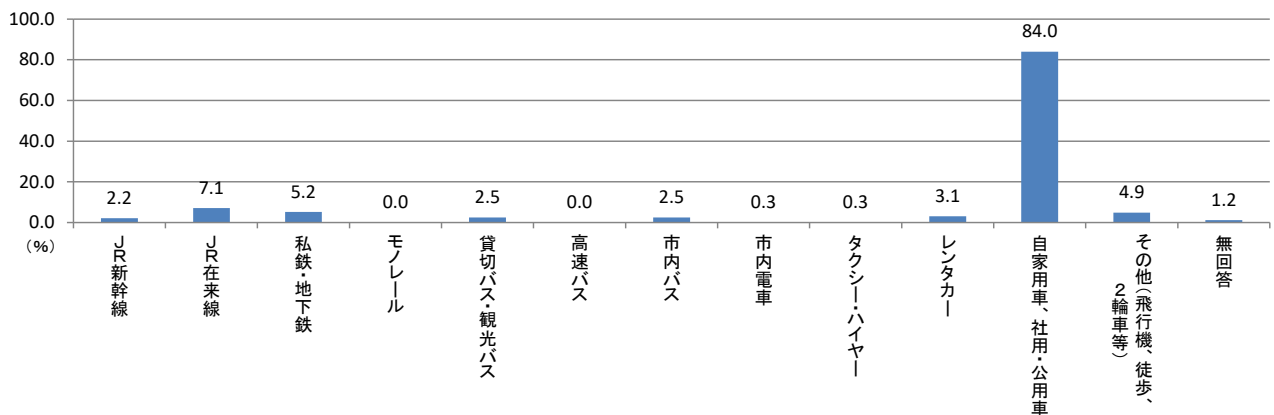
消費支出の平均は、総額で 8,807 円であった。内訳は、「県内交通費」が 2,949 円で最も多く、次いで「飲食費」が 2,815 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 84.0%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「二社一寺」が 40 人で最も多く、次いで「華厳ノ滝」が 13 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=324）



立ち寄り観光施設（n=324）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

日光	日光	那須
二社一寺(40)	湯滝・湯の湖(2)	道の駅「湧水の郷しおや」(2)
華厳ノ滝(13)	日光湯元温泉(1)	ハンターマウンテン塩原(1)
中禅寺湖(11)	日光江戸村(1)	県南
二荒山神社中宮祠(7)	巨大迷路パラディウム(1)	あしかがフラワーパーク(3)
東武ワールドスクウェア(7)	日光街道ニコニコ本陣(1)	佐野厄よけ大師(1)
鬼怒川温泉(5)	県央	
戦場ヶ原・小田代原(3)	松島温泉(2)	

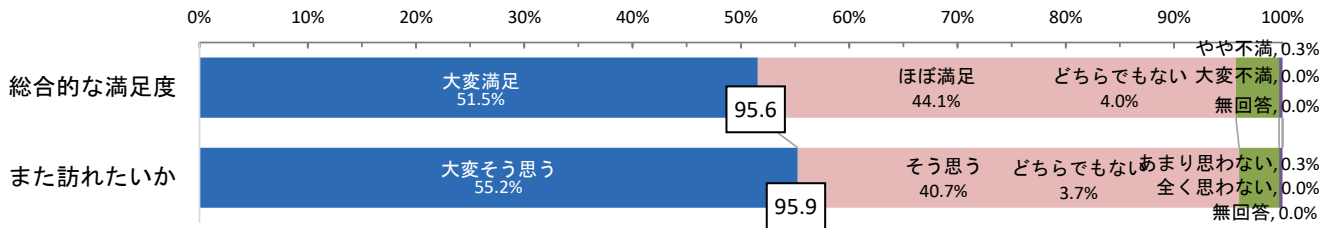
※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
東武ワールドスクウェア（2）

第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 i. 日光エリア

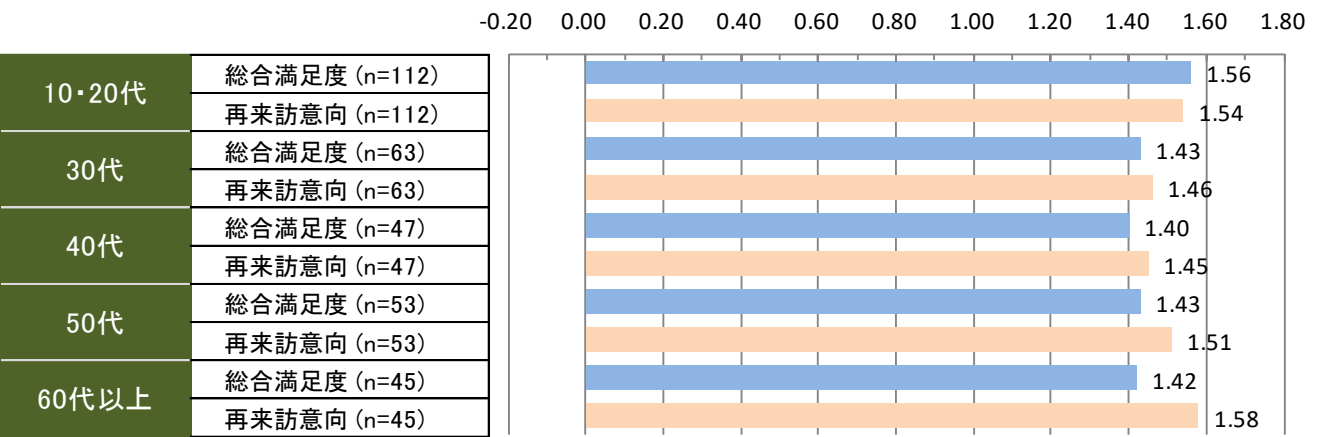
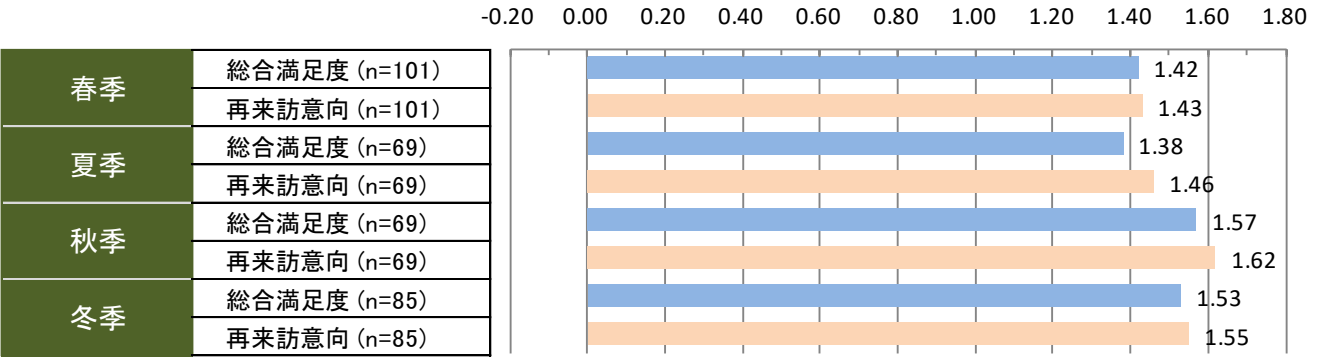
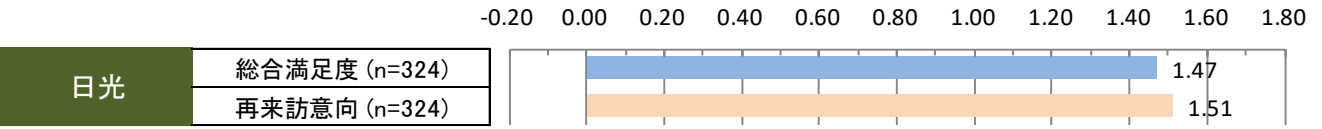
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 95.6%となった。また訪れたいかについても「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が 95.9%となり、「満足度」「再来訪意向」ともに9割を超えた。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=324)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

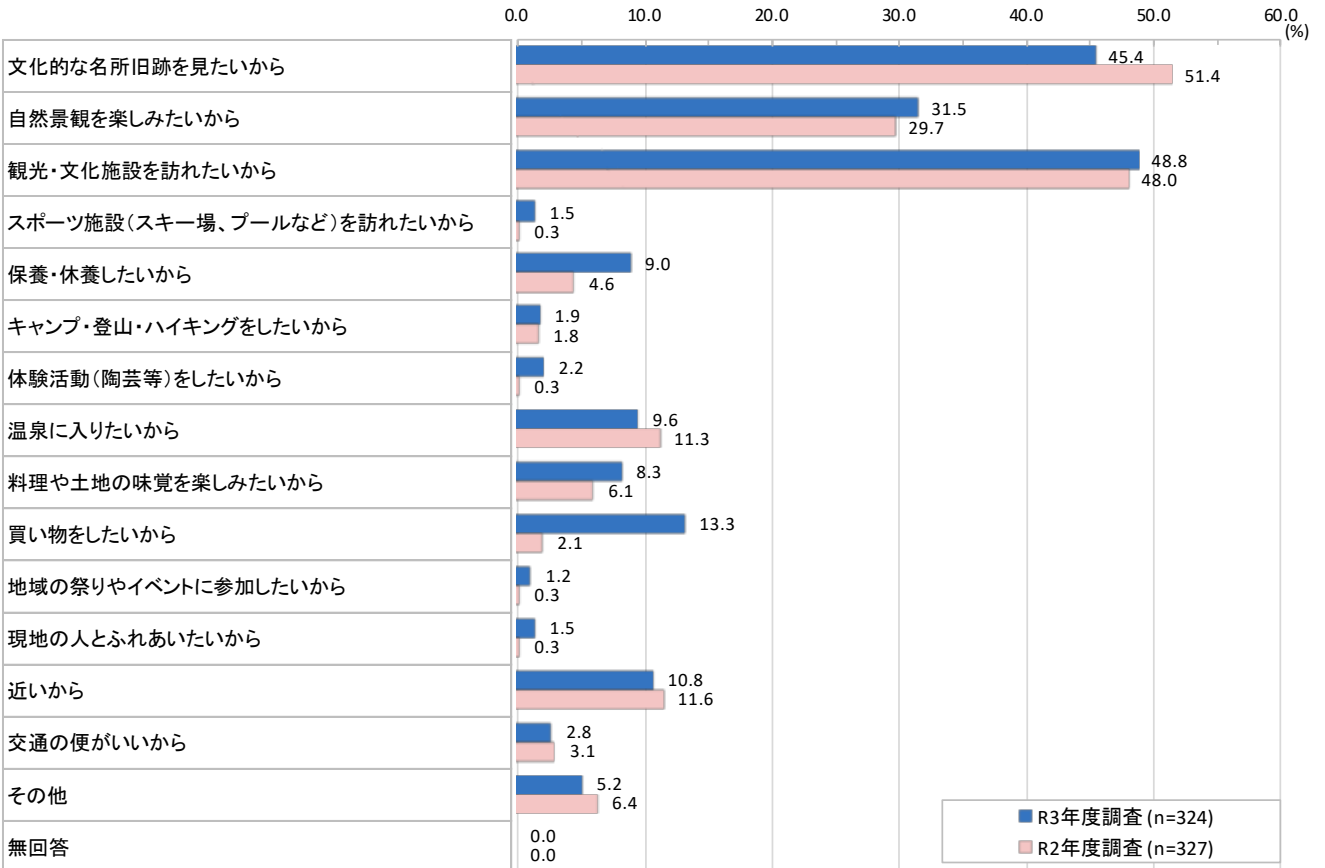
総合満足度を季節別にみると、「秋季」が 1.57 で最も高く、「夏季」が 1.38 で最も低かった。また、再来訪意向は「秋季」が 1.62 で最も高く、「春季」が 1.43 で最も低かった。
 年代別にみると、総合満足度は「10・20代」で 1.56 と最も高く、「40代」で 1.40 と最も低かった。また、再来訪意向は「60代以上」で 1.58 と最も高く、「40代」で 1.45 と最も低かった。



②過去調査との比較

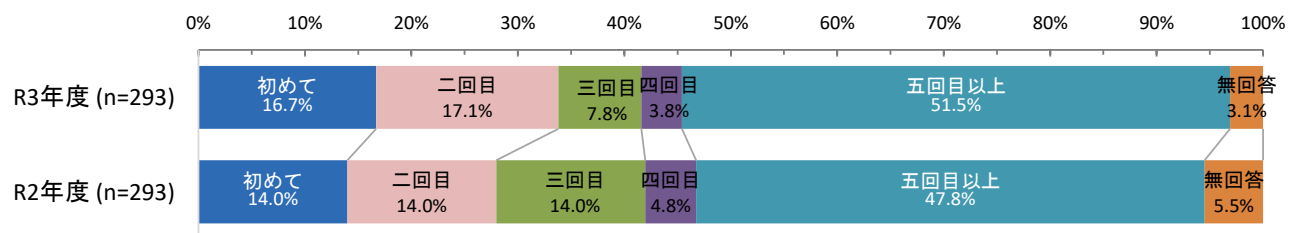
旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が最も多く、令和2(2020)年度調査では48.0%、令和3(2021)年度調査では48.8%と0.8ポイント増加した。一方、次いで多かった「文化的な名所旧跡を見たいから」は令和2(2020)年度調査では51.4%、令和3(2021)年度調査では45.4%と6.0ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由 (複数回答)



調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が令和2(2020)年度調査では47.8%、令和3(2021)年度調査では51.5%と3.7ポイント増加した。また、「初めて」は令和2(2020)年度調査では14.0%、令和3(2021)年度調査では16.7%と2.7ポイント増加し、「二回目」も3.1ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く

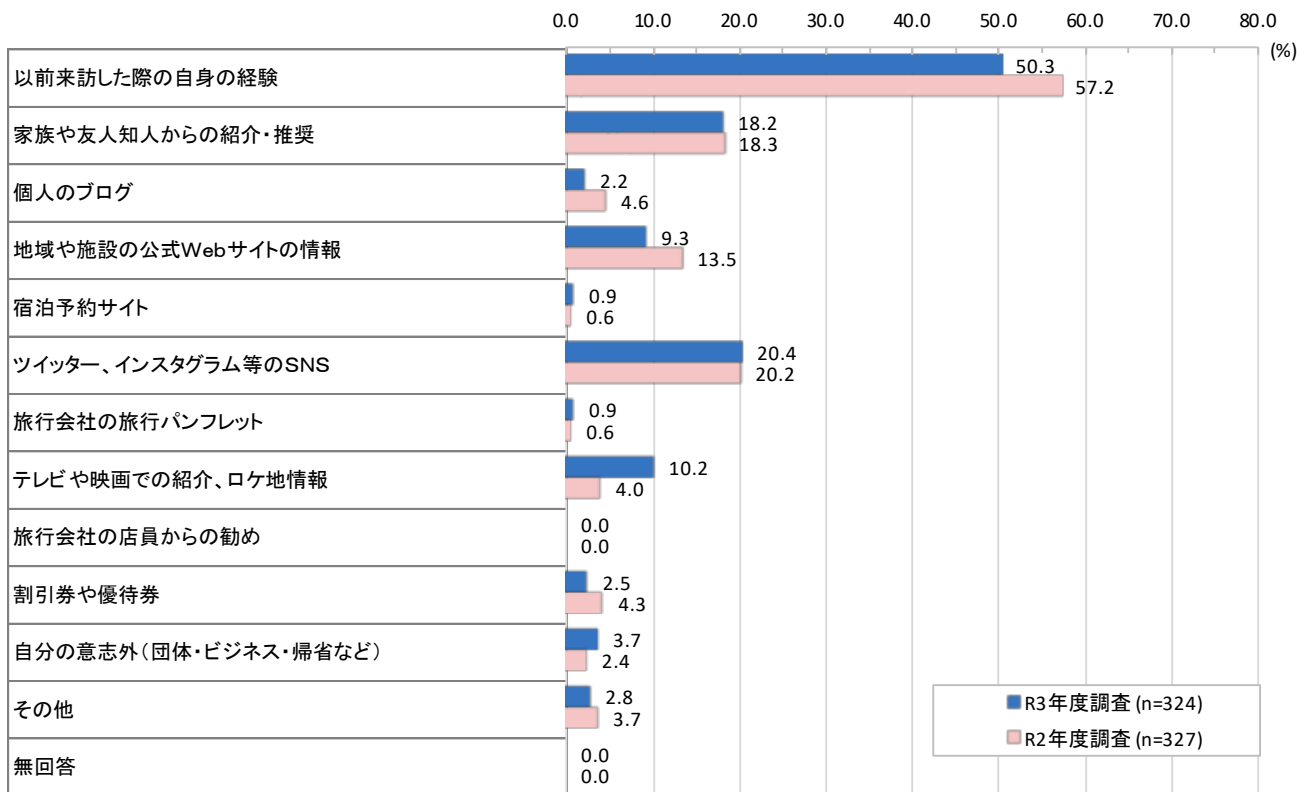


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 i. 日光エリア

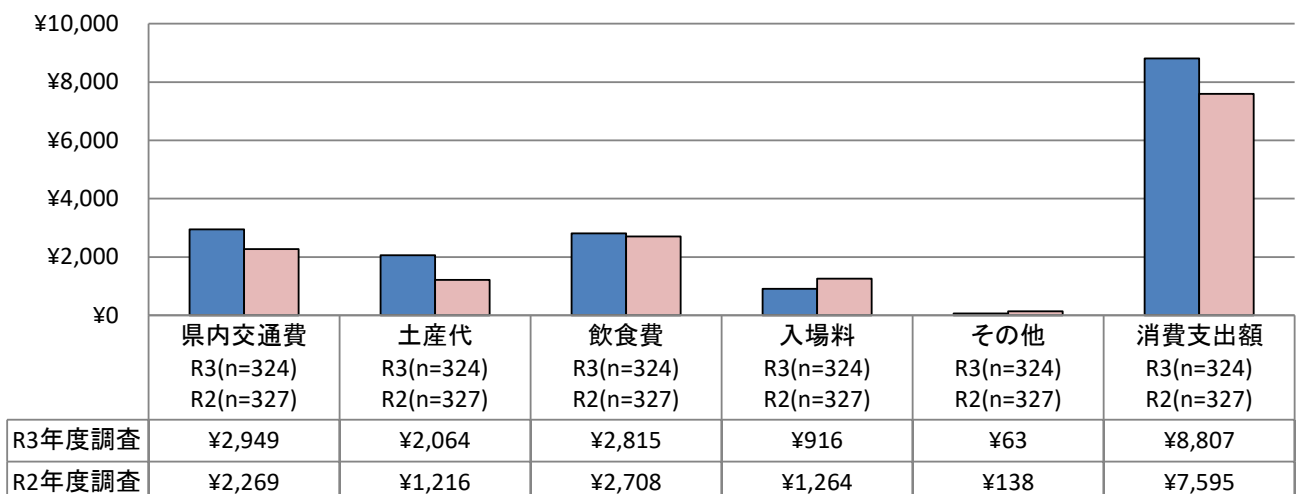
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和2（2020）年度調査では57.2%、令和3（2021）年度調査では50.3%と6.9ポイント減少した。次いで多かった「ツイッター、インスタグラム等のSNS」は、令和2（2020）年度調査では20.2%、令和3（2021）年度調査では20.4%と大差はみられなかった。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



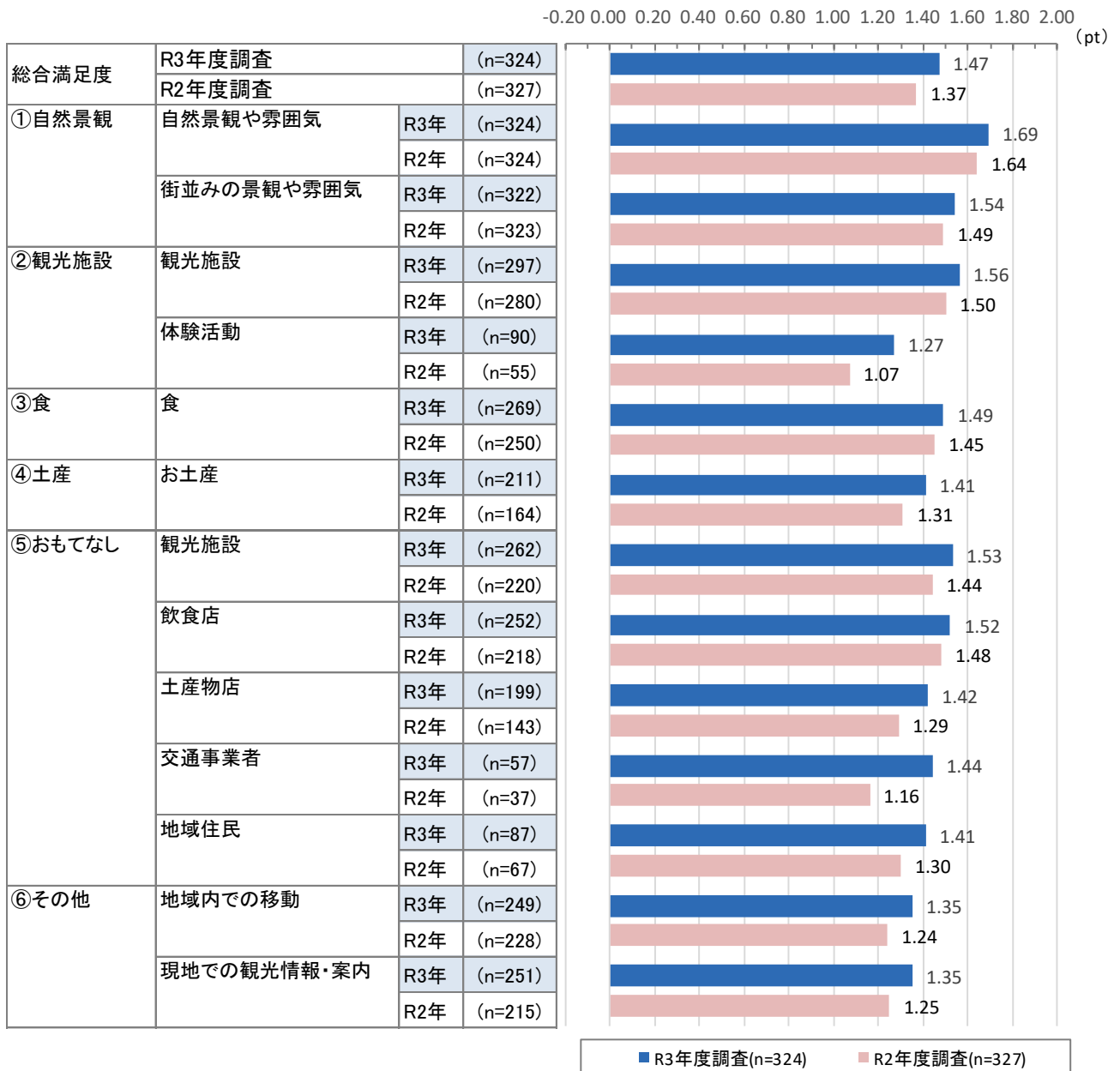
消費支出の総額は、令和2（2020）年度調査では7,595円であったが、令和3（2021）年度調査では8,807円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和3(2021)年度調査で1.47となり、令和2(2020)年度調査の1.37と比較して0.10ポイント増加した。満足度を項目別にみると、「自然景観 自然景観や雰囲気」が令和2(2020)年度調査では1.64、令和3(2021)年度調査では1.69とそれぞれ最も高くなった。

項目別満足度 (加重平均値)



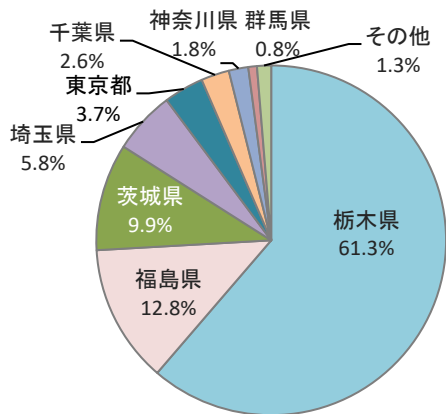
ii. 那須エリア

①令和3(2021)年度調査結果

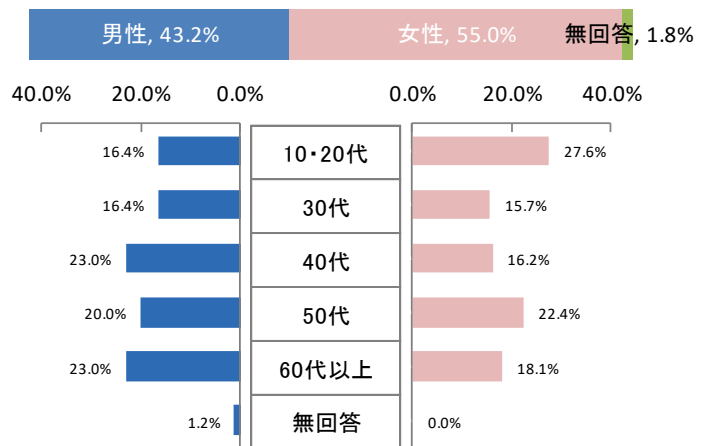
日帰り客 (那須エリア) サンプル数 : 382

お住まいは「栃木県」が最も多く 61.3%、次いで「福島県」が 12.8%、「茨城県」が 9.9%であった。
 年代は、男性では「40代」と「60代以上」がともに 23.0%、女性では「10・20代」が 27.6%で最も多かった。
 調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが 78.4%で最も多かった。
 同行者数は「2人」が 51.0%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 28.8%で最も多かった。

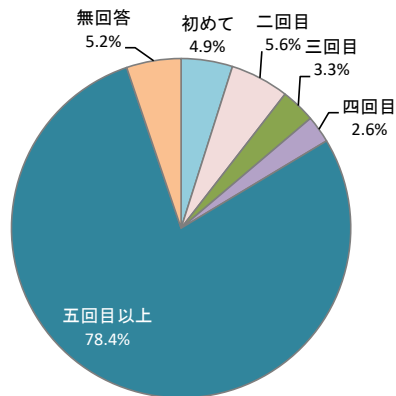
お住まい (n=382)



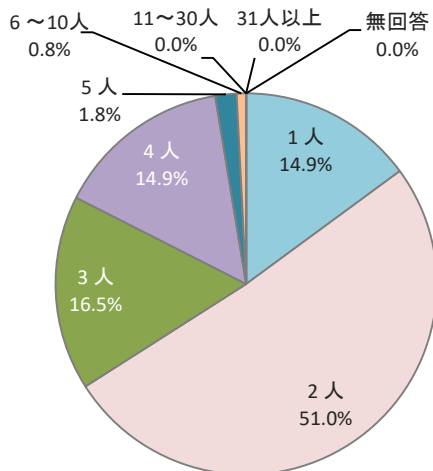
性別・年代 (n=382)



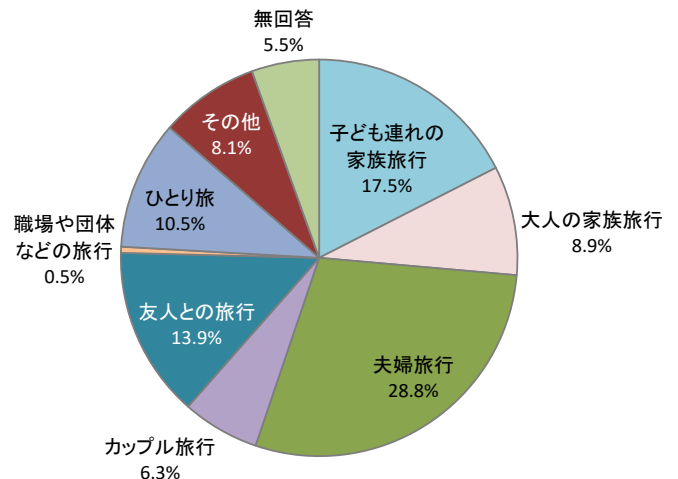
調査地域周辺への来訪回数 (n=305)



同行者数 ※回答者を含む (n=382)

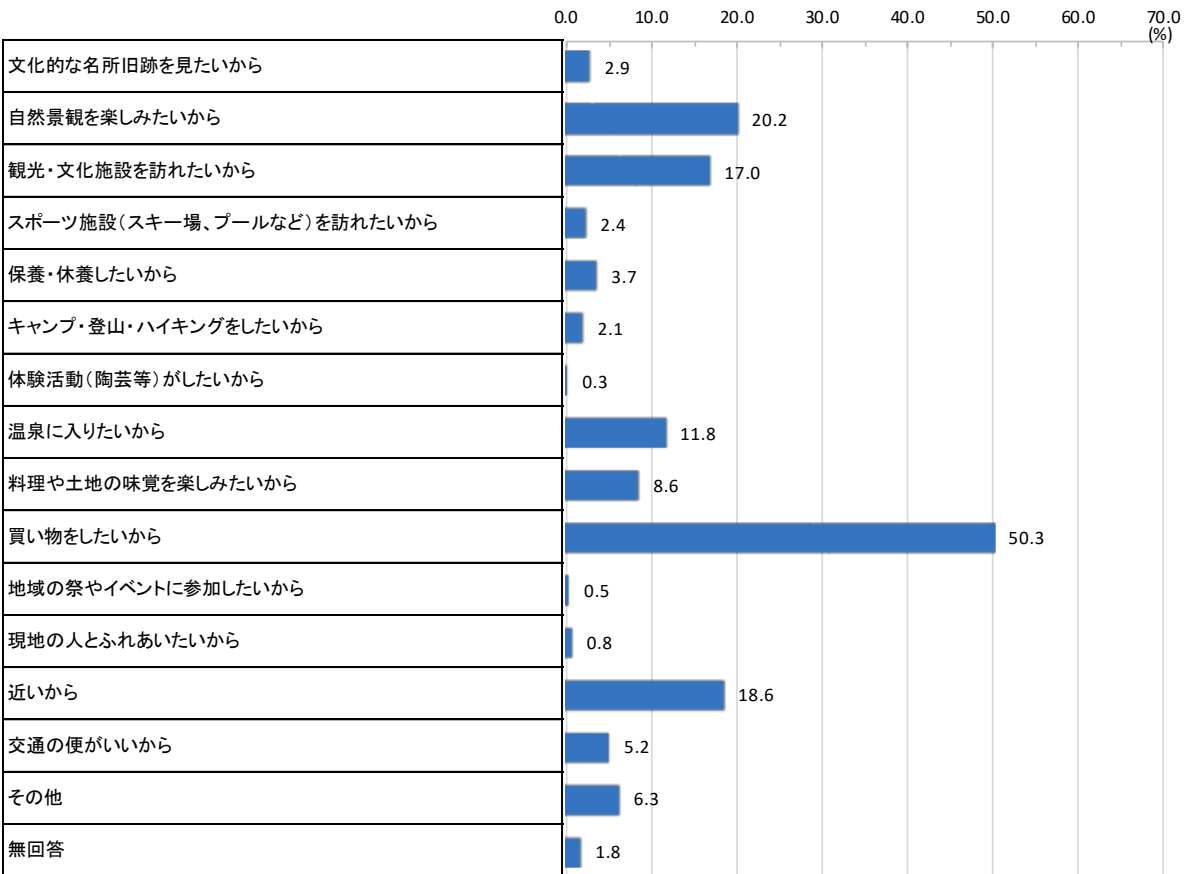


同行者の関係 (n=382)

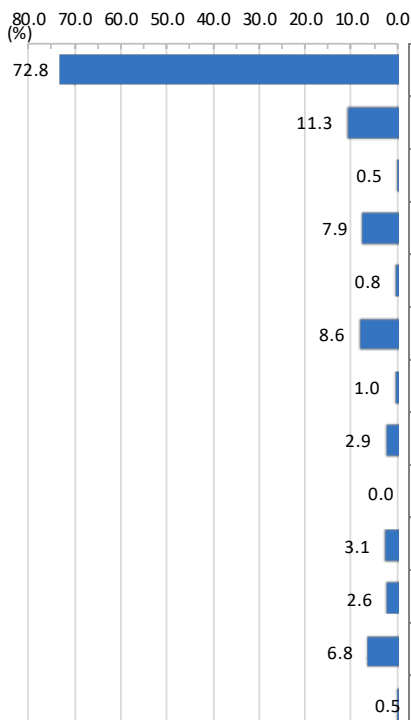


旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が50.3%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が20.2%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が72.8%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が71.7%で最も多かった。

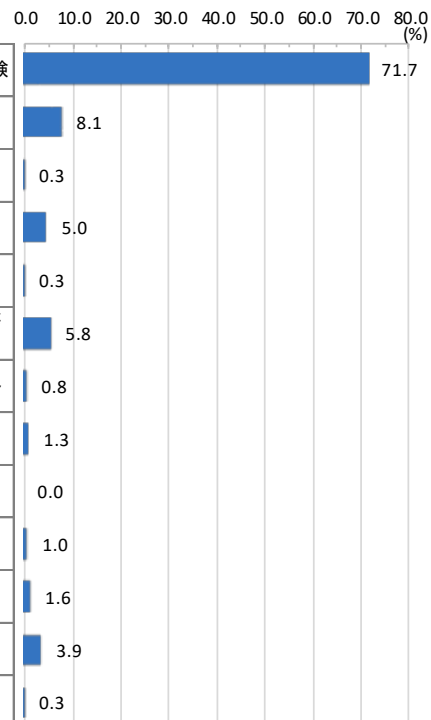
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=382）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=382）



“決め手”となった情報源（単一回答）（n=382）

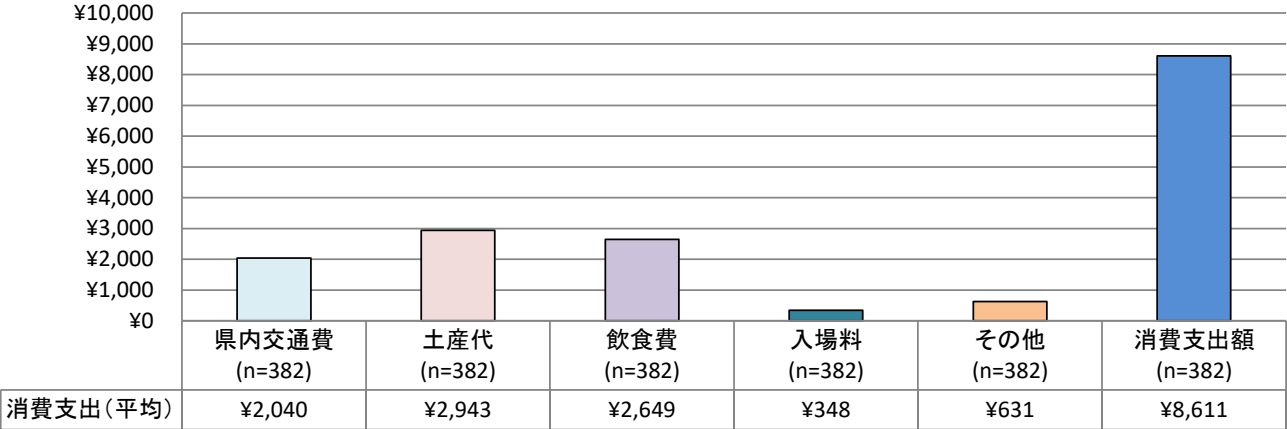


第2章 観光客調査 調査結果

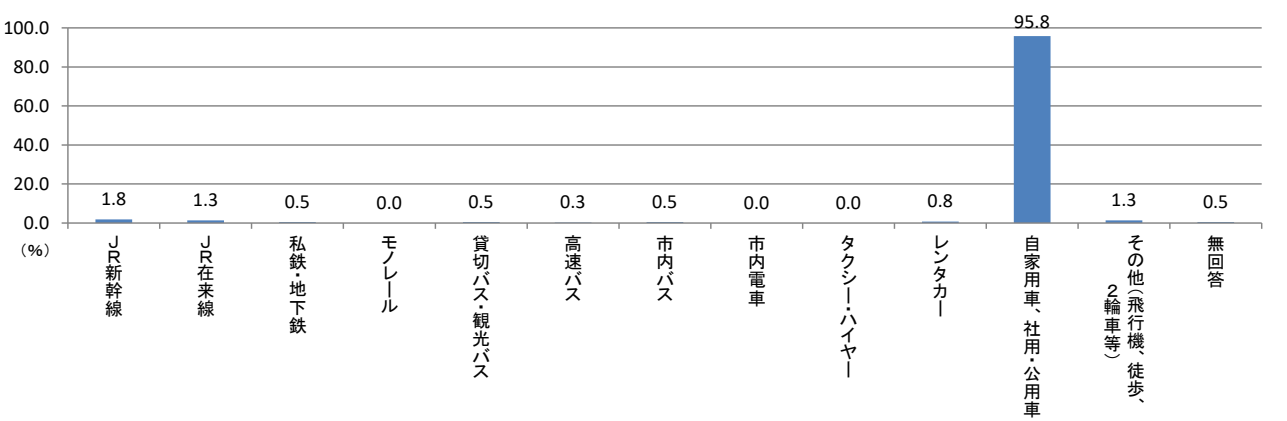
1. 日帰り客 (2) エリア別 ii. 那須エリア

消費支出の平均は、総額で 8,611 円であった。内訳は、「土産代」が 2,943 円で最も多く、次いで「飲食費」が 2,649 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 95.8%であった。立ち寄り観光施設は、「那須ガーデンアウトレット」が 13 人で最も多く、次いで「千本松牧場」が 10 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=382）

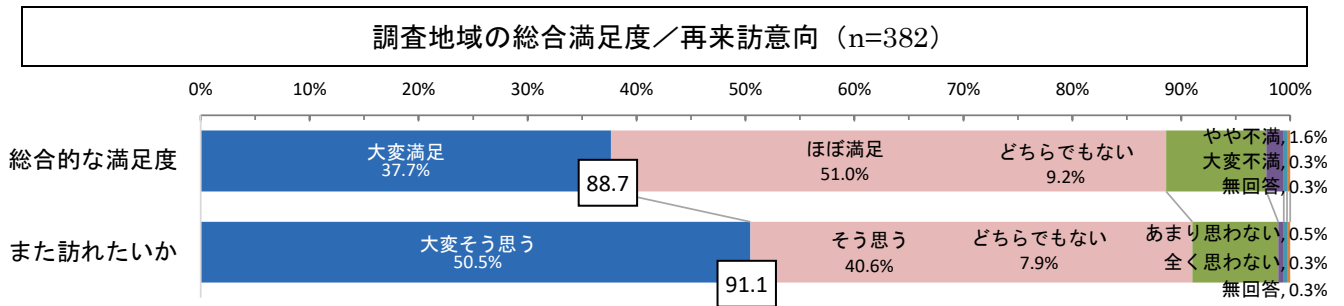


立ち寄り観光施設（n=382）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

那須	那須	那須
那須ガーデンアウトレット(13)	那須ステンドグラス美術館(2)	那須オルゴール美術館(1)
千本松牧場(10)	那須どうぶつ王国(2)	
りんどう湖LAKE VIEW(9)	那須岳(茶臼岳)(2)	日光
那須ハイランドパーク(7)	板室温泉郷(2)	東武ワールドスクウェア(1)
那須サファリパーク(6)	那須アルパカ牧場(1)	日光江戸村(1)
南ヶ丘牧場(5)	那須高原ビジターセンター(1)	二社一寺(1)
道の駅やいた(3)	那須ワールドモンキーパーク(1)	
那須ティーペア・ミュージアム(3)	塩原温泉郷(1)	県東
道の駅那須与一の郷(3)	那須高原友愛の森(1)	道の駅にのみや(1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）と立ち寄り観光施設に重複はなかった。

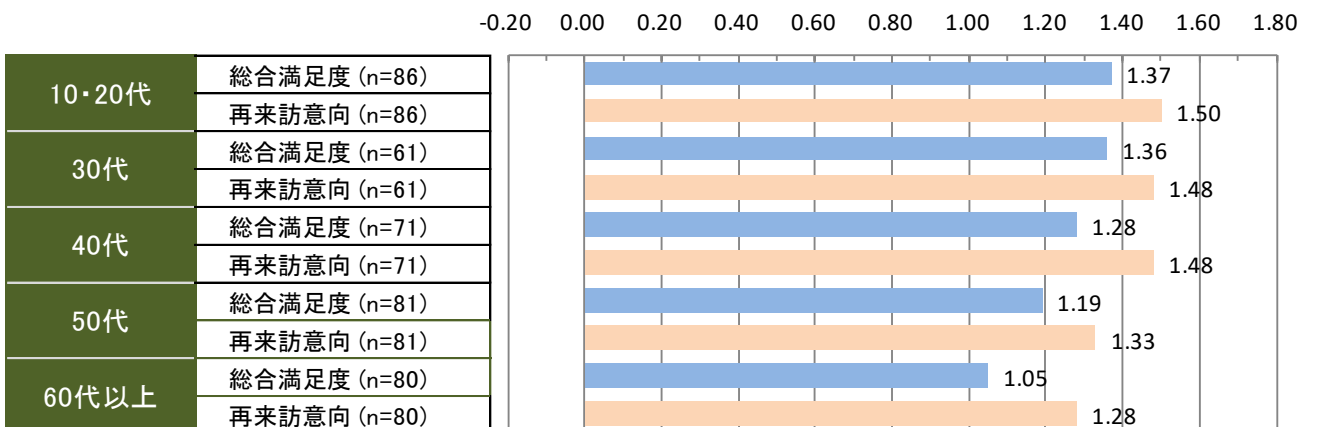
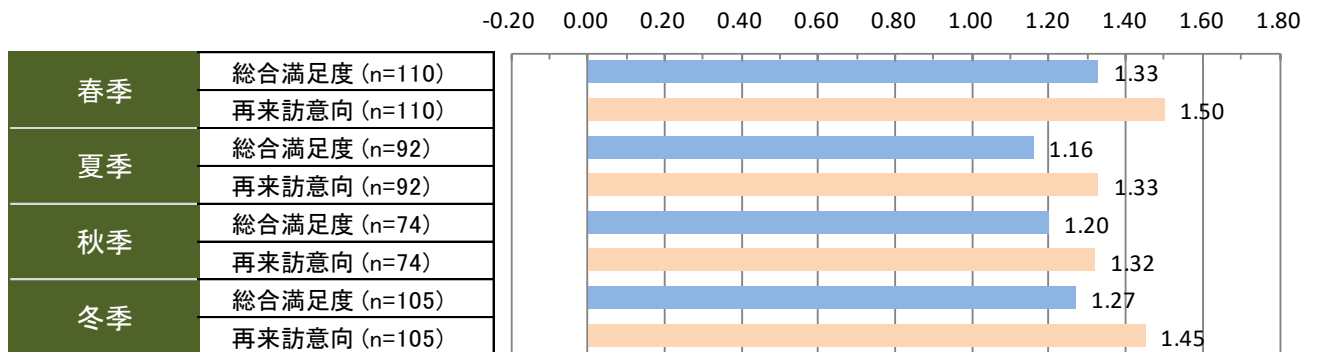
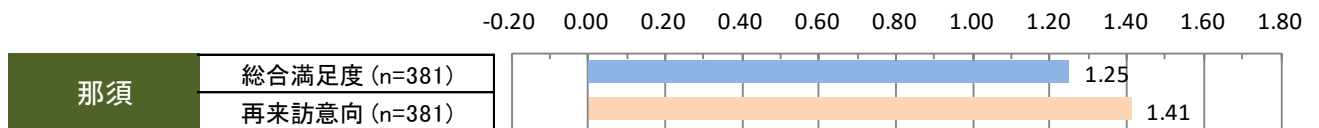
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が88.7%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が91.1%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「春季」が1.33で最も高く、「夏季」が1.16で最も低かった。再来訪意向については「春季」が1.50で最も高く、「秋季」が1.32で最も低かった。

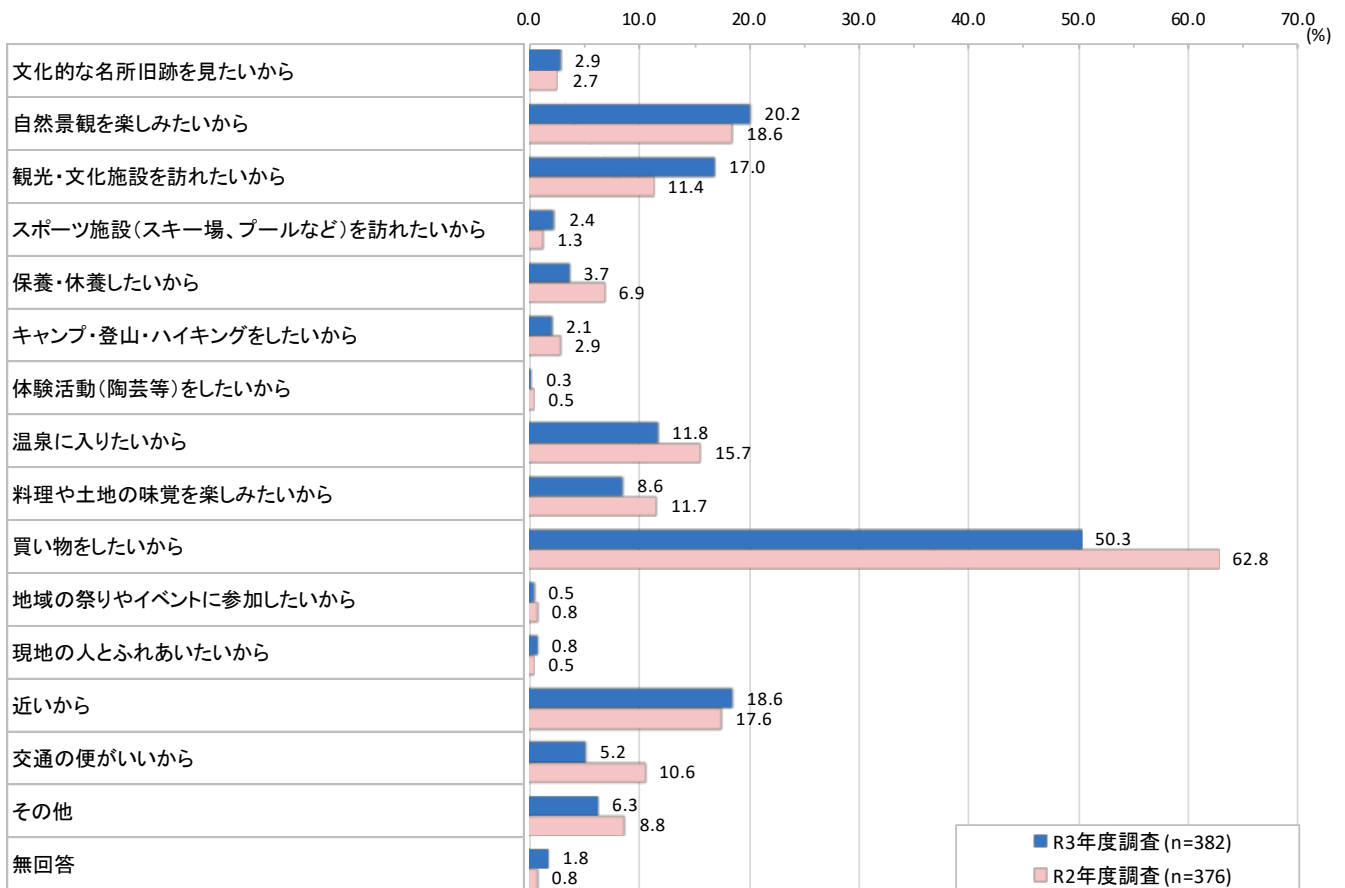
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.37で最も高く、「60代以上」が1.05で最も低かった。再来訪意向も、「10・20代」が1.50で最も高く、「60代以上」が1.28で最も低かった。



②過去調査との比較

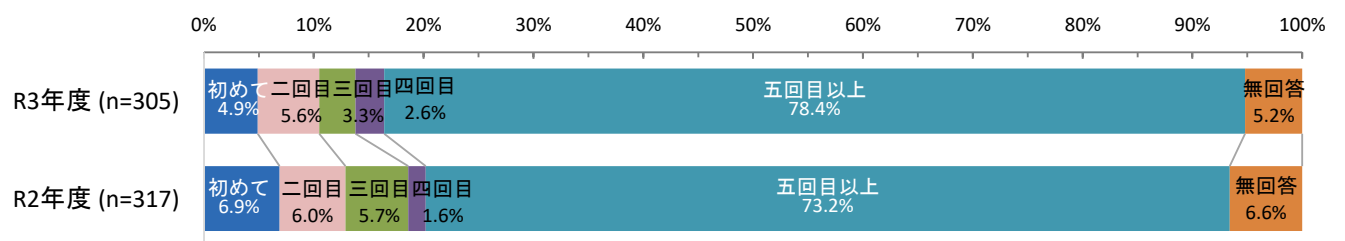
旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が最も多く、令和2（2020）年度調査では62.8%、令和3（2021）年度調査では50.3%と12.5ポイント減少した。一方、次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は、令和2（2020）年度調査では18.6%、令和3（2021）年度調査では20.2%と1.6ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



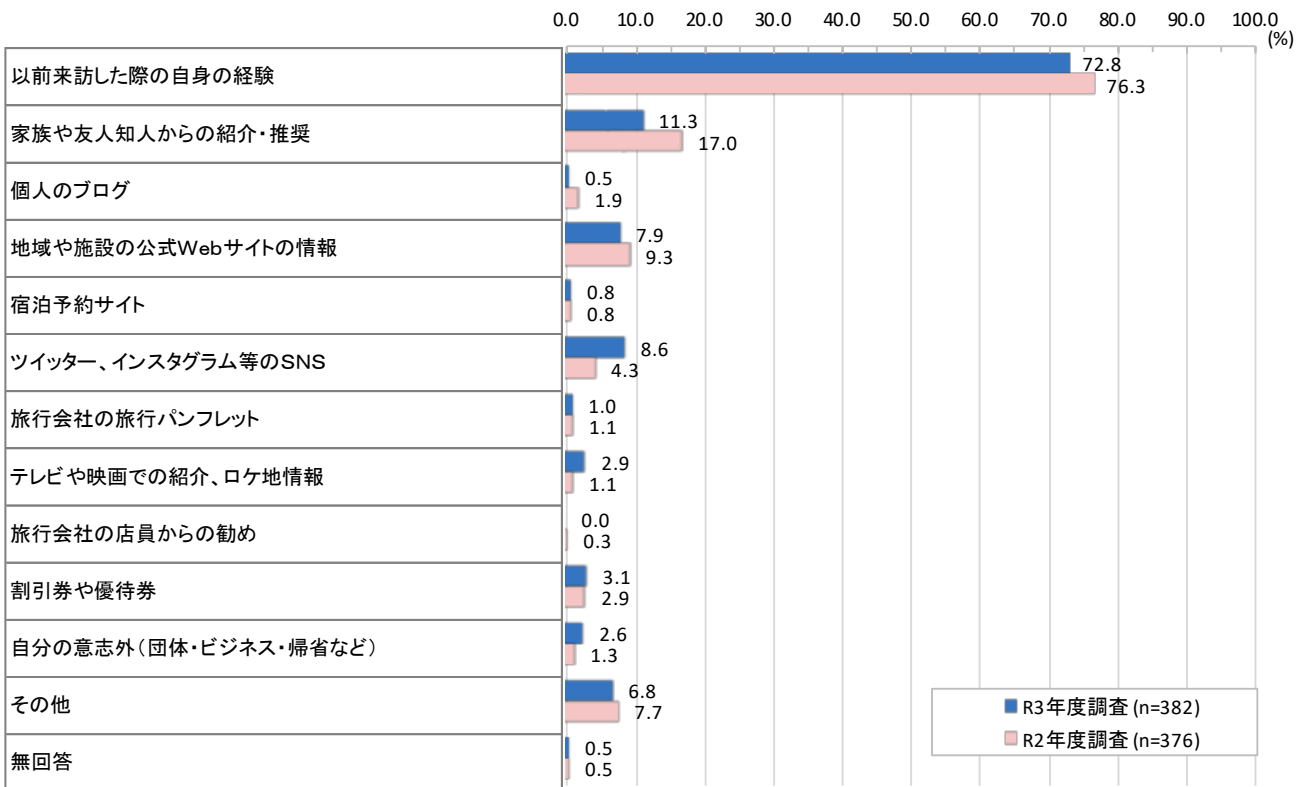
地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が令和2（2020）年度調査では73.2%、令和3（2021）年度調査では78.4%と、5.2ポイント増加した。一方、「初めて」、「二回目」、「三回目」はいずれも令和2（2020）年度調査より減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



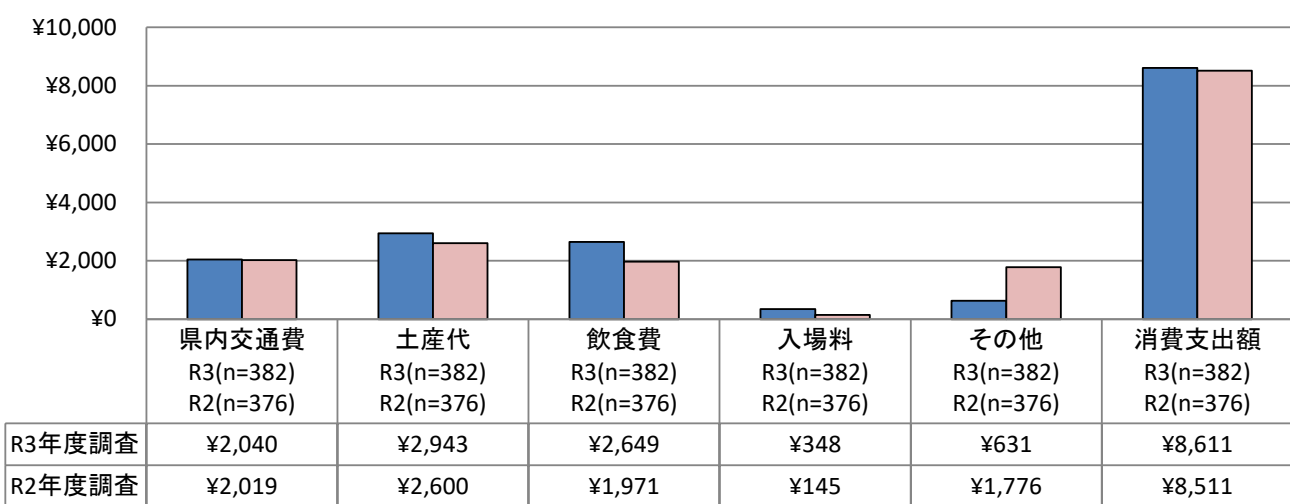
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和2（2020）年度調査では76.3%、令和3（2021）年度調査では72.8%と3.5ポイント減少した。次いで多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」は令和2（2020）年度調査では17.0%、令和3（2021）年度調査では11.3%と5.7ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和2（2020）年度調査では8,511円であったが、令和3（2021）年度調査では8,611円に増加した。

消費支出（総額）

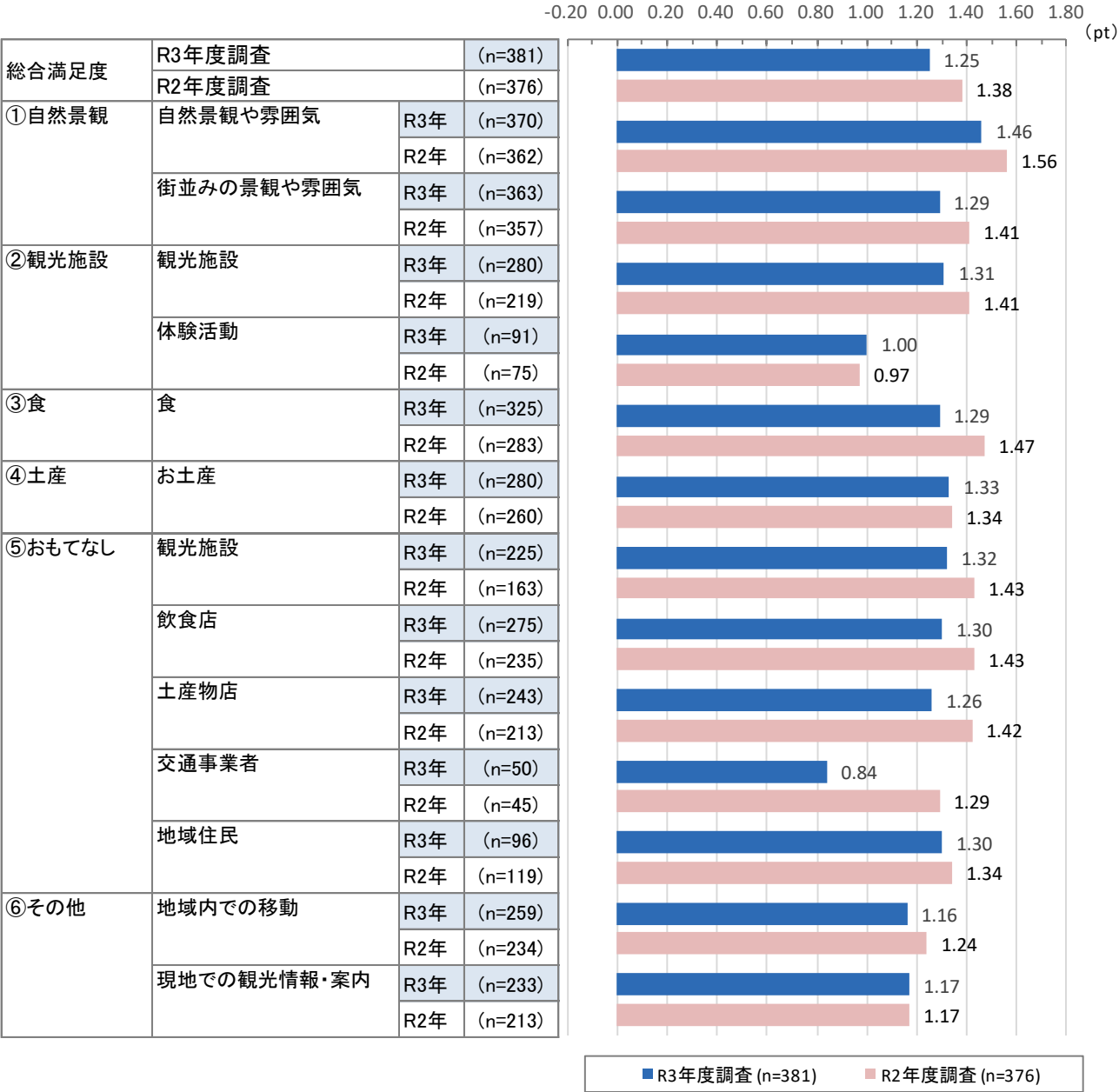


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 ii. 那須エリア

総合満足度は、令和2(2020)年度調査では1.38であったが、令和3(2021)年度調査では1.25と0.13ポイント減少した。満足度を項目別にみると、「自然景観 自然景観や雰囲気」が令和2(2020)年度調査では1.56、令和3(2021)年度調査では1.46とそれぞれ最も高くなっている。

項目別満足度 (加重平均値)



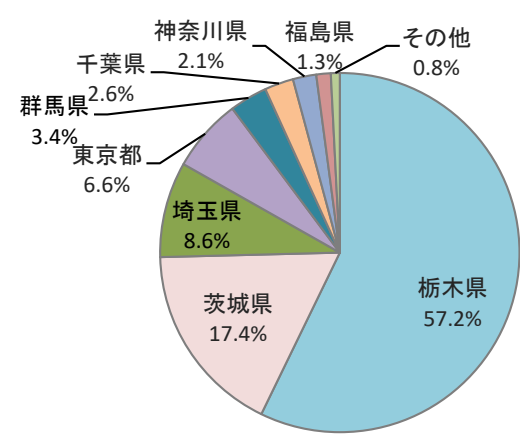
iii. 県央エリア

①令和3(2021)年度調査結果

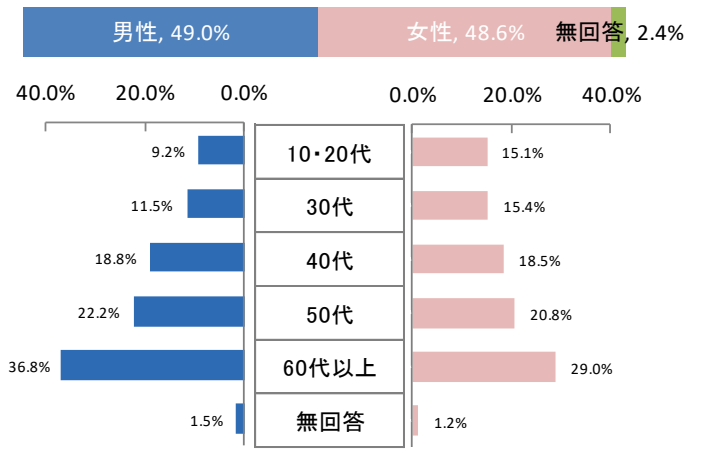
日帰り客(県央エリア) サンプル数：533

お住まいは「栃木県」が最も多く57.2%、次いで「茨城県」が17.4%、「埼玉県」が8.6%であった。
年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、「男性」が36.8%、「女性」が29.0%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが58.5%で最も多かった。
同行者数は「2人」が55.5%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が31.5%で最も多かった。

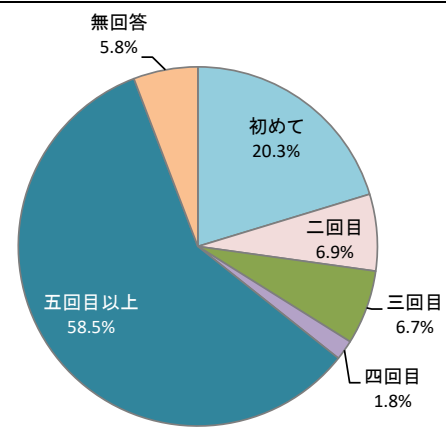
お住まい (n=533)



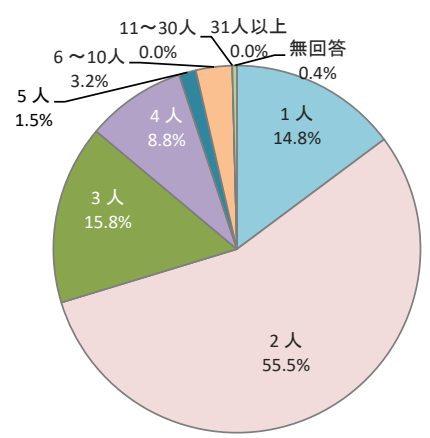
性別・年代 (n=533)



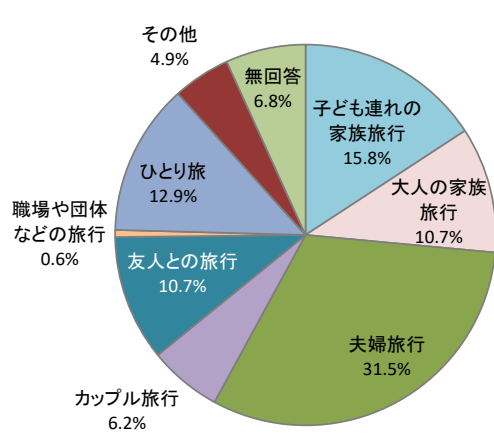
調査地域周辺への来訪回数 (n=448)



同行者数 ※回答者を含む (n=533)



同行者の関係 (n=533)

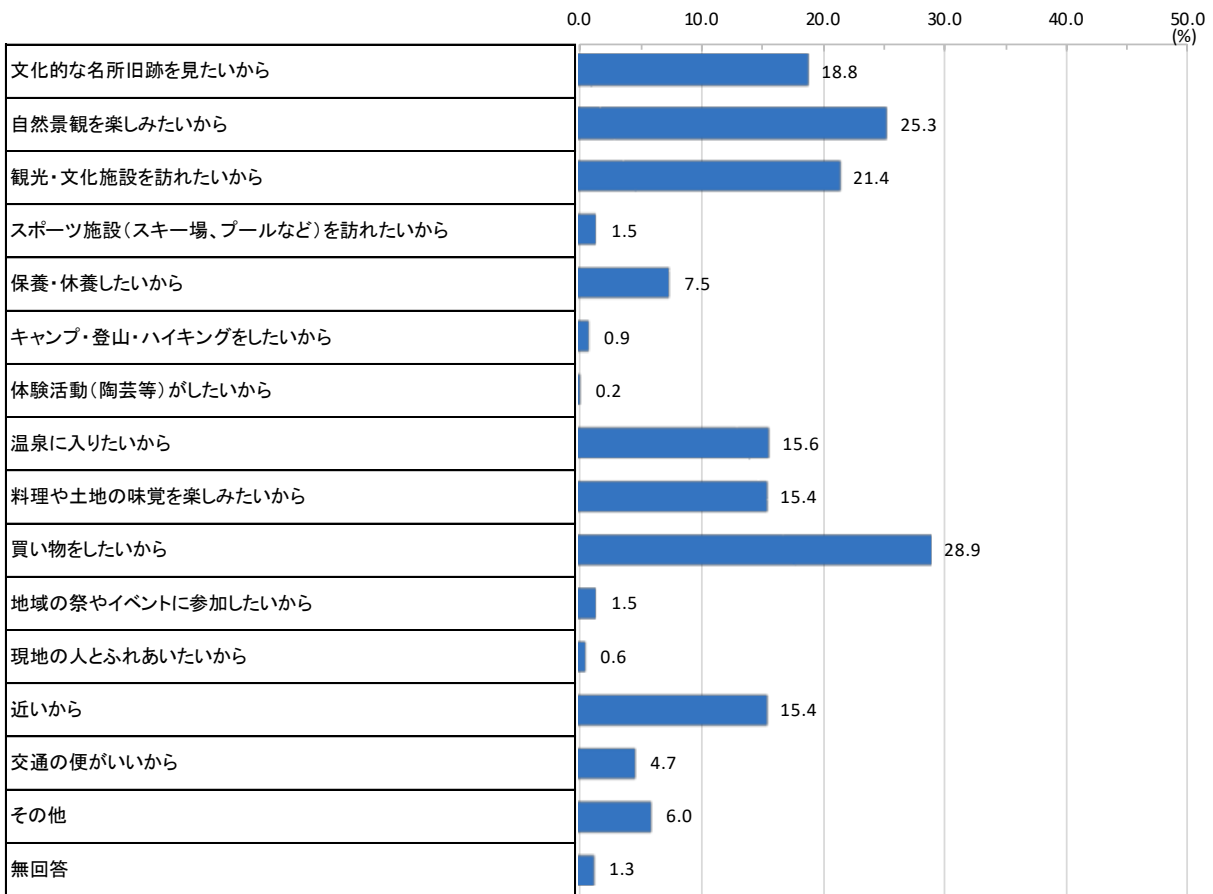


第2章 観光客調査 調査結果

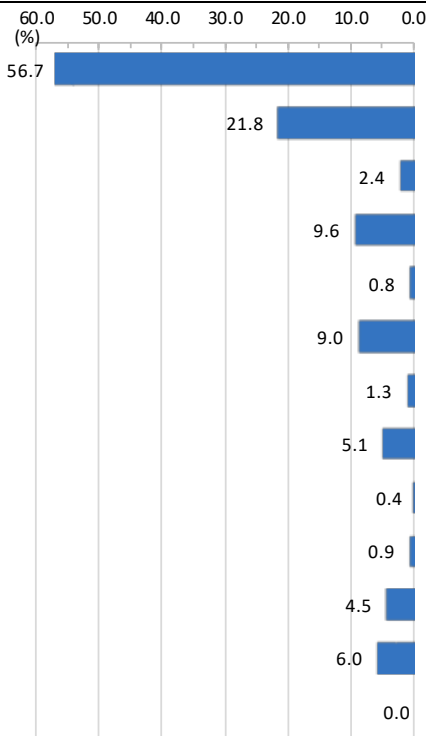
1. 日帰り客 (2) エリア別 iii. 県央エリア

旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が28.9%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が25.3%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が56.7%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が53.8%で最も多かった。

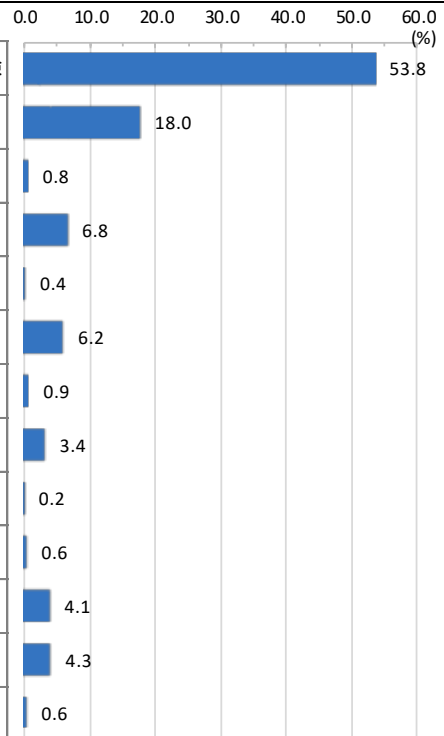
旅行先に選んだ理由 (複数回答) (n=533)



旅行先に選んだ情報源 (複数回答) (n=533)

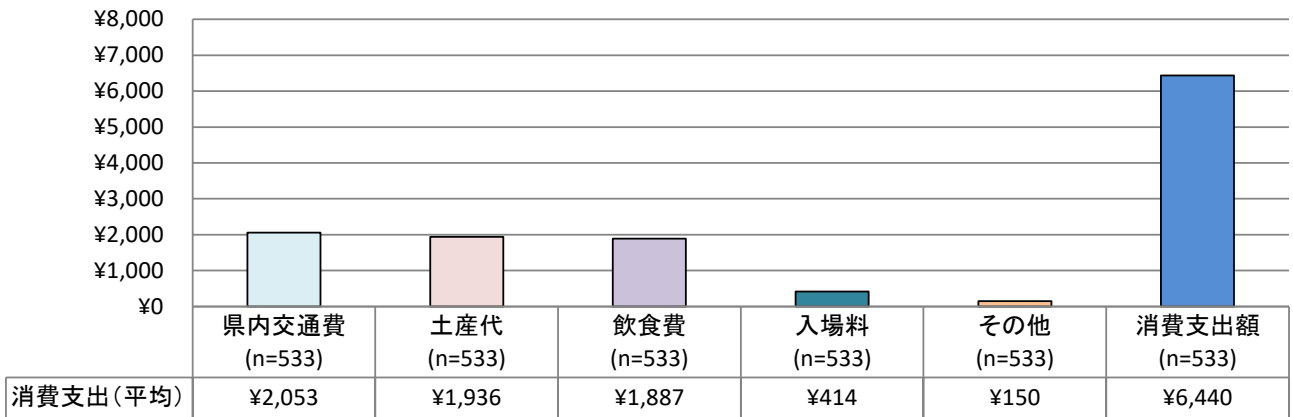


“決め手”となった情報源 (単一回答) (n=533)

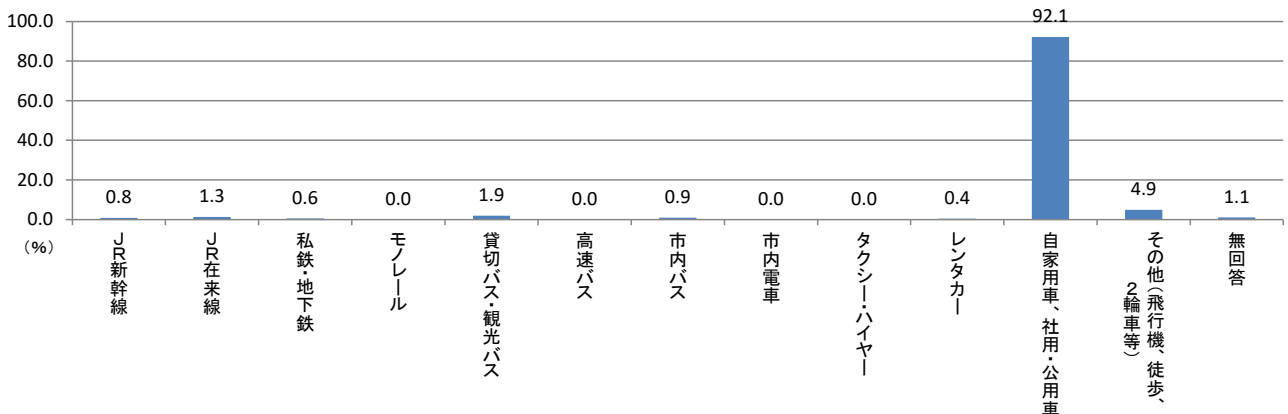


消費支出の平均は、総額で6,440円であった。内訳は、「県内交通費」が2,053円で最も多く、次いで「土産代」が1,936円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が92.1%で最も多かった。立ち寄り観光施設は、「栃木県なかがわ水遊園」が7人で最も多く、次いで「喜連川温泉」「友遊はが」がそれぞれ4人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=533）



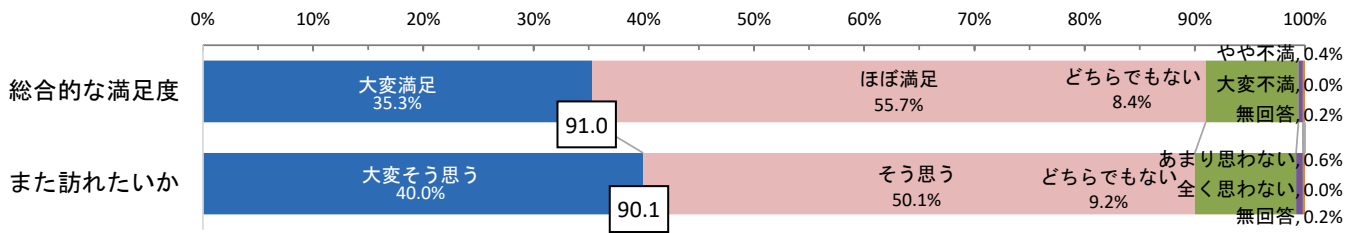
立ち寄り観光施設（n=533）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県央	県央	那須
喜連川温泉(4)	烏山城カントリークラブ(1)	栃木県なかがわ水遊園(7)
馬頭温泉郷(3)	県南	那須ガーデンアウトレット(3)
馬頭広重美術館(3)	佐野プレミアム・アウトレット(3)	りんどう湖LAKE VIEW(2)
道の駅つれがわ(3)	あしかがフラワーパーク(3)	千本松牧場(2)
鷲子山上神社(3)	いちごの里(2)	黒羽城址公園(1)
さくら市ミュージアム(2)	道の駅 しもつけ(2)	道の駅やいた(1)
馬頭ゴルフクラブ(1)	県東	那須どうぶつ王国(1)
いわむらかずお絵本の丘美術館(1)	友遊はが(4)	日光
ゆりがねの湯(1)	大瀬観光やな(2)	華厳ノ滝(1)
道の駅ばとう(1)	ツインリンクもてぎ(1)	二社一寺(1)
ろまんちっく村(1)	道の駅もてぎ(1)	中禅寺湖(1)
まほろばの湯湯親館(1)		二荒山神社中宮祠(1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
ろまんちっく村（1）

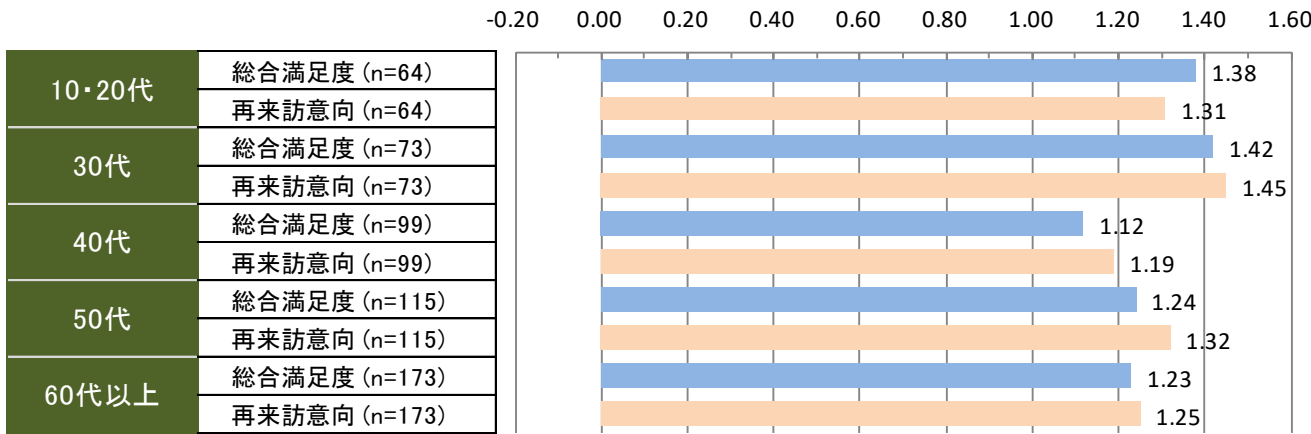
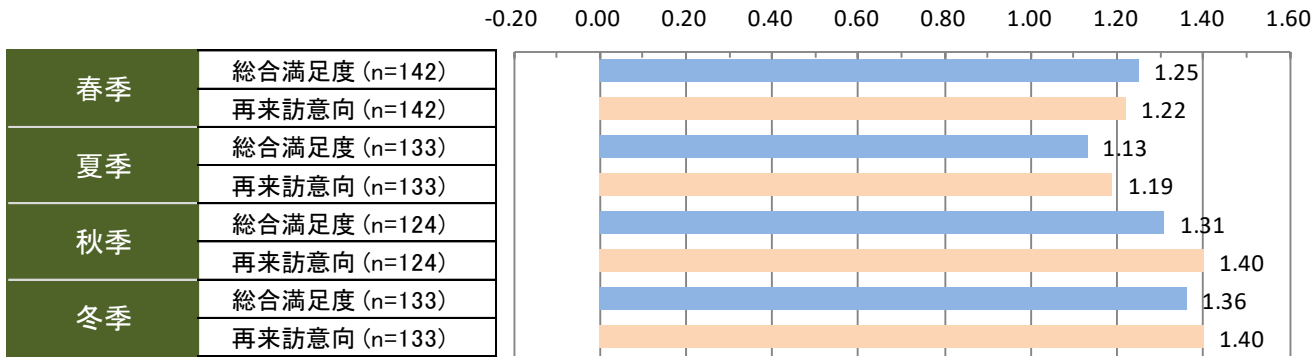
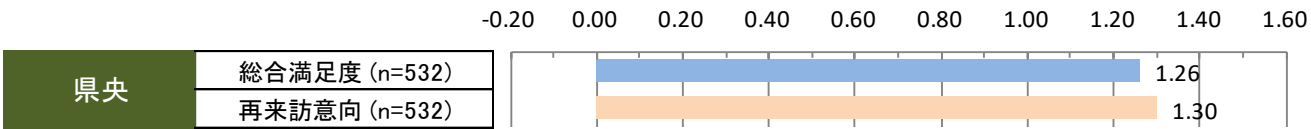
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が91.0%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が90.1%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=533)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

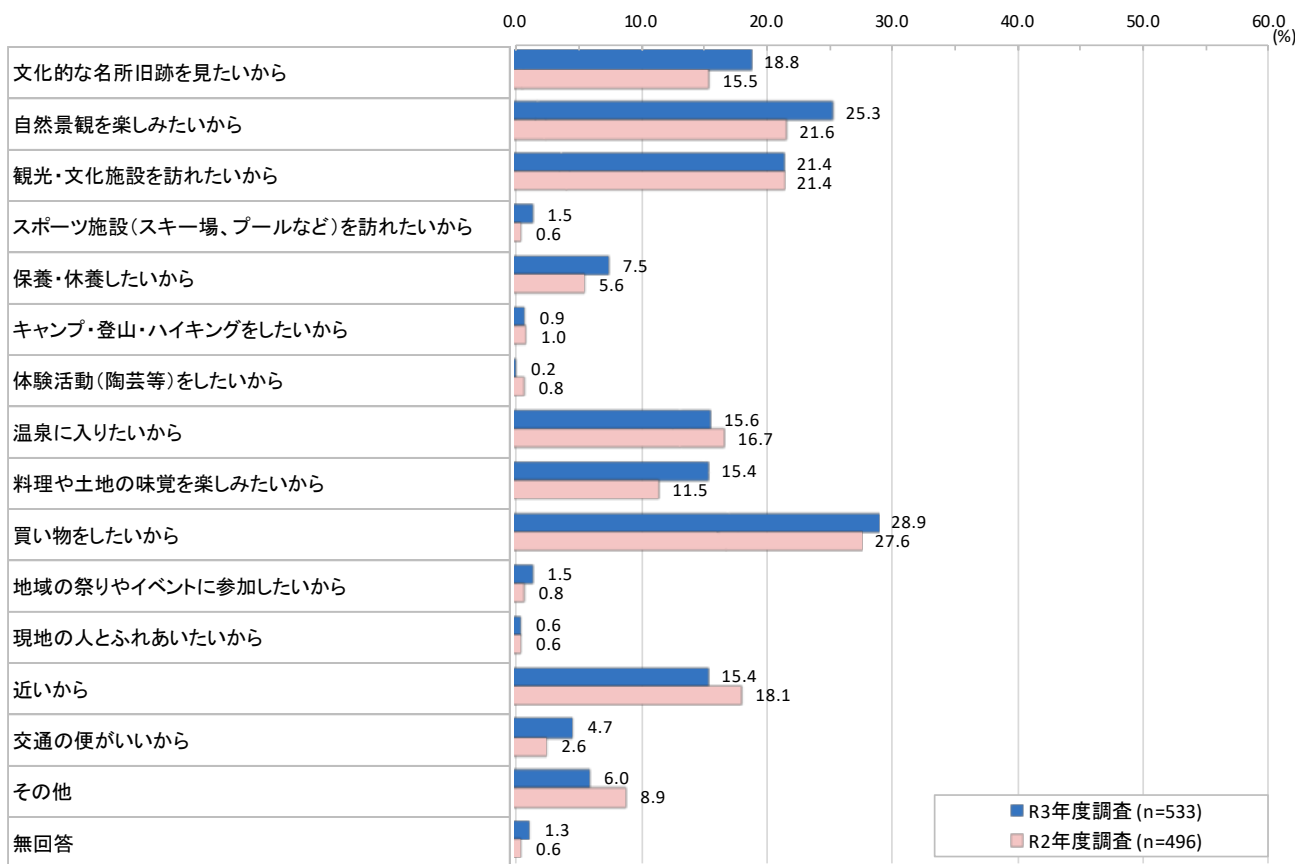
総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.36で最も高く、「夏季」が1.13で最も低かった。再来訪意向は、「秋季」、「冬季」がともに1.40で最も高く、「夏季」が1.19で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「30代」で1.42と最も高く、「40代」で1.12と最も低かった。再来訪意向についても「30代」が1.45で最も高く、「40代」が1.19で最も低かった。



②過去調査との比較

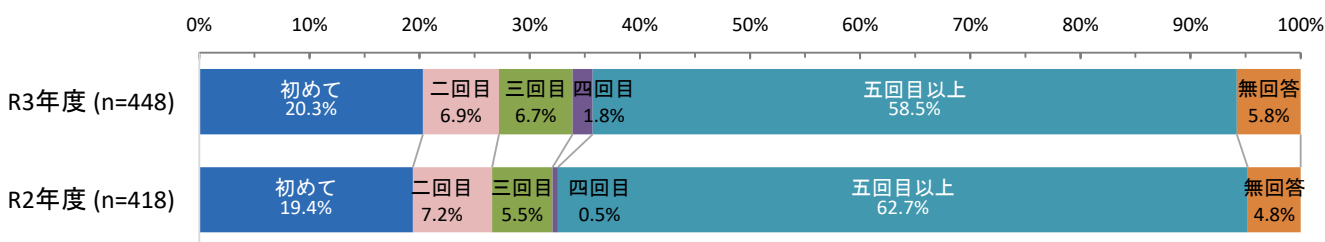
旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が最も多く、令和2（2020）年度では27.6%、令和3（2021）年度調査では28.9%と1.3ポイント増加した。次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は令和2（2020）年度調査では21.6%、令和3（2021）年度調査では25.3%と3.7ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



調査地域周辺への来訪回数は、令和2（2020）年度調査では「五回目以上」が62.7%であったが、令和3（2021）年度調査では58.5%と4.2ポイント減少した。一方、「初めて」、「四回目」は令和2（2020）年度調査より増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く

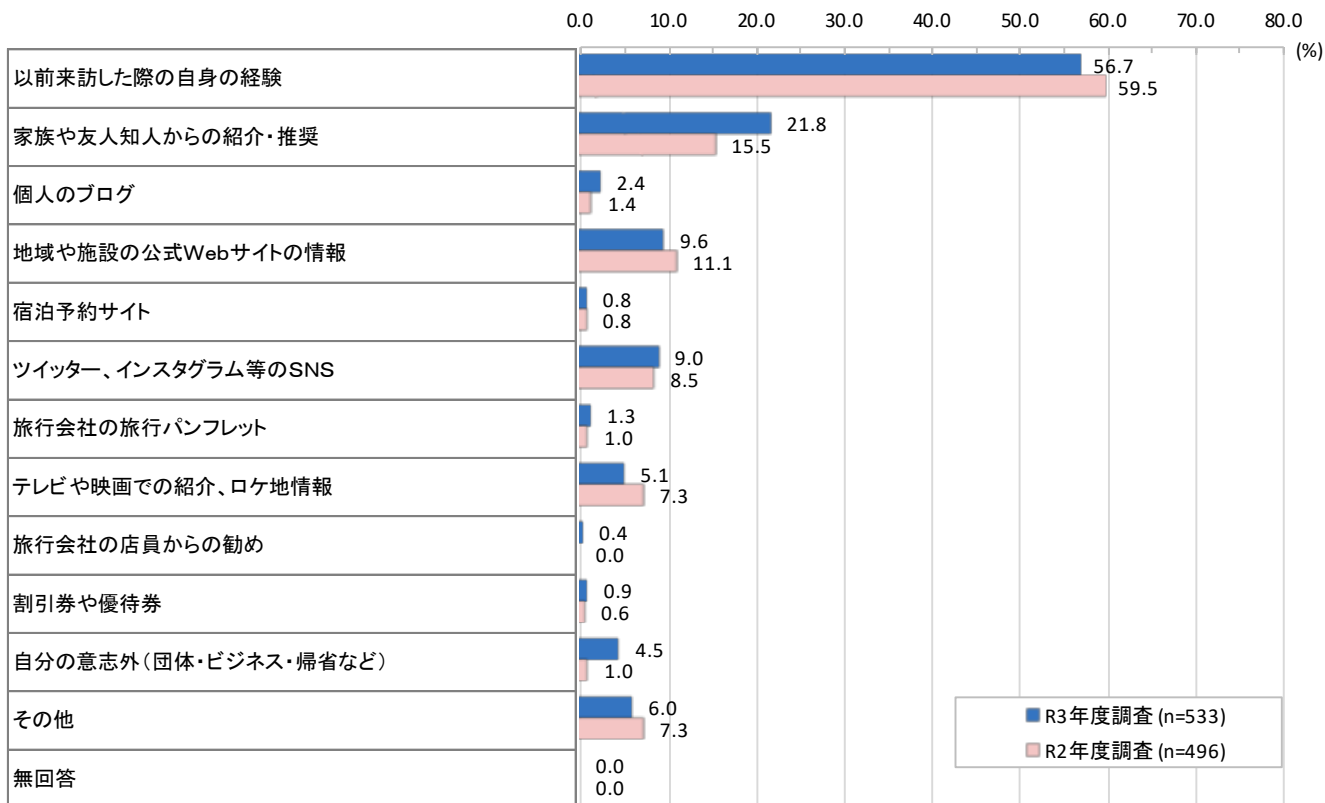


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iii. 県央エリア

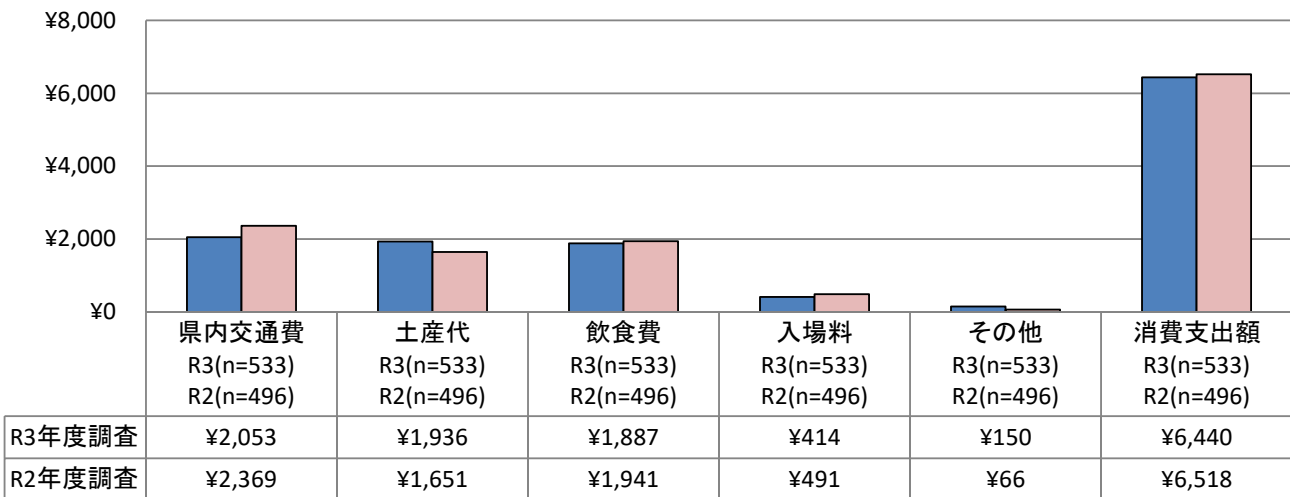
旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和2（2020）年度調査では59.5%、令和3（2021）年度調査では56.7%と2.8ポイント減少した。一方、次いで多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」は令和2（2020）年度調査では15.5%、令和3（2021）年度調査では21.8%と6.3ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



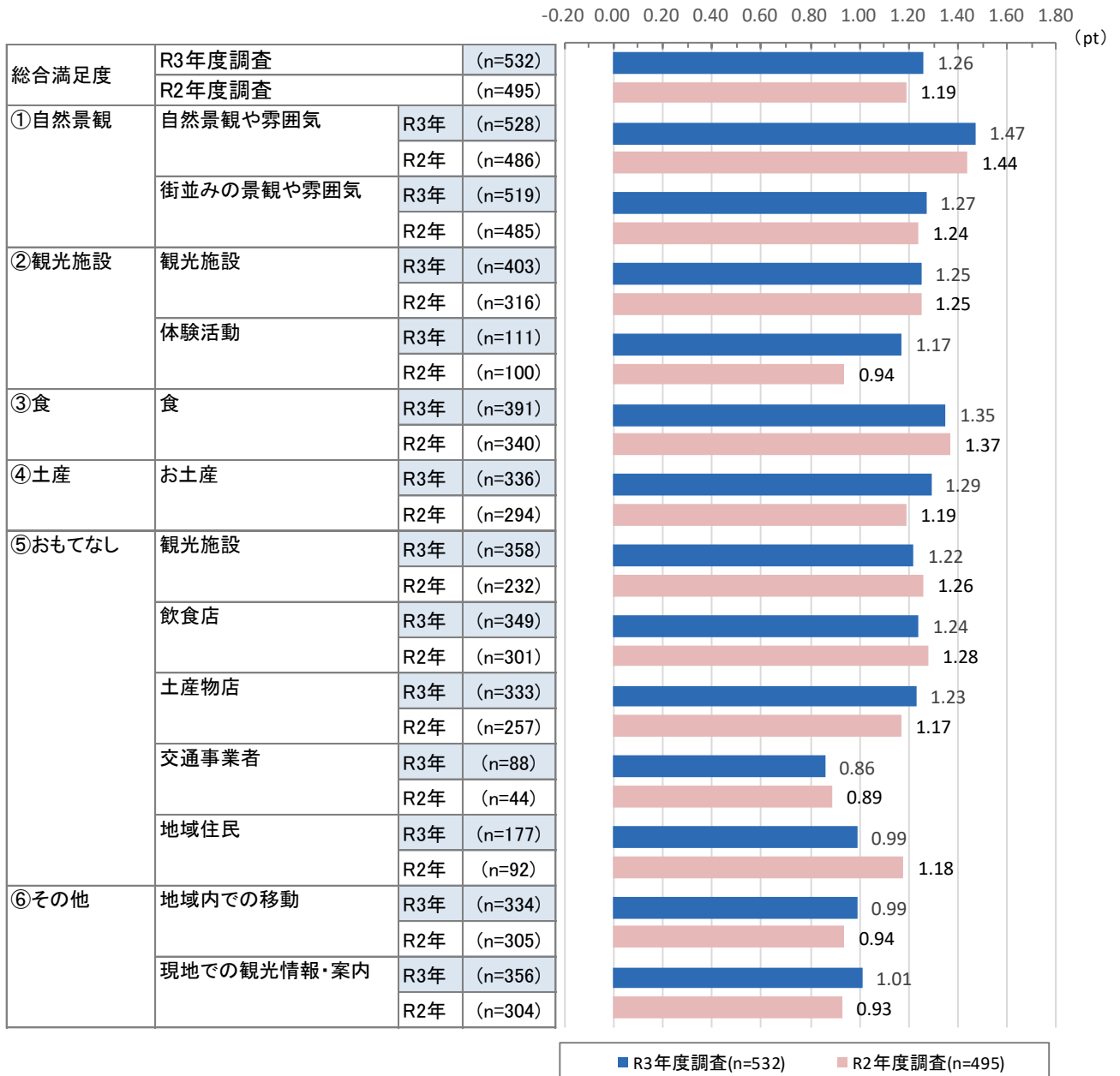
消費支出の総額は、令和2（2020）年度調査では6,518円であったが、令和3（2021）年度調査では6,440円に減少した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和2(2020)年度調査では1.19、令和3(2021)年度調査では1.26と0.07ポイント増加した。満足度を項目別にみると、「自然景観 自然景観や雰囲気」が令和2(2020)年度調査では1.44、令和3(2021)年度調査では1.47とそれぞれ最も高くなっている。

項目別満足度 (加重平均値)



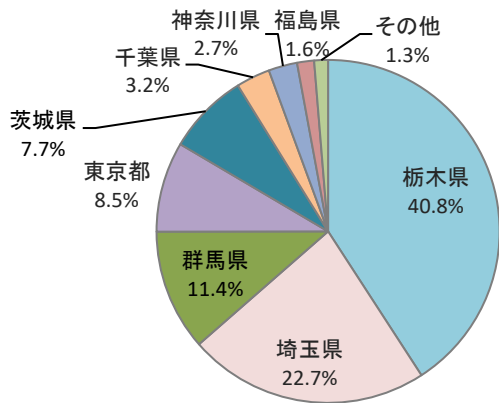
iv. 県南エリア

①令和3(2021)年度調査結果

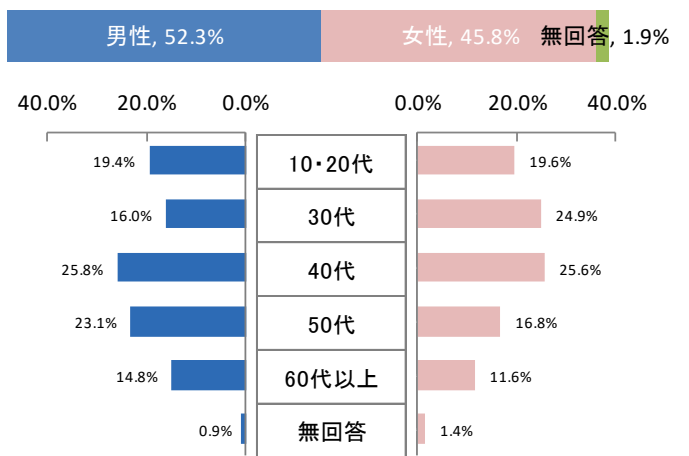
日帰り客(県南エリア) サンプル数：622

お住まいは「栃木県」が最も多く 40.8%、次いで「埼玉県」が 22.7%、「群馬県」が 11.4%であった。年代は、男女ともに「40代」が最も多く、男性では 25.8%、女性では 25.6%であった。調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが 53.3%で最も多く、次いで「初めて」が 22.1%であった。同行者数は「2人」が 48.6%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 26.5%で最も多かった。

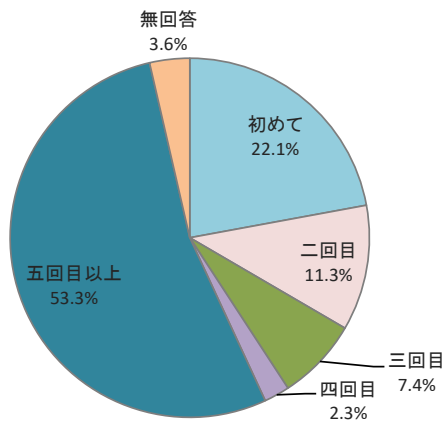
お住まい (n=622)



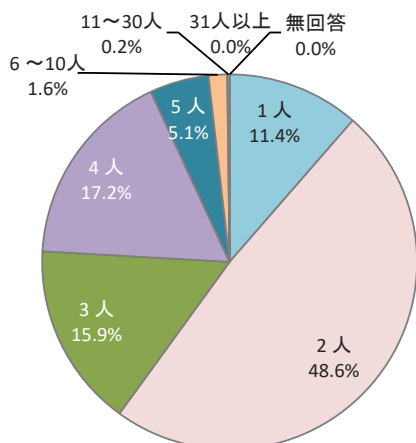
性別・年代 (n=622)



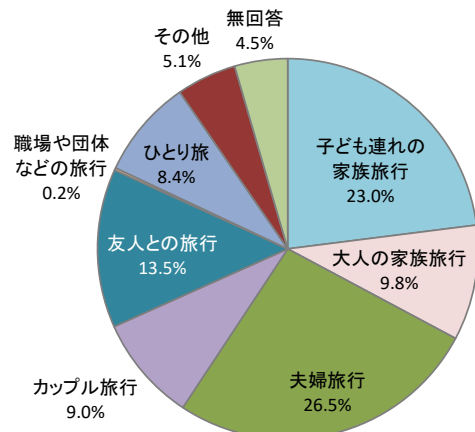
調査地域周辺への来訪回数 (n=557)



同行者数 ※回答者を含む (n=622)

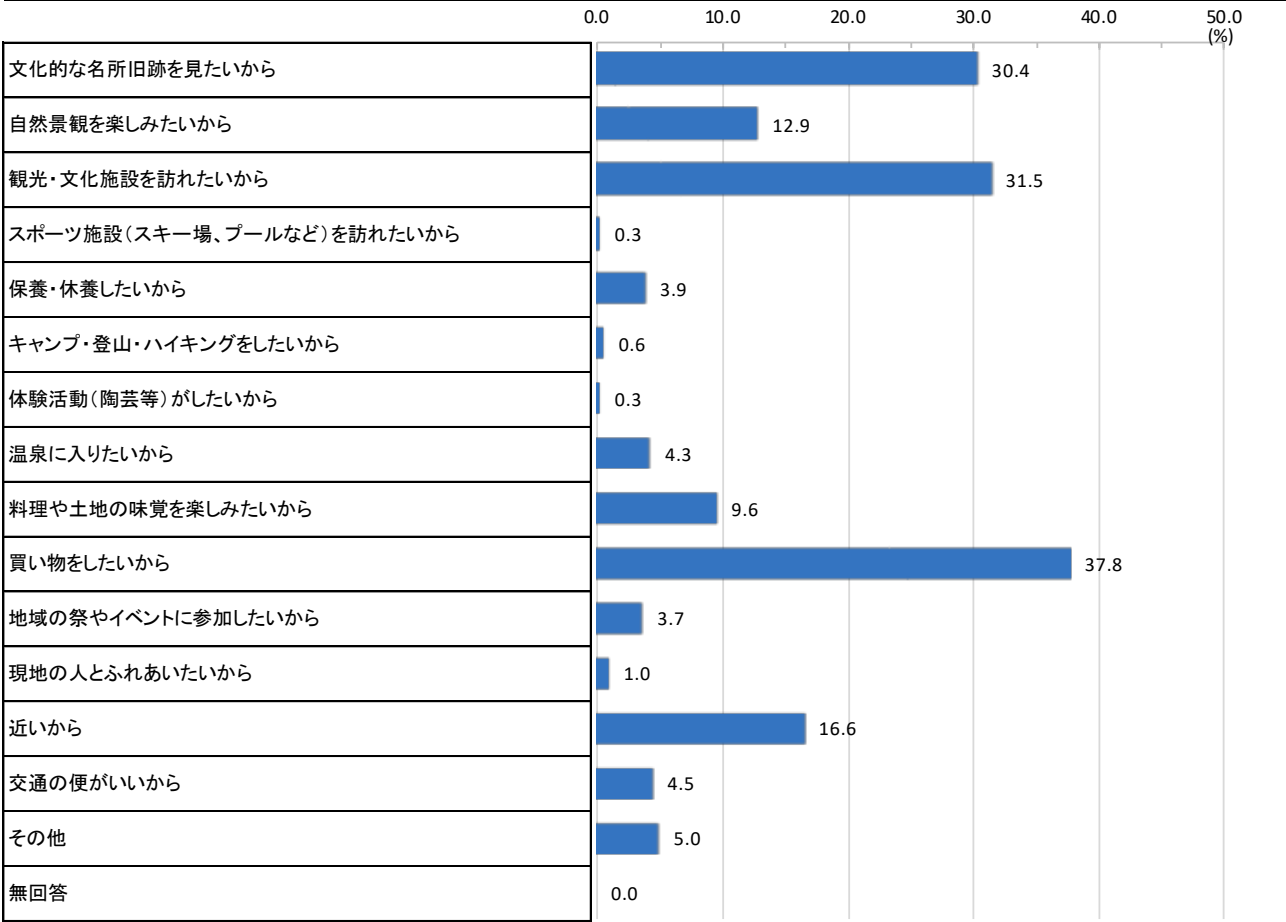


同行者の関係 (n=622)

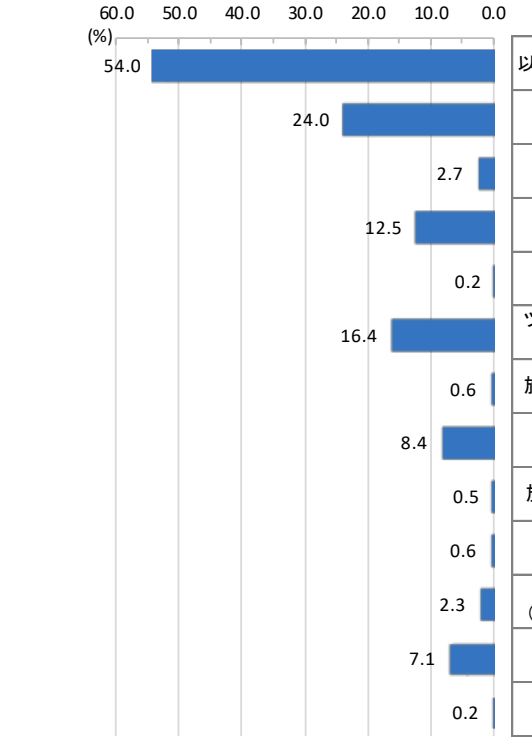


旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が37.8%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が31.5%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が54.0%で最も多く、「決め手」となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が50.8%で最も多かった。

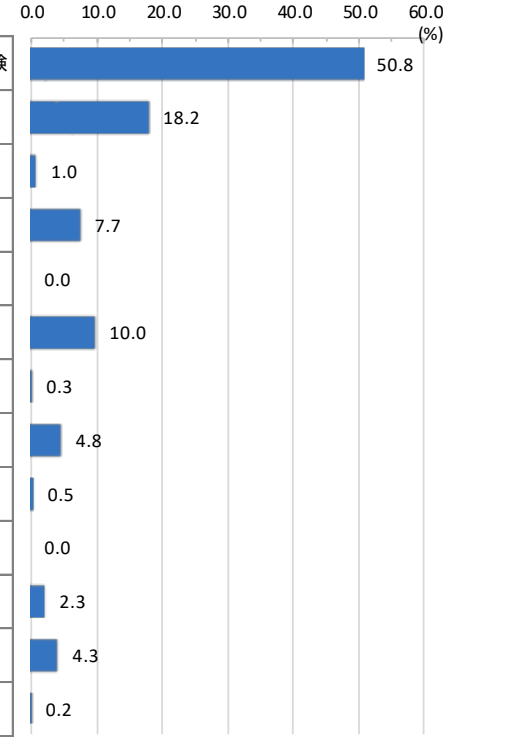
旅行先に選んだ理由 (複数回答) (n=622)



旅行先に選んだ情報源 (複数回答) (n=622)



“決め手”となった情報源 (単一回答) (n=622)

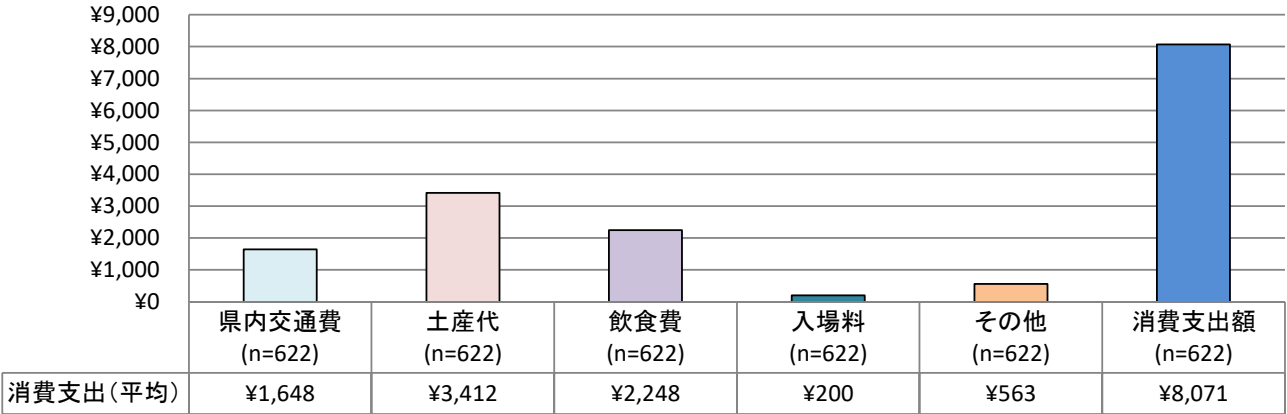


第2章 観光客調査 調査結果

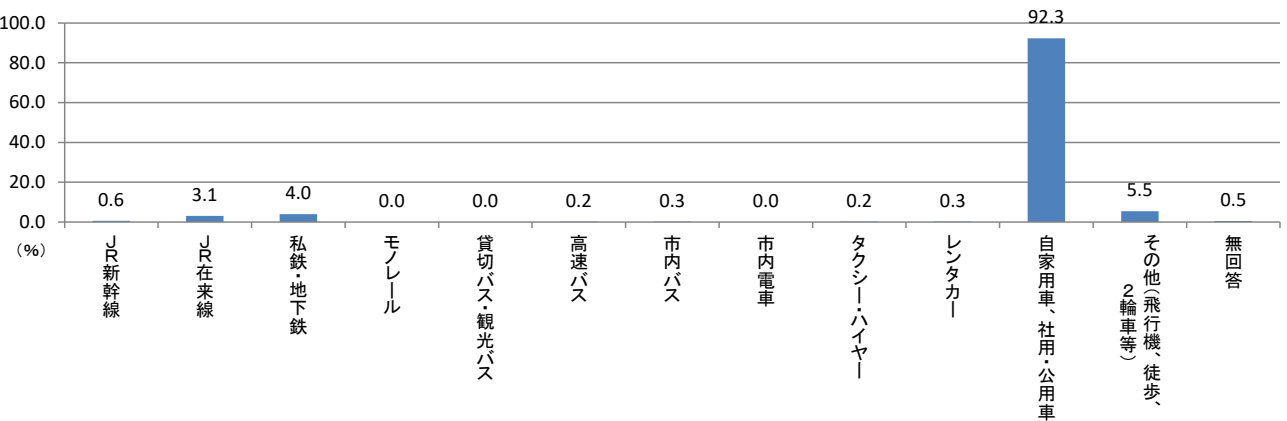
1. 日帰り客 (2) エリア別 iv. 県南エリア

消費支出の平均は、総額で8,071円であった。内訳は、「土産代」が3,412円で最も多かった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が92.3%であった。
立ち寄り観光施設は、「あしかがフラワーパーク」が46人で最も多く、次いで「太平山」が17人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=622）

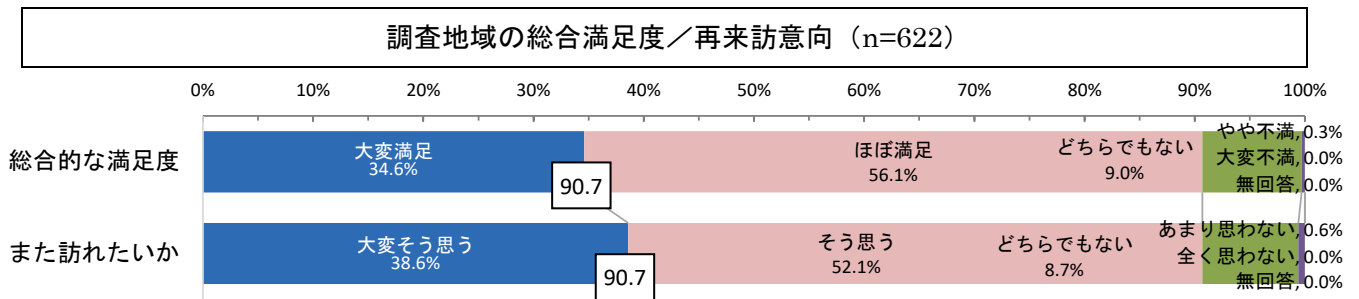


立ち寄り観光施設（n=622）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県南	県南	県南
あしかがフラワーパーク(46)	太平記館(4)	まちなか遊学館(1)
太平山(17)	ココ・ファーム・ワイナリー収穫祭(4)	とちぎわんぱく公園(1)
佐野プレミアム・アウトレット(12)	唐澤山神社(3)	道の駅 しもつけ(1)
道の駅どまんなかたぬま(11)	つがの里 ふるさとセンター(3)	いちごの里(1)
鏝阿寺(10)	道の駅みかも(3)	とちぎ蔵の街美術館(1)
佐野厄よけ大師(10)	岩船山高勝寺(2)	小山思川温泉(1)
織姫公園(7)	まつだ川ダムふれあい広場(2)	道の駅思川(1)
史跡足利学校(6)	県営みかも山公園(2)	皐月ゴルフ倶楽部 佐野コース(1)
みかも山公園東ロゾン(5)	市立美術館(2)	
名草巨石群(5)	とちぎ山車会館(2)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
佐野プレミアム・アウトレット（3）、足利学校（2）

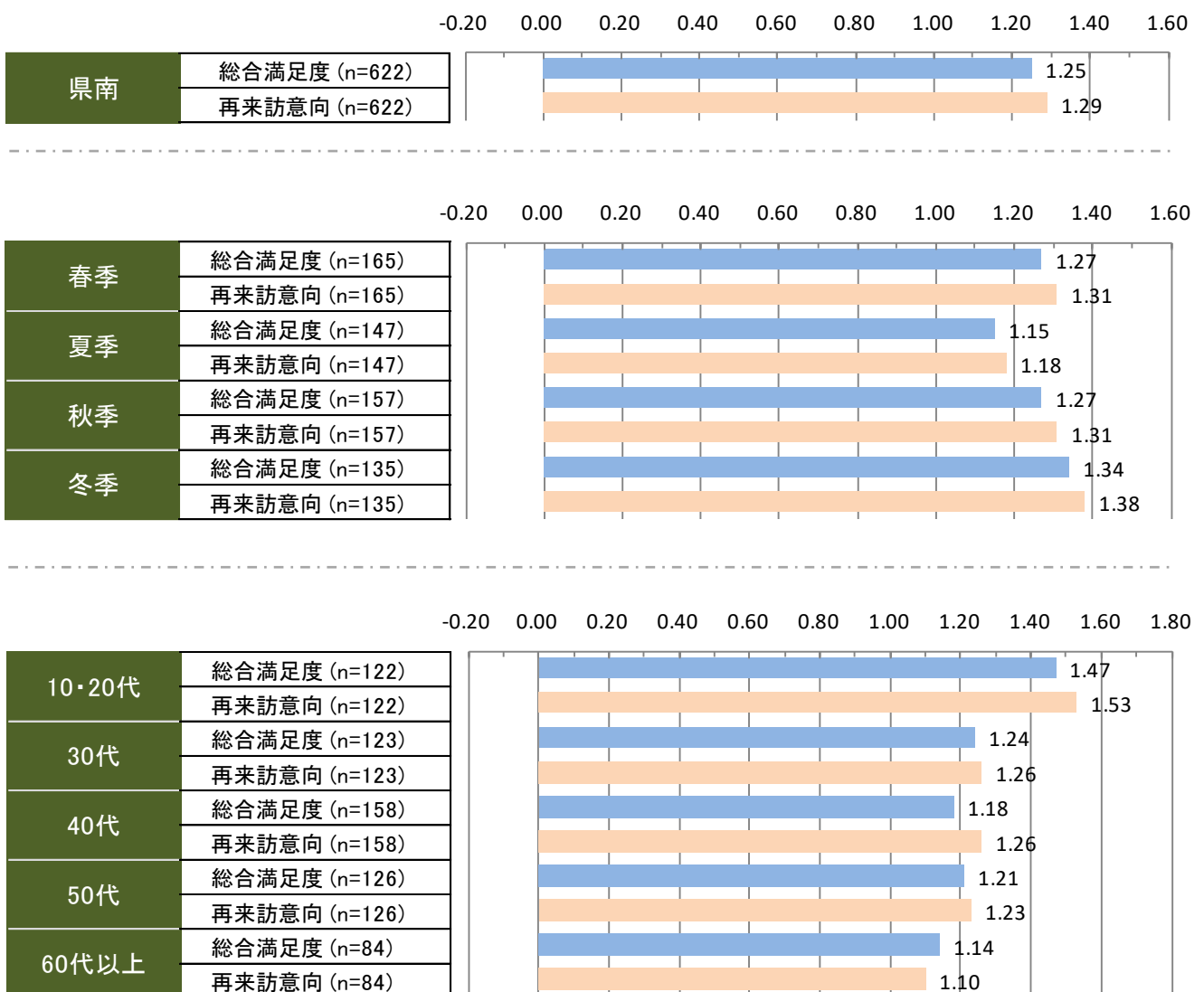
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が90.7%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】も90.7%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.34で最も高く、「夏季」が1.15で最も低かった。また、再来訪意向についても「冬季」が1.38で最も高く、「夏季」が1.18で最も低かった。

年代別にみると、総合満足度は「10・20代」で1.47と最も高く、「60代以上」で1.14と最も低かった。同様に、再来訪意向についても「10・20代」で1.53と最も高く、「60代以上」で1.10と最も低かった。



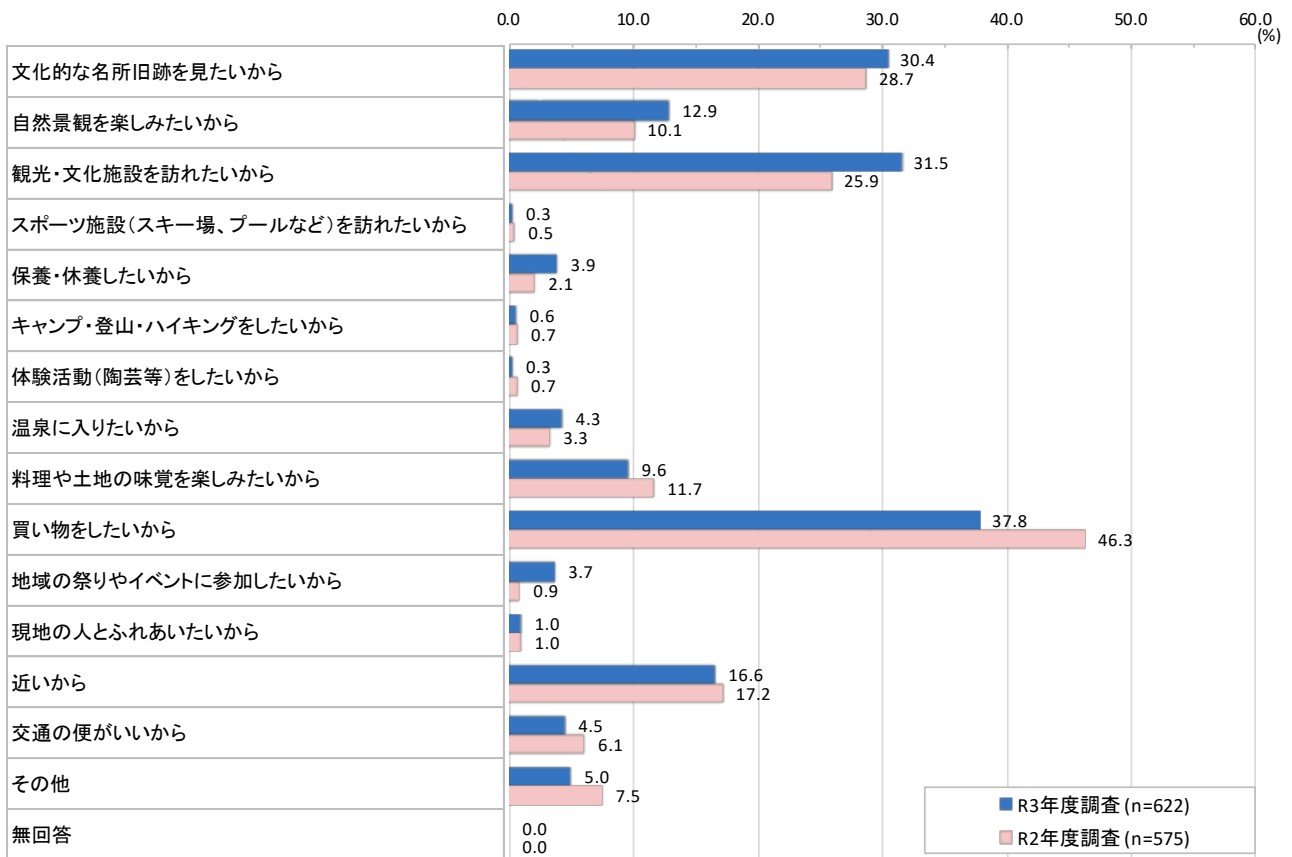
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iv. 県南エリア

②過去調査との比較

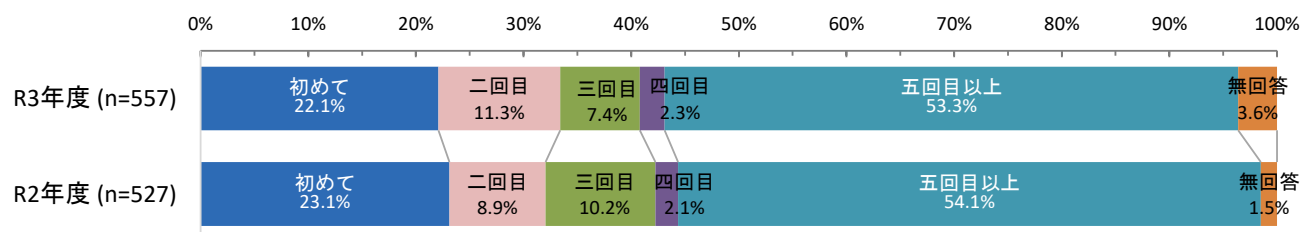
旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が最も多く、令和2（2020）年度調査では46.3%、令和3（2021）年度調査では37.8%と8.5ポイント減少した。次いで多かった「観光・文化施設を訪れたいから」が令和2（2020）年度調査では25.9%、令和3（2021）年度調査では31.5%と5.6ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



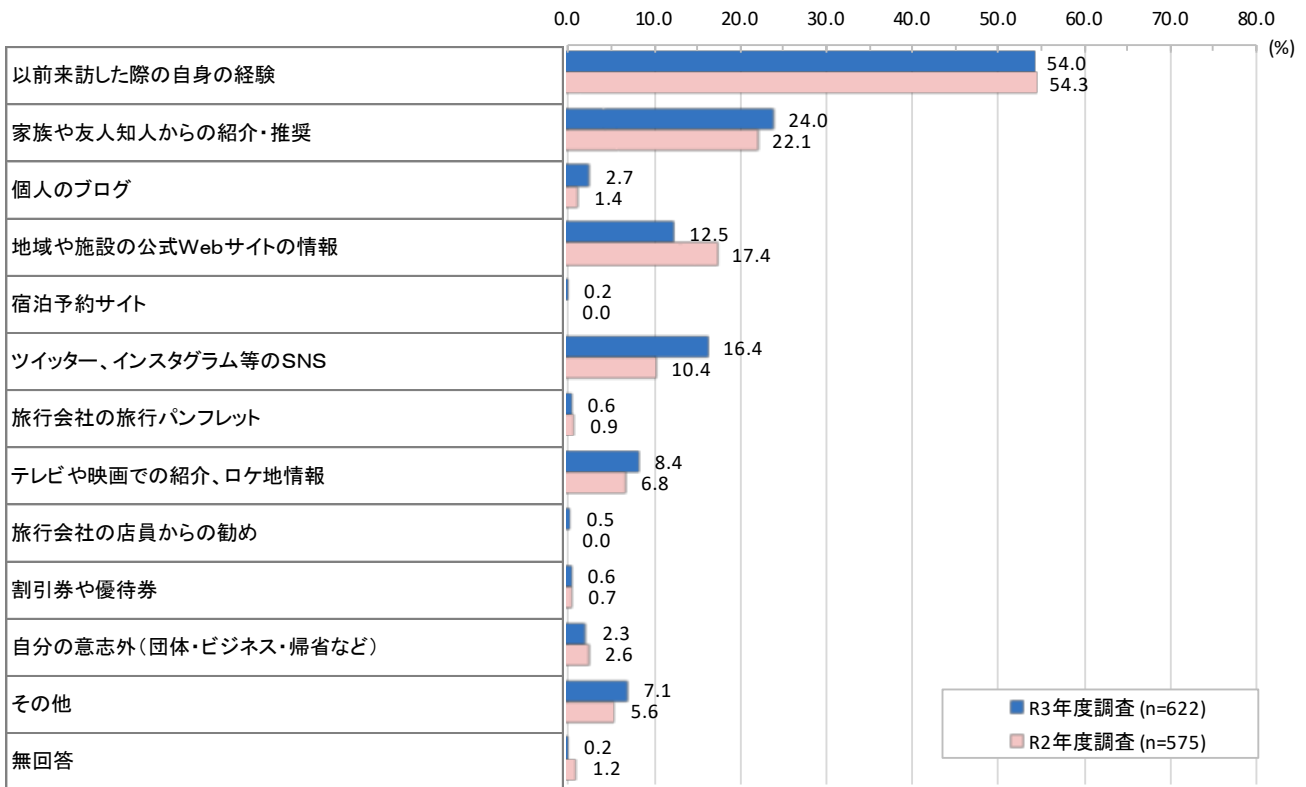
調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が令和2（2020）年度調査では54.1%であったが、令和3（2021）年度調査では53.3%と0.8ポイント減少した。また、「初めて」も令和2（2020）年度調査では23.1%であったが、令和3（2021）年度調査では22.1%と1.0ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



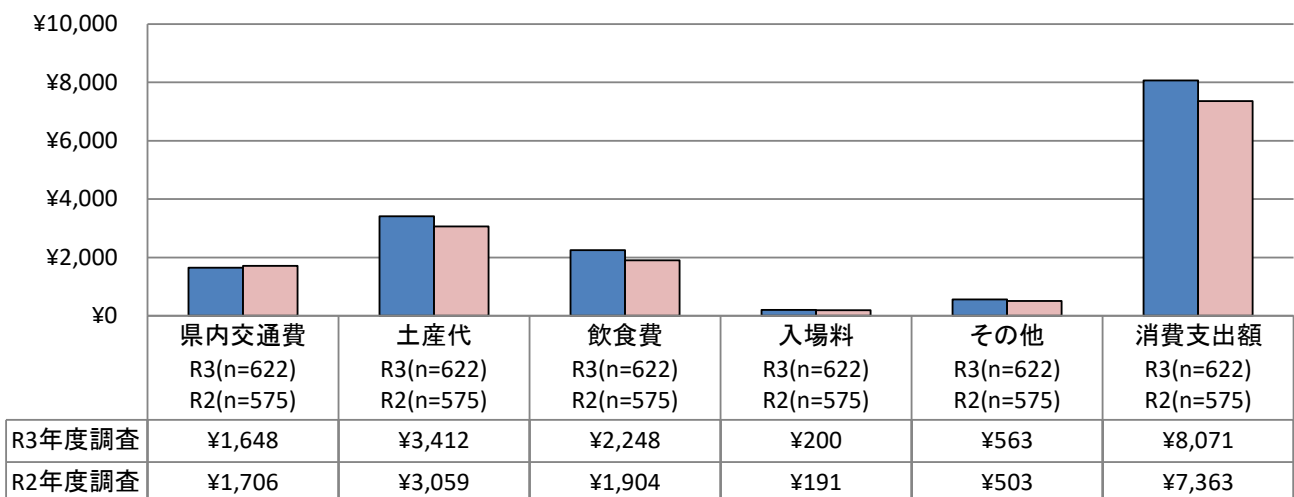
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和2（2020）年度調査では54.3%、令和3（2021）年度調査では54.0%と大差はみられない。そして、次いで多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」は令和2（2020）年度調査では22.1%、令和3（2021）年度調査では24.0%と1.9ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和2（2020）年度調査では7,363円であったが、令和3（2021）年度調査では8,071円に増加した。

消費支出（総額）

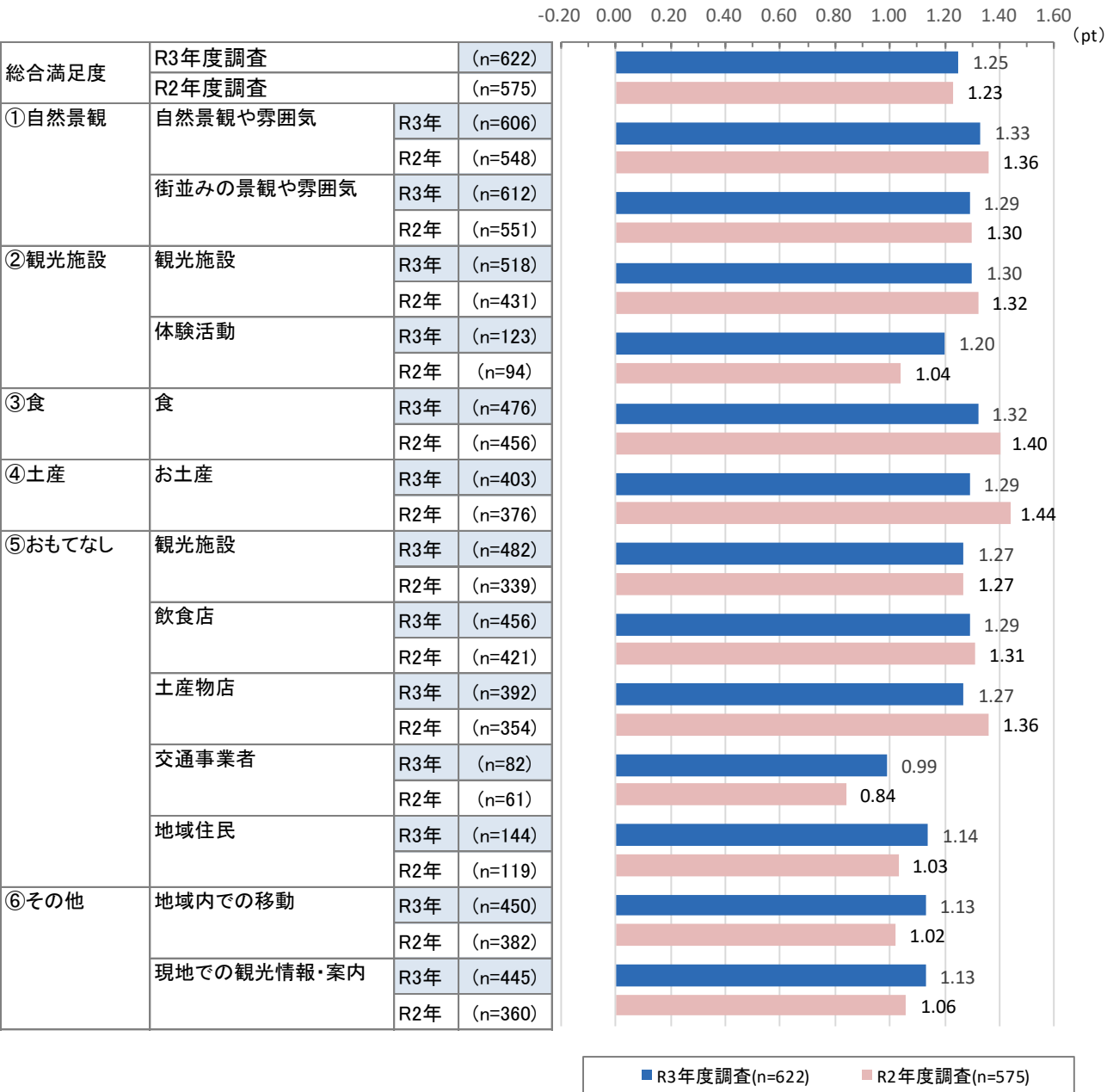


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 iv. 県南エリア

総合満足度は、令和2(2020)年度調査では1.23、令和3(2021)年度調査では1.25と0.02ポイントとわずかに増加した。満足度を項目別にみると、令和2(2020)年度調査では「土産 お土産」が1.44で最も高く、令和3(2021)年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.33と最も高くなった。

項目別満足度 (加重平均値)



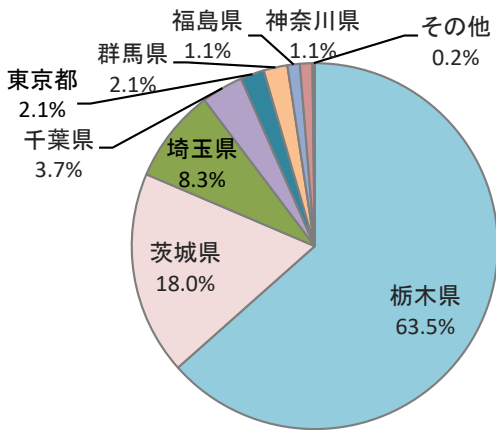
v. 県東エリア

①令和3(2021)年度調査結果

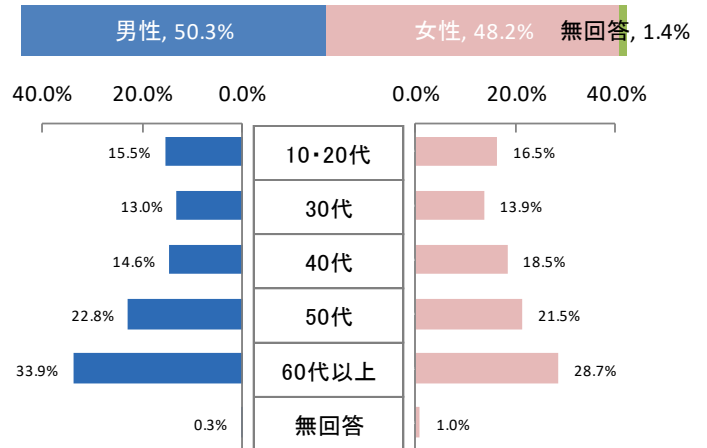
日帰り客(県東エリア) サンプル数: 628

お住まいは「栃木県」が最も多く63.5%、次いで「茨城県」が18.0%、「埼玉県」が8.3%であった。
年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く、「男性」が33.9%、「女性」が28.7%であった。
調査地域周辺の来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが65.0%で最も多かった。
同行者数は「2人」が51.4%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が30.3%で最も多かった。

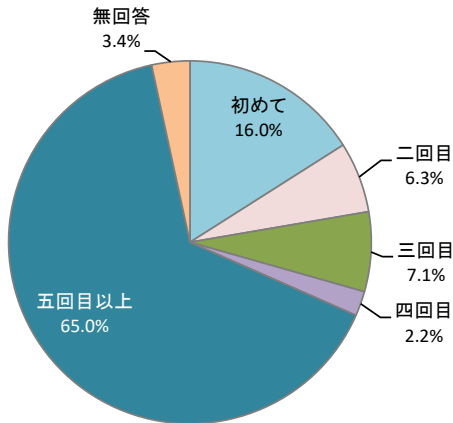
お住まい (n=628)



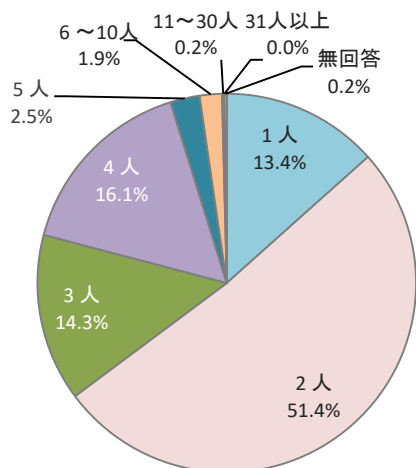
性別・年代 (n=628)



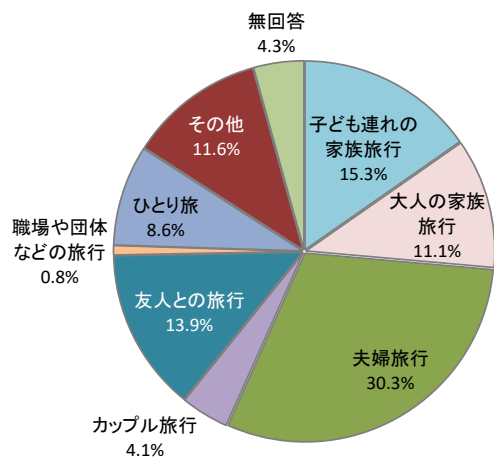
調査地域周辺への来訪回数 (n=506)



同行者数 ※回答者を含む (n=628)



同行者の関係 (n=628)

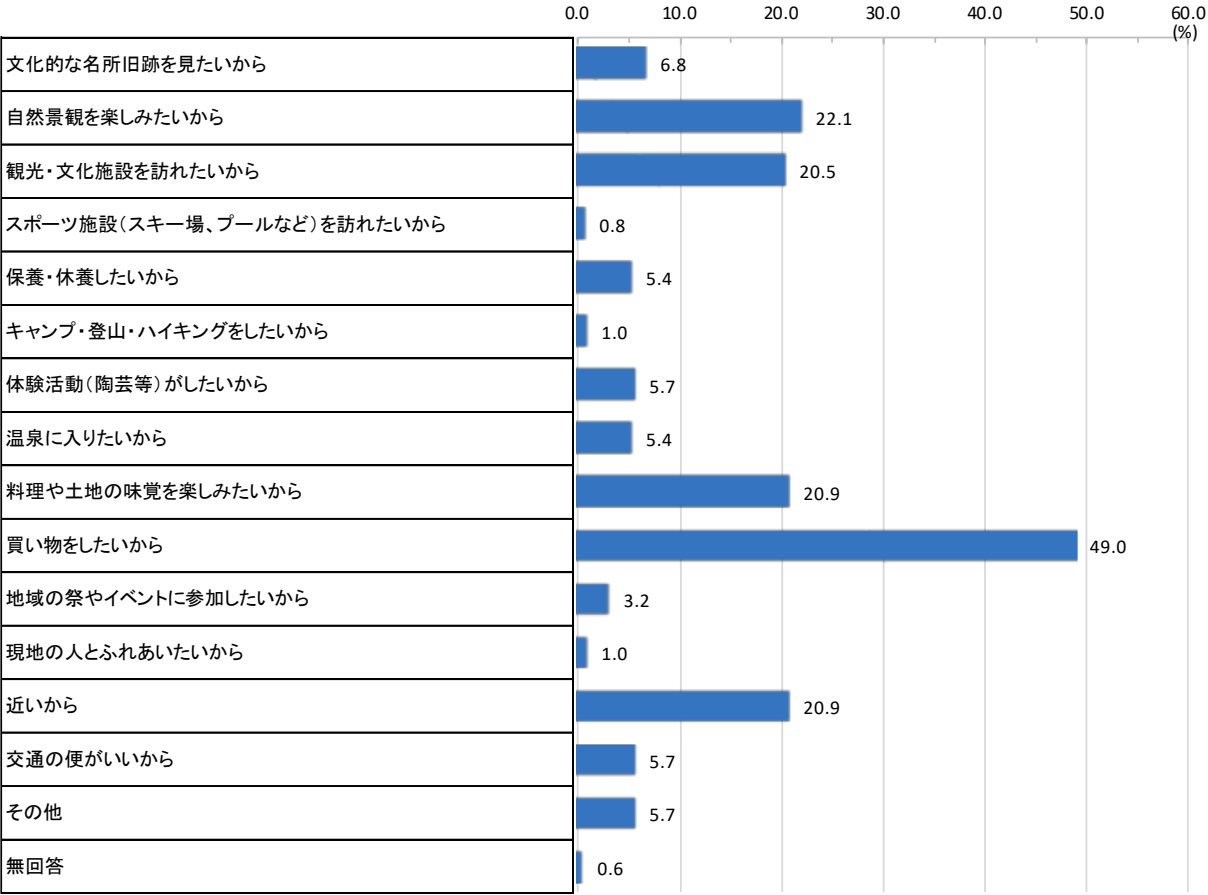


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 v. 関東エリア

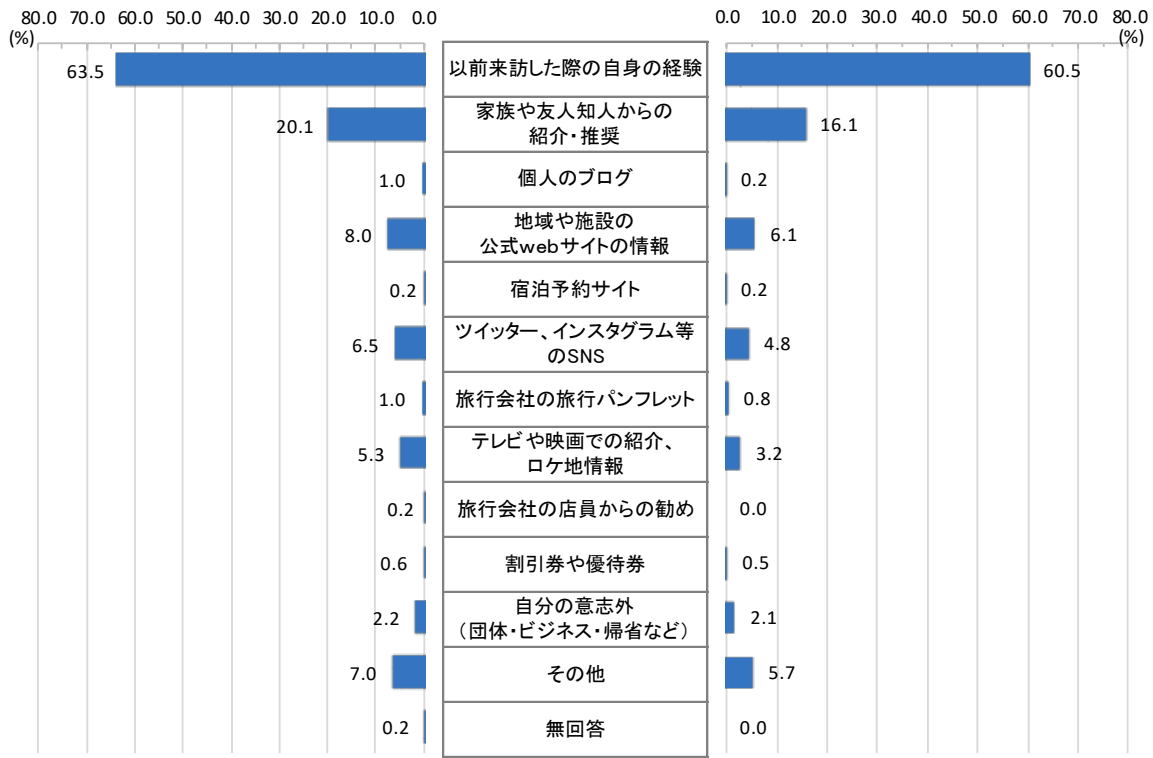
旅行先に選んだ理由は「買い物をしたいから」が49.0%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が22.1%と多かった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が63.5%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が60.5%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=628）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=628）

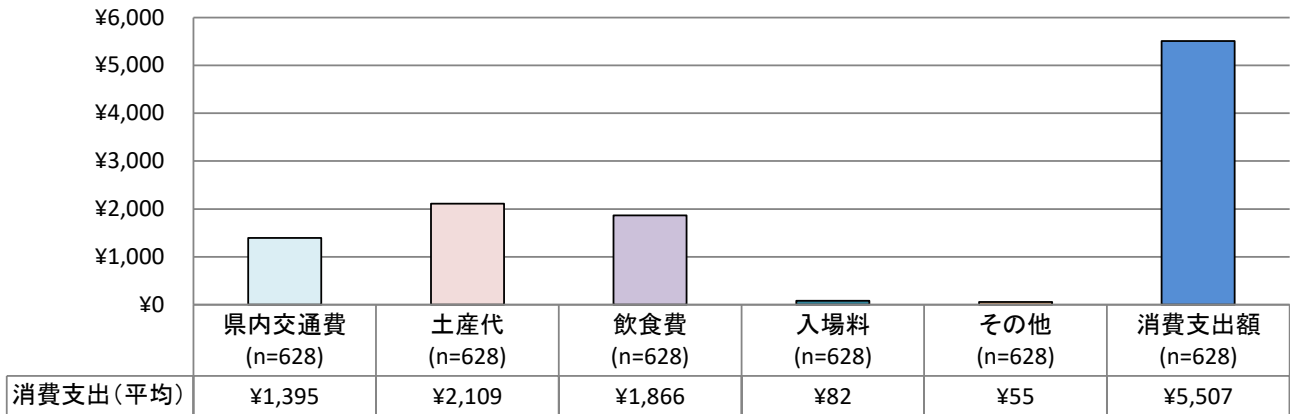
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=628）



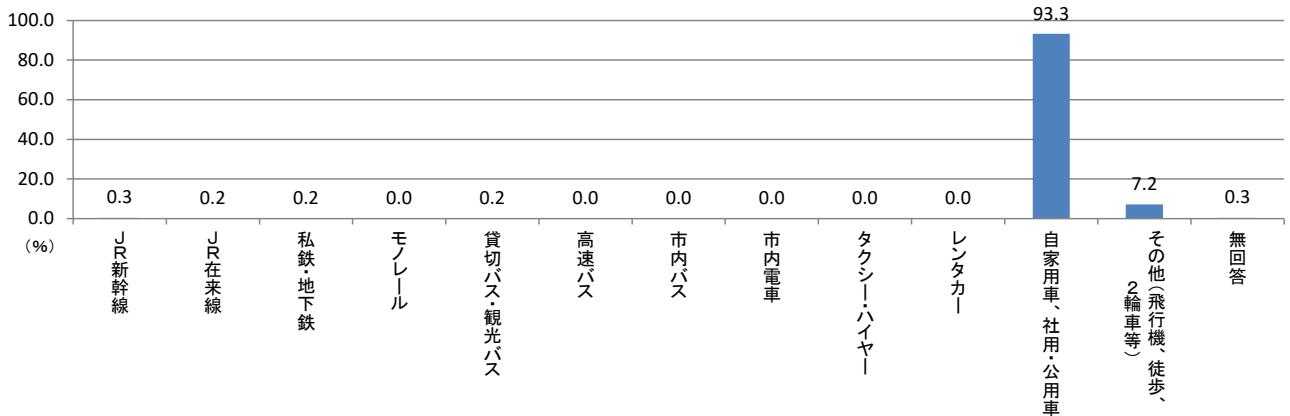
消費支出の平均は、総額で 5,507 円であった。内訳は、「土産代」が 2,109 円で最も多く、次いで「飲食費」が 1,866 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 93.3%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「道の駅もてぎ」が 19 人で最も多く、次いで「益子焼」が 16 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=628）



立ち寄り観光施設（n=628）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県東	県東	県央
道の駅もてぎ(19)	真岡市根本山自然観察センター(1)	龍門ふるさと民芸館(1)
益子焼(16)	井頭観光いちご園(1)	県南
ツインリンクもてぎ(12)	大前神社(1)	道の駅 みぶ(3)
道の駅ましこ(12)	学問の神様天満宮(1)	道の駅みかも(2)
観光いちご狩り(9)	真岡井頭温泉(1)	那須
道の駅サシバの里いちかい(8)	県央	那須高原ビジターセンター(2)
友遊はが(4)	元気あっぷむら(6)	道の駅那須与一の郷(1)
井頭公園(4)	道の駅きつれがわ(3)	日光
並松運動公園(4)	まほろばの湯湯親館(2)	男体山(1)
道の駅にのみや(3)	馬頭温泉郷(1)	
西明寺(1)	宇都宮動物園(1)	

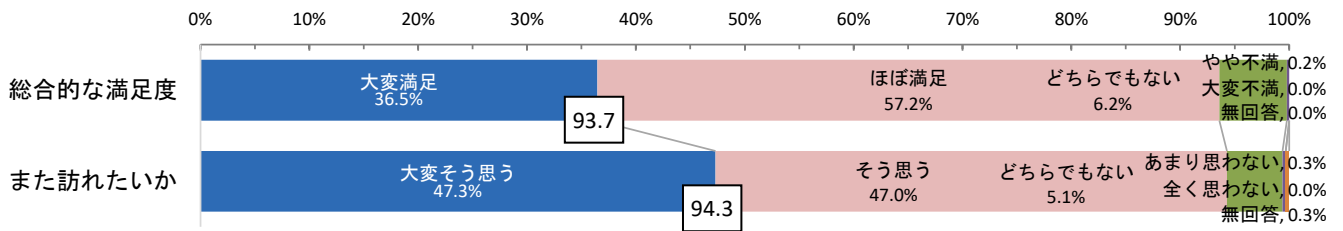
※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅はが(2)、道の駅もてぎ、(2) 陶芸メッセ・益子(1)

第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 v. 関東エリア

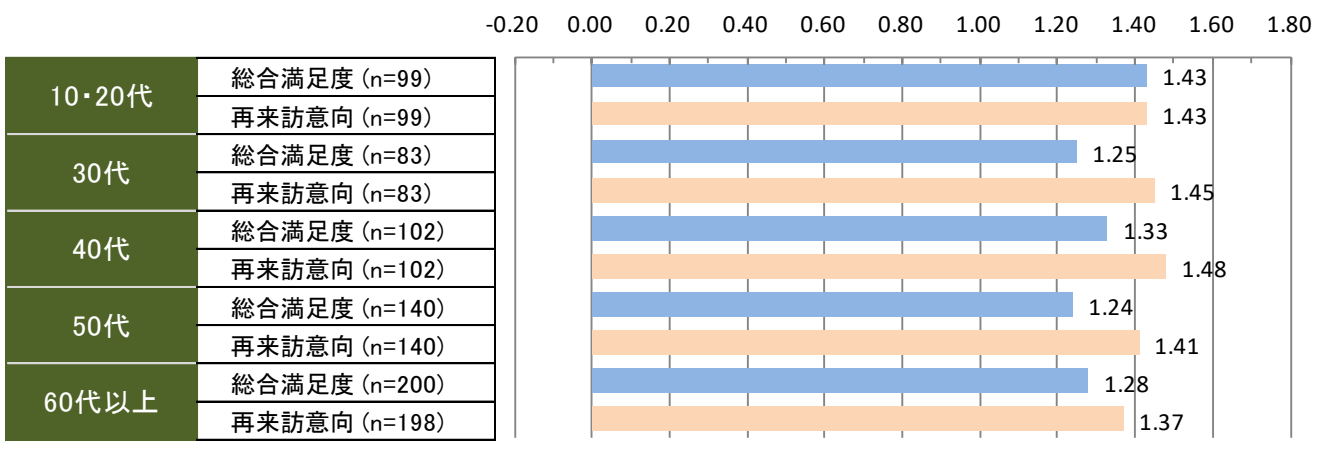
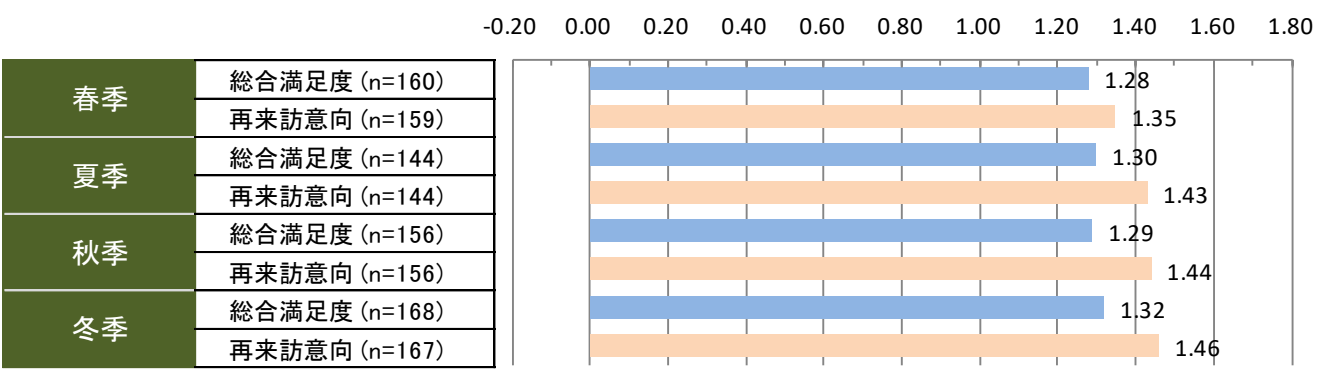
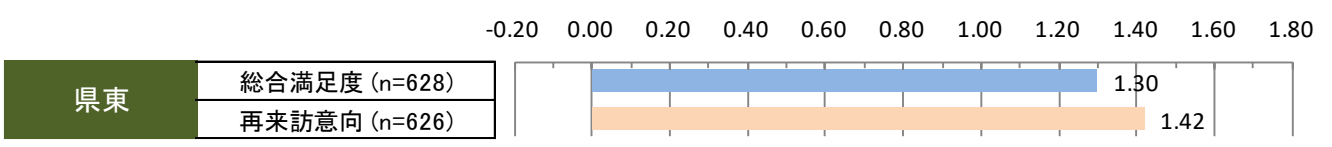
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が93.7%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が94.3%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=628)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

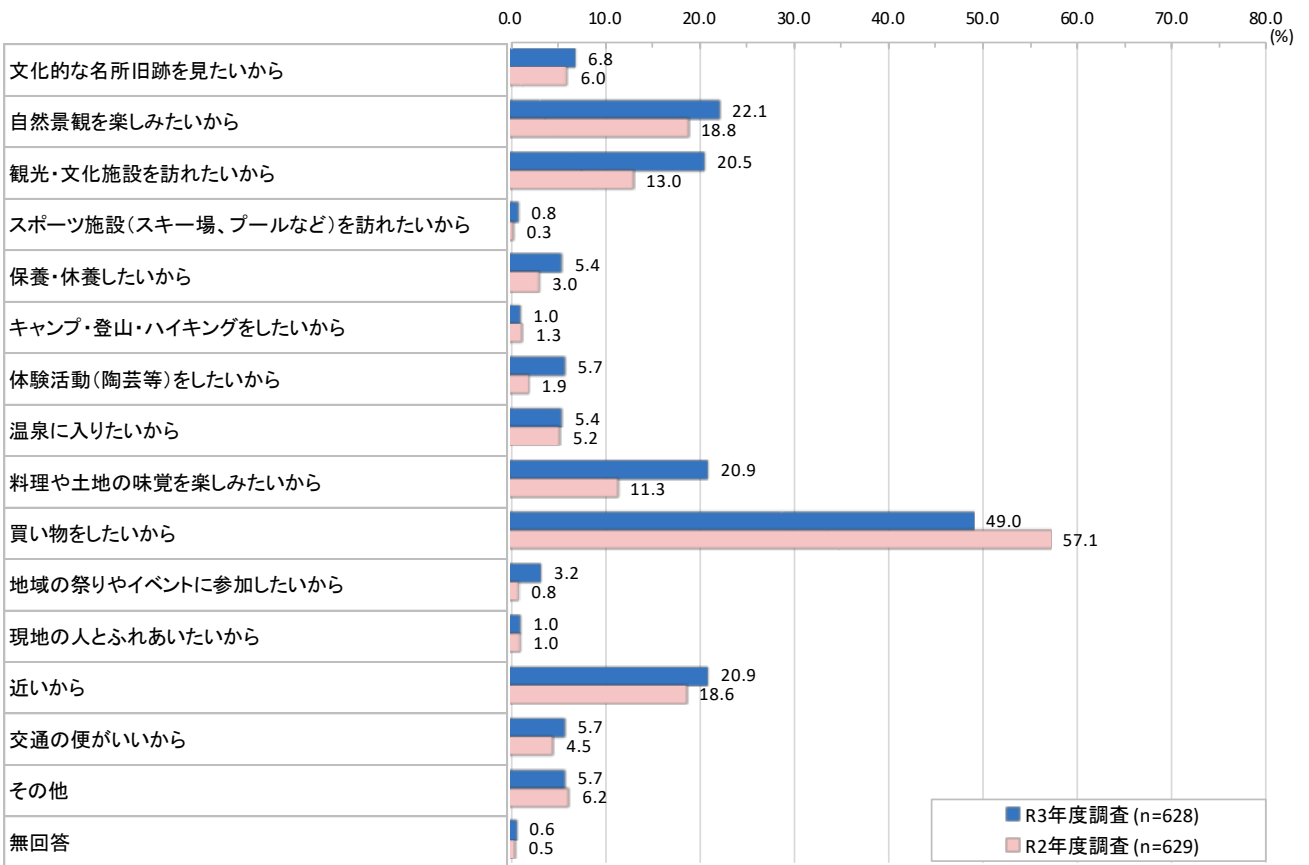
総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.32で最も高く、「春季」が1.28で最も低かった。再来訪意向も、「冬季」が1.46で最も高く、「春季」が1.35で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.43で最も高く、「50代」が1.24で最も低かった。再来訪意向については、「40代」が1.48で最も高く、「60代以上」が1.37で最も低かった。



②過去調査との比較

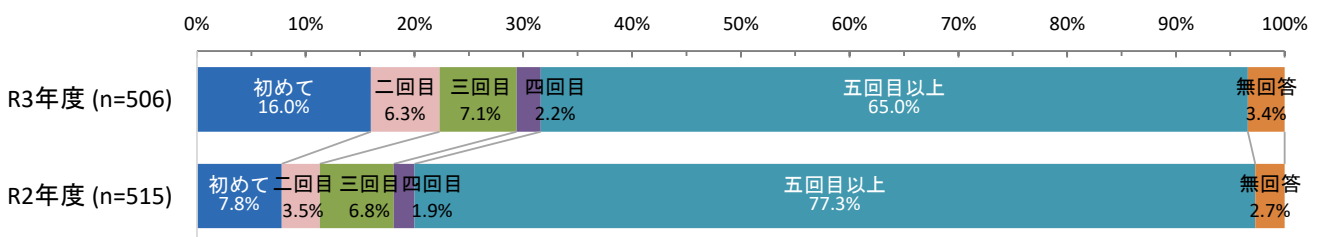
旅行先に選んだ理由は、「買い物をしたいから」が最も多く、令和2(2020)年度調査では57.1%、令和3(2021)年度調査では49.0%と8.1ポイント減少した。一方、次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は令和2(2020)年度調査では18.8%、令和3(2021)年度調査では22.1%と3.3ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由(複数回答)



調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が最も多く、令和2(2020)年度調査では77.3%、令和3(2021)年度調査では65.0%と12.3ポイント減少した。一方、「初めて」は令和2(2020)年度調査では7.8%、令和3(2021)年度調査では16.0%と8.2ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数※周辺住民を除く

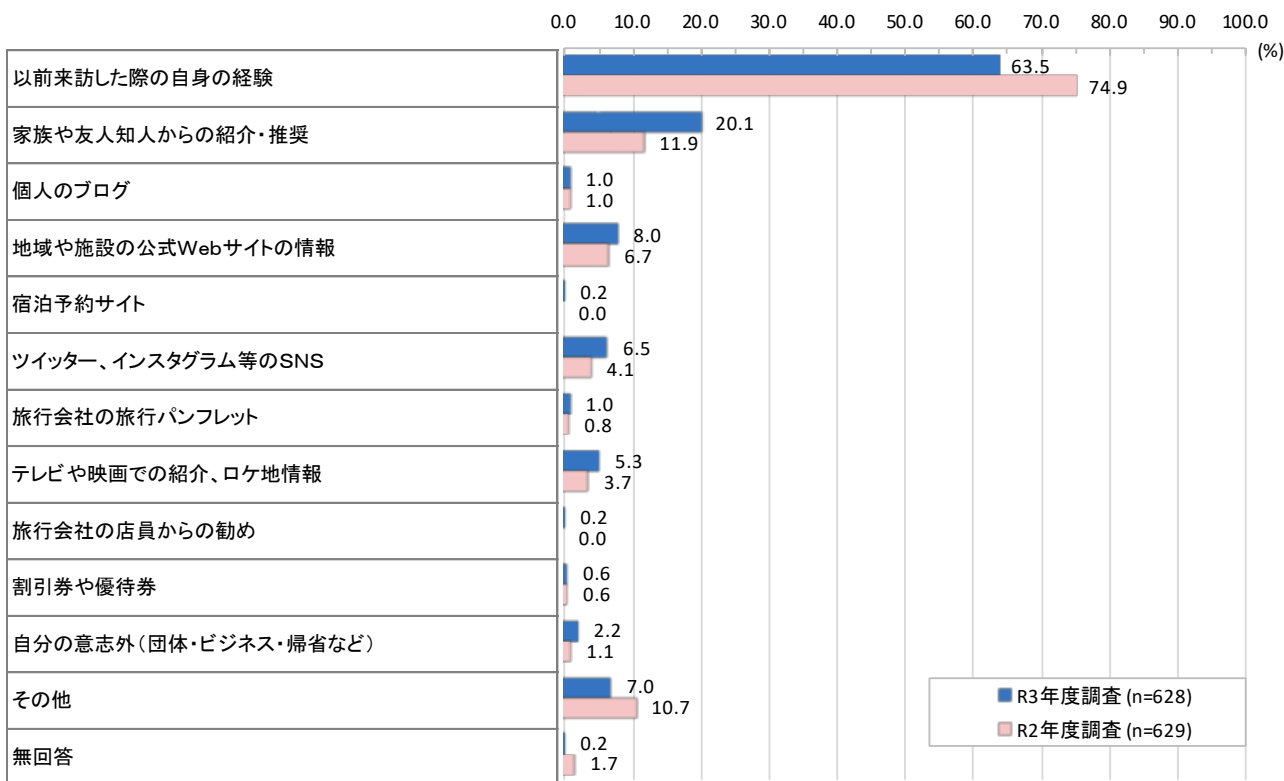


第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリア別 v. 関東エリア

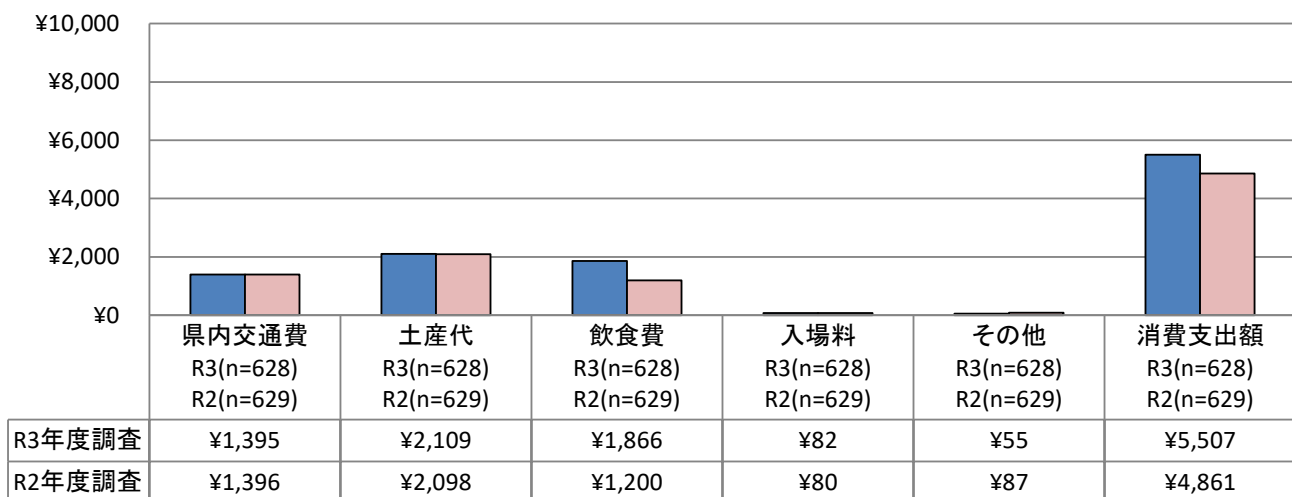
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和2（2020）年度調査では74.9%、令和3（2021）年度調査では63.5%と11.4ポイント減少した。一方、次いで多かった「家族や友人知人からの紹介・推奨」は、令和2（2020）年度調査では11.9%、令和3（2021）年度調査では20.1%と8.2ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



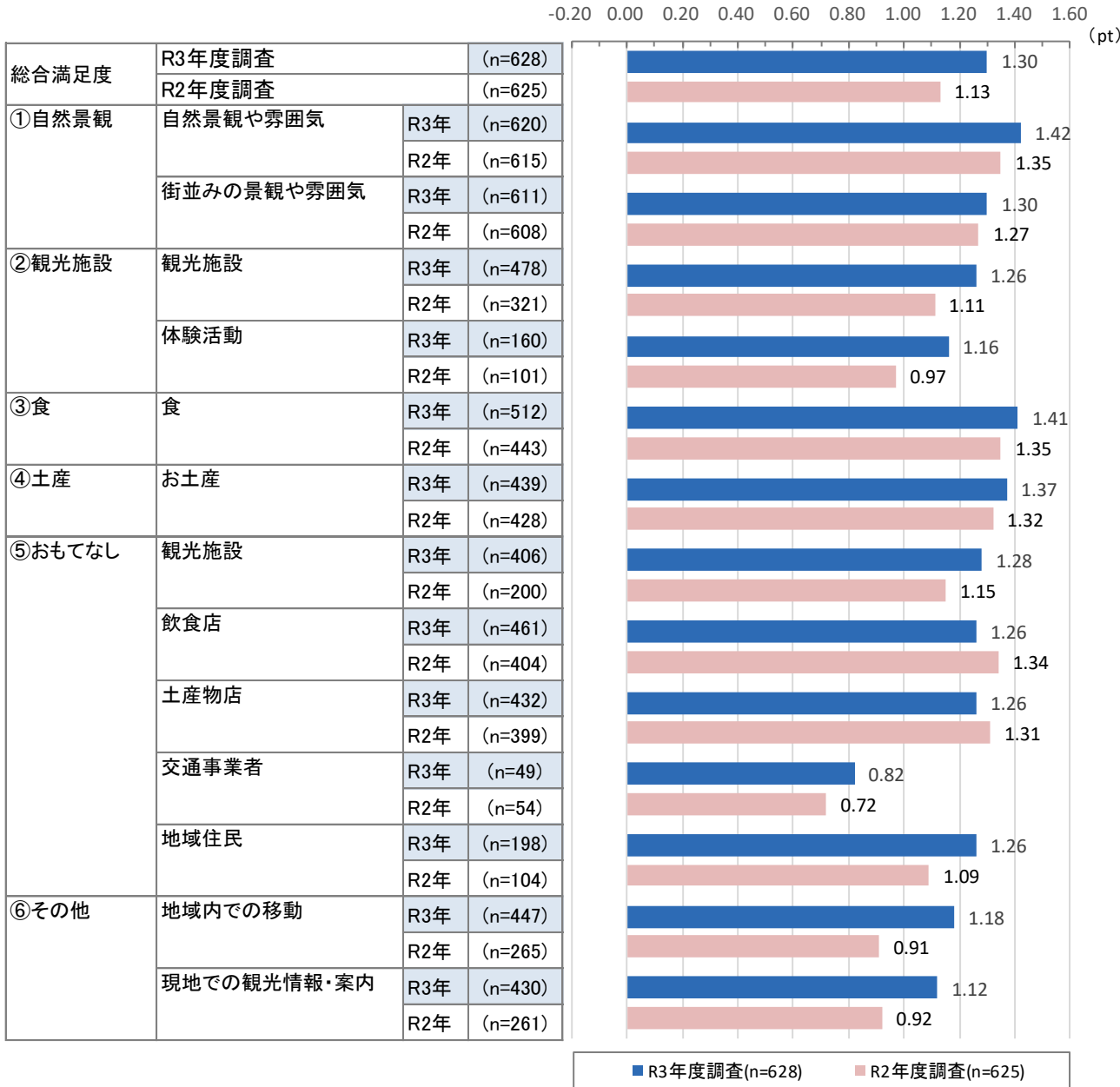
消費支出の総額は、令和2（2020）年度調査では4,861円であったが、令和3（2021）年度調査では5,507円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和2(2020)年度調査では1.13、令和3(2021)年度調査では1.30と0.17ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和2(2020)年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」と「食 食」がともに1.35と最も高く、令和3(2021)年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.42と最も高くなっている。

項目別満足度 (加重平均値)



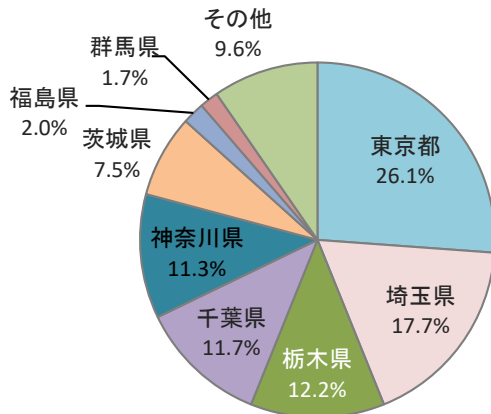
2. 宿泊客

(1) 県全体

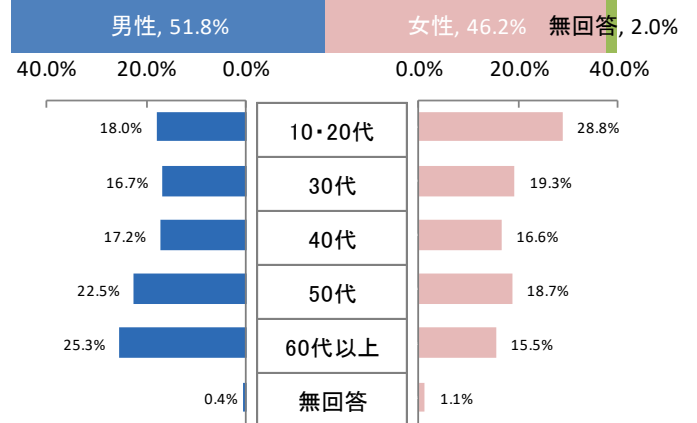
①令和3(2021)年度調査結果

お住まいは「東京都」が26.1%で最も多く、次いで「埼玉県」が17.7%、「栃木県」が12.2%であった。
性別は、「男性」が51.8%、「女性」が46.2%であった。
年代は、男性は「60代」が25.3%で最も多く、女性は「10・20代」が28.8%で最も多かった。

お住まい (n=1031)

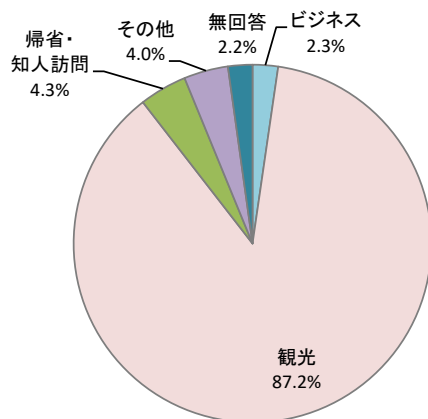


性別・年代 (n=1031)

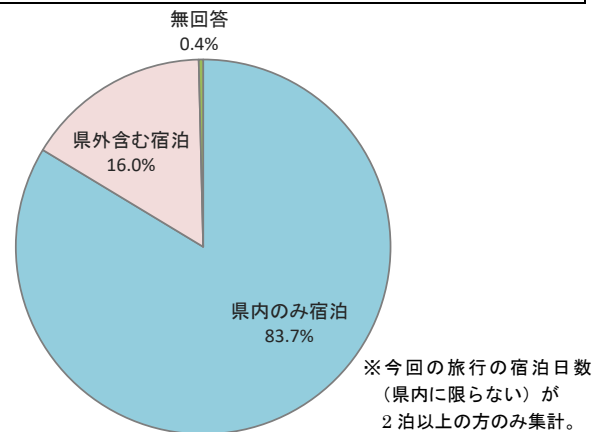


旅行の主要目的は、「観光」が87.2%と9割弱に上った。
宿泊旅程は、「県内のみ宿泊」が83.7%と8割半ばとなった。

旅行の主要目的 (n=905)

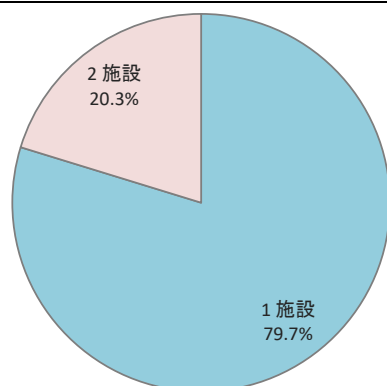


宿泊旅程 (n=263)



県内に2泊以上した方の宿泊施設数は、「1施設」が79.7%と8割近くに上った。

栃木県内の宿泊施設数 (n=237)

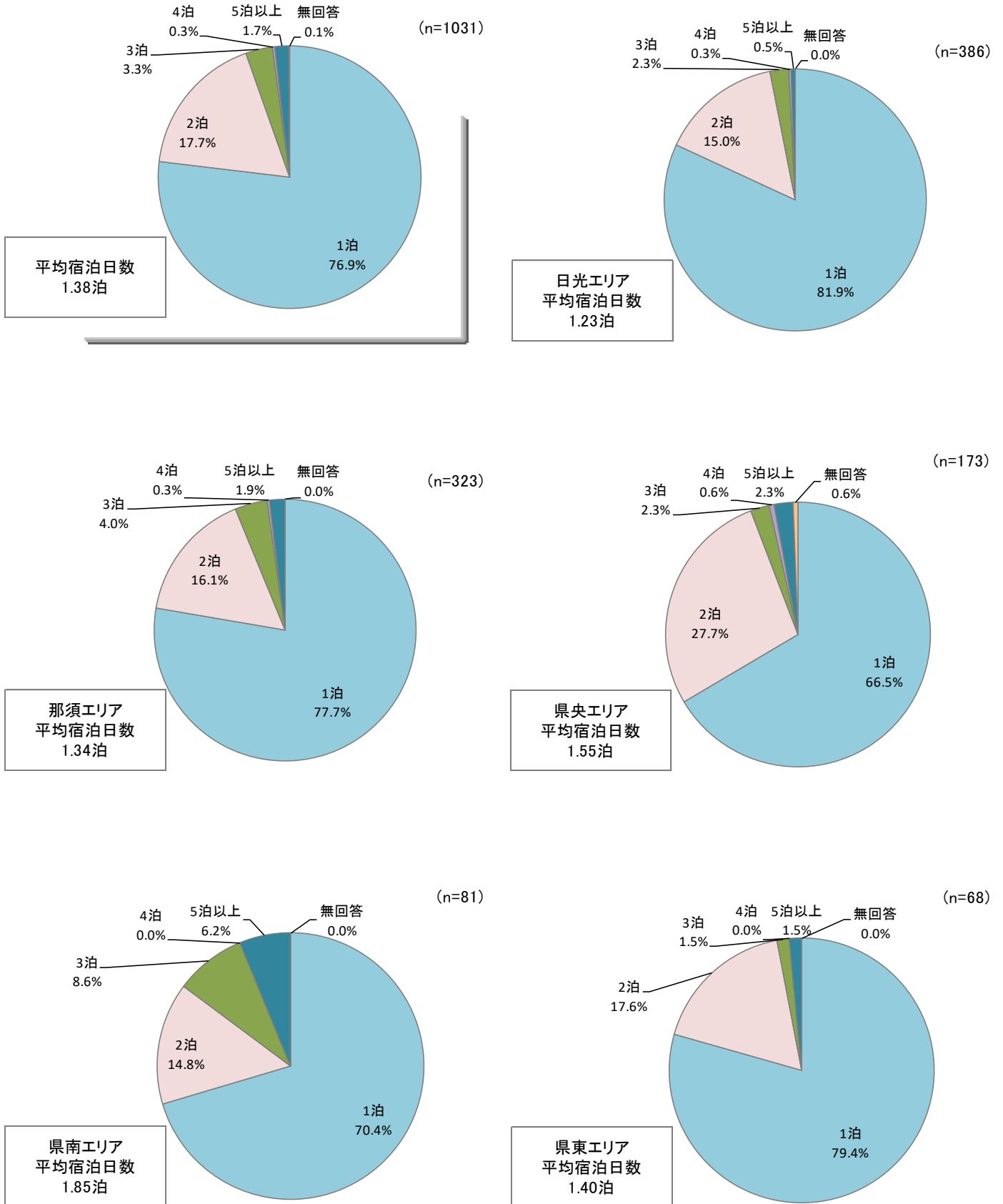


※1泊目と2泊目で同じ宿泊施設に宿泊した場合は1施設としてカウントしている。

県内での宿泊日数は、「1泊」が全てのエリアで最も多く、日光エリアでは8割に達した。
平均宿泊日数をエリア別にみると、県南エリアで1.85泊と他のエリアと比較して多かった。

【県全体】

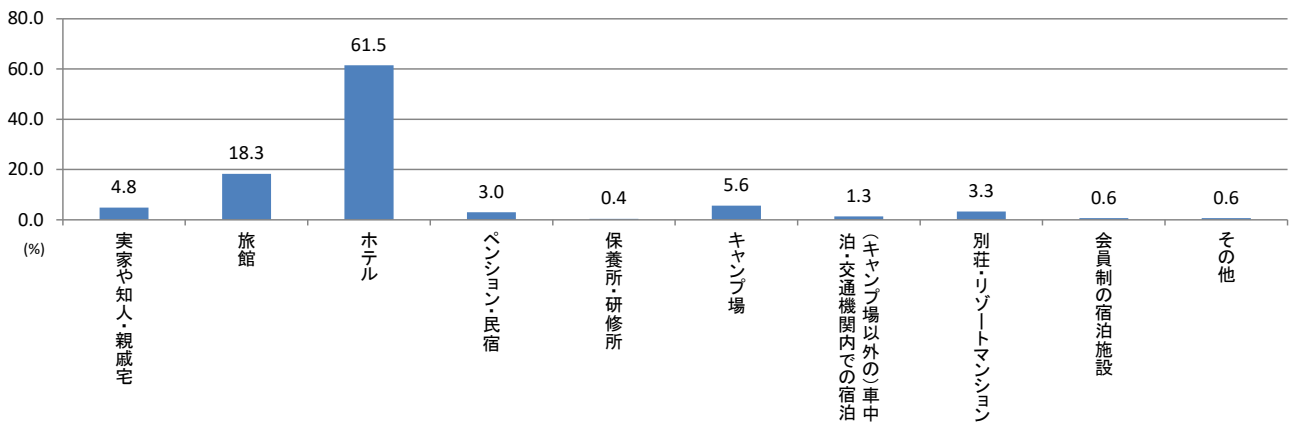
【エリア別】



2. 宿泊客 (1) 県全体

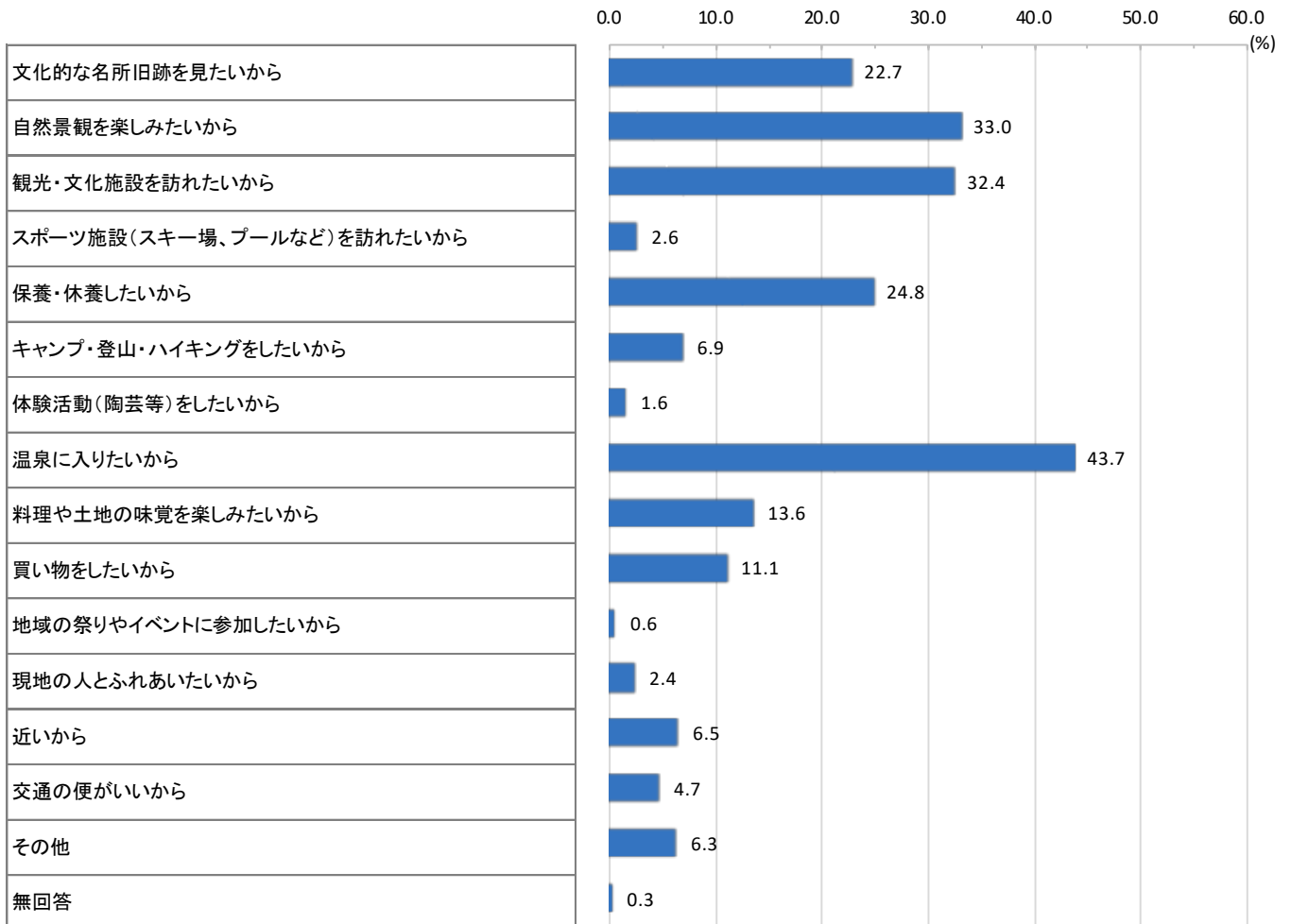
県内での利用宿泊施設は「ホテル」が61.5%で最も多く、次いで「旅館」が18.3%であった。

栃木県内での利用宿泊施設（複数回答）（n=1031）



旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が43.7%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が33.0%、「観光・文化施設を訪れたいから」が32.4%、「保養・休養したいから」が24.8%であった。

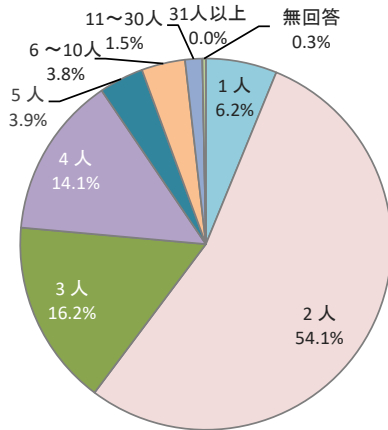
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=1031）



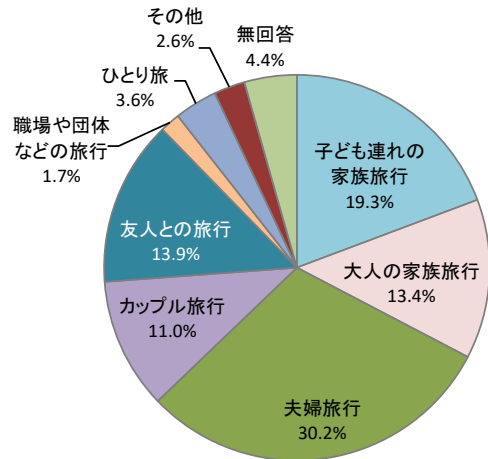
回答者を含む同行者数は、「2人」が54.1%で最も多く、次いで「3人」が16.2%、「4人」が14.1%であった。

同行者の関係は、「夫婦旅行」が30.2%で最も多く、次いで「子ども連れの家族旅行」が19.3%、「友人との旅行」が13.9%、「大人の家族旅行」が13.4%であった。

同行者数 ※回答者を含む (n=1031)

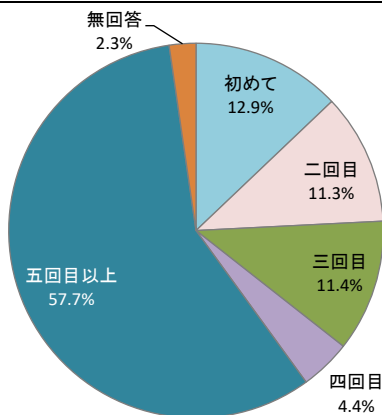


同行者の関係 (n=1031)



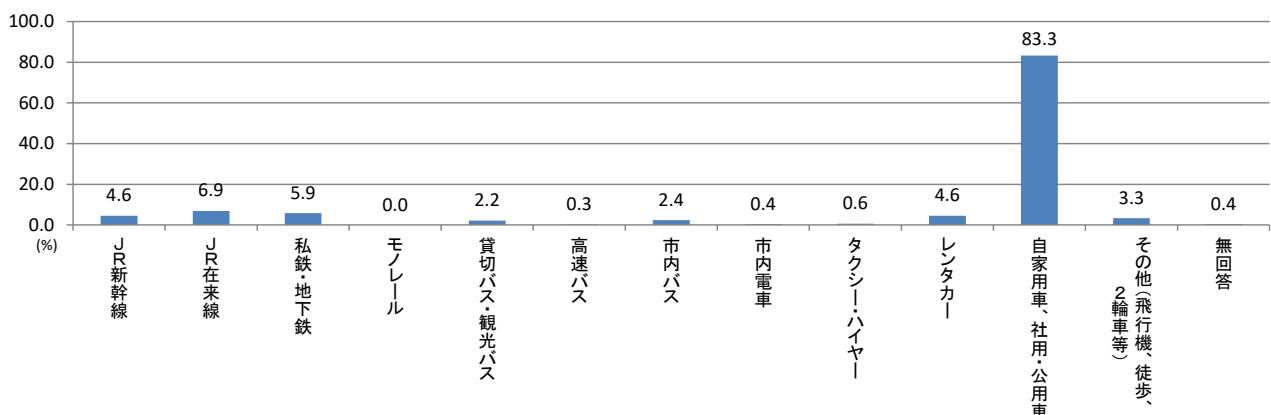
県外客の栃木県への来訪回数は、「五回目以上」が57.7%と6割弱であった。次いで「初めて」が12.9%であった。

県外客の栃木県への来訪回数 (n=905)



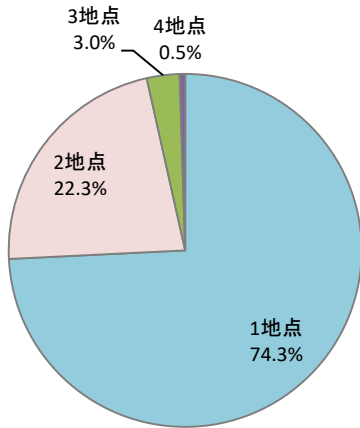
利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が83.3%で大半を占めた。その他の交通機関としては「JR在来線」が6.9%、「私鉄・地下鉄」が5.9%、「JR新幹線」と「レンタカー」がともに4.6%であった。

利用交通機関 (複数回答) (n=1031)



立ち寄り観光施設数は、「1地点」が74.3%で最も多く、次いで「2地点」が22.3%であった。

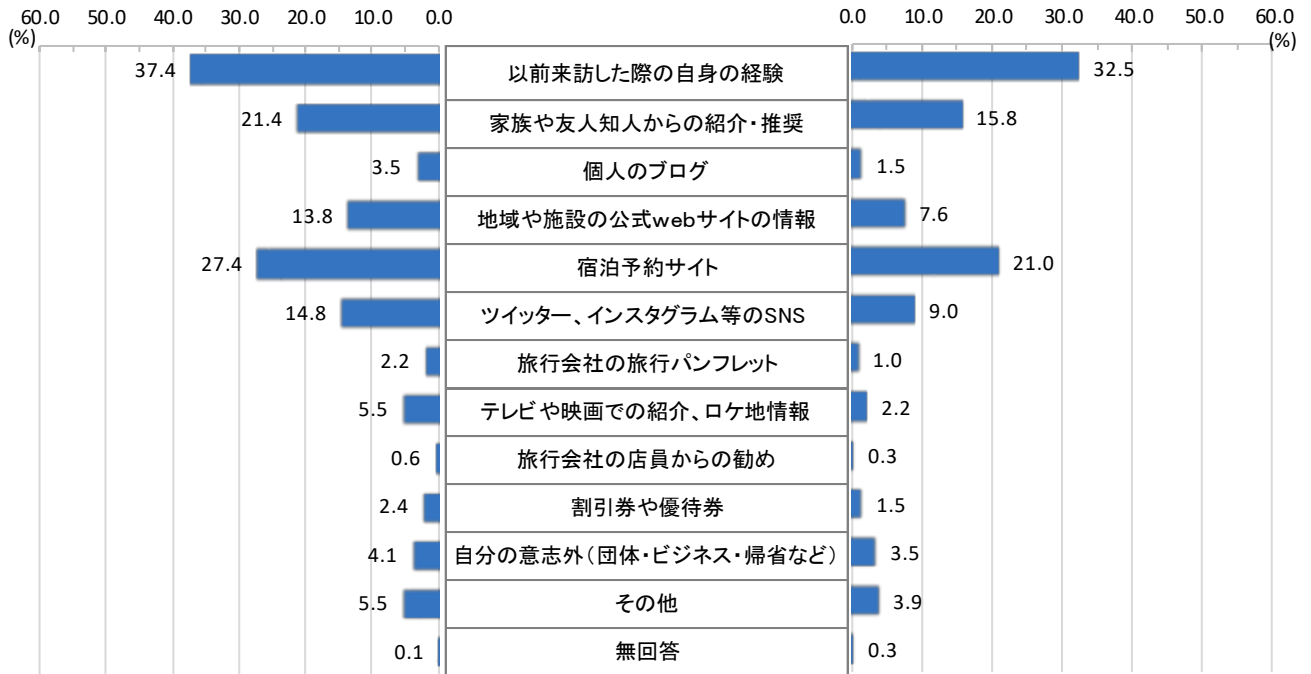
立ち寄り観光施設数 (n=202)
 ※「0地点 (調査地点以外立ち寄りなし)」を除く



旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が37.4%で最も多く、次いで「宿泊予約サイト」が27.4%であった。
 “決め手”となった情報源も、「以前来訪した際の自身の経験」が32.5%で最も多く、次いで「宿泊予約サイト」が21.0%であった。

旅行先に選んだ情報源
 (複数回答) (n=1031)

“決め手”となった情報源
 (単一回答) (n=1031)



旅行先を選んだ“決め手”となった情報源 年代別

※全体で回答数の多い順（「無回答」を除く）

（%）

NO.	全 体 (n=1031)	
1	以前来訪した際の自身の経験	32.5
2	宿泊予約サイト	21.0
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	15.8
4	ツイッター、インスタグラム等のSNS	9.0
5	地域や施設の公式webサイトの情報	7.6
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	3.5
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	2.2
8	個人のブログ	1.5
9	割引券や優待券	1.5
10	旅行会社の旅行パンフレット	1.0
11	旅行会社の店員からの勧め	0.3
12	その他	3.9

NO.	10・20代 (n=236)	
1	以前来訪した際の自身の経験	18.2
2	宿泊予約サイト	23.7
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	17.4
4	ツイッター、インスタグラム等のSNS	20.3
5	地域や施設の公式webサイトの情報	7.6
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	4.2
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	0.4
8	個人のブログ	1.3
9	割引券や優待券	1.3
10	旅行会社の旅行パンフレット	0.4
11	旅行会社の店員からの勧め	1.3
12	その他	3.8

NO.	30代 (n=182)	
1	以前来訪した際の自身の経験	29.1
2	宿泊予約サイト	28.0
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	13.2
4	ツイッター、インスタグラム等のSNS	7.7
5	地域や施設の公式webサイトの情報	6.0
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	4.9
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.3
8	個人のブログ	2.7
9	割引券や優待券	1.1
10	旅行会社の旅行パンフレット	0.5
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	3.3

NO.	40代 (n=176)	
1	以前来訪した際の自身の経験	34.1
2	宿泊予約サイト	20.5
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	16.5
4	ツイッター、インスタグラム等のSNS	6.8
5	地域や施設の公式webサイトの情報	6.8
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	3.4
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.4
8	個人のブログ	1.1
9	割引券や優待券	0.0
10	旅行会社の旅行パンフレット	0.6
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	5.7

NO.	50代 (n=211)	
1	以前来訪した際の自身の経験	36.0
2	宿泊予約サイト	16.6
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	16.1
4	ツイッター、インスタグラム等のSNS	6.6
5	地域や施設の公式webサイトの情報	13.3
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.4
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.3
8	個人のブログ	0.5
9	割引券や優待券	0.5
10	旅行会社の旅行パンフレット	1.4
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	2.8

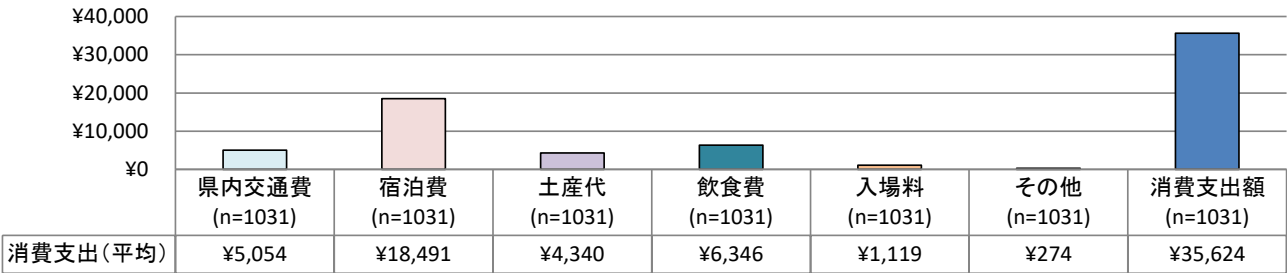
NO.	60代以上 (n=213)	
1	以前来訪した際の自身の経験	46.5
2	宿泊予約サイト	18.3
3	家族や友人知人からの紹介・推奨	14.6
4	ツイッター、インスタグラム等のSNS	1.9
5	地域や施設の公式webサイトの情報	3.8
6	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	2.3
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	0.9
8	個人のブログ	1.9
9	割引券や優待券	4.2
10	旅行会社の旅行パンフレット	1.9
11	旅行会社の店員からの勧め	0.0
12	その他	3.8

第2章 観光客調査 調査結果

2. 宿泊客 (1) 県全体

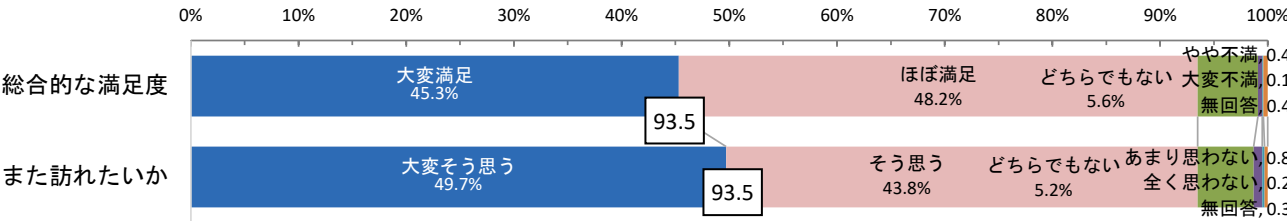
宿泊客一人当たりの消費支出の平均は、総額で 35,624 円であった。
内訳は、「宿泊費」が 18,491 円で最も多く、次いで「飲食費」が 6,346 円であった。

消費支出（平均）



調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が 93.5%であった。そして、また訪れたいかは、「大変そう思う」「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】も 93.5%であった。

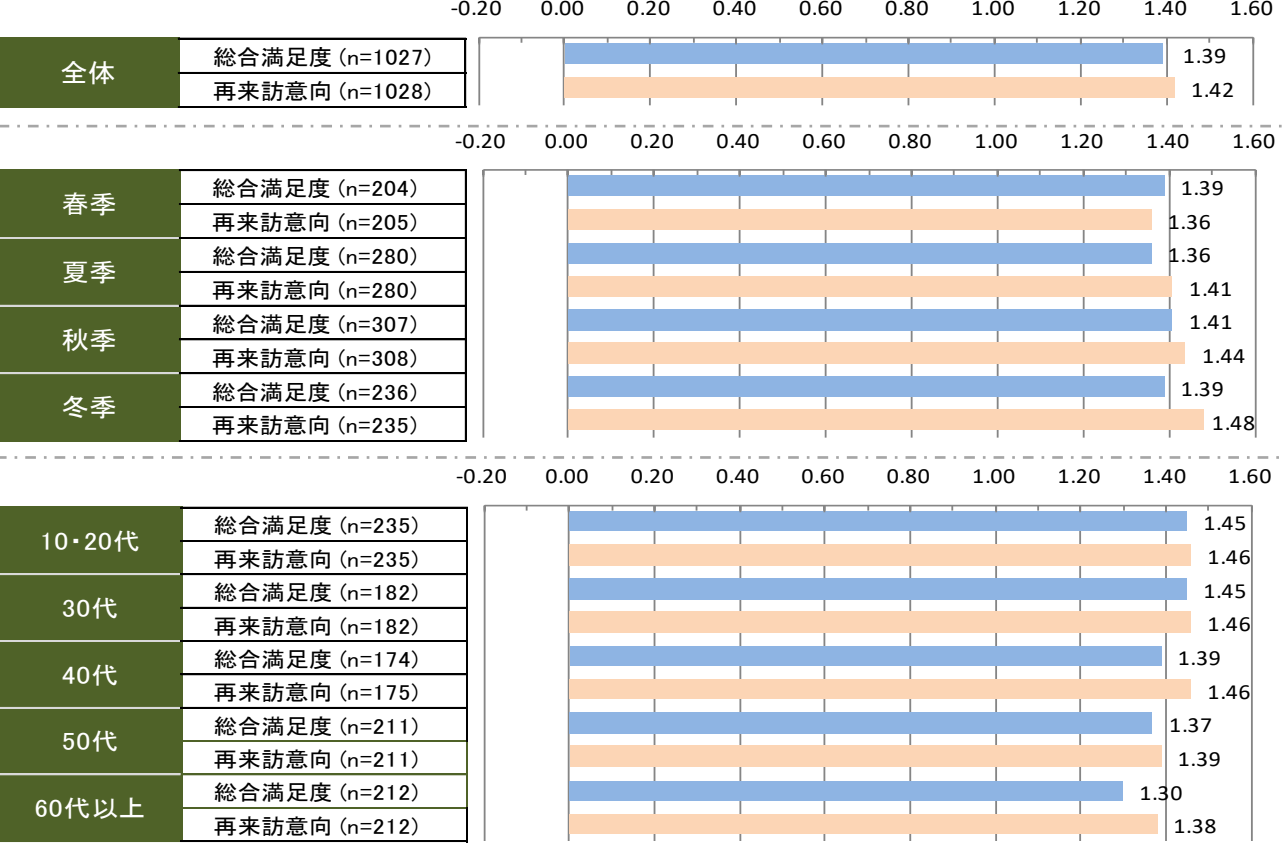
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=1031)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

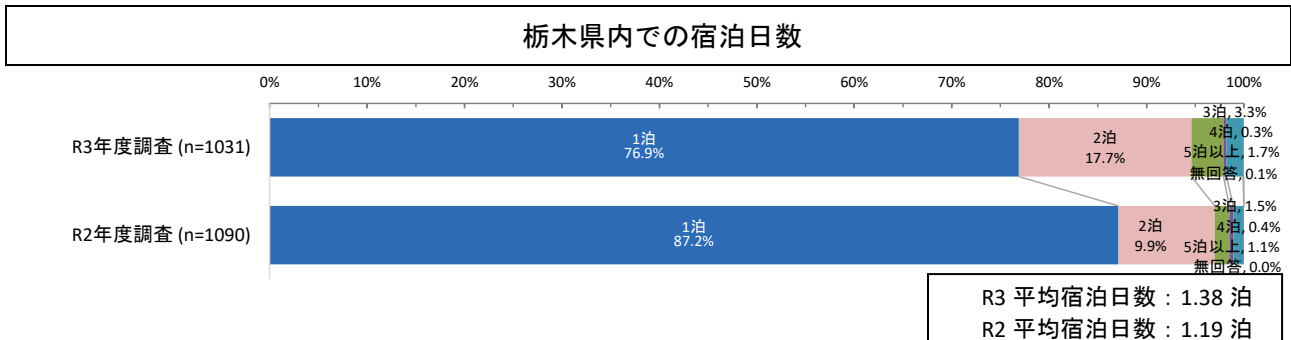
総合満足度を季節別にみると、「秋季」が 1.41 で最も高かった。再来訪意向は、「冬季」が 1.48 で最も高かった。

年代別にみると、総合満足度は「10・20代」と「30代」がともに 1.45 で最も高かった。再来訪意向は、「10・20代」、「30代」、「40代」が 1.46 で最も高かった。

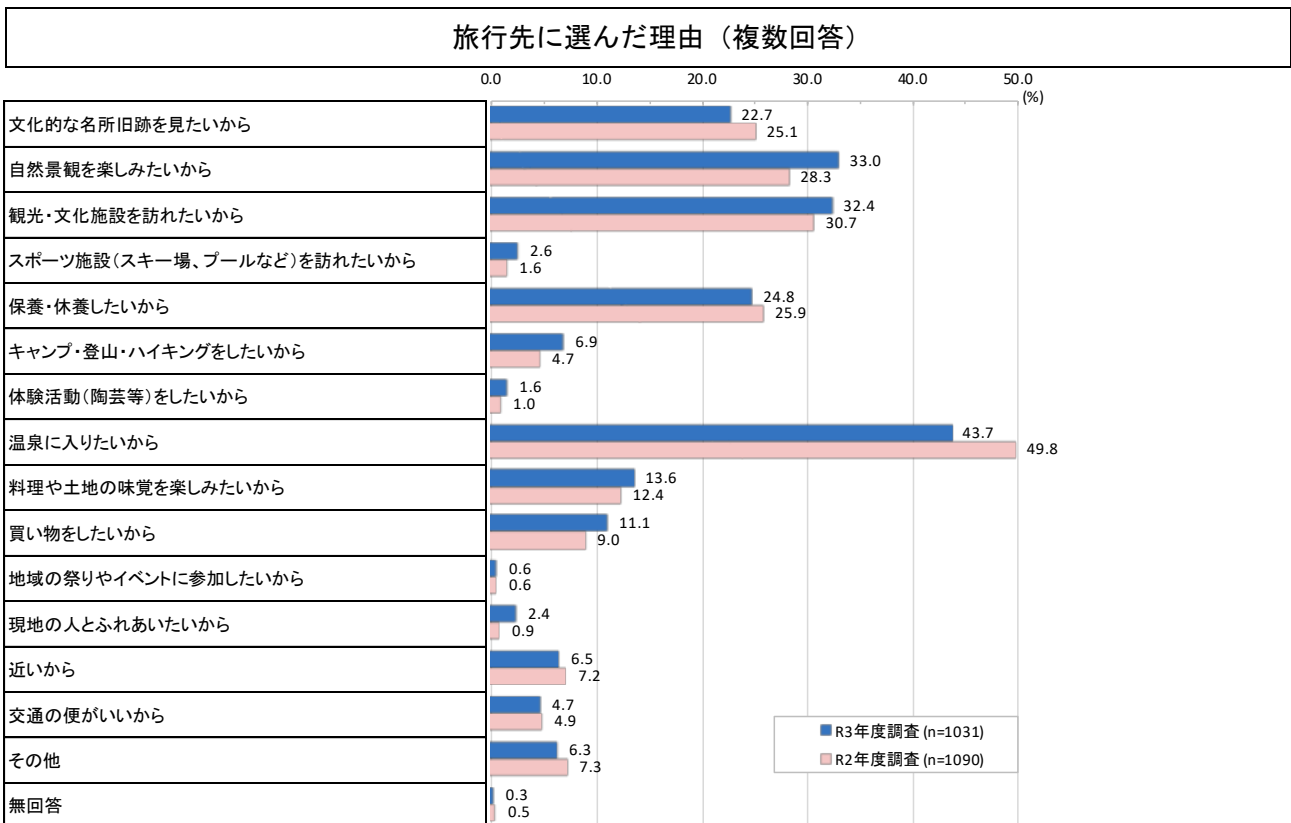


②過去調査との比較

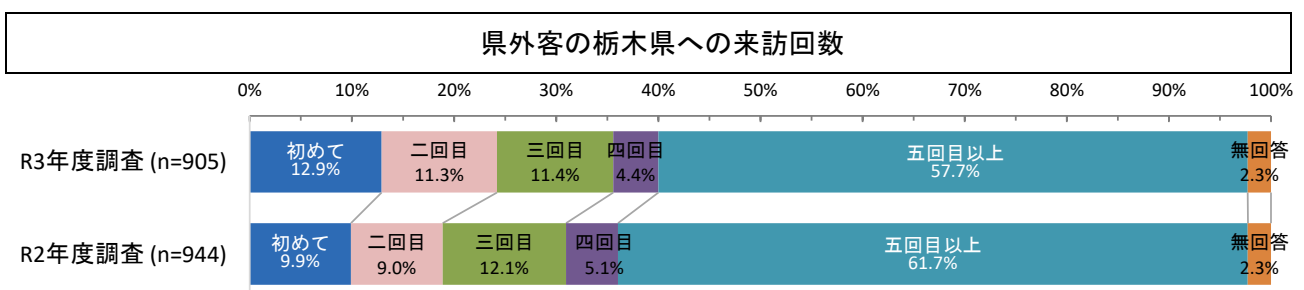
栃木県内での宿泊日数は、「1泊」が令和2（2020）年度調査では87.2%だったが、令和3（2021）年度は76.9%と10.3ポイント減少した。一方、2泊以上の宿泊者の割合は令和2（2020）年度調査と比較して7.8ポイント増加した。平均宿泊日数は、令和2（2020）年度は1.19泊、令和3（2021）年度は1.38泊と増加した。



旅行先に選んだ理由は、最も多かった「温泉に入りたいから」が令和2（2020）年度調査では49.8%であったが、令和3（2021）年度調査では43.7%と6.1ポイント減少した。一方、次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は令和2（2020）年度調査の28.3%に対し、令和3（2021）年度調査では33.0%と4.7ポイント増加した。



県外客の栃木県への来訪回数は、「五回目以上」が令和2（2020）年度調査では61.7%であったが、令和3（2021）年度調査では57.7%と4.0ポイント減少した。一方、「初めて」は令和2（2020）年度調査の9.9%に対し、令和3（2021）年度調査では12.9%と3.0ポイント増加した。

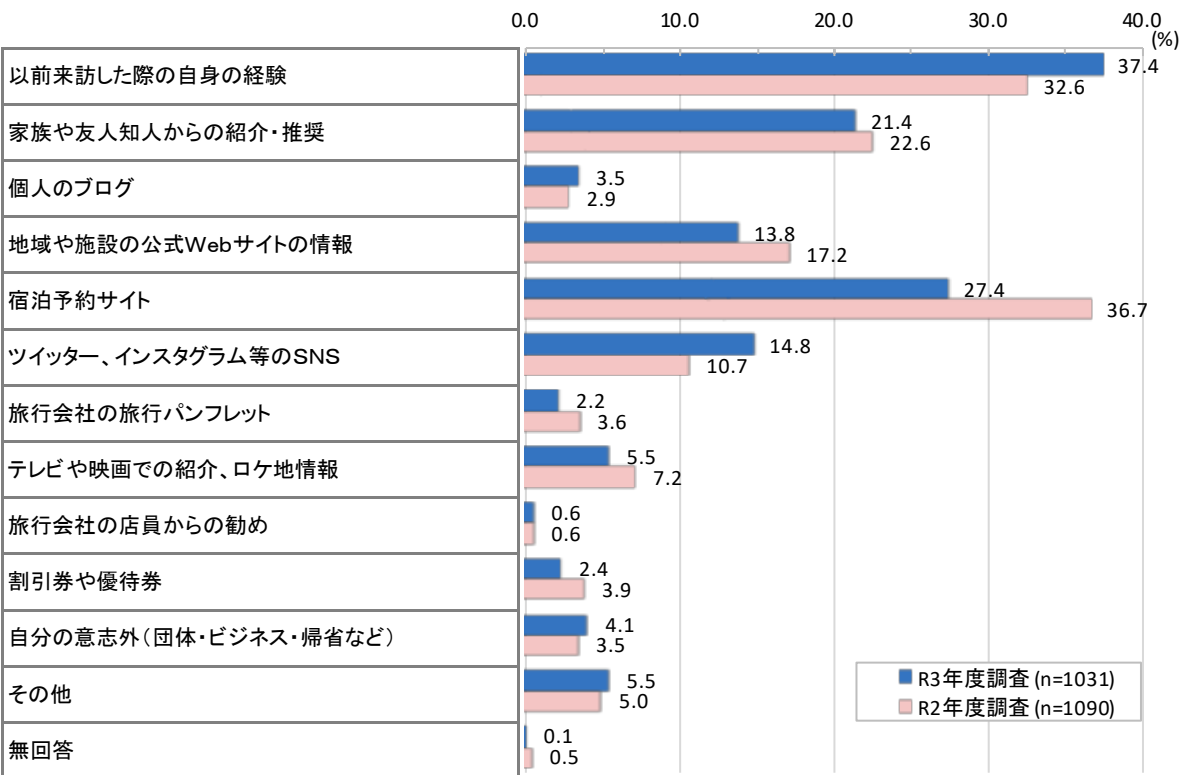


第2章 観光客調査 調査結果

2. 宿泊客 (1) 県全体

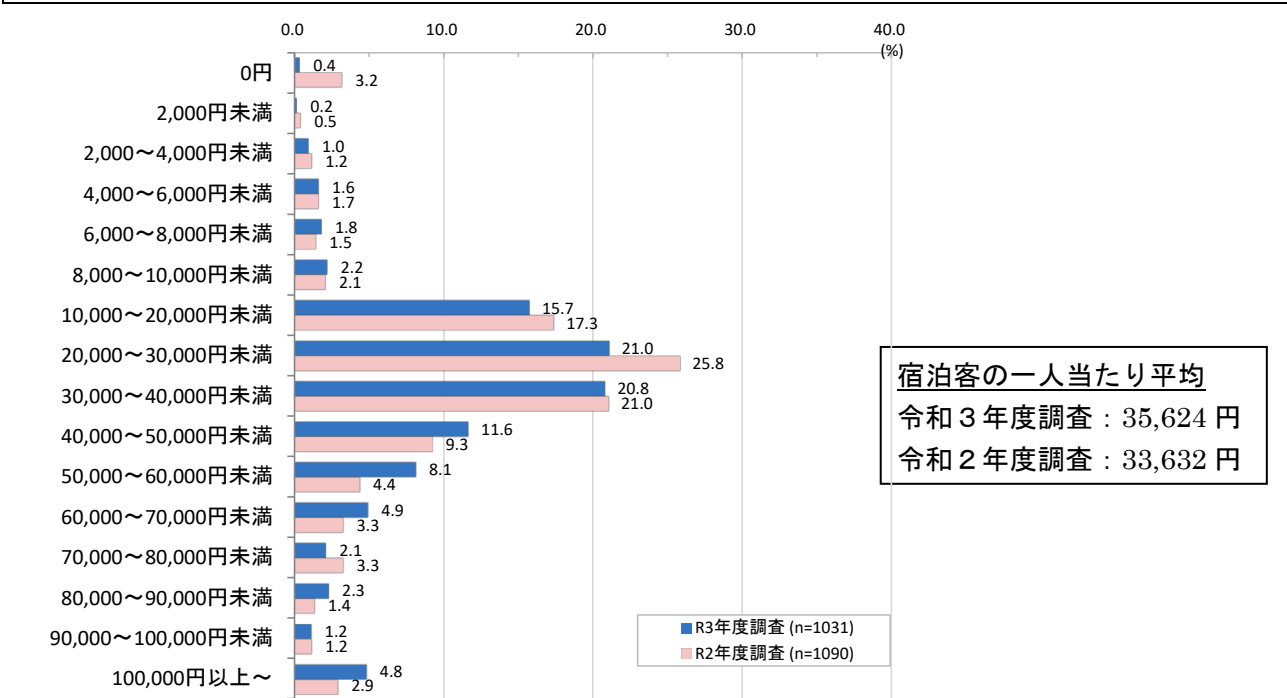
旅行先に選んだ情報源は、令和3（2021）年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が37.4%で最も多く、令和2（2020）年度調査の32.6%に対し4.8ポイント増加した。一方、「宿泊予約サイト」は令和2（2020）年度調査では36.7%であったが、令和3（2021）年度調査では27.4%と9.3ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



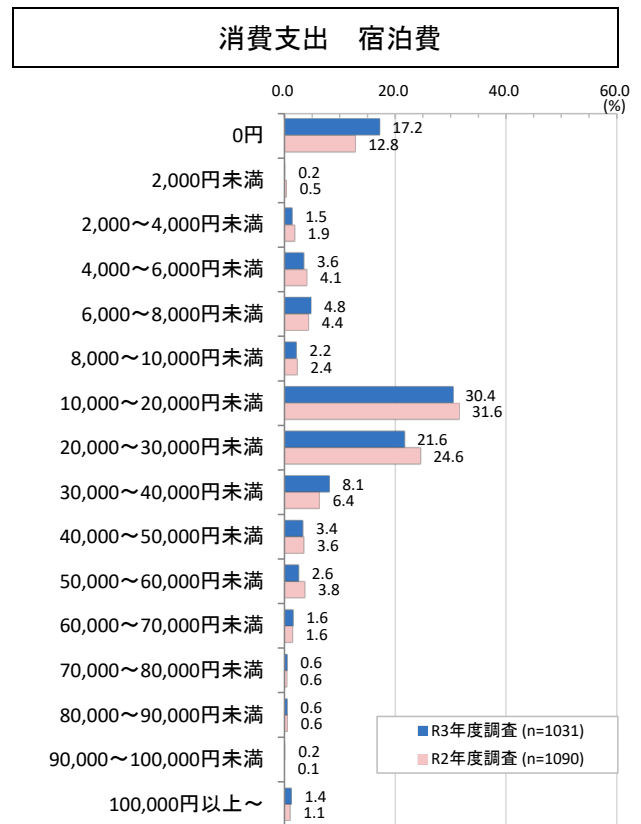
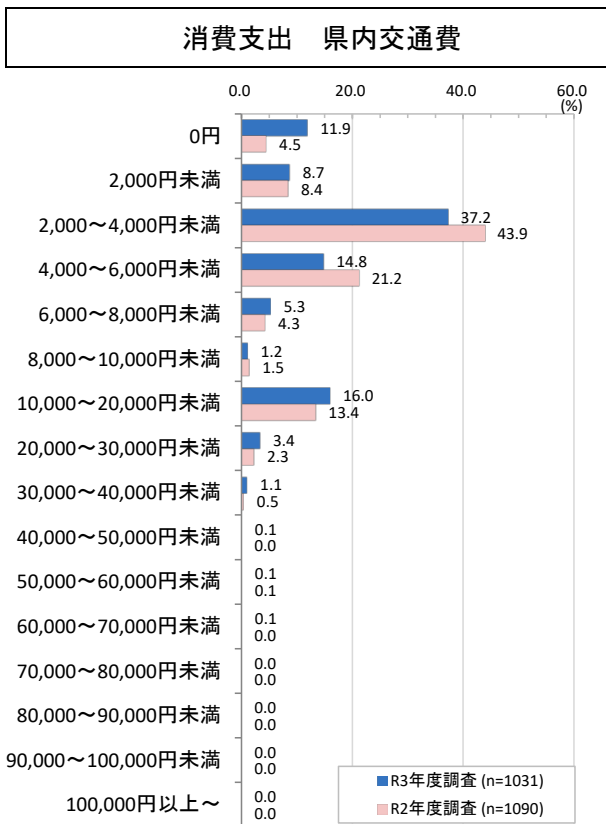
消費支出の総額は、「20,000～30,000円未満」は令和2（2020）年度調査の25.8%に対し、令和3（2021）年度調査では21.0%と4.8ポイント減少した。一方、「50,000～60,000円未満」の割合は令和2（2020）年度調査と比較して3.7ポイント増加した。宿泊客の一人当たり平均は、令和2（2020）年度調査では33,632円であったが、令和3（2021）年度調査では35,624円と増加した。

消費支出（総額）

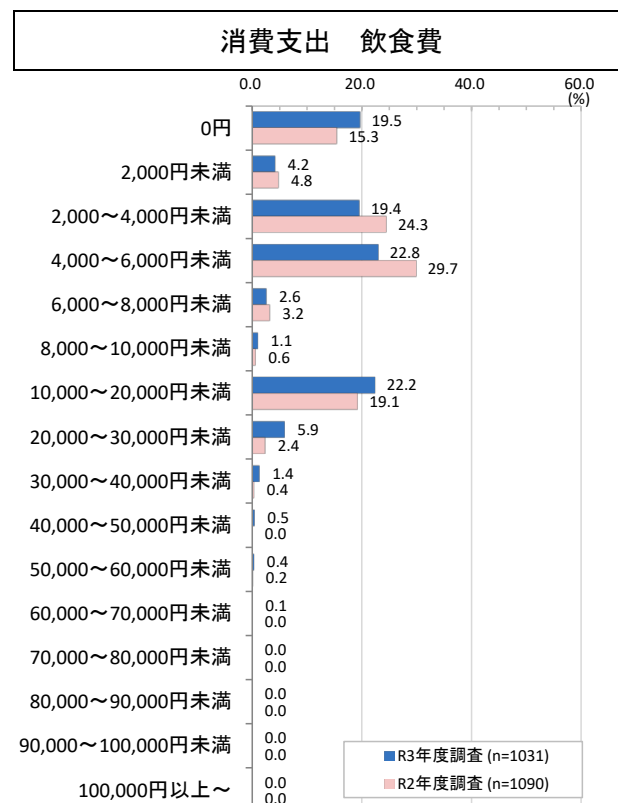
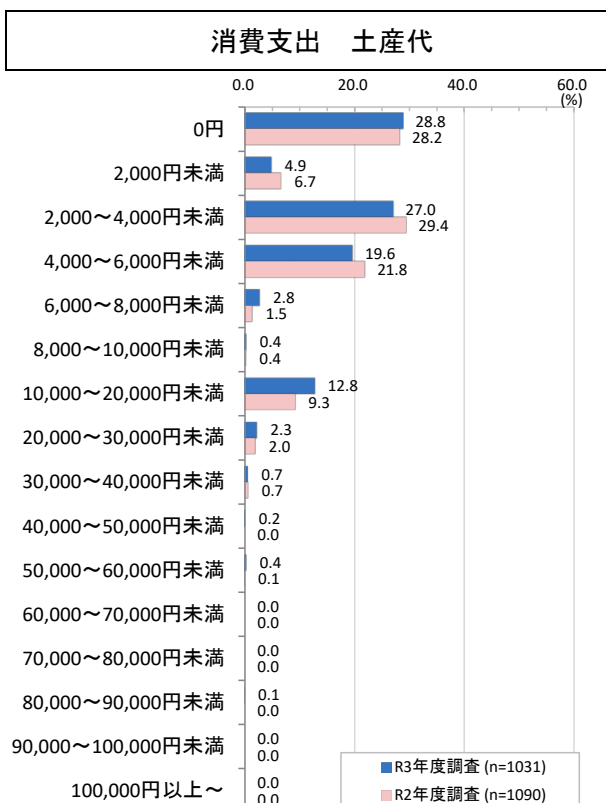


宿泊客の一人当たり平均
 令和3年度調査：35,624円
 令和2年度調査：33,632円

県内交通費は、「0円」(回答がなかった方を含む)が令和2(2020)年度調査の4.5%に対し、令和3(2021)年度調査は11.9%と7.4ポイント増加した。また、宿泊費も「0円」(回答がなかった方を含む)が令和2(2020)年度調査の12.8%に対し、令和3(2021)年度調査では17.2%と4.4ポイント増加した。一方、「20,000～30,000円未満」は24.6%から21.6%に3.0ポイント減少した。



土産代は、「10,000～20,000円未満」が令和2(2020)年度調査の9.3%に対し、令和3(2021)年度調査では12.8%と3.5ポイント増加した。飲食費は、「4,000～6,000円未満」が令和2(2020)年度調査の29.7%に対し、令和3(2021)年度調査では22.8%で6.9ポイント減少した。

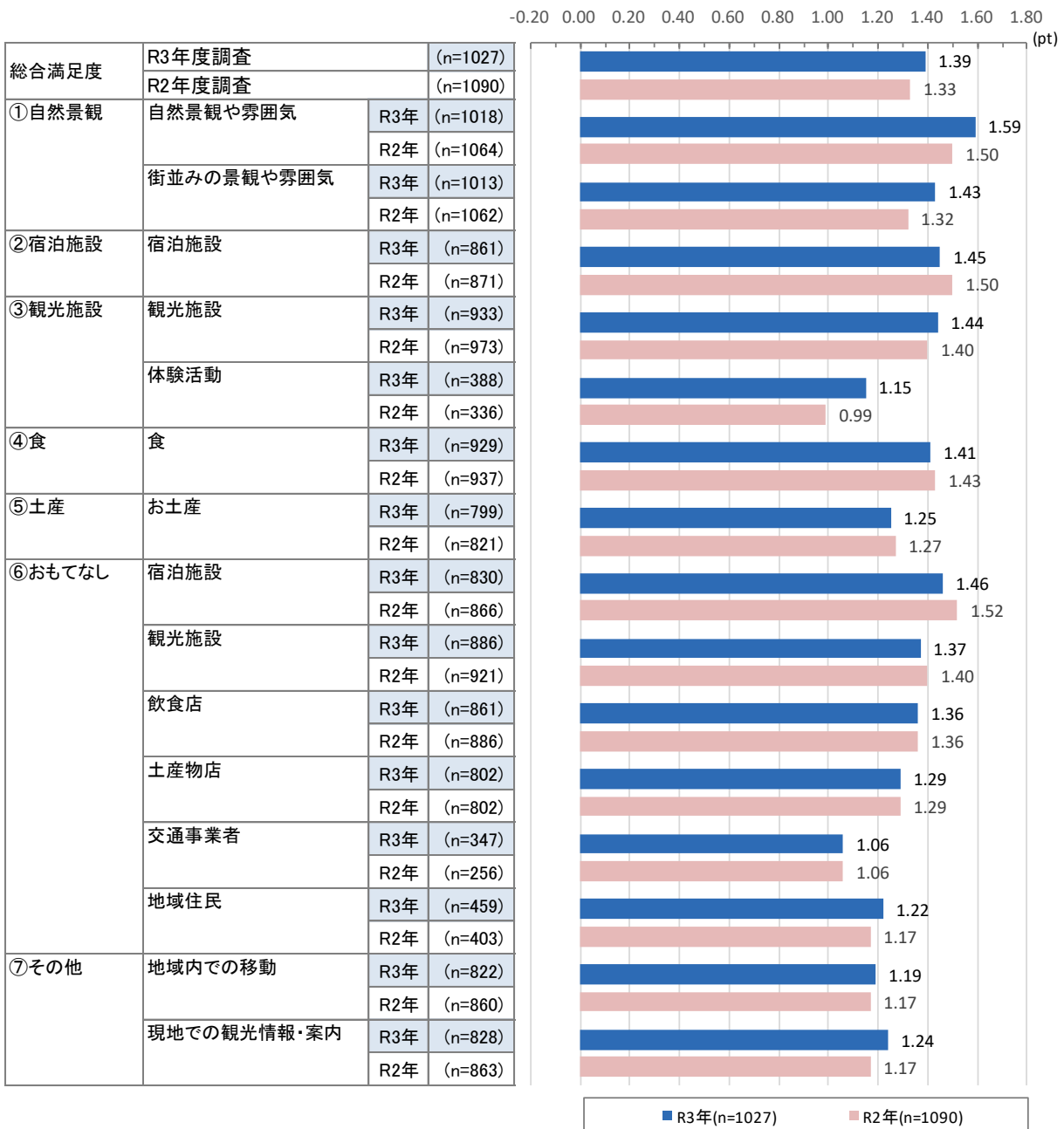


第2章 観光客調査 調査結果

2. 宿泊客 (1) 県全体

総合満足度は、令和3（2021）年度調査では1.39となり、令和2（2020）年度調査の1.33と比較して0.06ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和2（2020）年度は「おもてなし 宿泊施設」が1.52で最も高かったものの、令和3（2021）年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.59で最も高くなった。

項目別満足度（加重平均値）



(2) エリア別

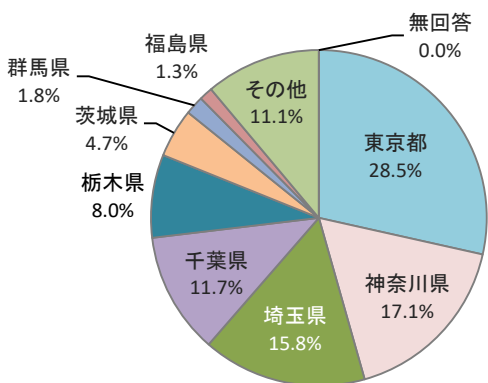
i. 日光エリア

① 令和3(2021)年度調査結果

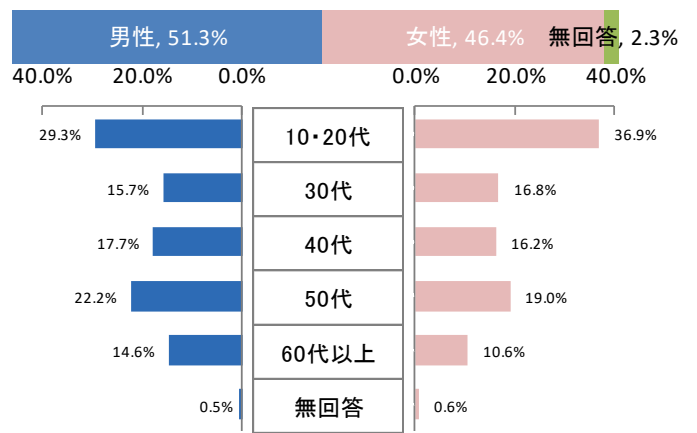
宿泊客(日光エリア) サンプル数：386

お住まいは「東京都」が最も多く28.5%、次いで「神奈川県」が17.1%、「埼玉県」が15.8%であった。年代は、男性は「10・20代」が29.3%で最も多く、女性も同じく「10・20代」が36.9%で最多となった。
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が30.1%で最も多かった。
同行者数は「2人」が52.3%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が23.6%で最も多かった。

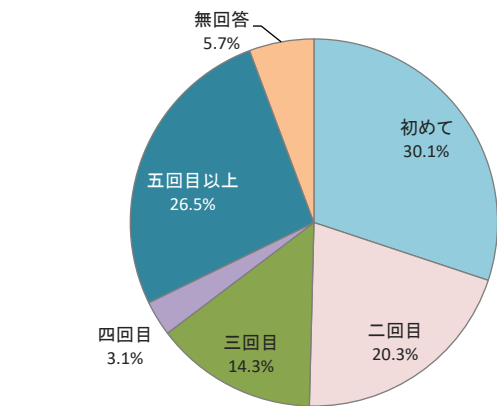
お住まい (n=386)



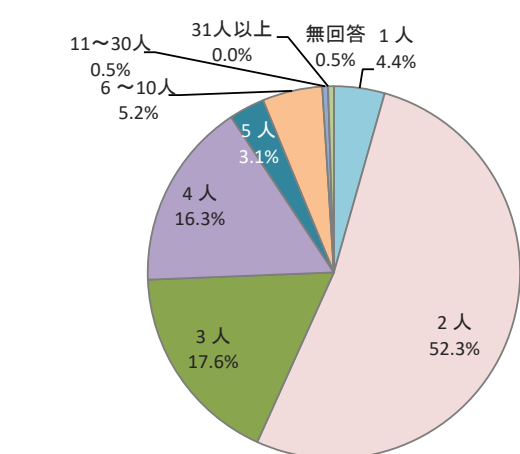
性別・年代 (n=386)



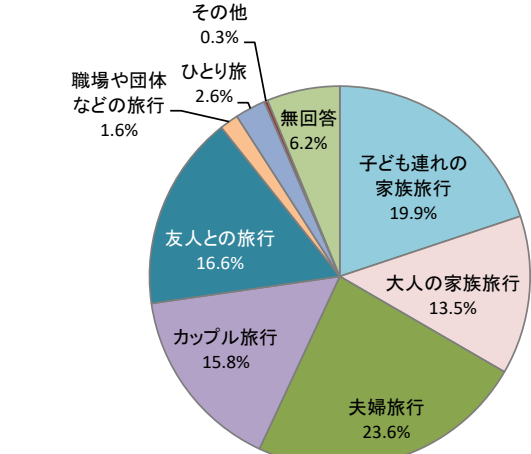
調査地域周辺への来訪回数 (n=385)



同行者数 ※回答者を含む (n=386)

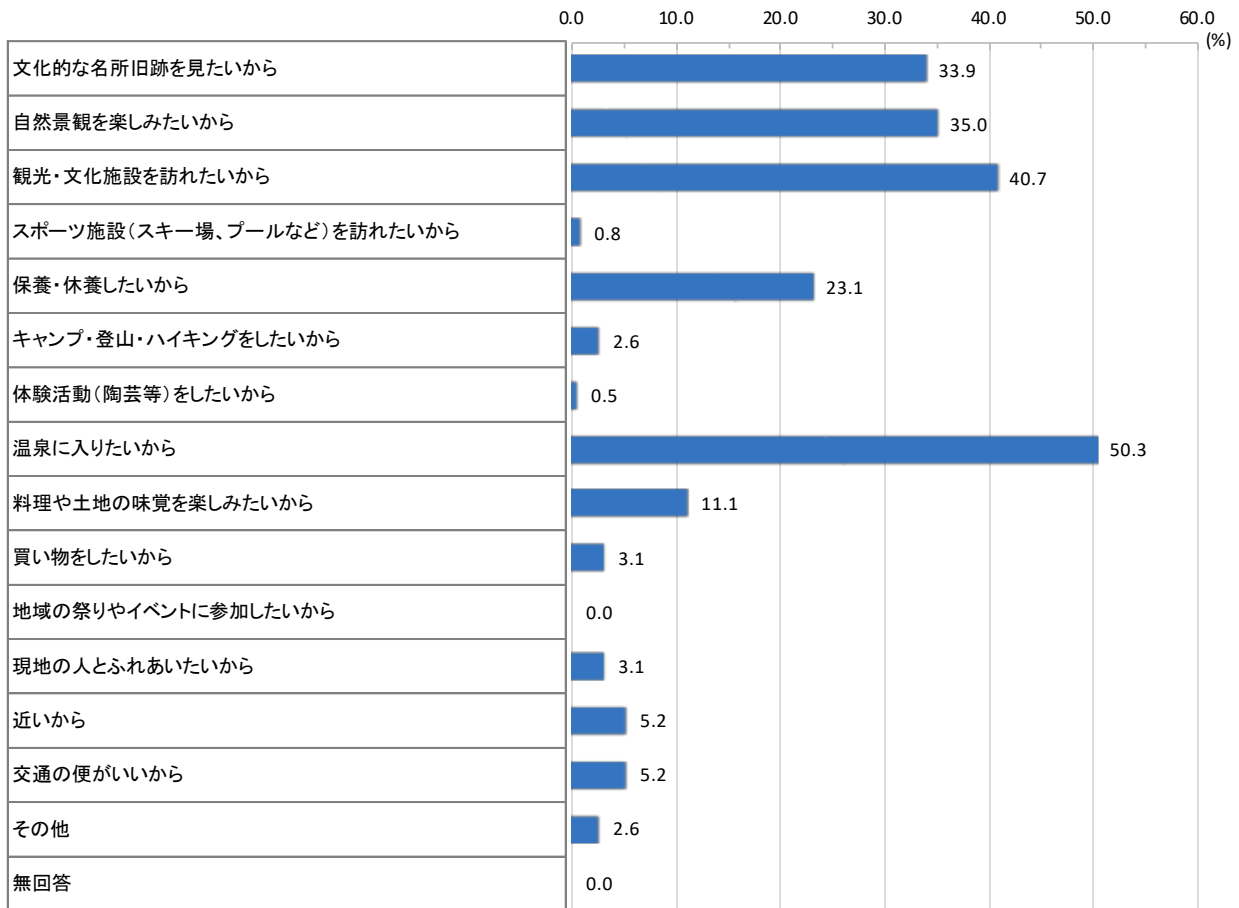


同行者の関係 (n=386)



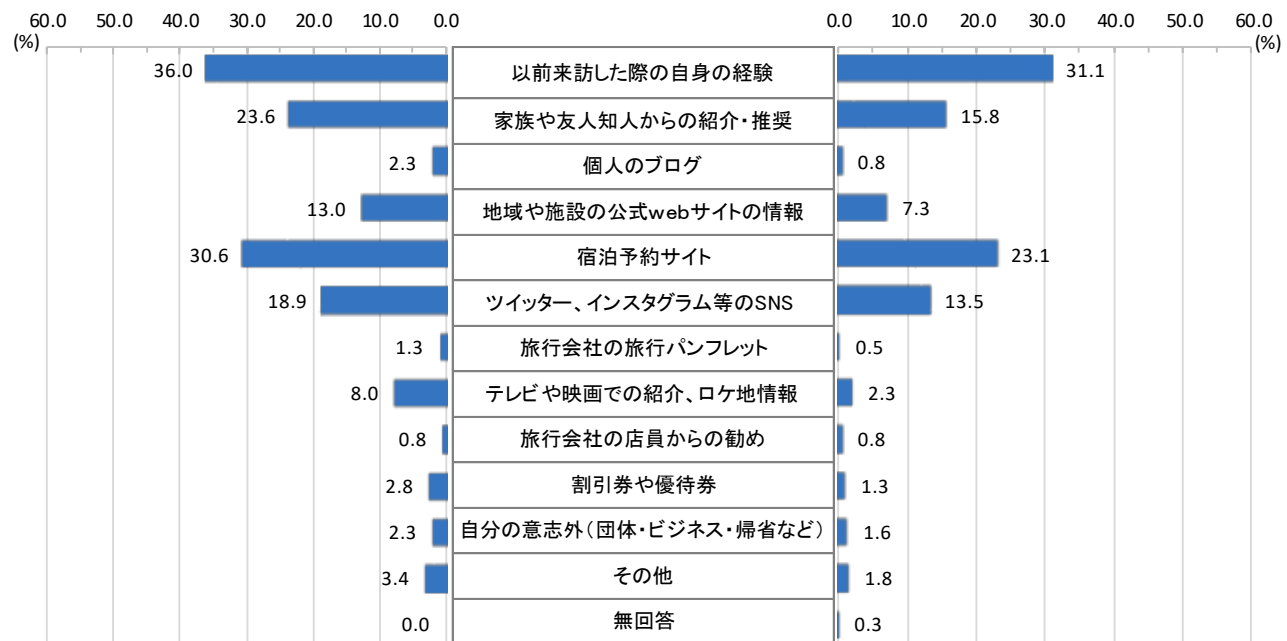
旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が50.3%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が40.7%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が36.0%で最も多く、「決め手」となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が31.1%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=386）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=386）

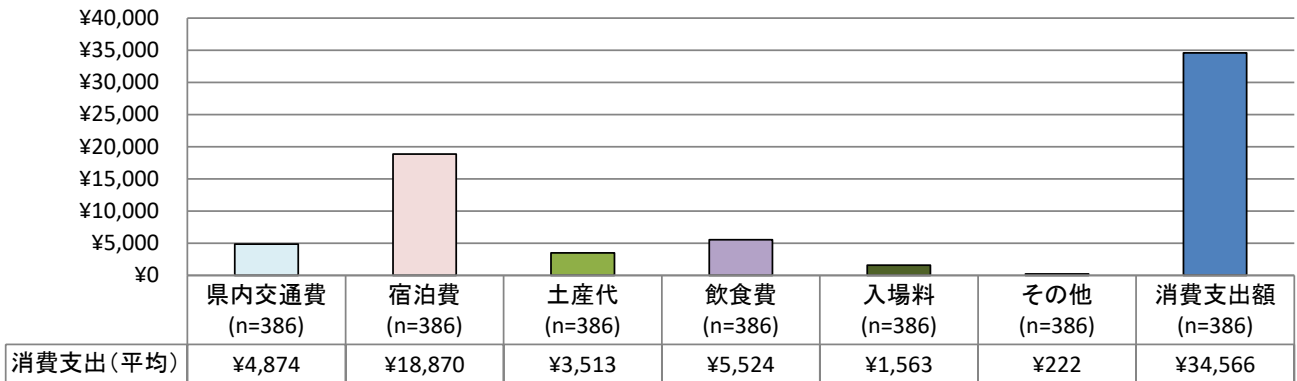
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=386）



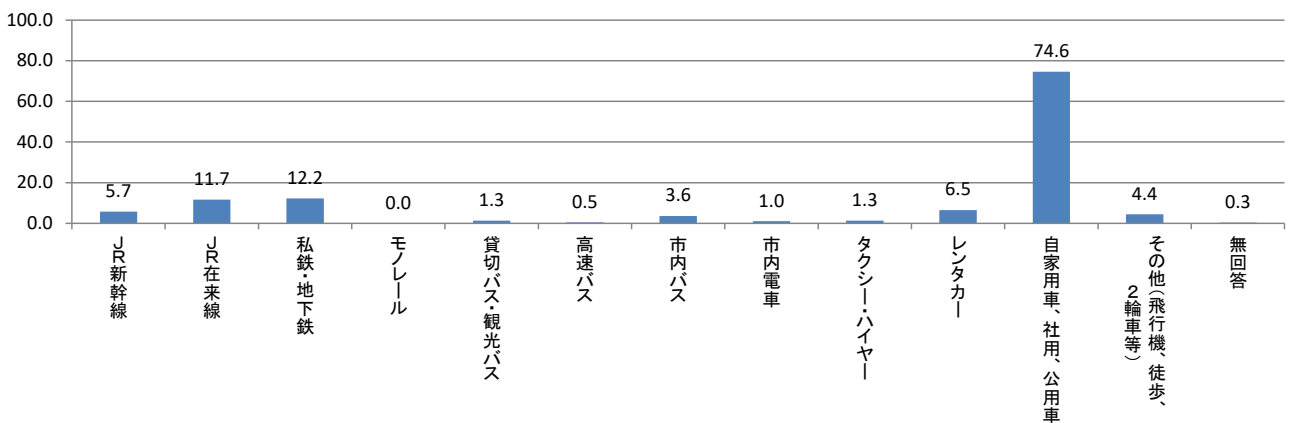
消費支出の平均は、総額で 34,566 円であった。内訳は、「宿泊費」が 18,870 円で最も多く、次いで「飲食費」が 5,524 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 74.6%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「鬼怒川温泉」が 71 人と最も多く、次いで「二社一寺」が 33 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=386)



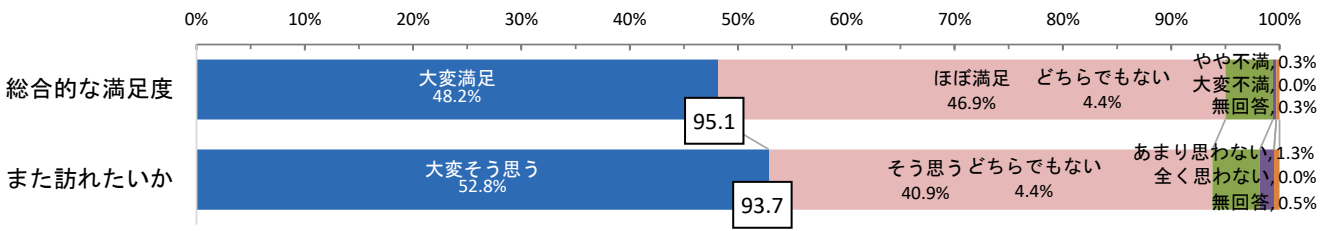
立ち寄り観光施設 (n=386) ※ () 内は施設に立ち寄った人数

日光	日光	県央
鬼怒川温泉(71)	戦場ヶ原・小田代原(2)	大谷資料館(2)
二社一寺(33)	明智平(1)	ろまんちっく村(1)
中禅寺湖(18)	二荒山神社中宮祠(1)	県南
日光湯元温泉(10)	東武ワールドスクウェア(1)	あしかがフラワーパーク(3)
華厳ノ滝(7)	那須	佐野プレミアム・アウトレット(3)
川治温泉(4)	那須高原ビジターセンター(4)	
湯西川温泉(3)	塩原温泉郷(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
東武ワールドスクウェア（8）、二社一寺（1）

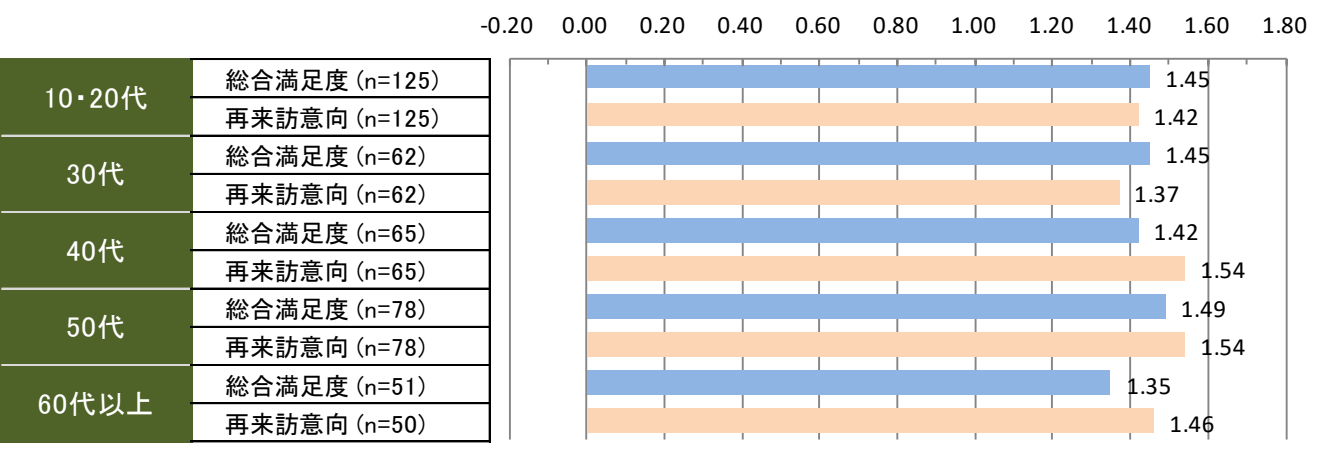
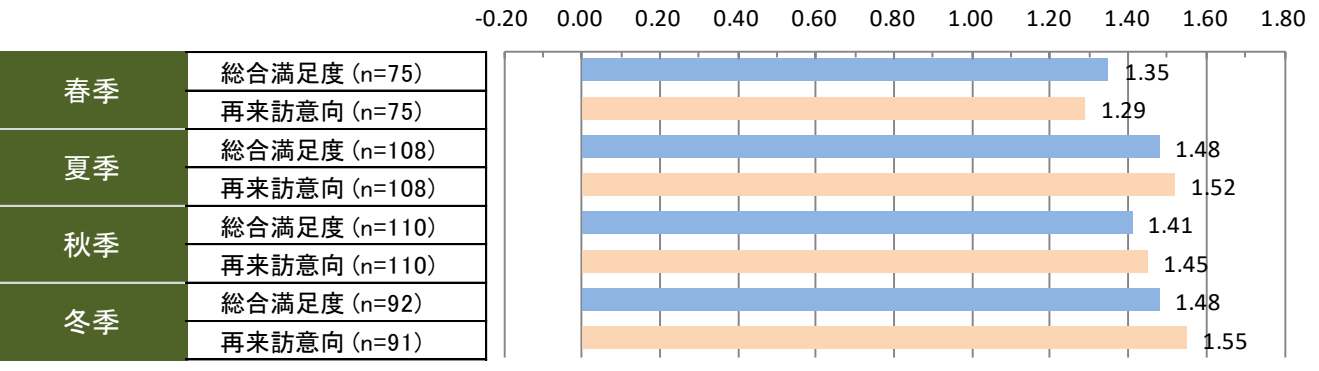
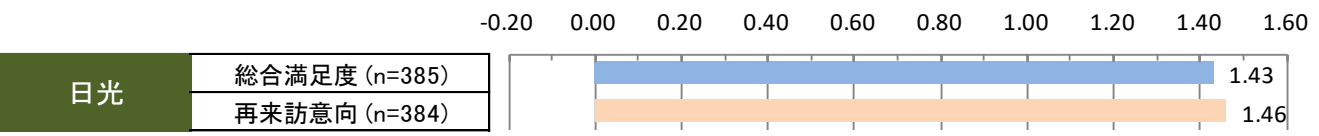
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が95.1%であった。また訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が93.7%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=386)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

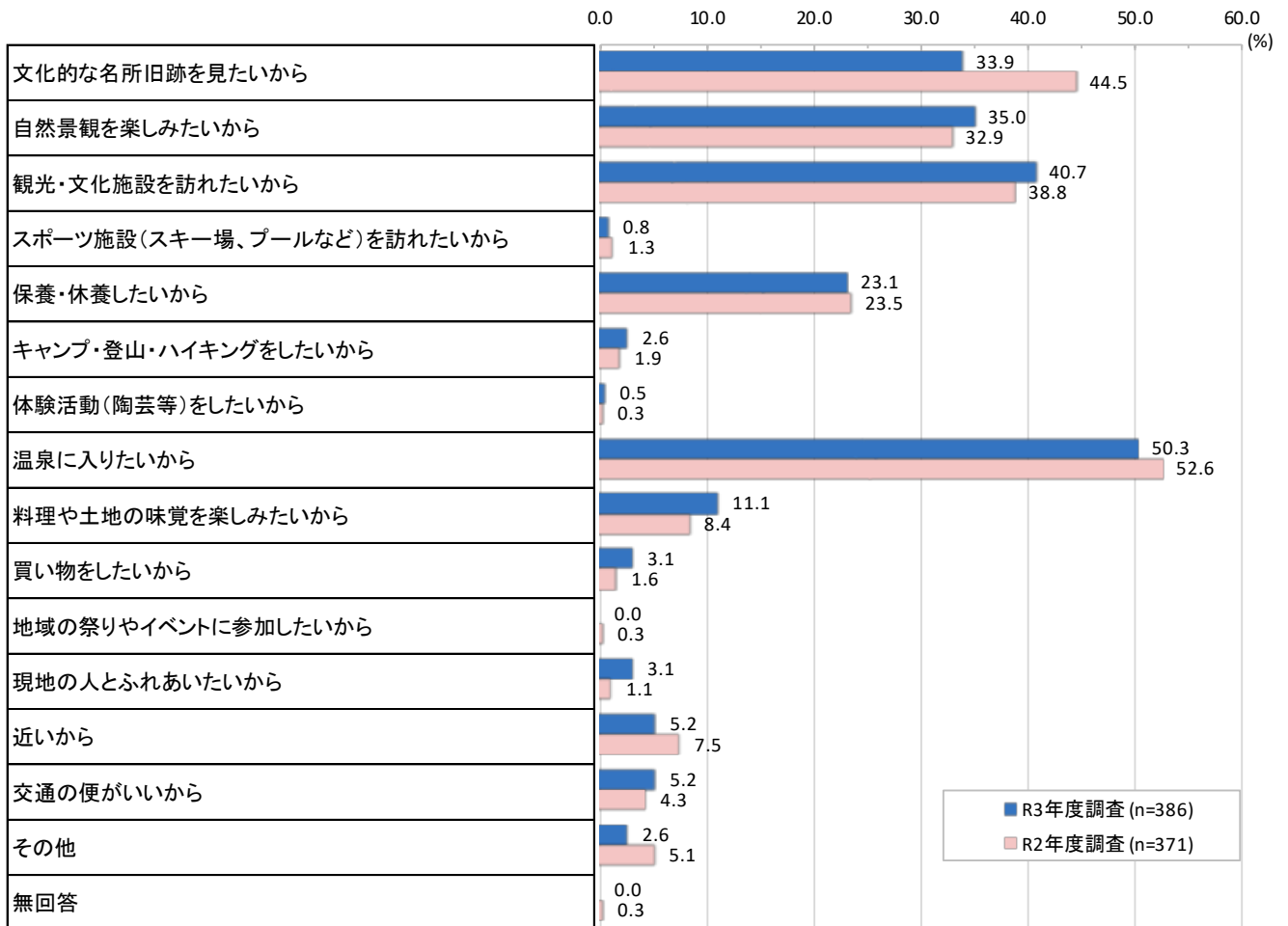
総合満足度を季節別にみると、「夏季」、「冬季」がともに1.48で最も高く、「春季」が1.35で最も低かった。再来訪意向については、「冬季」が1.55で最も高く、「春季」が1.29で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「50代」が1.49で最も高く、「60代以上」が1.35で最も低かった。同様に、再来訪意向については「50代」、「40代」がともに1.54で最も高く、「30代」が1.37で最も低かった。



②過去調査との比較

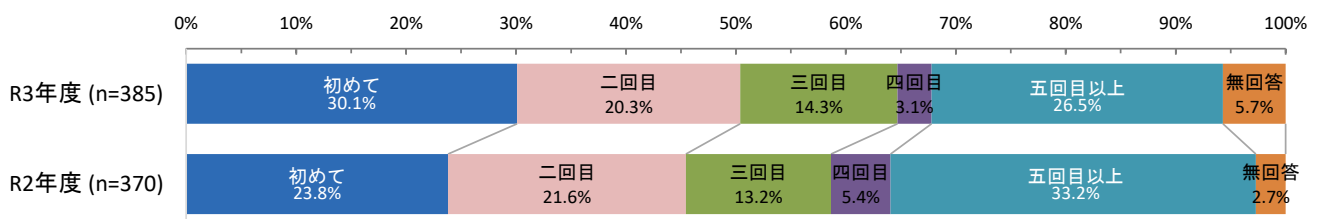
旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が最も多く、令和2（2020）年度調査では52.6%、令和3（2021）年度調査では50.3%と、2.3ポイント減少した。次いで多かった「観光・文化施設を訪れたいから」は、令和2（2020）年度調査では38.8%、令和3（2021）年度調査では40.7%と、1.9ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



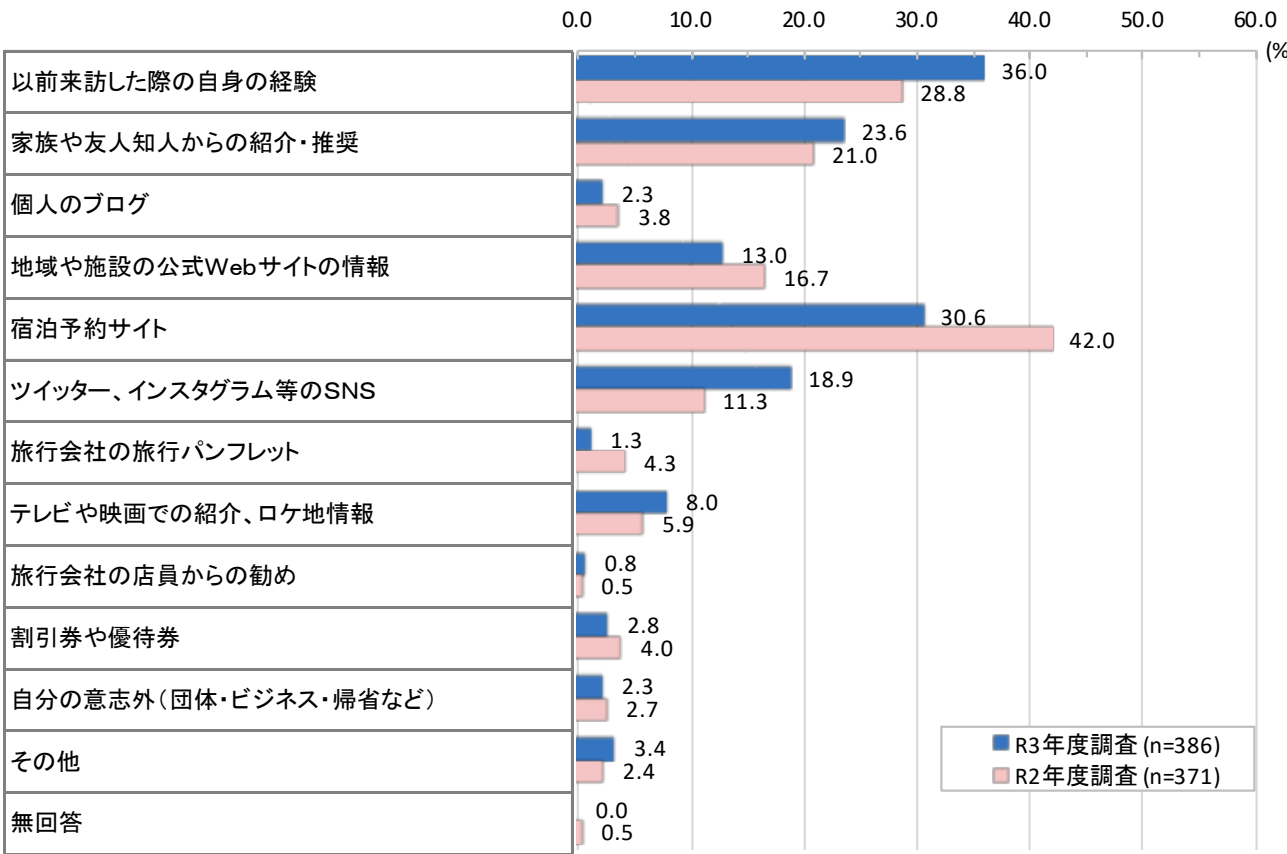
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和2（2020）年度調査では23.8%、令和3（2021）年度調査では30.1%と、6.3ポイント増加した。一方、「五回目以上」は令和2（2020）年度調査で33.2%であったが、令和3（2021）年度調査では26.5%と6.7ポイント減少した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



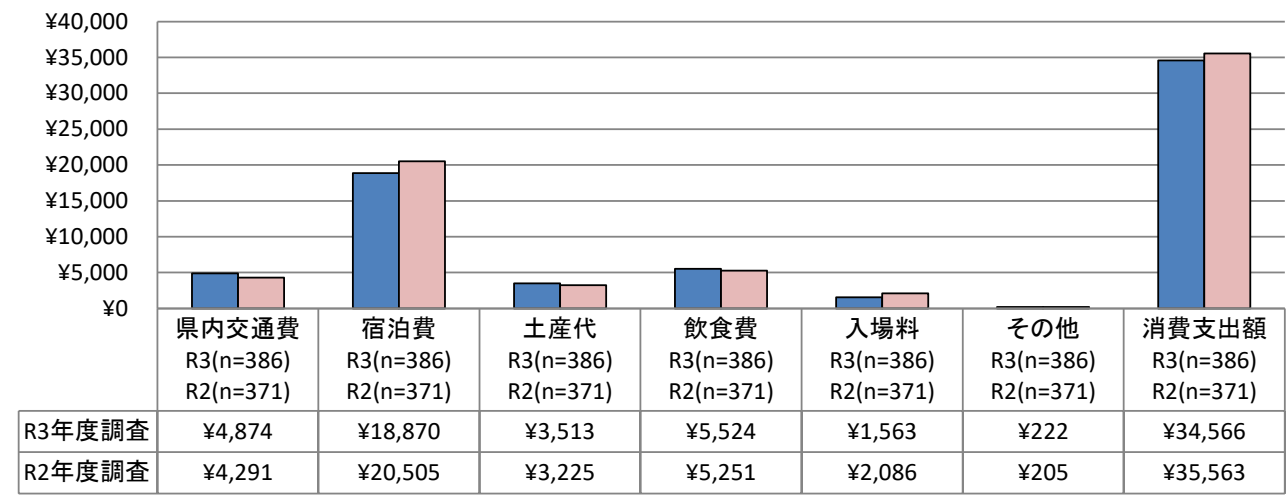
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多くなり、令和2（2020）年度調査では28.8%、令和3（2021）年度調査では36.0%と7.2ポイント増加した。一方、次いで多かった「宿泊予約サイト」は令和2（2020）年度調査では42.0%であったが、令和3（2021）年度調査では30.6%と11.4ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



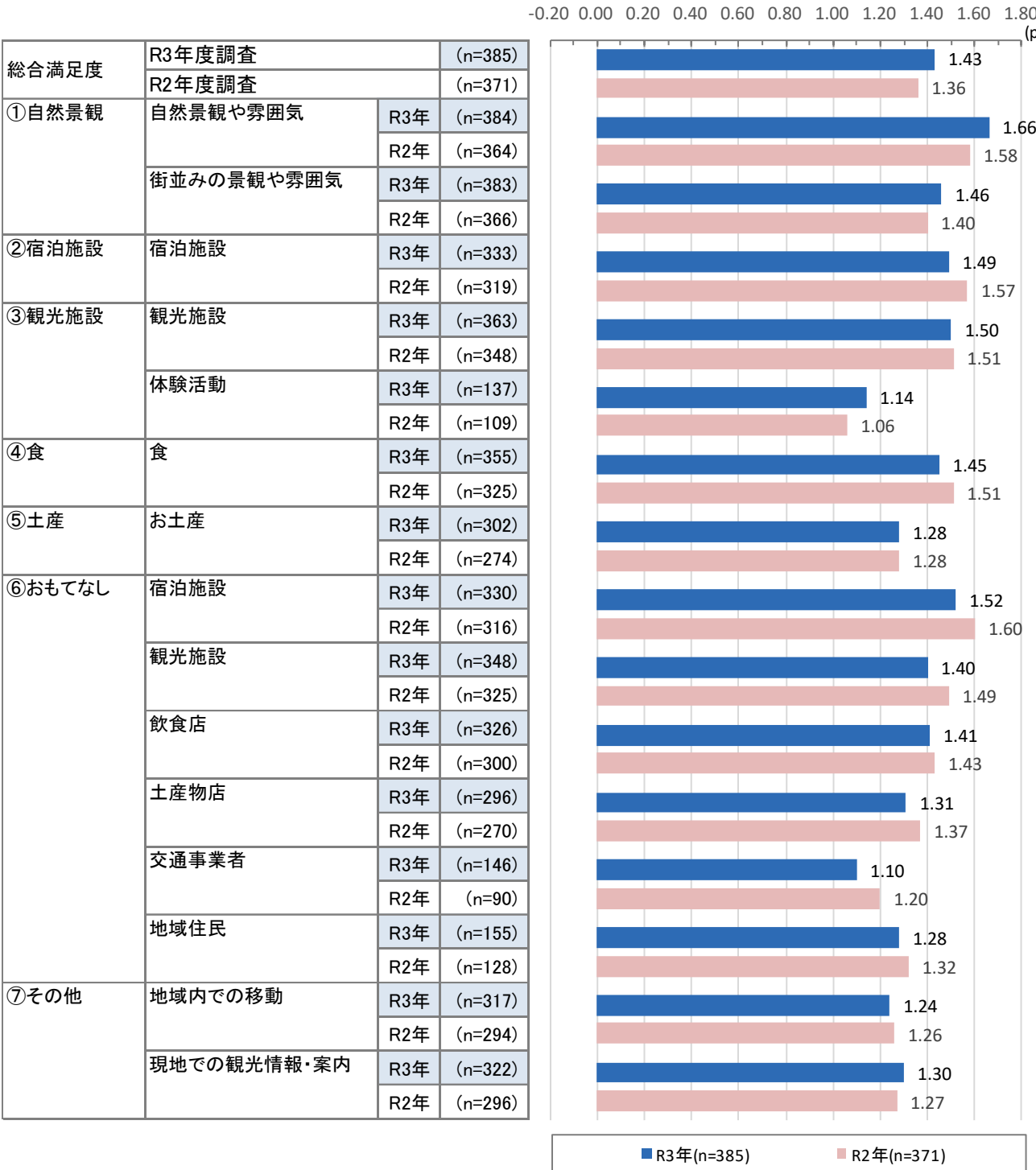
消費支出の総額は、令和2（2020）年度調査では35,563円だったが、令和3（2021）年度調査では34,566円に減少した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和2(2020)年度調査では1.36、令和3(2021)年度調査では1.43と0.07ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和2(2020)年度調査では「おもてなし 宿泊施設」が1.60で最も高く、令和3(2021)年度調査は「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.66で最も高くなった。

項目別満足度 (加重平均値)



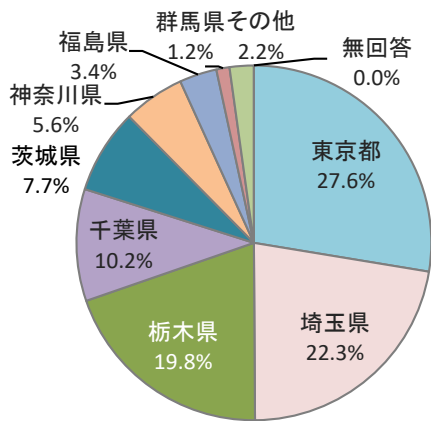
ii. 那須エリア

① 令和3(2021)年度調査結果

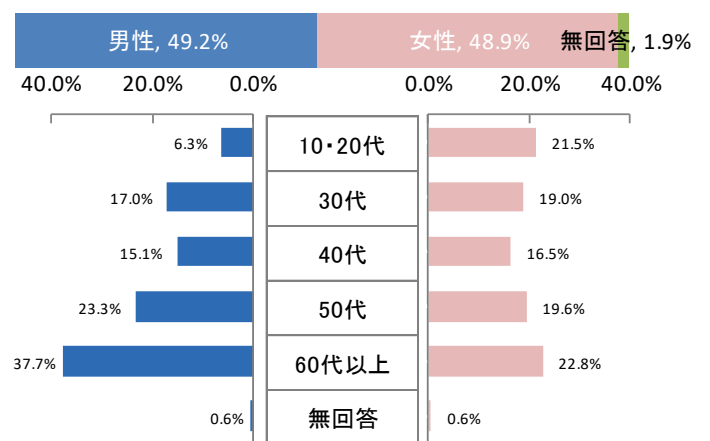
宿泊客 (那須エリア) サンプル数 : 323

お住まいは「東京都」が最も多く 27.6%、次いで「埼玉県」が 22.3%、「栃木県」が 19.8%であった。年代は、男性は「60代以上」が 37.7%で最も多く、女性も同じく「60代以上」が 22.8%で最多であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが 65.1%で最も多かった。
同行者数は「2人」が 50.5%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 31.0%で最も多かった。

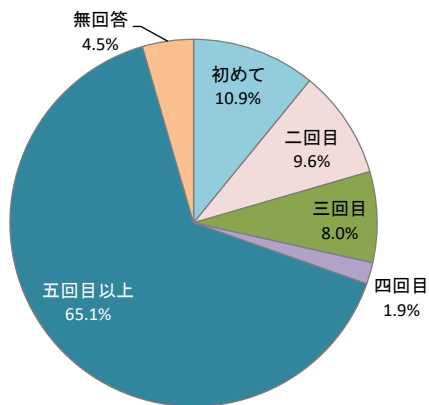
お住まい (n=323)



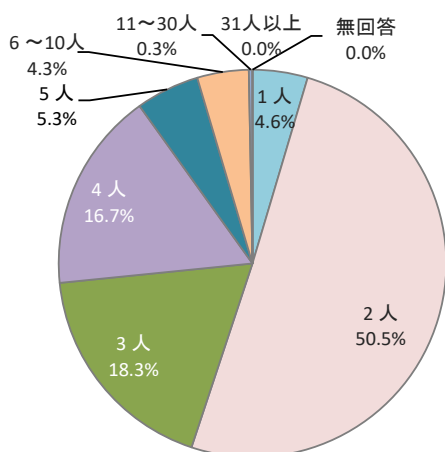
性別・年代 (n=323)



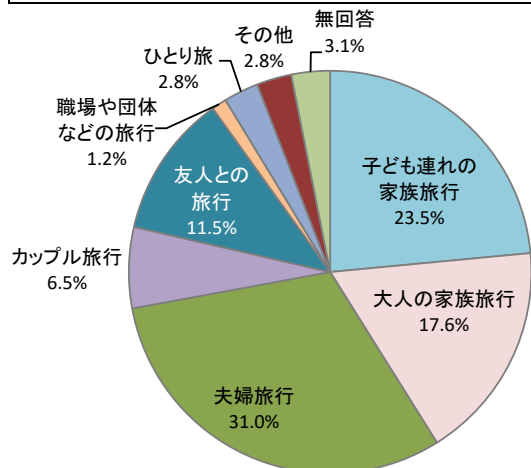
調査地域周辺への来訪回数 (n=312)



同行者数 ※回答者を含む (n=323)

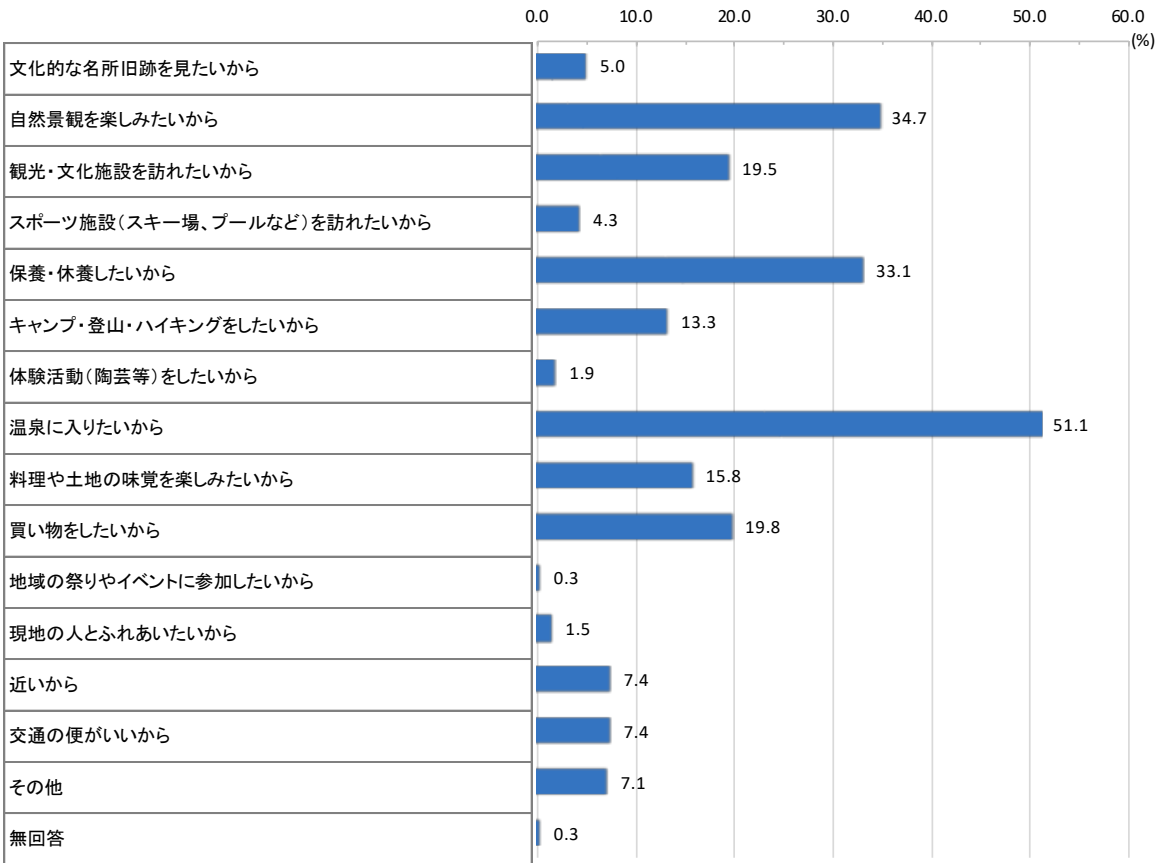


同行者の関係 (n=323)



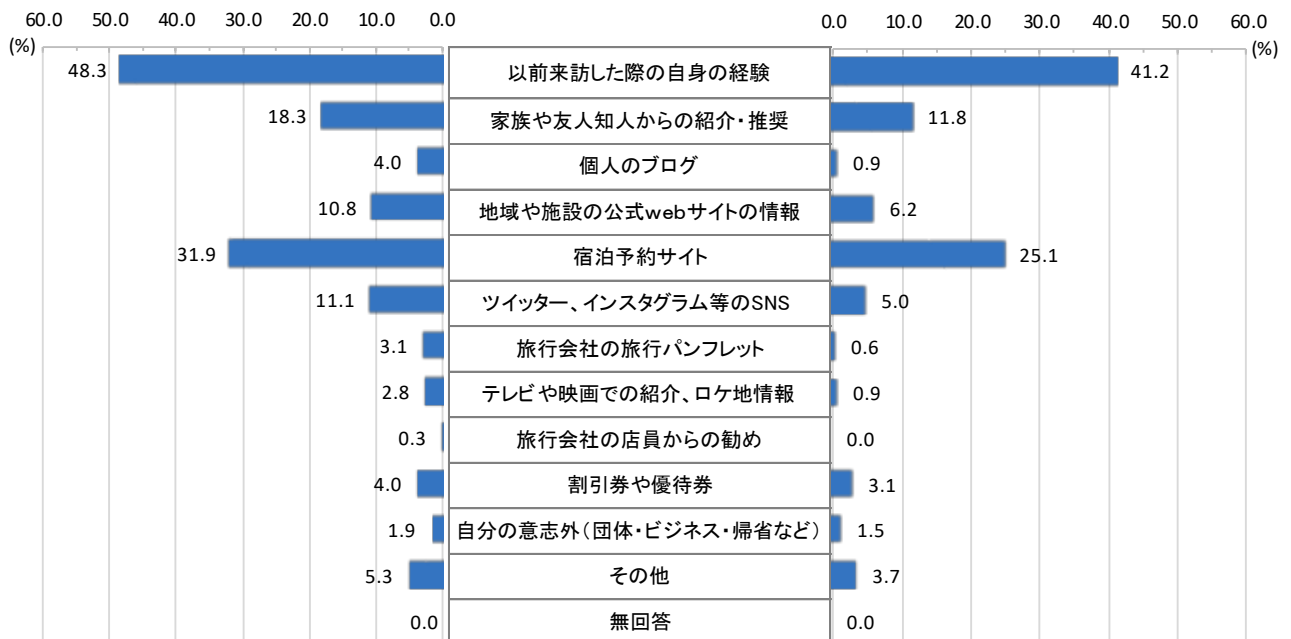
旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が51.1%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が34.7%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が48.3%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が41.2%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由 (複数回答) (n=323)



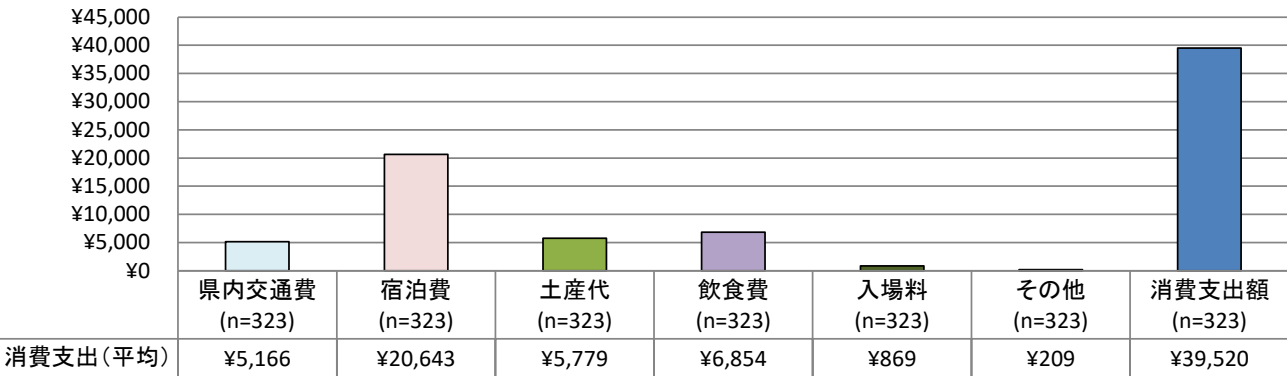
旅行先に選んだ情報源 (複数回答) (n=323)

“決め手”となった情報源 (単一回答) (n=323)

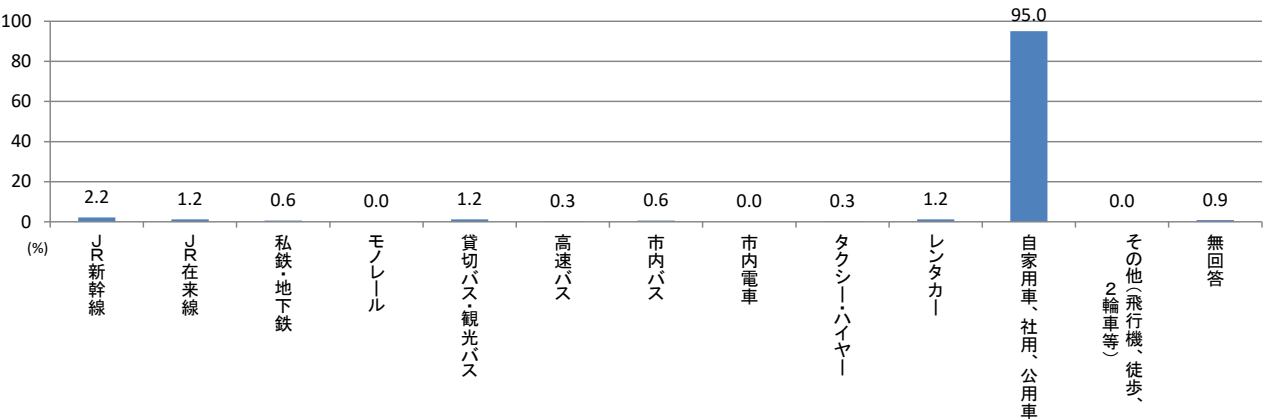


消費支出の平均は、総額で 39,520 円であった。内訳は、「宿泊費」が 20,643 円で最も多く、次いで「飲食費」が 6,854 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 95.0%であった。立ち寄り観光施設は、「千本松牧場」が 14 人で最も多く、次いで「塩原温泉郷」が 10 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=323）

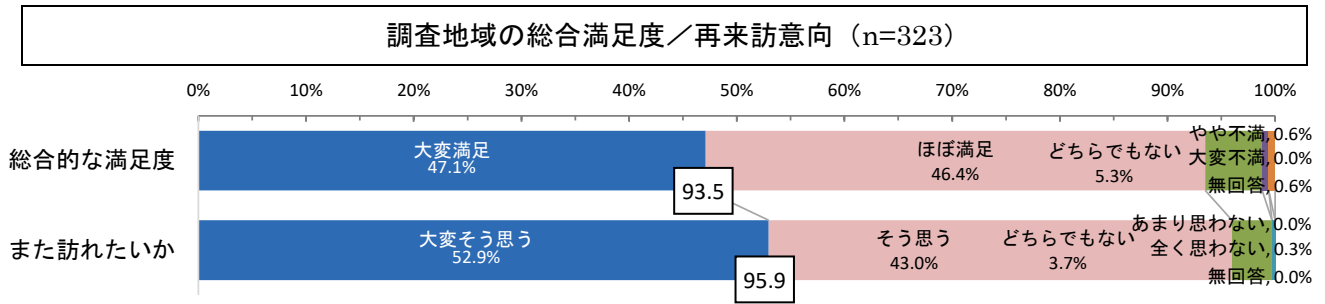


立ち寄り観光施設（n=326）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

那須	那須	那須
千本松牧場(14)	もみじ谷大吊橋(3)	トリックアートの館(1)
塩原温泉郷(10)	那須平成の森フィールドセンター(3)	日光
那須どうぶつ王国(7)	那須クラシックカー博物館(2)	鬼怒川温泉(4)
那須サファリパーク(6)	東山道伊王野(2)	とりつくあーとぴあ日光(2)
ホテルサンバレー那須(6)	那須ワールドモンキーパーク(1)	龍王峡(1)
那須ガーデンアウトレット(6)	キングダム3Dメルヘン水族館(1)	日光だいや川公園オートキャンプ場(1)
南ヶ丘牧場(6)	那須ティニーベア・ミュージアム(1)	日光湯元温泉(1)
那須ハイランドパーク(5)	那須花と体験の森(1)	県央
ホテルエピナール那須(5)	芦野温泉(1)	ろまんちっく村(1)
りんどう湖LAKE VIEW(4)	板室温泉郷(1)	道の駅きつれがわ(1)
道の駅やいた(3)	那須岳(茶臼岳)(1)	県東
那須オルゴール美術館(3)	那須ステンドグラス美術館(1)	道の駅にのみや(1)
那須高原ビジターセンター(3)	那須ロープウェイ(1)	
アグリパル塩原(3)	那須野が原博物館(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
那須ガーデンアウトレット（1）、アグリパル塩原（1）

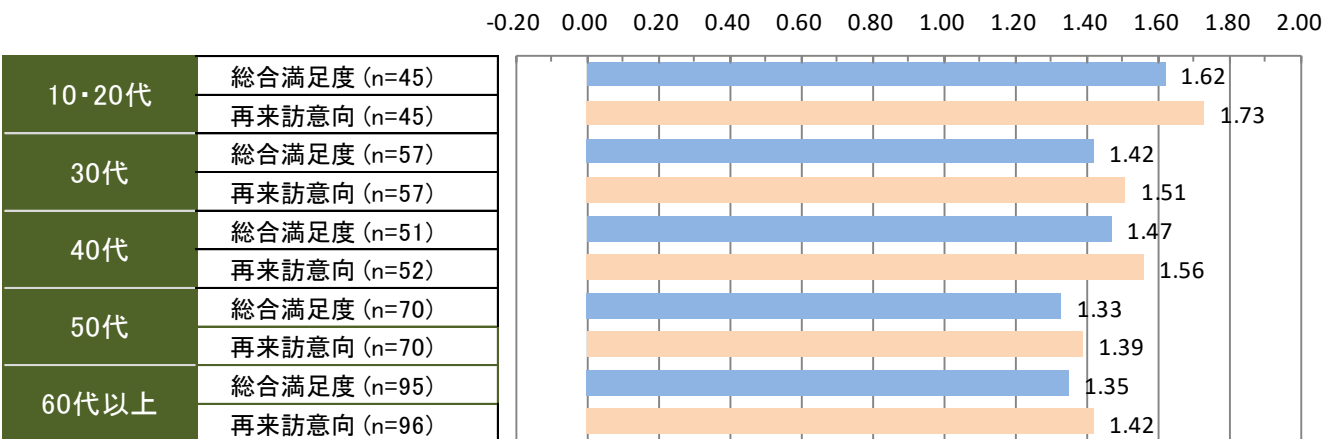
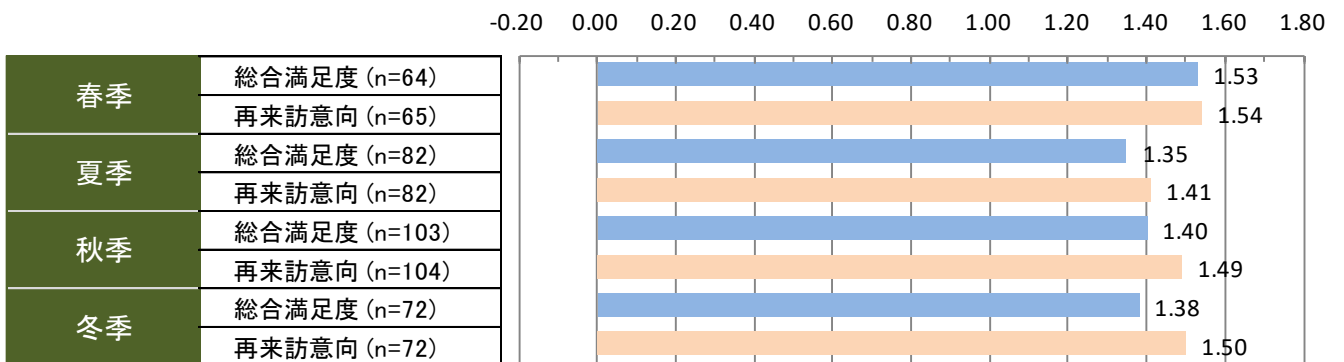
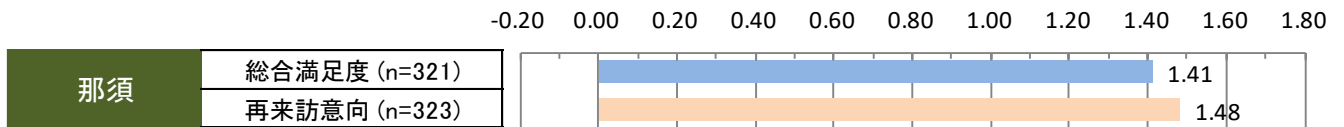
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が93.5%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が95.9%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「春季」が1.53で最も高く、「夏季」が1.35で最も低かった。再来訪意向についても「春季」が1.54で最も高く、「夏季」が1.41で最も低かった。

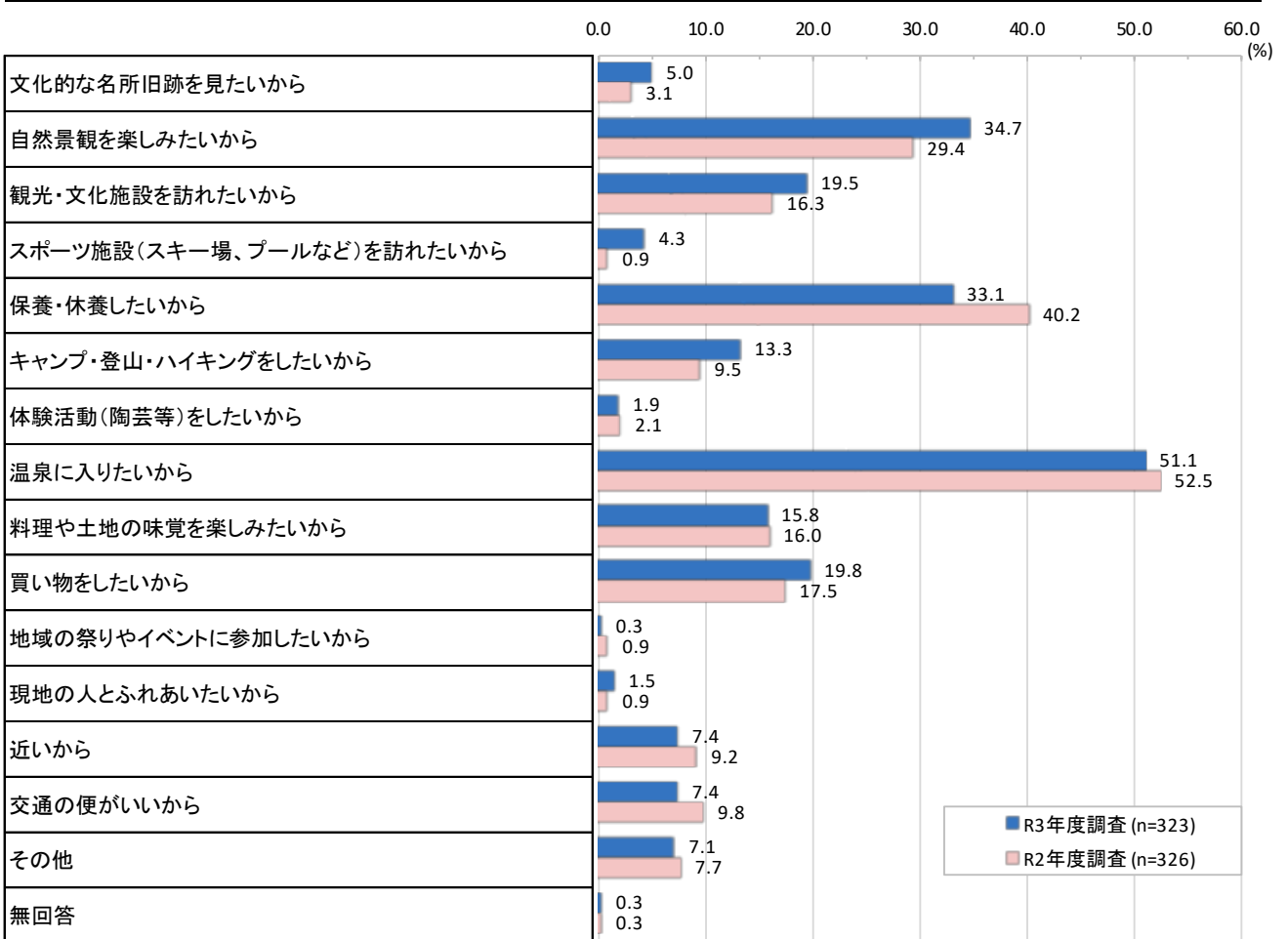
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.62で最も高く、「50代」が1.33で最も低かった。再来訪意向についても「10・20代」が1.73で最も高く、「50代」が1.39で最も低かった。



②過去調査との比較

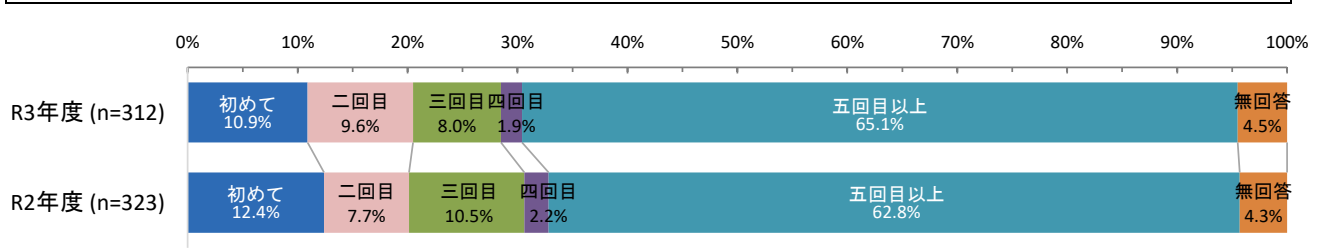
旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が最も多く、令和2（2020）年度調査では52.5%であったが、令和3（2021）年度調査では51.1%と1.4ポイント減少した。次いで多かった「自然景観を楽しみたいから」は令和2（2020）年度調査では29.4%、令和3（2021）年度調査では34.7%と5.3ポイント増加した。一方、「保養・休養したいから」は令和2（2020）年度調査では40.2%であったが、令和3（2021）年度調査では33.1%と7.1ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



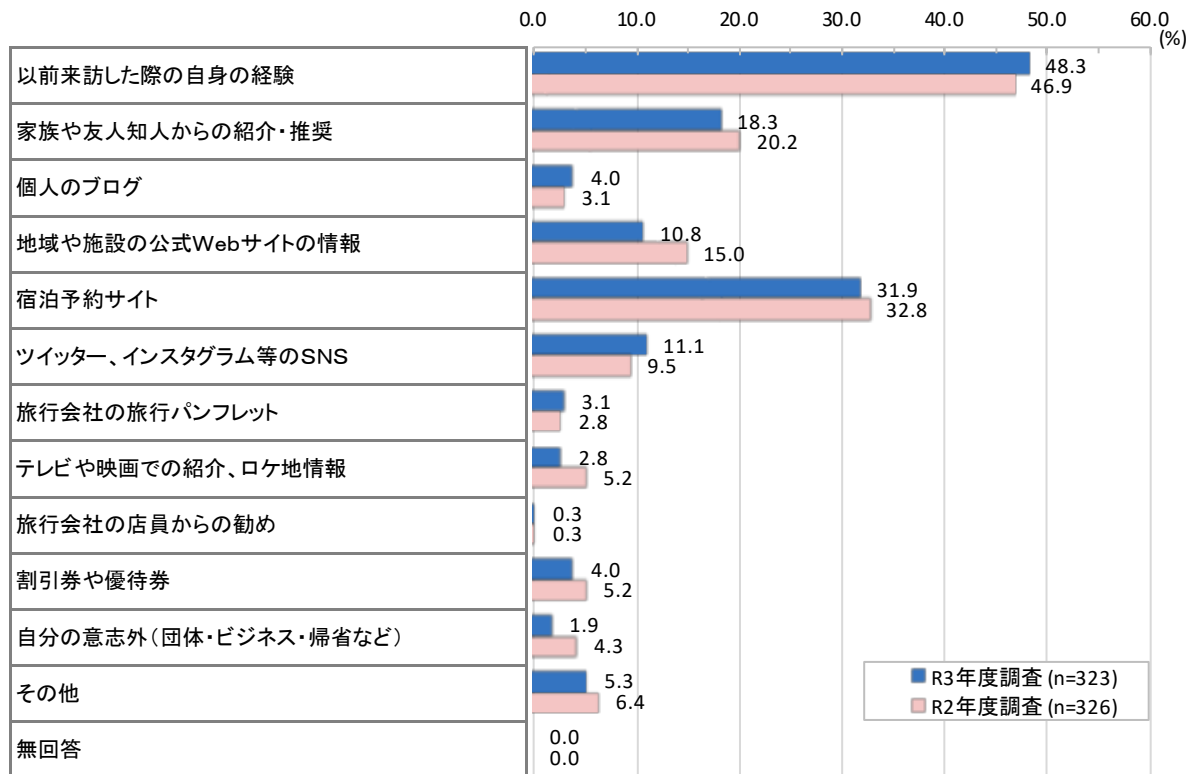
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和2（2020）年度調査では12.4%であったが、令和3（2021）年度調査では10.9%と1.5ポイント減少した。一方、「五回目以上」は令和2（2020）年度調査では62.8%、令和3（2021）年度調査では65.1%と2.3ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



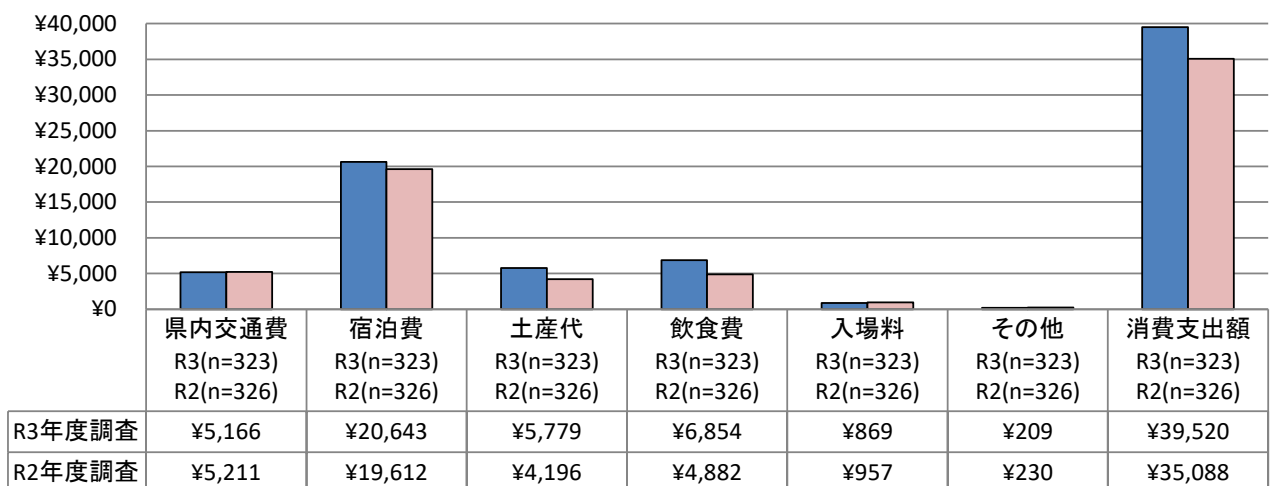
旅行先に選んだ情報源は、最も多かった「以前来訪した際の自身の経験」が、令和2(2020)年度調査では46.9%、令和3(2021)年度調査では48.3%と1.4ポイント増加した。一方、次いで多かった「宿泊予約サイト」は、令和2(2020)年度調査で32.8%だったが、令和3(2021)年度調査では31.9%と0.9ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



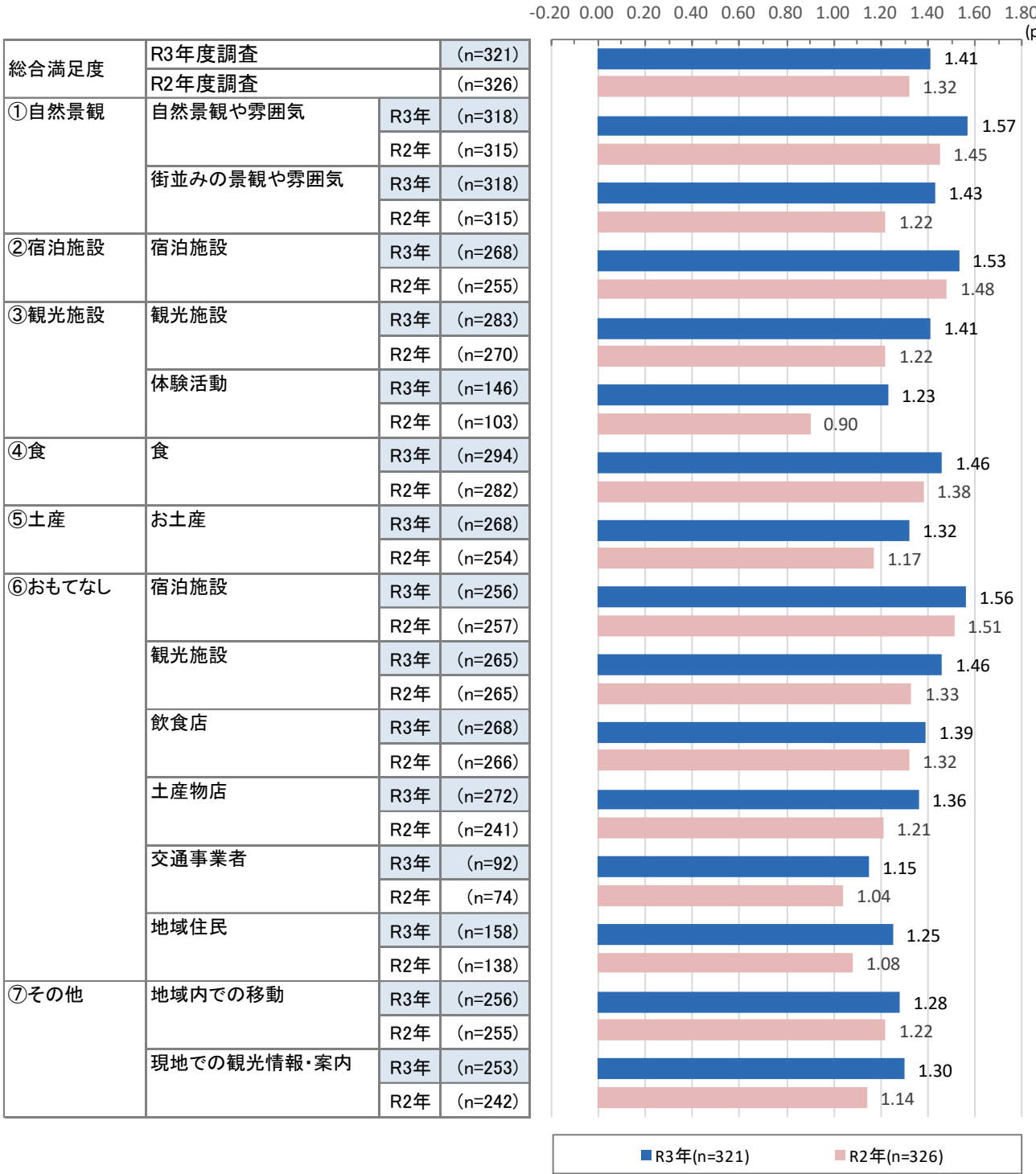
消費支出の総額は、令和2(2020)年度調査では35,088円であったが、令和3(2021)年度調査では39,520円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和2（2020）年度調査で1.32、令和3（2021）年度調査では1.41と0.09ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和2（2020）年度調査は「おもてなし 宿泊施設」が1.51で最も高く、令和3（2021）年度調査は「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.57で最も高くなった。

項目別満足度（加重平均値）



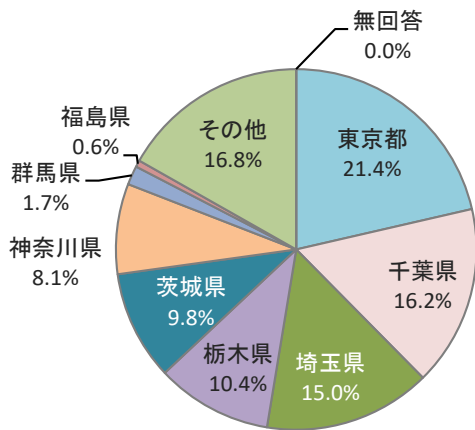
iii. 県央エリア

① 令和3(2021)年度調査結果

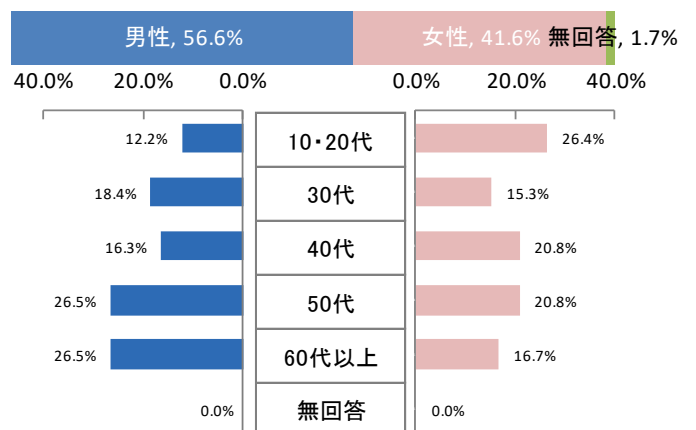
宿泊客（県央エリア） サンプル数：173

お住まいは「東京都」が最も多く 21.4%、次いで「千葉県」が 16.2%、「埼玉県」が 15.0%であった。
年代は、男性では「50代」と「60代以上」が最も多く、ともに 26.5%、女性では「10・20代」が最も多く 26.4%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が 49.7%で最も多かった。
同行者数は「2人」が 57.2%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 37.0%で最も多かった。

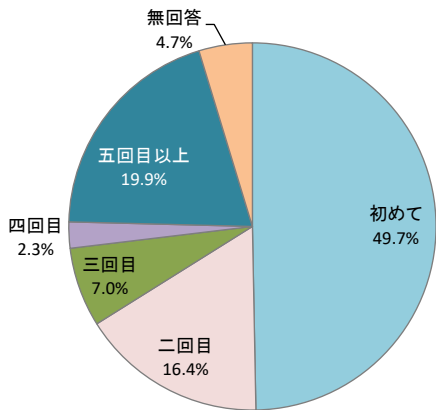
お住まい (n=173)



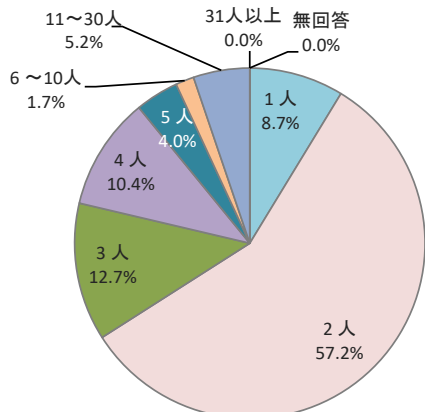
性別・年代 (n=173)



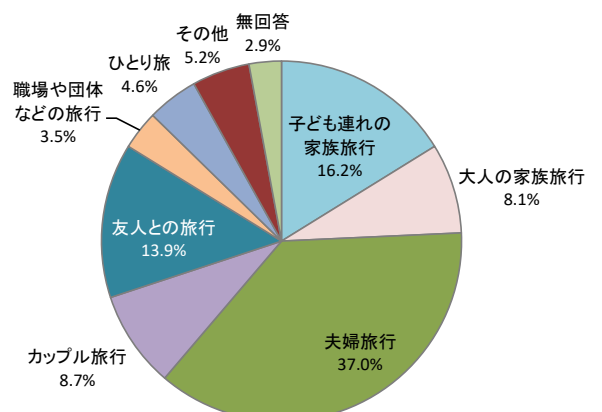
調査地域周辺への来訪回数 (n=171)



同行者数 ※回答者を含む (n=173)

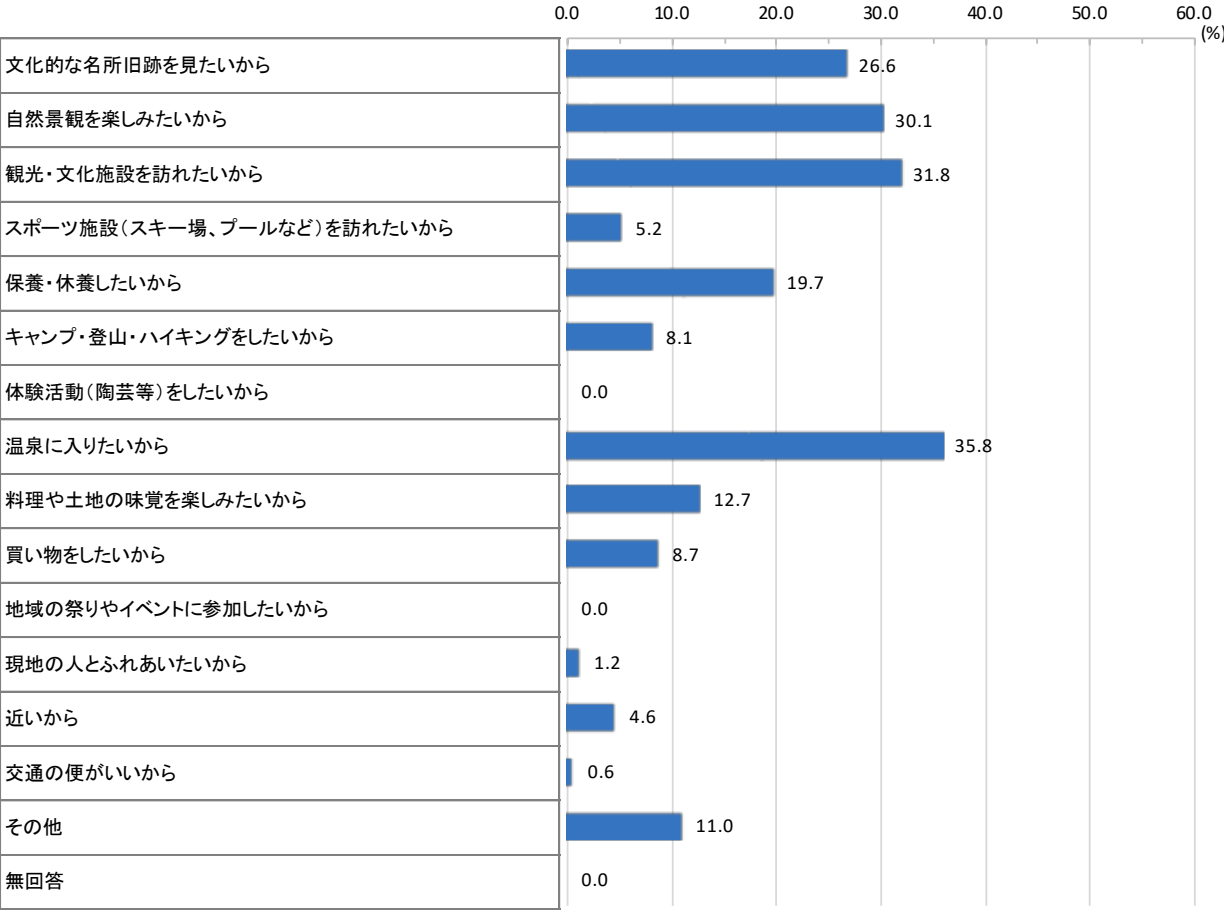


同行者の関係 (n=173)



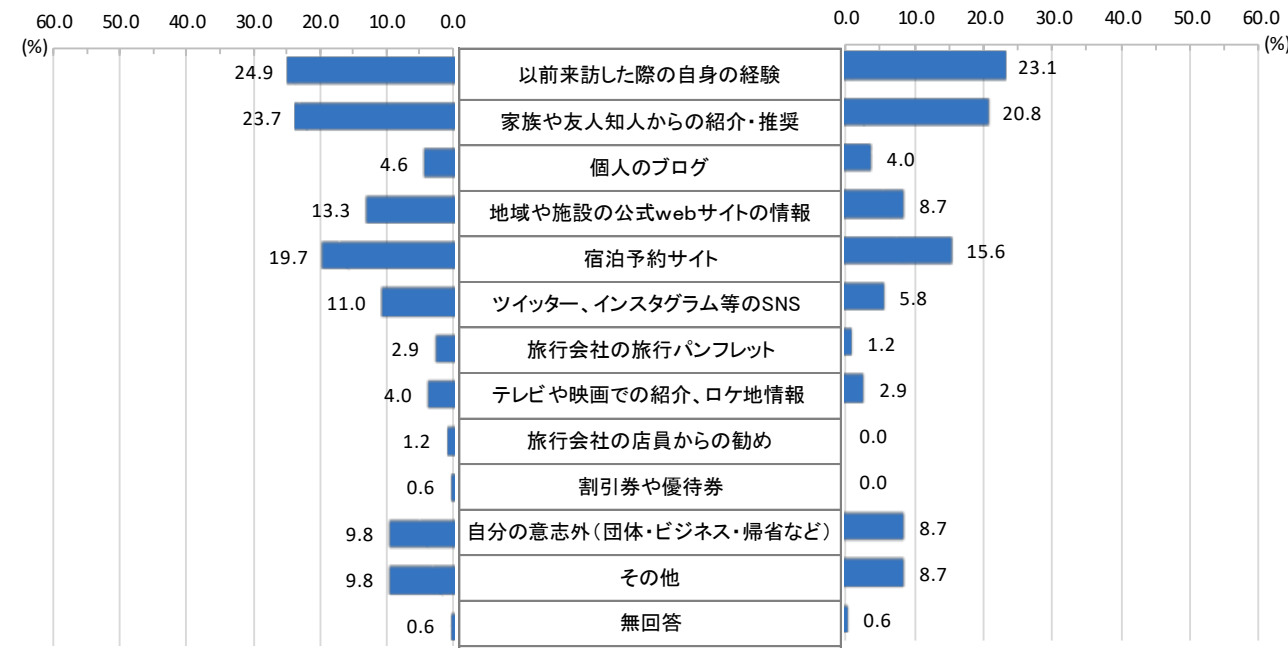
旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が35.8%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が31.8%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が24.9%で最も多く、「決め手」となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が23.1%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由 (複数回答) (n=173)



旅行先に選んだ情報源 (複数回答) (n=173)

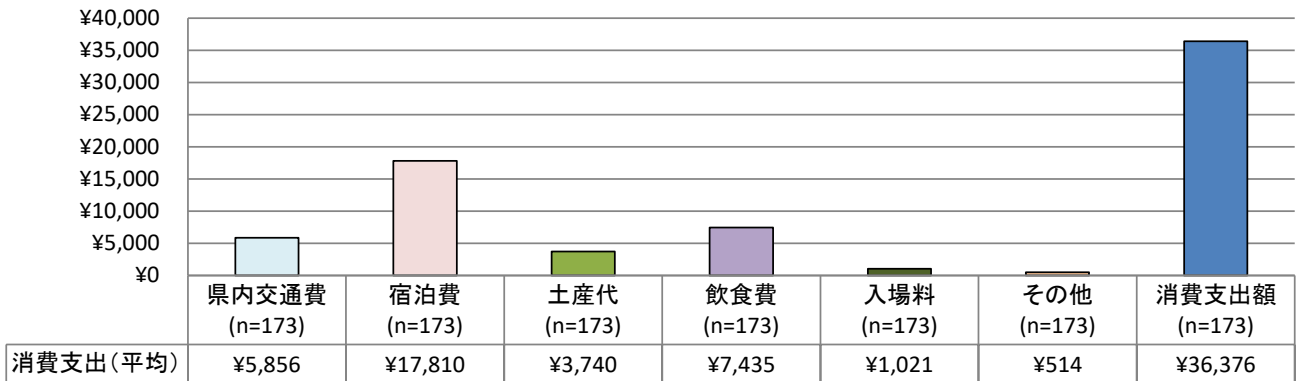
“決め手”となった情報源 (単一回答) (n=173)



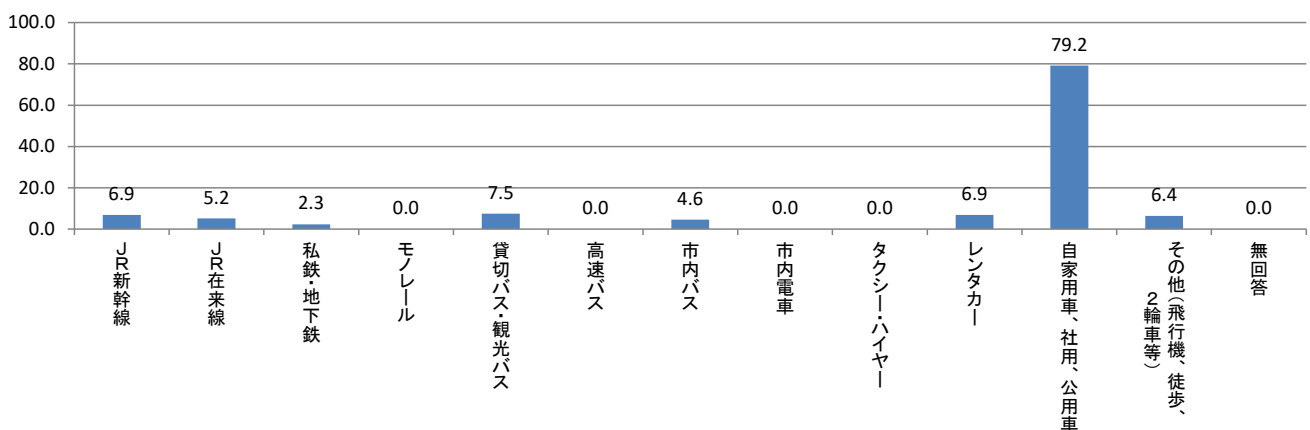
消費支出の平均は、総額で 36,376 円であった。内訳は、「宿泊費」が 17,810 円で最も多く、次いで「飲食費」が 7,435 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 79.2%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「馬頭温泉郷」「那須高原ビジターセンター」「鬼怒川温泉」がそれぞれ 3 人で最も多かった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=173）



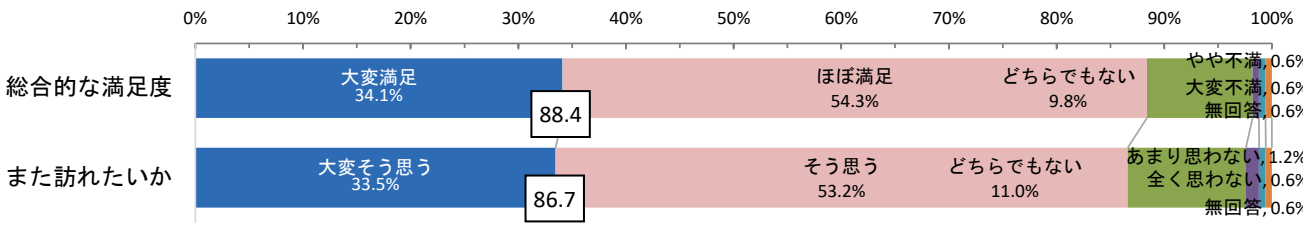
立ち寄り観光施設（n=173）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県央	県央	日光
馬頭温泉郷(3)	御前岩(1)	鬼怒川温泉(3)
馬頭広重美術館(1)	那須	二荒山神社中宮祠(1)
鷺子山上神社(1)	那須高原ビジターセンター(3)	二社一寺(1)
喜連川温泉第1浴場(1)	板室温泉郷(2)	県南
サントヒルズキャンプ場(1)	道の駅やいた(1)	佐野プレミアム・アウトレット(2)
かんぼの宿 喜連川温泉(1)	千本松牧場(1)	佐野厄よけ大師(2)
龍門ふるさと民芸館(1)	塩原温泉郷(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅きつれがわ (2)

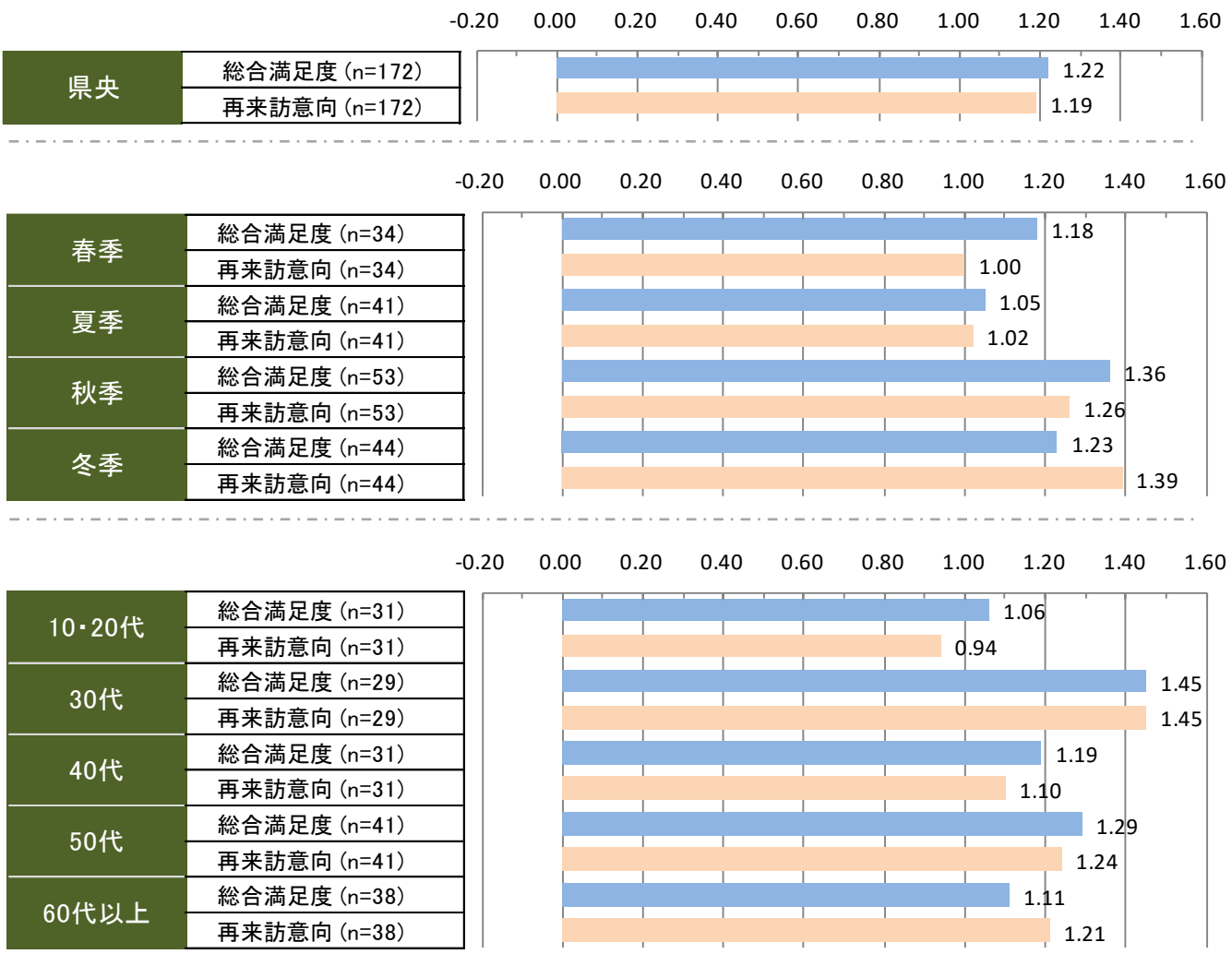
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が88.4%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が86.7%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=173)



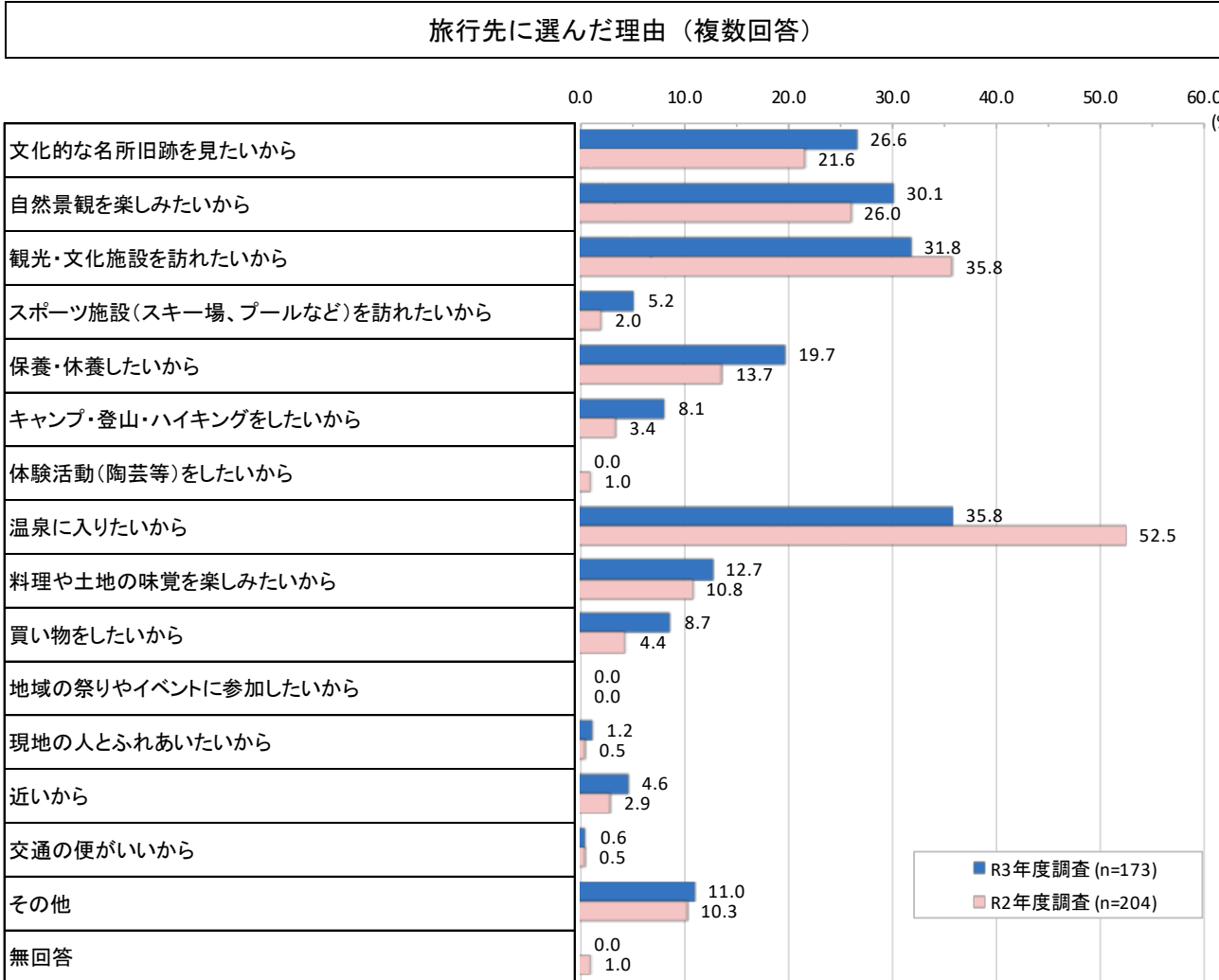
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「秋季」が1.36で最も高く、「春季」が1.18で最も低かった。再来訪意向については、「冬季」が1.39で最も高く、「春季」が1.00で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「30代」が1.45で最も高く、「10・20代」が1.06で最も低かった。再来訪意向についても、「30代」が1.45で最も高く、「10・20代」が0.94で最も低かった。

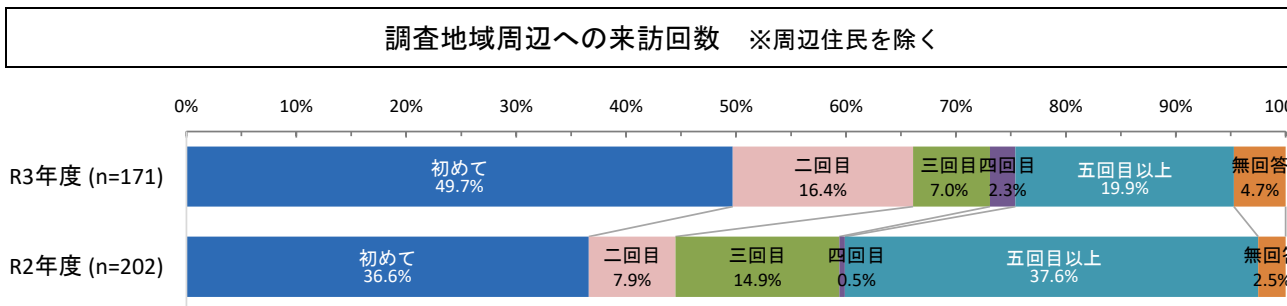


②過去調査との比較

旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が最も多く、令和2（2020）年度では52.5%、令和3年（2021）年度では35.8%と16.7ポイント減少した。次いで多かった「観光・文化施設を訪れたいから」は令和2（2020）年度調査では35.8%、令和3（2021）年度調査では31.8%と4.0ポイント減少した。

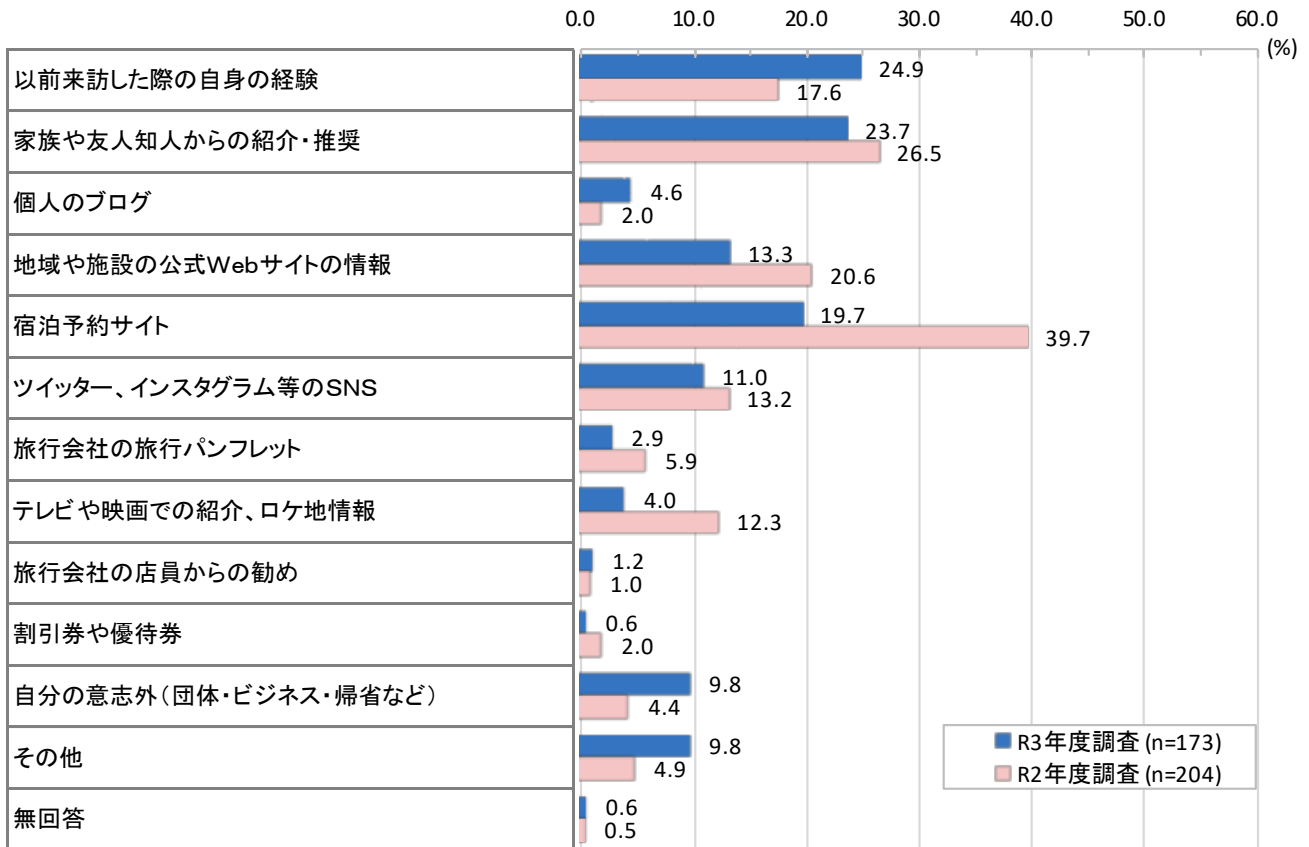


調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和2（2020）年度調査では36.6%、令和3（2021）年度調査では49.7%と13.1ポイント増加した。一方、「五回目以上」は令和2（2020）年度調査で37.6%であったが、令和3（2021）年度調査では19.9%と17.7ポイント減少した。



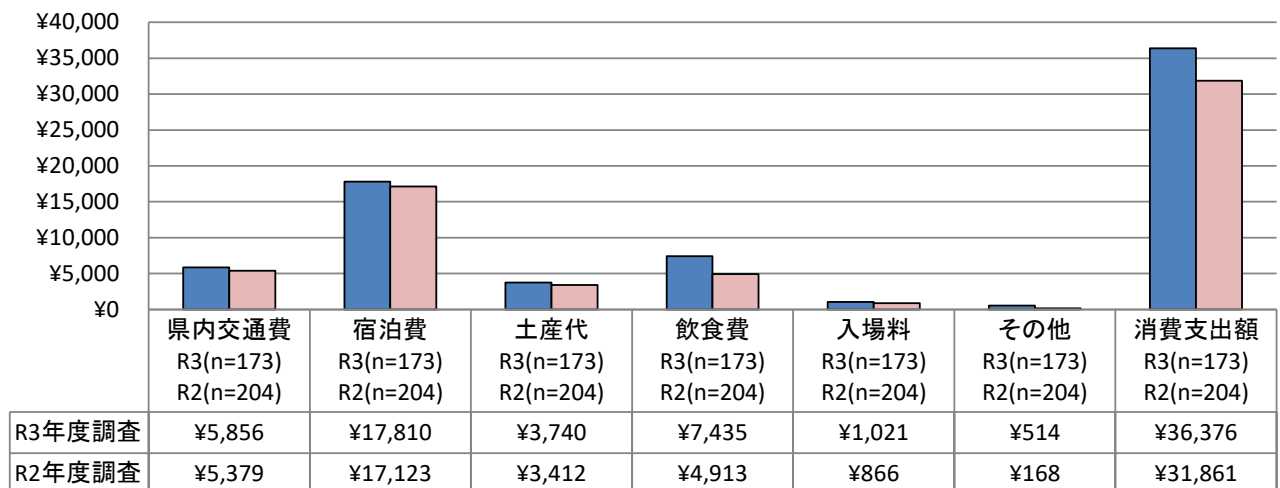
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和2（2020）年度調査では17.6%、令和3（2021）年度調査では24.9%と7.3ポイント増加した。
一方、「宿泊予約サイト」は令和2（2020）年度調査では39.7%と最も多かったが、令和3（2021）年度調査では19.7%と20.0ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



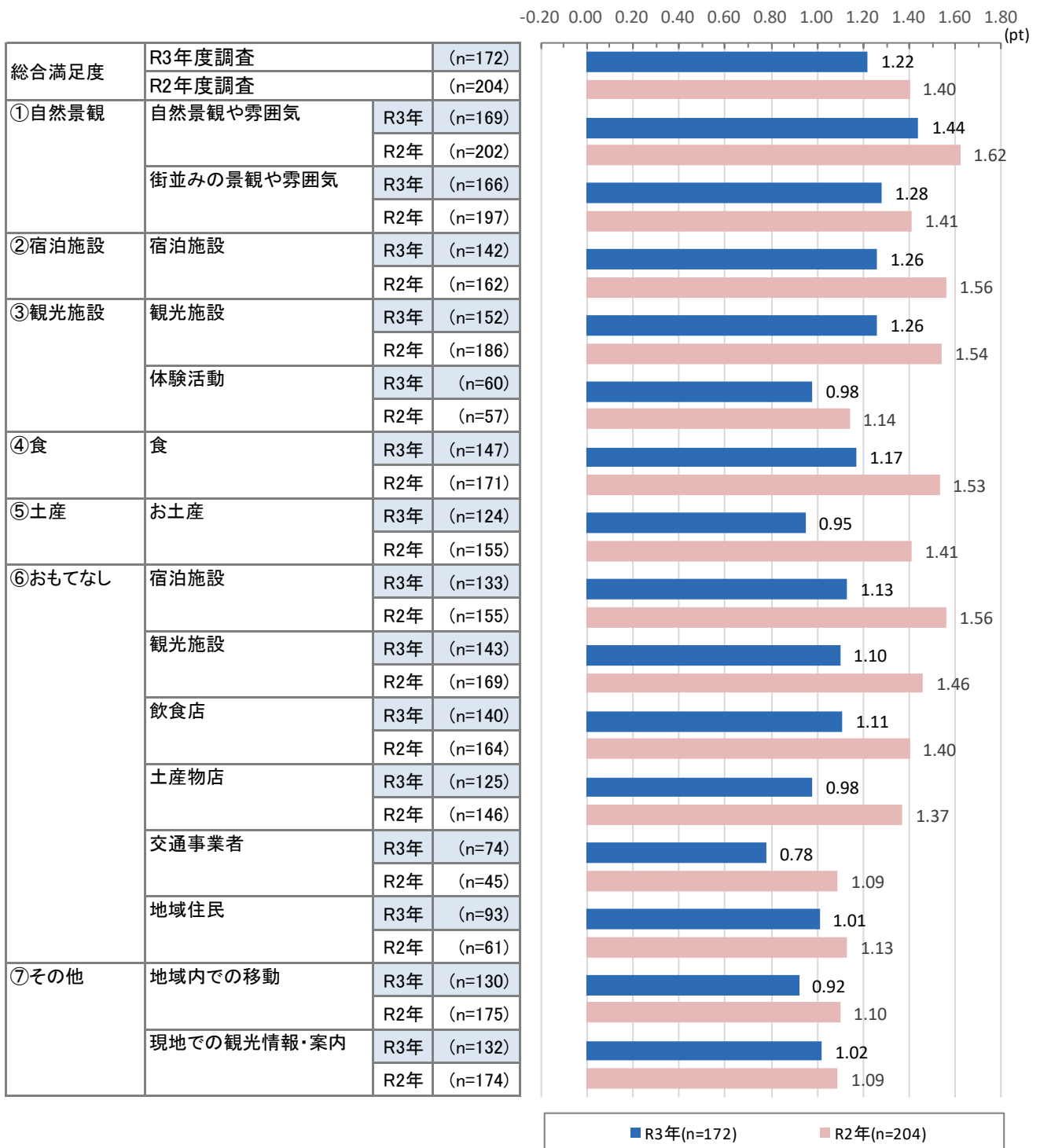
消費支出の総額は、令和2（2020）年度調査では31,861円であったが、令和3（2021）年度調査では36,376円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和2(2020)年度調査では1.40であったが、令和3(2021)年度調査では1.22と0.18ポイント減少した。満足度を項目別にみると、令和2(2020)年度に引き続き「自然景観 自然景観や雰囲気」が最も高かったが、令和2(2020)年度調査は1.62であったのに対し、令和3(2021)年度調査では1.44と0.18ポイント減少した。

項目別満足度 (加重平均値)



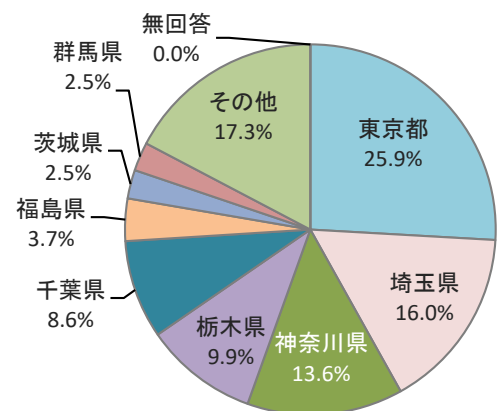
iv. 県南エリア

① 令和3(2021)年度調査結果

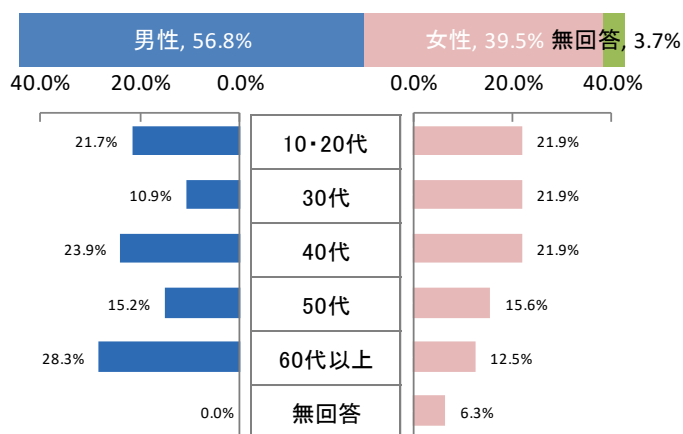
宿泊客(県南エリア) サンプル数: 81

お住まいは「東京都」が最も多く25.9%、次いで「埼玉県」が16.0%、「神奈川県」が13.6%であった。年代は、男性では「60代以上」が最も多く28.3%、女性では「10・20代」、「30代」、「40代」が最も多く、いずれも21.9%であった。
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が46.3%で最も多かった。
同行者数は「2人」が63.0%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が33.3%で最も多かった。

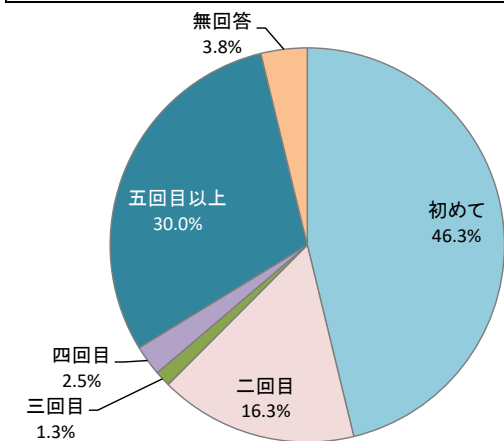
お住まい (n=81)



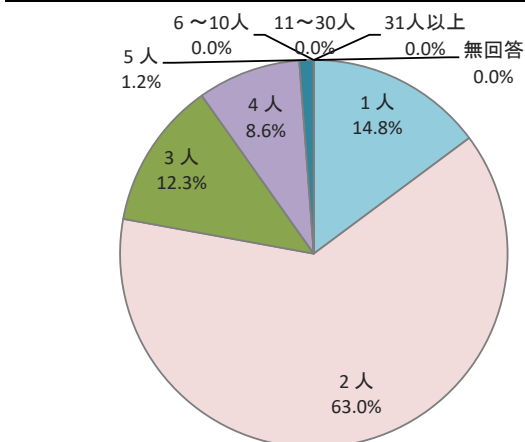
性別・年代 (n=81)



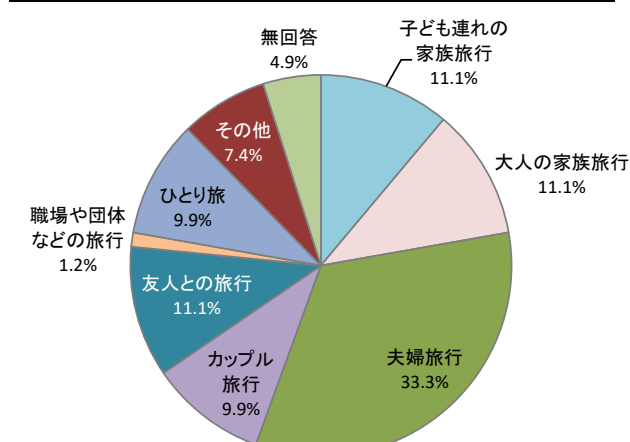
調査地域周辺への来訪回数 (n=80)



同行者数 ※回答者を含む (n=81)

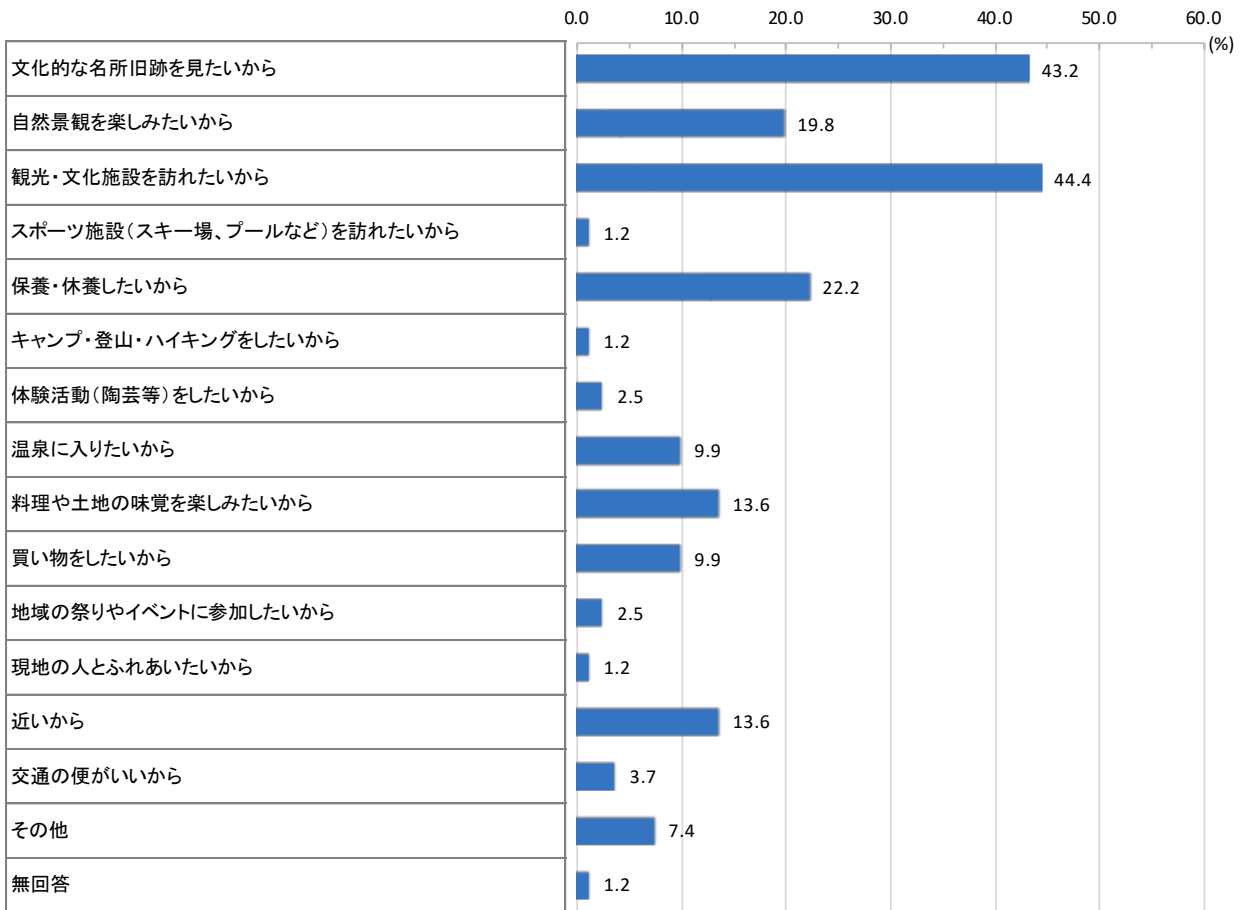


同行者の関係 (n=81)



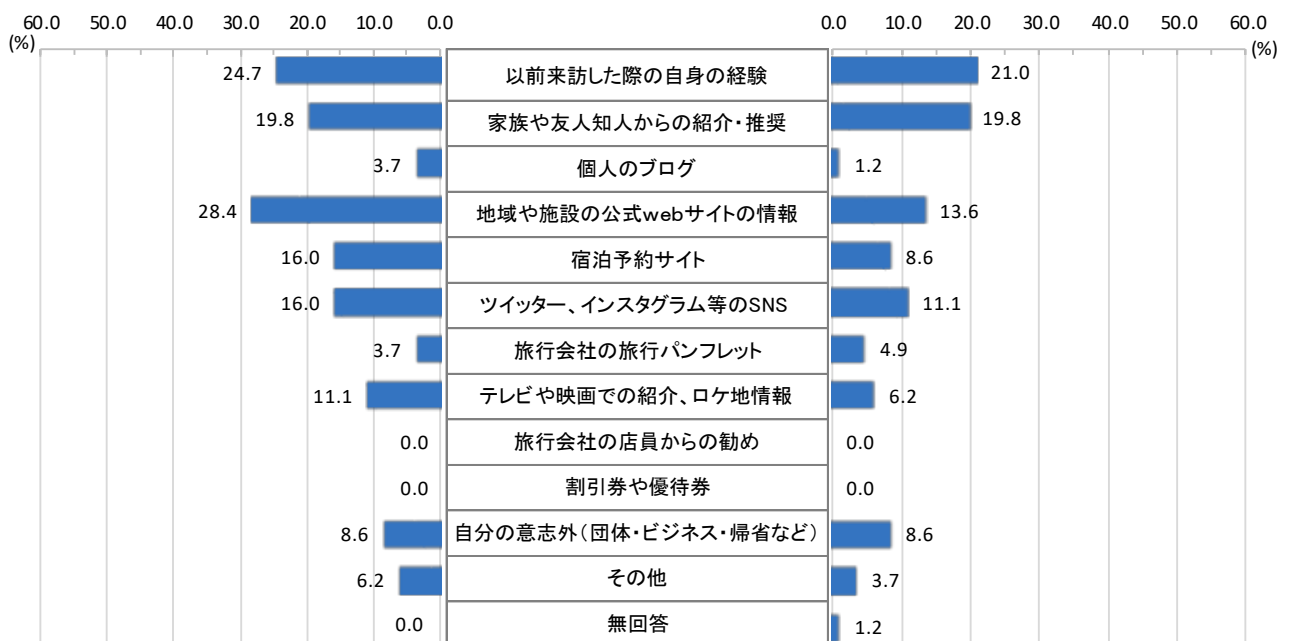
旅行先に選んだ理由は「観光・文化施設を訪れたいから」が44.4%で最も多く、次いで「文化的な名所旧跡を見たいから」が43.2%であった。旅行先に選んだ情報源は「地域や施設の公式webサイト」が28.4%で最も多く、“決め手”となった情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、21.0%であった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=81）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=81）

“決め手”となった情報源（単一回答）（n=81）



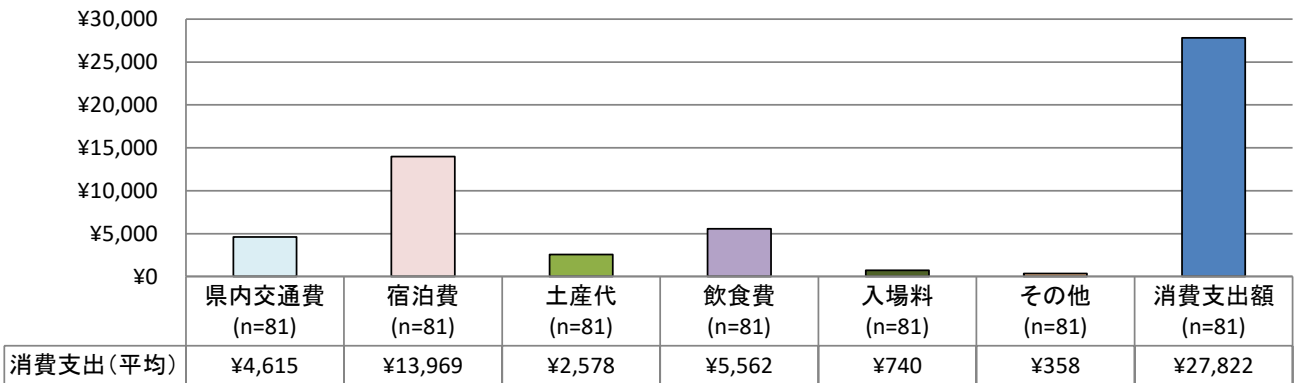
第2章 観光客調査 調査結果

2. 宿泊客 (2)エリア別 iv. 県南エリア

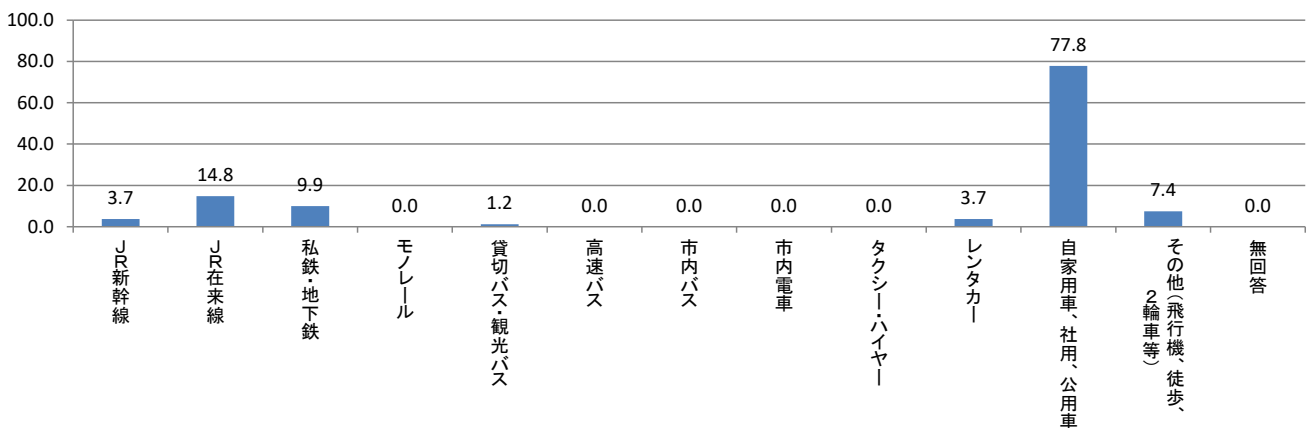
消費支出の平均は、総額で 27,822 円であった。内訳は、「宿泊費」が 13,969 円で最も多く、次いで「飲食費」が 5,562 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 77.8%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「あしかがフラワーパーク」が 11 人で最も多く、次いで「ココ・ファーム・ワイナリー収穫祭」「二社一寺」がそれぞれ 3 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=81）

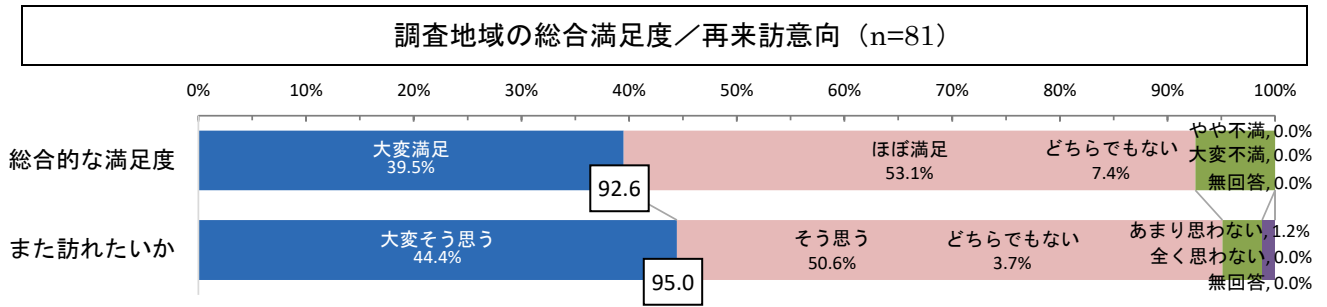


立ち寄り観光施設（n=81）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県南	県南	県央
あしかがフラワーパーク(11)	千本松牧場(1)	大日向カントリー倶楽部(2)
ココ・ファーム・ワイナリー収穫祭(3)	日光	織姫公園(2)
史跡足利学校(2)	二社一寺(3)	大谷資料館(1)
太平山神社(2)	鬼怒川温泉(2)	
佐野厄よけ大師(2)	足尾銅山観光(1)	
佐野プレミアム・アウトレット(1)	湯西川温泉(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
岩下の新生姜ミュージアム（1）

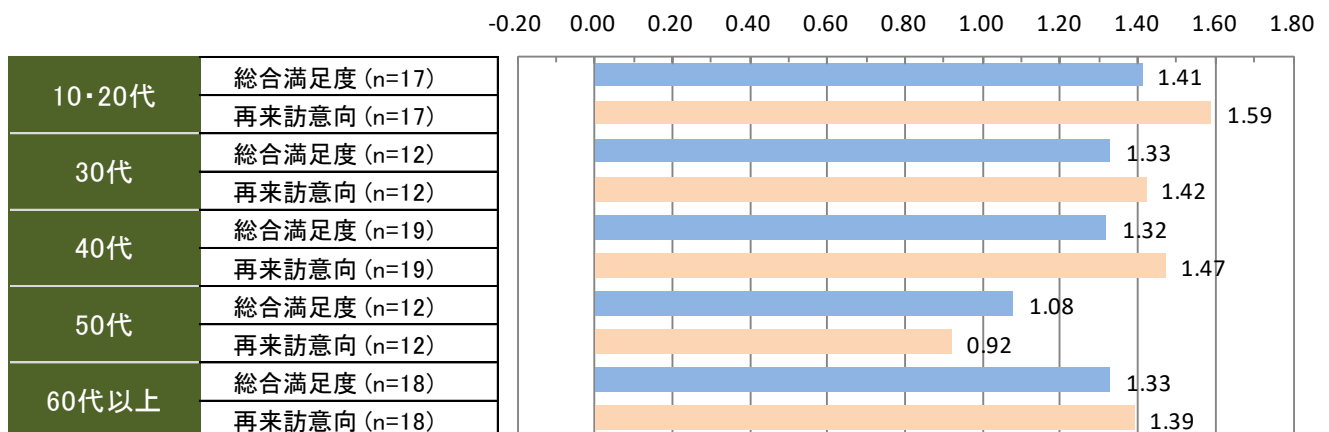
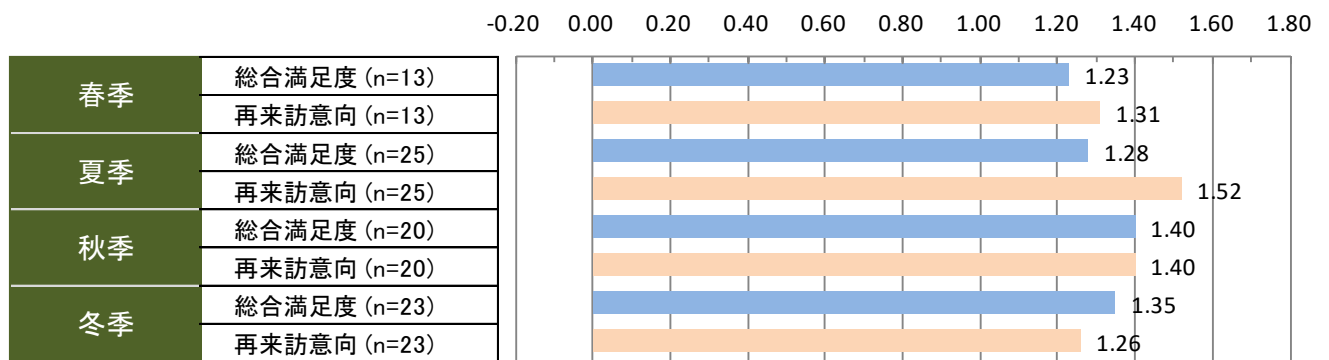
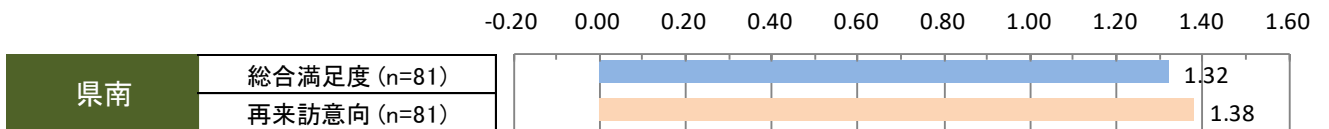
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が92.6%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が95.0%であった。



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

総合満足度を季節別にみると、「秋季」が1.40で最も高く、「春季」が1.23で最も低かった。再来訪意向については、「夏季」が1.52で最も高く、「冬季」が1.26で最も低かった。

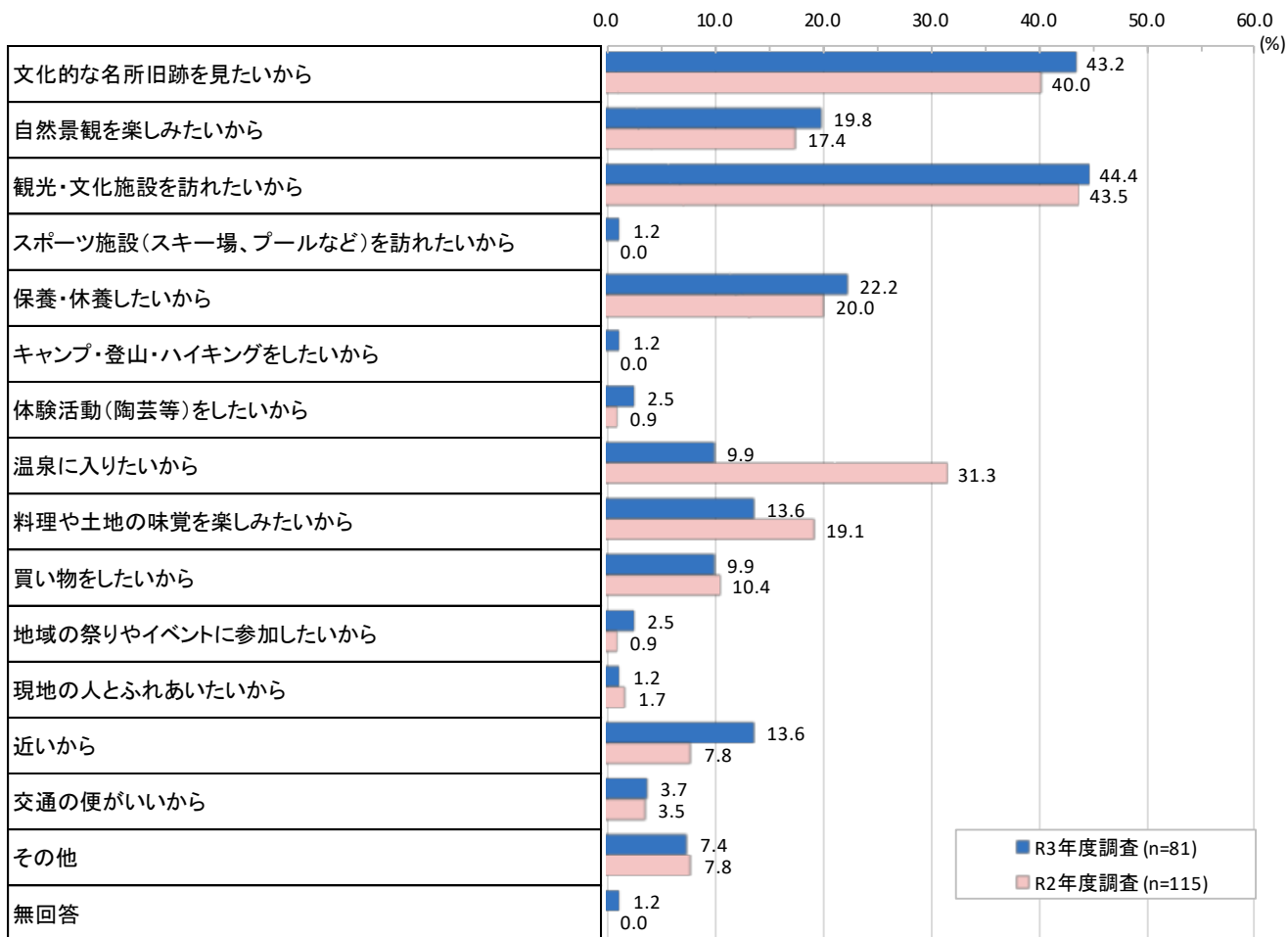
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.41で最も高く、「50代」が1.08で最も低かった。また、再来訪意向についても、「10・20代」が1.59と最も高く、「50代」が0.92で最も低かった。



②過去調査との比較

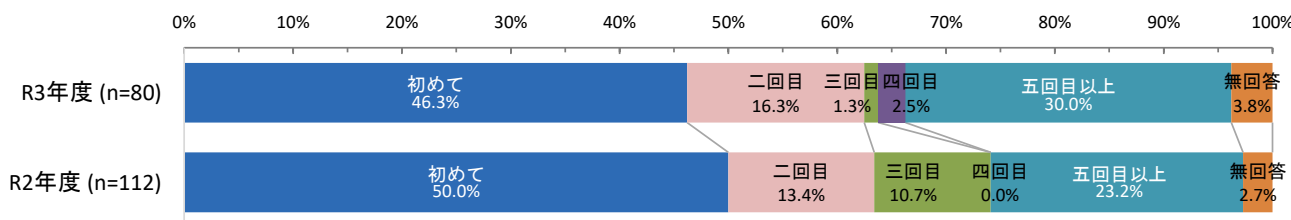
旅行先に選んだ理由は、「観光・文化施設を訪れたいから」が最も多く、令和2(2020)年度調査では43.5%、令和3(2021)年度調査では44.4%と0.9ポイント増加した。次いで多かった「文化的な名所旧跡を見たいから」は、令和2(2020)年度調査では40.0%、令和3(2021)年度調査では43.2%と3.2ポイント増加した。

旅行先に選んだ理由(複数回答)



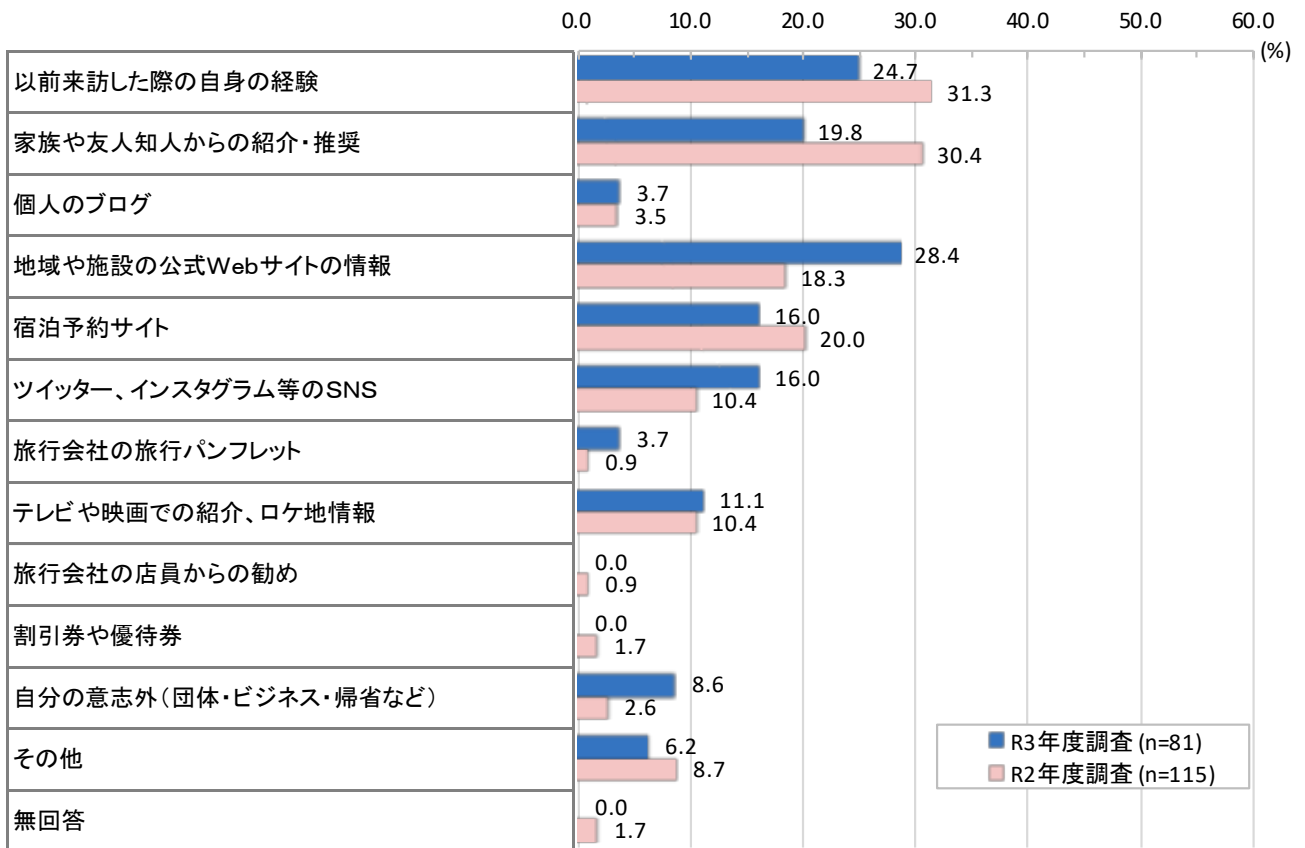
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和2(2020)年度調査で50.0%であったが、令和3(2021)年度調査では46.3%と3.7ポイント減少した。一方、「五回目以上」は令和2(2020)年度調査では23.2%、令和3(2021)年度調査では30.0%と6.8ポイント増加した。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



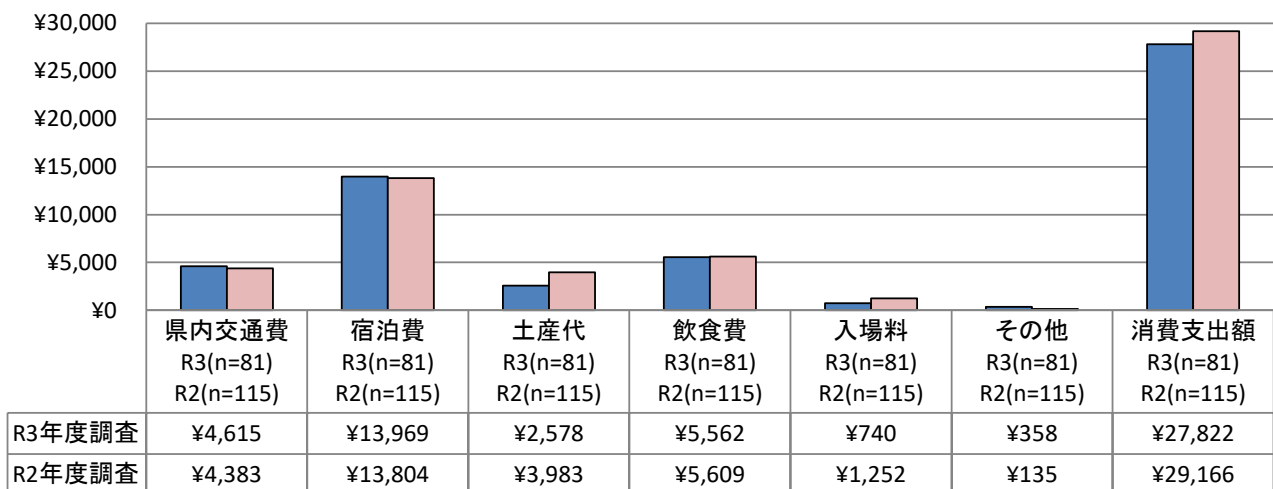
旅行先に選んだ情報源は、「地域や施設の公式 web サイトの情報」が最も多く、令和2（2020）年度調査では 18.3%、令和3（2021）年度調査では 28.4%と 10.1 ポイント増加した。一方、次いで多かった「以前来訪した際の自身の経験」は令和2（2020）年度調査では 31.3%、令和3（2021）年度調査では 24.7%と 6.6 ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



消費支出の総額は、令和2（2020）年度調査では 29,166 円であったが、令和3（2021）年度調査では 27,822 円に減少した。

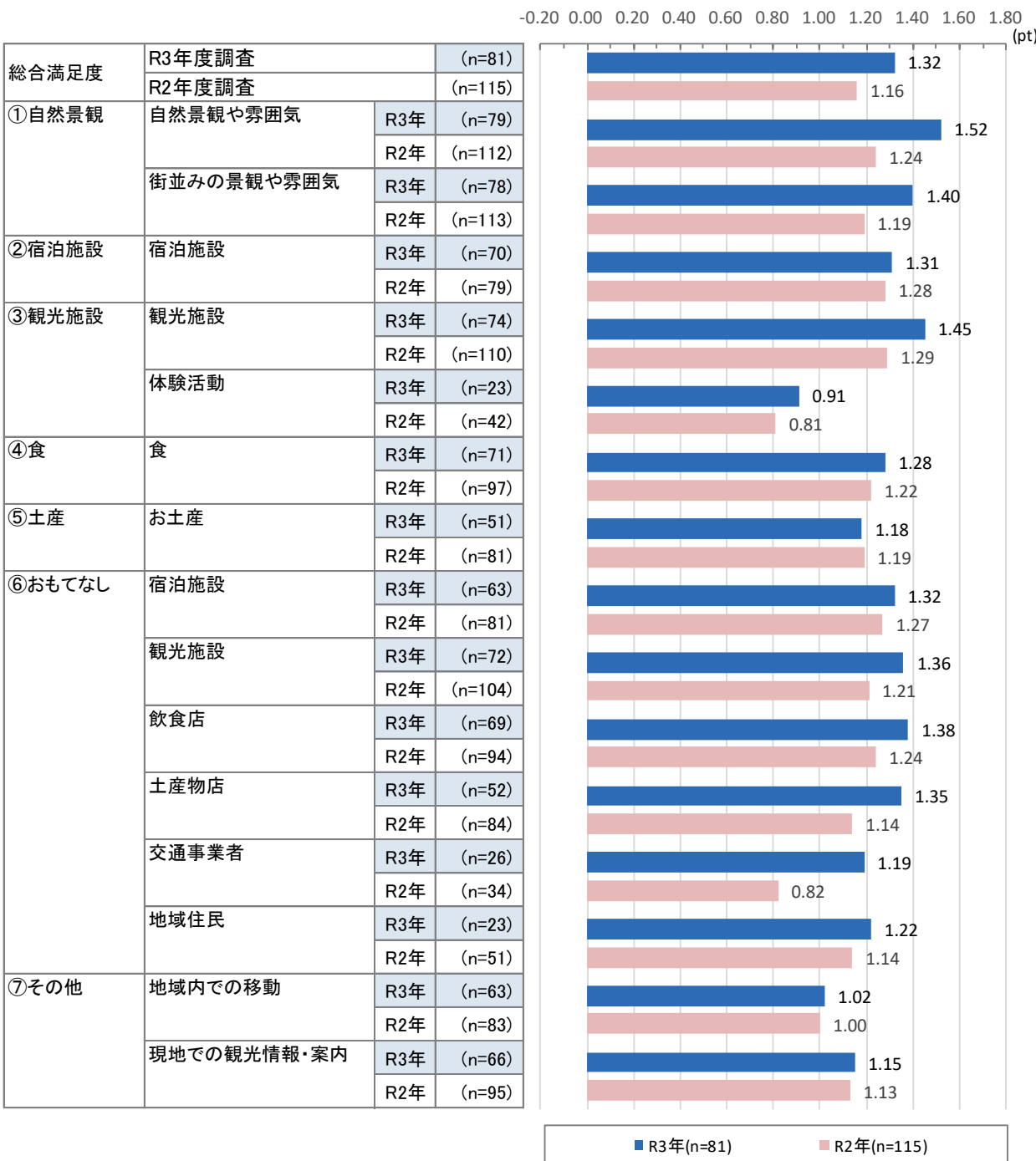
消費支出（総額）



第2章 観光客調査 調査結果
2. 宿泊客 (2)エリア別 iv. 県南エリア

総合満足度は、令和3(2021)年度調査では1.32と、令和2(2020)年度調査の1.16から0.16ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和2(2020)年度調査は「観光施設 観光施設」が1.29で最も高く、令和3(2021)年度調査は「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.52で最も高くなった。

項目別満足度（加重平均値）



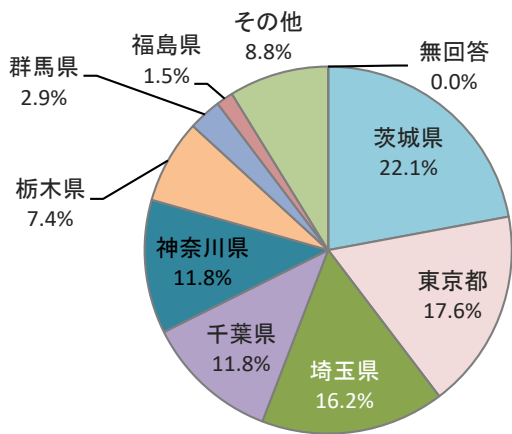
v. 関東エリア

① 令和3(2021)年度調査結果

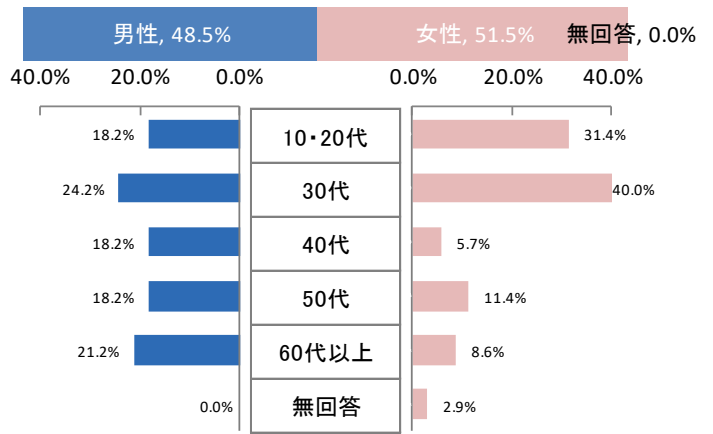
宿泊客(関東エリア) サンプル数: 68

お住まいは「茨城県」が最も多く 22.1%、次いで「東京都」が 17.6%、「埼玉県」が 16.2%であった。年代は、男性では「30代」が最も多く 24.2%、女性も同じく「30代」が 40.0%で最も多かった。調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が 49.2%で最も多かった。同行者数は「2人」が 63.2%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 42.6%で最も多かった。

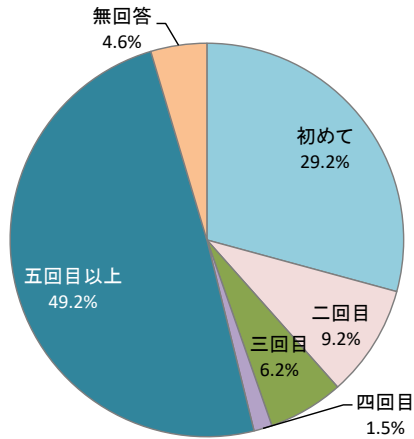
お住まい (n=68)



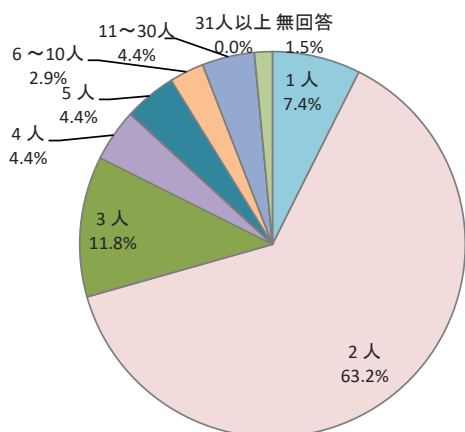
性別・年代 (n=68)



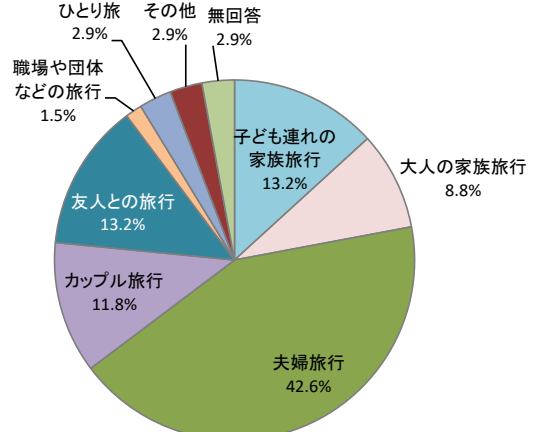
調査地域周辺への来訪回数 (n=65)



同行者数 ※回答者を含む (n=68)

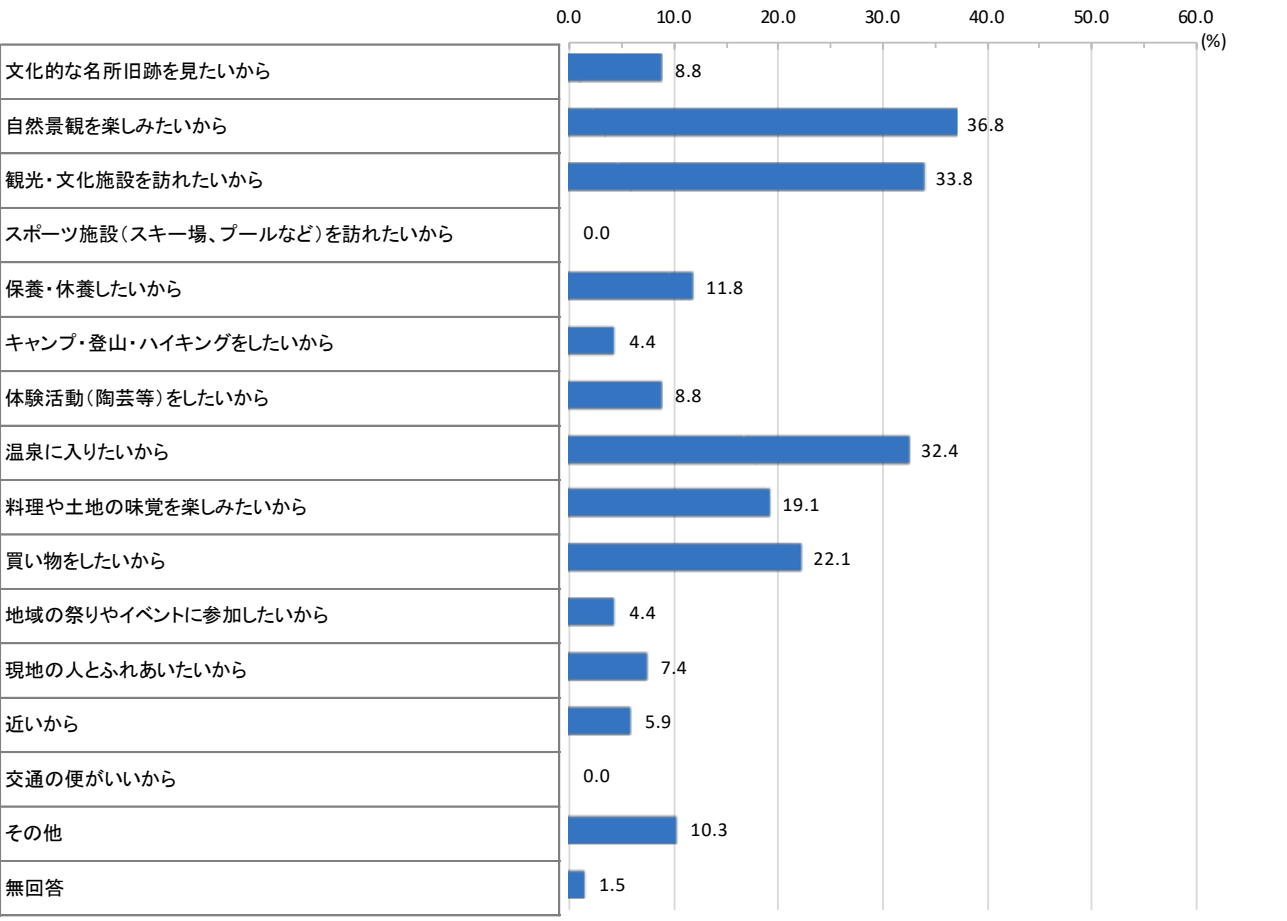


同行者の関係 (n=68)



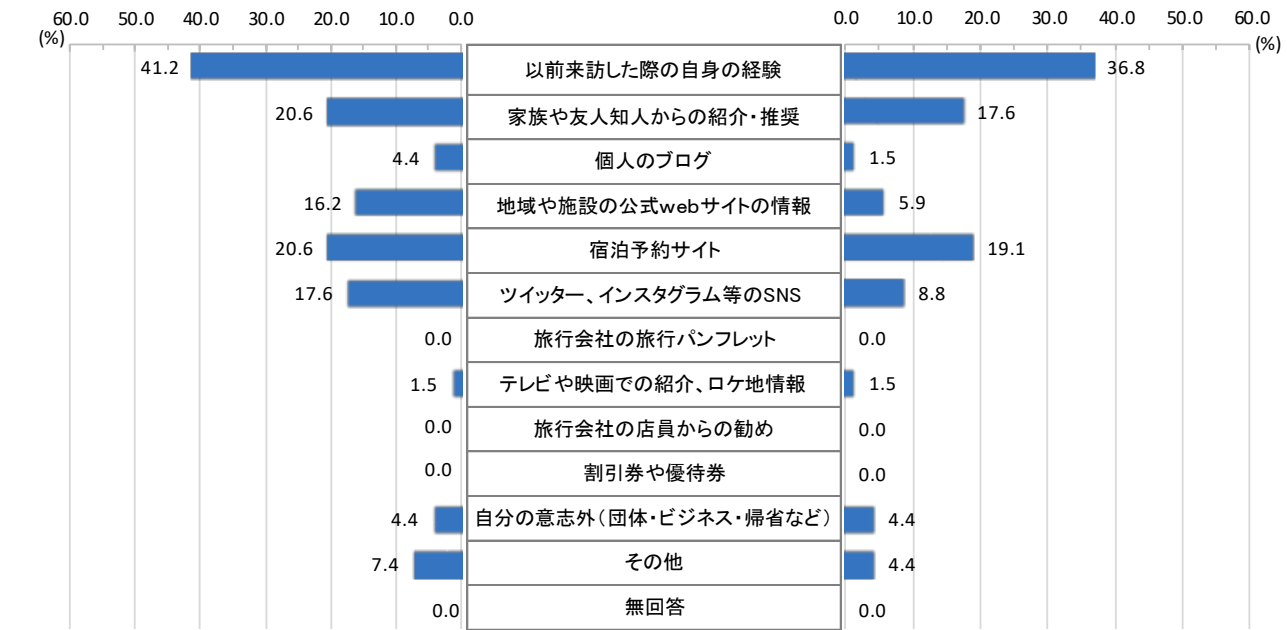
旅行先に選んだ理由は「自然景観を楽しみたいから」が36.8%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が33.8%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が41.2%で最も多く、“決め手”となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が36.8%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=68）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=68）

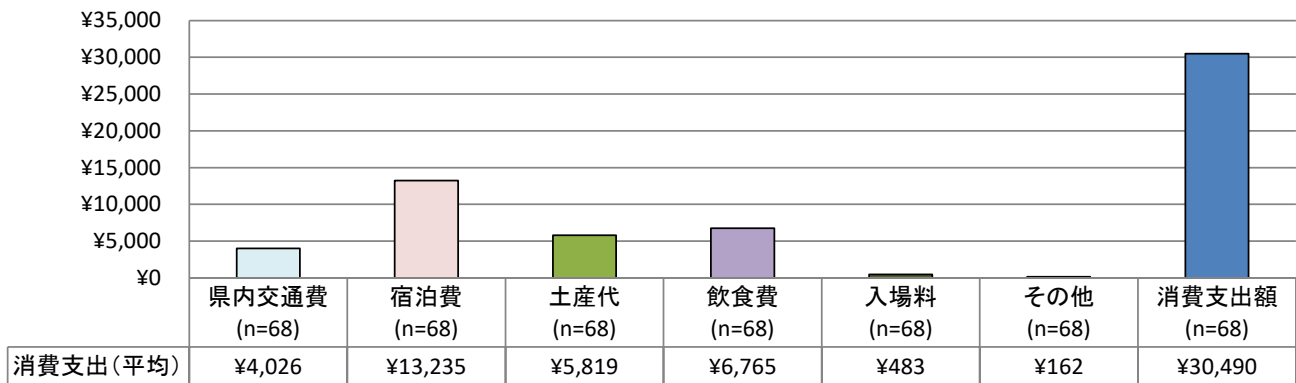
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=68）



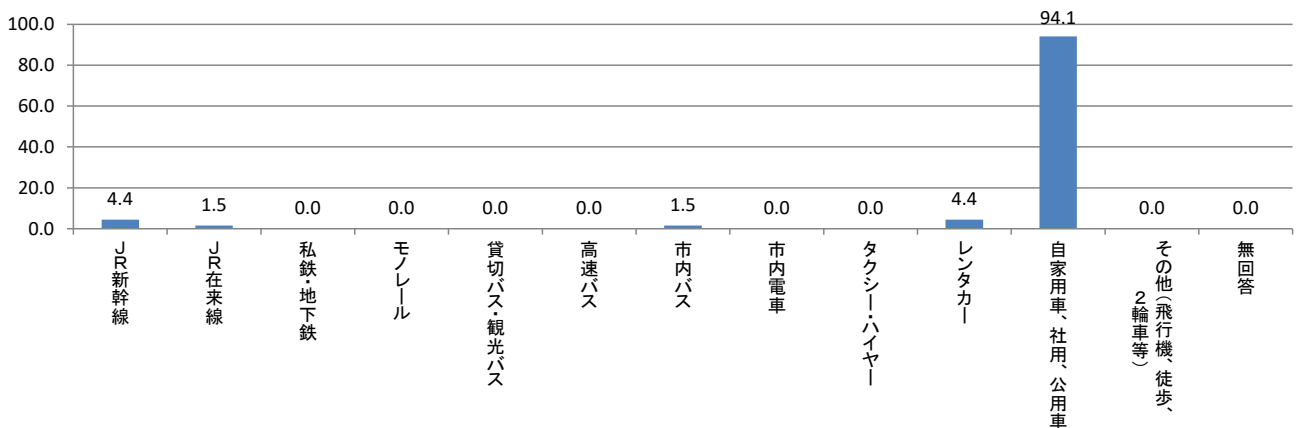
消費支出の平均は、総額で 30,490 円であった。内訳は、「宿泊費」が 13,235 円で最も多く、次いで「飲食費」が 6,765 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 94.1%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は「道の駅もてぎ」が 6 人で最も多く、次いで「千本松牧場」が 3 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=68）



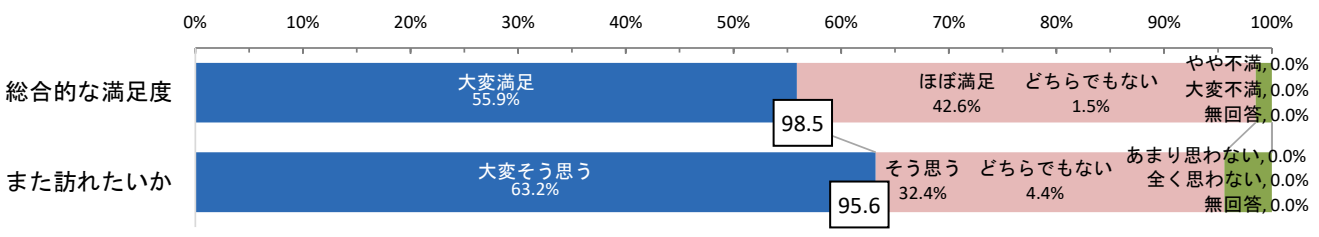
立ち寄り観光施設（n=68）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

県東	那須	日光
道の駅もてぎ(6)	千本松牧場(3)	二社一寺(2)
益子焼(1)	りんどう湖LAKE VIEW(2)	日光湯元温泉(1)
真岡井頭温泉(1)	ホテルサンパレー那須(2)	鬼怒川温泉(1)
ツインリンクもてぎ(1)	那須どうぶつ王国(2)	湯西川温泉(1)
県央	ホテルエピナール那須(2)	県南
ろまんちっく村(2)	那須ガーデンアウトレット(2)	道の駅 みぶ(2)
馬頭温泉郷(2)	南ヶ丘牧場(1)	道の駅どまんなかたぬま(2)
喜連川温泉(1)	那須高原ビジターセンター(1)	道の駅にしかた(1)
元気あつむら(1)	栃木県なかがわ水遊園(1)	
大谷資料館(1)	塩原温泉郷(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）と立ち寄り観光施設に重複はなかった。

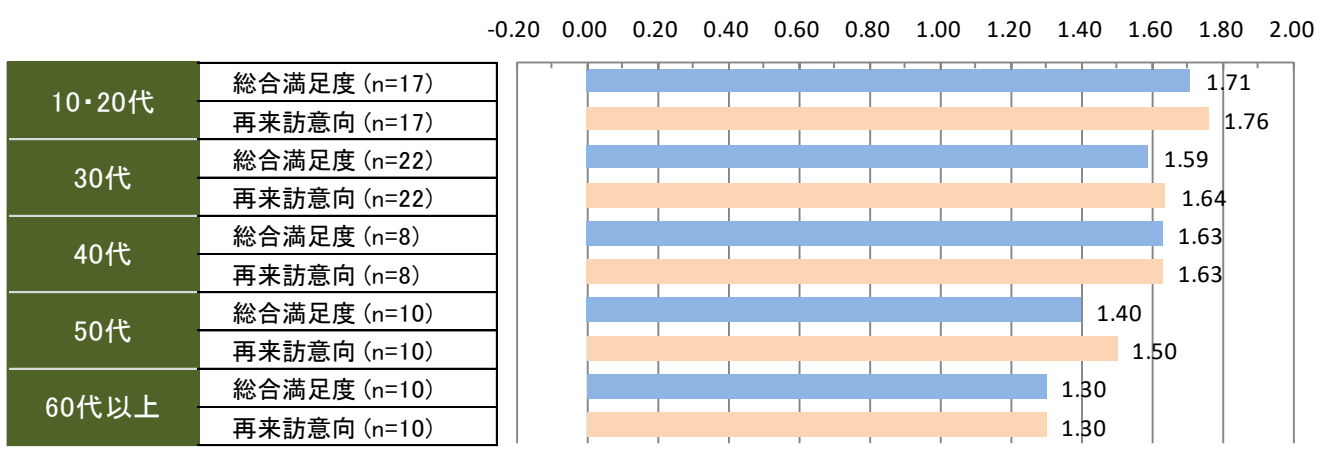
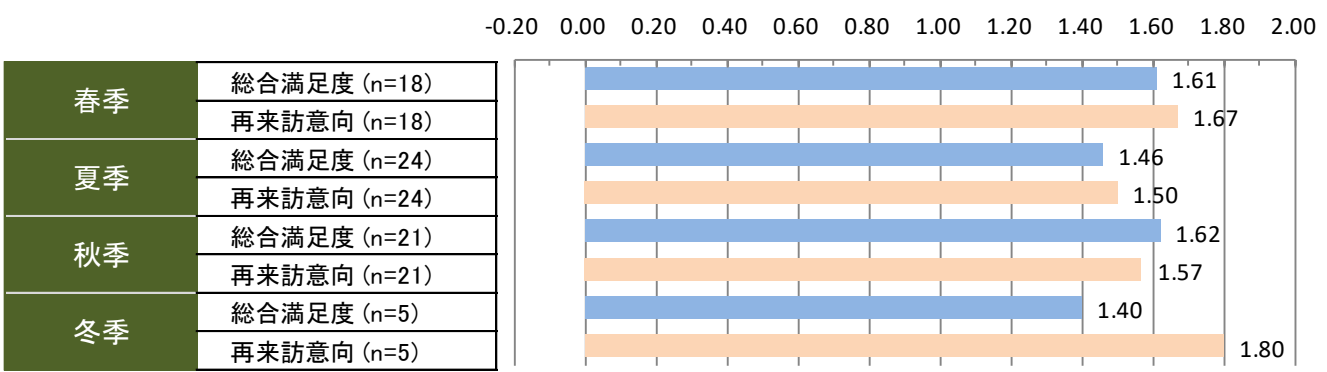
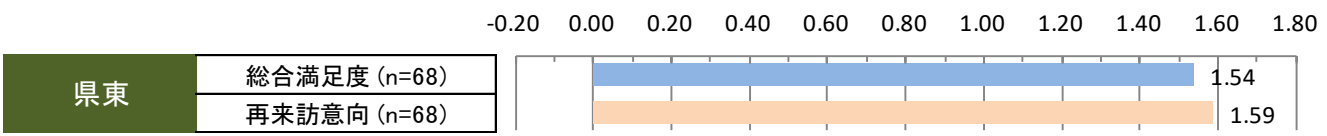
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】が98.5%となった。また訪れたいかについては、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた【再来訪意向層】が95.6%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=68)



調査地域の総合満足度／再来訪意向 (季節別・年代別)

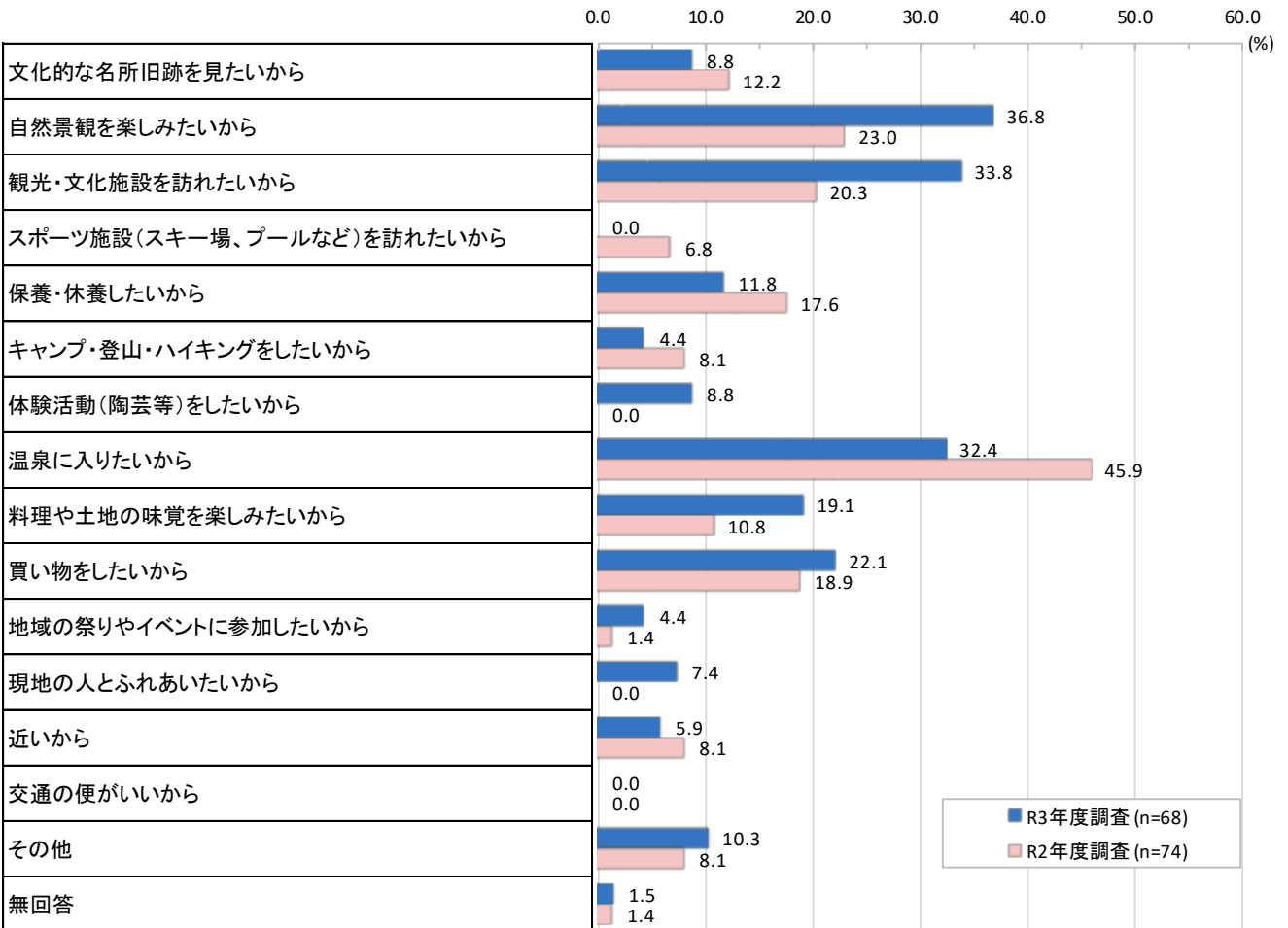
総合満足度を季節別にみると、「秋季」が1.62で最も高く、「冬季」が1.40で最も低かった。また、再来訪意向については「冬季」が1.80で最も高く、「夏季」が1.50で最も低かった。
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.71で最も高く、「60代以上」が1.30で最も低かった。再来訪意向についても「10・20代」が1.76で最も高く、「60代以上」が1.30で最も低かった。



②過去調査との比較

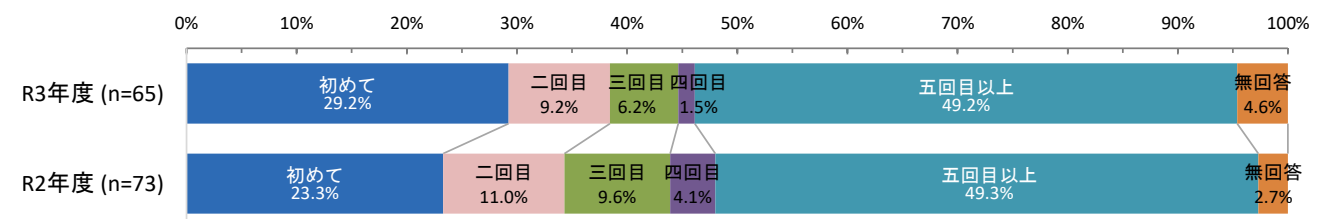
旅行先に選んだ理由は、「自然景観を楽しみたいから」が最も多く、令和2（2020）年度調査では23.0%、令和3（2021）年度調査では36.8%と13.8ポイント増加した。一方、「温泉に入りたいから」は、令和2（2020）年度調査で45.9%と最も多かったが、令和3（2021）年度調査では32.4%と13.5ポイント減少した。

旅行先に選んだ理由（複数回答）



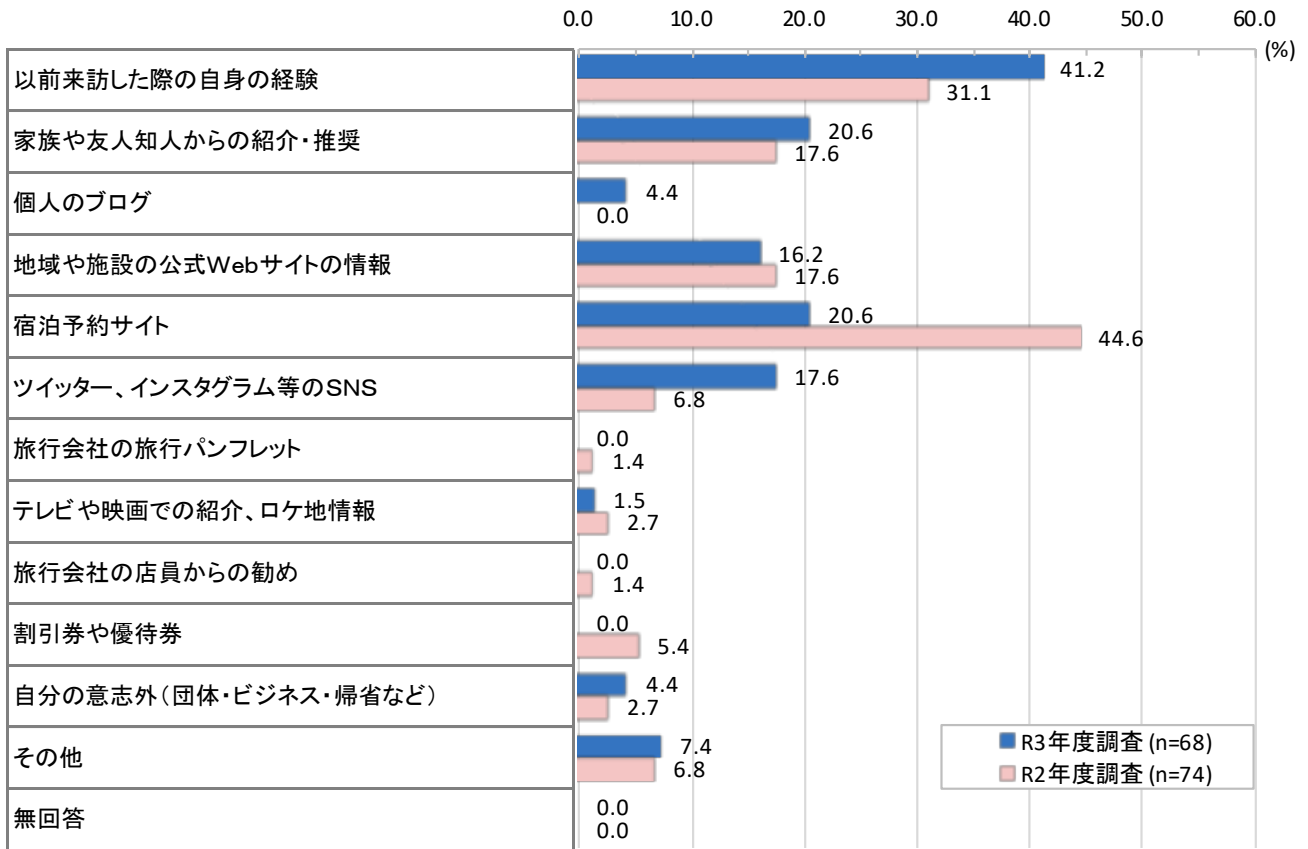
調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が令和2（2020）年度調査で23.3%であったが、令和3（2021）年度調査では29.2%と5.9ポイント増加した。一方、「五回目以上」は令和2（2020）年度調査では49.3%、令和3（2021）年度調査では49.2%とほとんど差はなかった。

調査地域周辺への来訪回数 ※周辺住民を除く



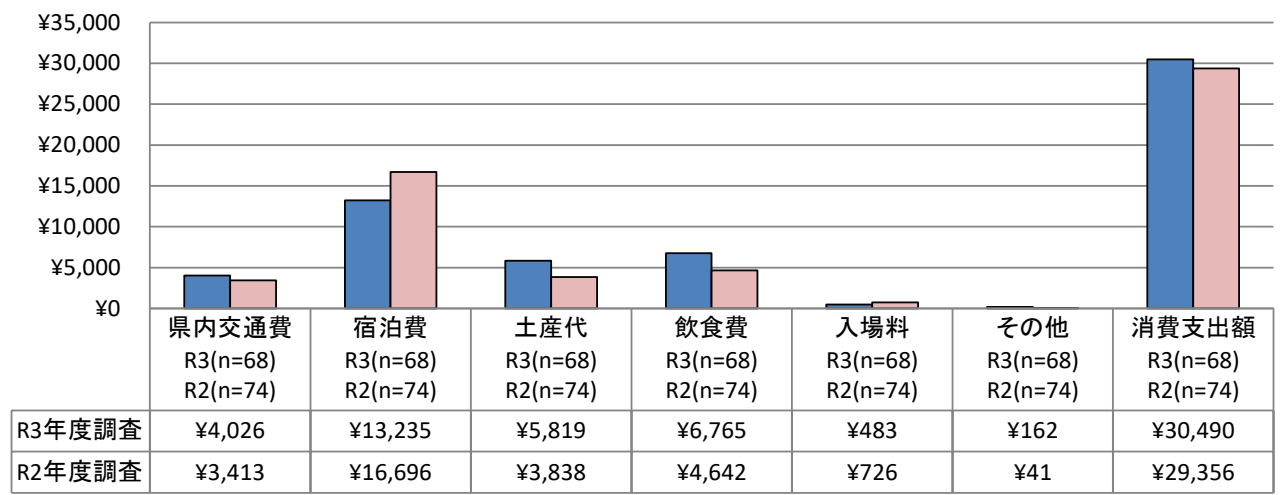
旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く、令和2（2020）年度調査では31.1%、令和3（2021）年度調査では41.2%と10.1ポイント増加した。
一方、「宿泊予約サイト」は、令和2（2020）年度調査では44.6%と最も多かったが、令和3（2021）年度調査では20.6%と24.0ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源（複数回答）



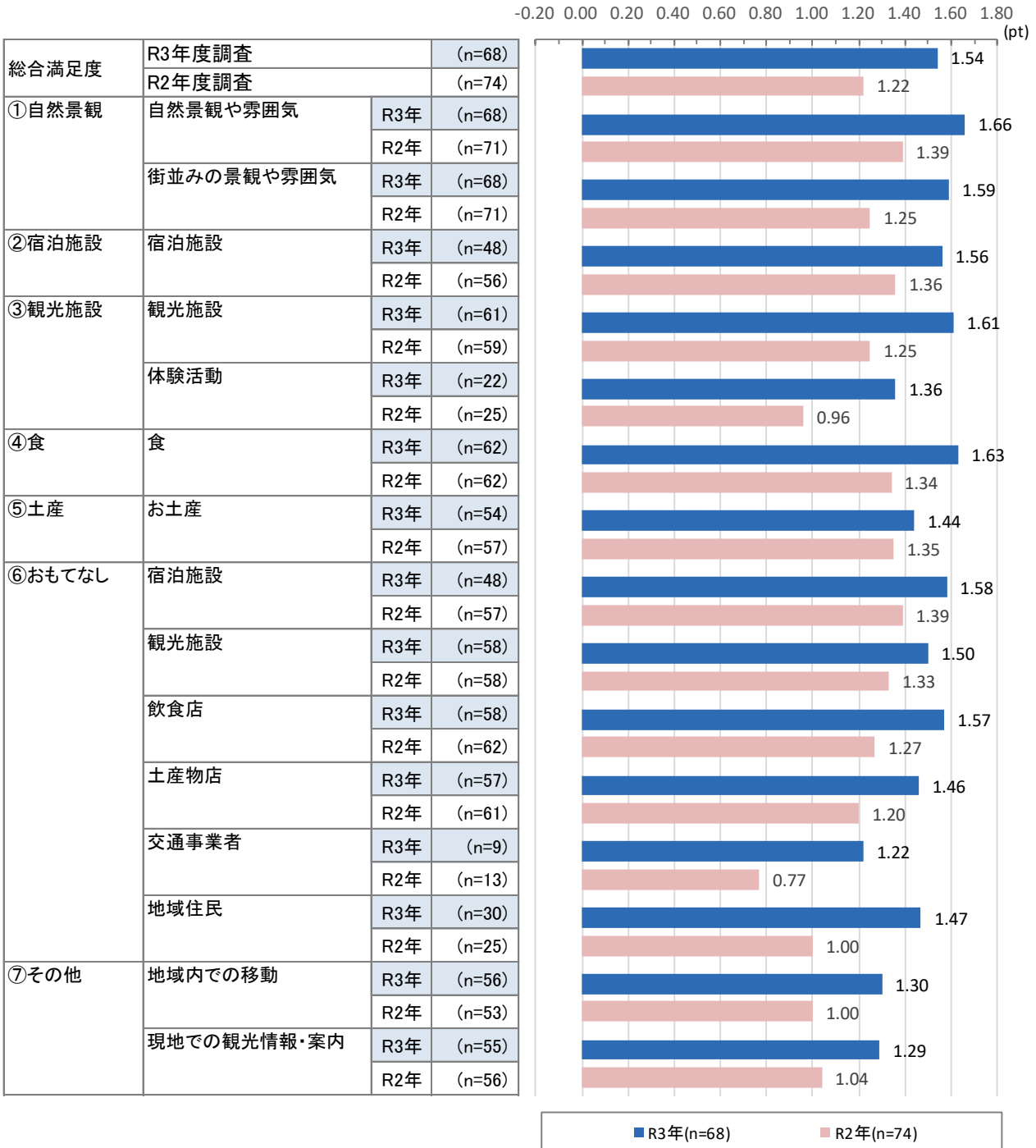
消費支出の総額は、令和2（2020）年度調査では29,356円であったが、令和3（2021）年度調査では30,490円に増加した。

消費支出（総額）



総合満足度は、令和2(2020)年度調査では1.22、令和3(2021)年度調査では1.54と0.32ポイント増加した。満足度を項目別にみると、令和2(2020)年度調査では「自然景観 自然景観や雰囲気」、「おもてなし 宿泊施設」が1.39と最も高く、令和3(2021)年度調査も同じく「自然景観 自然景観や雰囲気」が1.66と最も多くなった。

項目別満足度 (加重平均値)



参考資料 調査票

令和3(2021)年度 栃木県観光動態調査

ようこそ栃木県へお越しくださいました。今回のご来訪を心から歓迎いたします。
 本調査は、県内の観光地をより一層満足いただけるものとしていくために、観光客の皆様の声をお聞かせ
 いただくアンケート調査です。
 お手数ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。

調査実施者：栃木県産業労働観光部観光交流課（電話028-623-3210）

※2人以上でいらしている場合には、どなたかお一人が代表してご記入ください。

※ 欄は具体的にご記入ください。その他は、該当する項目を選択してください。

問1. あなたのお住まい(都道府県・市町村)、性別、年代をお答えください。

お住まい	<input type="text"/>	都・道・府・県	<input type="text"/>	市・町・村	性別	1. 男性 2. 女性
年代	1. 10歳未満	2. 10歳代	3. 20歳代	4. 30歳代	5. 40歳代	
	6. 50歳代	7. 60歳代	8. 70歳代	9. 80歳以上		

問2. 今回の旅行の栃木県内での滞在時間や宿泊数をお答えください。

・日帰りの方 → 栃木県での滞在時間 時間

・宿泊の方 → 全宿泊数 泊

うち 栃木県内での宿泊数 泊

↓

	宿泊地域	宿泊施設 (宿泊施設の分類は 下表から選択)
一泊目	<input type="text"/>	<input type="text"/>
二泊目	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【表】 宿泊施設の分類

①実家や知人・親戚宅	②旅館	③ホテル	④ペンション・民宿
⑤保養所・研修所	⑥キャンプ場	⑦(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	
⑧別荘・リゾートマンション	⑨会員制の宿泊施設	⑩その他	

問3. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。該当するものに○をつけてください。※1つだけ

1. ビジネス	2. 観光
3. 帰省・知人訪問	4. (1~3のどれでもない) その他

問4. 現在いらっしゃる地域を旅行先に選んだ理由は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

1. 文化的な名所旧跡を見たいから	2. 自然景観を楽しみたいから
3. 観光・文化施設を訪れたいから	4. スポーツ施設(スキー場、プールなど)を訪れたいから
5. 保養・休養したいから	6. キャンプ・登山・ハイキングをしたいから
7. 体験活動(陶芸等)がしたいから	8. 温泉に入りたいから
9. 料理や土地の味覚を楽しみたいから	10. 買い物がしたいから
11. 地域の祭やイベントに参加したいから	12. 現地の人とふれあいたいから
13. 近いから	14. 交通の便がいいから
15. その他 ()	

問5. 今回の旅行の同行者の人数、ご関係についてお答えください。

同行者 人（※自分を含む）

（該当するものに○をつけてください。※1つだけ）

1. 子ども連れの家族旅行 2. 大人の家族旅行 3. 夫婦旅行 4. カップル旅行
5. 友人との旅行 6. 職場や団体などの旅行 7. ひとり旅 8. その他

問6. 栃木県への来訪回数、現在いらっしゃる地域への来訪回数についてお答えください。

該当するものに○をつけてください。※1つだけ

（1）栃木県への来訪回数（※栃木県民の方は回答不要です。）

1. 初めて 2. 二回目 3. 三回目 4. 四回目 5. 五回目以上

（2）現在地周辺への来訪回数（※周辺住民の方は回答不要です。）

1. 初めて 2. 二回目 3. 三回目 4. 四回目 5. 五回目以上

問7. 今回の旅行で訪れた栃木県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入ください。これから訪問する観光地についても予定をご記入ください。

※観光地は「栃木県観光マップ」を参考にご記入ください。また、交通機関は下表より番号をお選びください。

○居住地から調査地点まで

○調査地点から居住地まで

【表】交通機関

① J R 新幹線	② J R 在来線	③ 私鉄・地下鉄	④ モノレール	⑤ 貸切バス・観光バス
⑥ 高速バス	⑦ 市内バス	⑧ 市内電車	⑨ タクシー・ハイヤー	
⑩ レンタカー	⑪ 自家用車、社用・公用車	⑫ その他（飛行機、徒歩、2輪車等）		

問8. 今回の旅行で、栃木県の前に立ち寄った（又は後に立ち寄る予定の）都道府県があればご記入ください。

※交通機関は上表から選択

問9. 今回の旅行の一人当たりの費用(これから使う予定も含めて)を下欄の項目別にご記入ください。

※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、栃木県内分・栃木県外分を分けて記入してください。

※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が栃木県内分のみか、栃木県外分を含むかを選択してください。

	使用費用	
	栃木県内分	栃木県外分
①交通費	円	円
②宿泊費	円	
③土産代	円	
④飲食費	円	
⑤入場料	円	
⑥その他	円	
⑦パック料金	円	

問10. 現在いらっしゃる地域を選んだ際の情報源は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

1. 以前来訪した際の自身の経験	2. 家族や友人知人からの紹介・推奨
3. 個人のブログ	4. 地域や施設の公式webサイトの情報
5. 宿泊予約サイト	6. ツイッター、インスタグラム等のSNS
7. 旅行会社の旅行パンフレット	8. テレビや映画での紹介、ロケ地情報
9. 旅行会社の店員からの勧め	10. 割引券や優待券
11. 自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	12. その他()

問11. 問10の中で、選んだ“決め手”となったものを1つだけ選んで 内に記入してください。

問12. 実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の以下の項目の満足度はいかがでしたか。※それぞれ1つだけ

	大変良かった	まあまあ良かった	どちらでもない	やや悪かった	非常に悪かった	利用していない 該当しない
①自然景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
②街並みの景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
③宿泊施設	5	4	3	2	1	0
④観光施設	5	4	3	2	1	0
⑤体験活動	5	4	3	2	1	0
⑥食	5	4	3	2	1	0

		大変良かった	まあまあ良かった	どちらでもない	やや悪かった	非常に悪かった	利用していない 該当しない
⑦お土産		5	4	3	2	1	0
⑧おもてなし	宿泊施設	5	4	3	2	1	0
	観光施設	5	4	3	2	1	0
	飲食店	5	4	3	2	1	0
	土産物店	5	4	3	2	1	0
	交通事業者（バス・タクシー等）	5	4	3	2	1	0
	地域住民	5	4	3	2	1	0
⑨地域内での移動		5	4	3	2	1	0
⑩現地での観光情報・案内		5	4	3	2	1	0

問13. 実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の総合的な満足度はいかがでしたか。※1つだけ

大変満足	ほぼ満足	どちらでもない	やや不満	大変不満
5	4	3	2	1

問14. 現在いらっしゃる地域へまた訪れたいと思いますか。※1つだけ

大変そう思う	そう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない
5	4	3	2	1

問15. 以下の項目のうち、12都県と比べて、栃木県の魅力が1位だと感じるものを教えてください。※いくつでも

（宮城県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県）

1. 魅力的な観光スポット・イベントがある	2. 魅力的な宿泊施設がある
3. 魅力的な温泉がある	4. 魅力的な食べ物がある（宿泊時の食事を除く）
5. 魅力的な自然・景観がある	6. 街歩きが楽しめる
7. 買い物が楽しめる	8. スポーツが楽しめる（ゴルフ、テニス、スキーなど）
9. アウトドアが楽しめる （登山、釣り、自転車、川遊びなど）	10. 各種体験が楽しめる （農業体験、フルーツ狩り、手作りなど）
11. 魅力的なレジャー施設がある （遊園地、テーマパークなど）	

（回答終了日時： 月 日 時 分）

☆☆ アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。☆☆